

**地方自治法第 243 条の 3 第 2 項
の規定に基づき議会に提出する
法人の経営状況説明書**

平成 28 年 8 月

盛 岡 市

目 次

盛岡地区広域土地開発公社	1
公益財団法人盛岡国際交流協会	11
社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団	23
一般財団法人盛岡地区勤労者共同福祉センター	47
一般財団法人盛岡市勤労者福祉サービスセンター	55
盛岡まちづくり株式会社	73
盛岡中央市場冷蔵株式会社	85
公益財団法人盛岡市都南自治振興公社	93
一般財団法人盛岡市駐車場公社	123
公益財団法人盛岡市動物公園公社	147
公益財団法人岩手育英会	189
公益財団法人盛岡市体育協会	203
公益財団法人盛岡市文化振興事業団	217
たまやま振興株式会社	229
株式会社盛岡地域交流センター	241
公益財団法人盛岡地域地場産業振興センター	263
公益財団法人盛岡観光コンベンション協会	271

盛岡地区広域土地開発公社

1 総括事項

(1) 名称	盛岡地区広域土地開発公社
(2) 設立年月日	昭和48年 3月 5日
(3) 基本財産	金 11,000,000円
(4) 市の出資額	金 6,500,000円
(5) 役員の氏名	理事長 谷 藤 裕 明 副理事長 佐 藤 光 彦 常務理事 柴 田 道 明 理 事 深 谷 政 光 理 事 民部田 幾 夫 理 事 熊 谷 泉 理 事 工 藤 健 一 理 事 宮 川 寿 理 事 伊 勢 志 穂 理 事 神 部 伸 也 理 事 大 畑 正 二 理 事 池 野 直 友 理 事 青 山 良 一 郎 理 事 川 口 節 雄 理 事 藤 澤 和 義 監 事 打 座 敦 監 事 沼 田 由 子

(平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

公共用地(公園, 道路, 学校用地等), 公用地(庁舎等公用に使用する土地)等の取得, 管理, 処分等を行うため, 盛岡地区広域圏8市町の出資により「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づく特別法人として設立されたものである。

主な業務として構成市町からの依頼に基づく公共用地先行取得・処分を行っている。

2 平成27年度事業実績及び決算の状況

(1) 事業実績

ア 用地取得・処分の状況

新たな用地取得はなく、用地処分については、平成12年度及び14年度に盛岡市からの依頼により取得した旧盛岡競馬場跡地用地の一部を同市へ売却処分した。

この結果平成28年度へ繰り越される事業用地は、次の2件となった。

- ① 盛岡市史跡志波城跡整備用地（盛岡市中太田方八丁）
- ② 旧盛岡競馬場跡地用地（盛岡市上田字庚申窪他）

イ 収益的収入及び支出

平成27年度の収益的収入は、事業収益については226,028,736円、事業外収益については受取利息と雑収益を合わせ29,198円となり、合計226,057,934円となった。

また、収益的支出は、事業原価については224,022,168円、販売費及び一般管理費については2,778,986円となり、合計226,801,154円となった。

この結果、収益的収支で743,220円の当期純損失が生じた。

ウ 資本的収入及び支出

平成27年度の資本的収入は、0円であった。

また、資本的支出は、公有地取得事業費については14,209,649円、借入金償還金については209,781,006円の合計223,990,655円となった。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に対する不足額223,990,655円については、当年度分損益勘定留保資金223,278,948円及び過年度分損益勘定留保資金711,707円で補填措置を行った。

エ その他

予算・決算等に関する理事会の開催及び役員の変更に伴う登記事務を行った。

(2) 決算の状況

平成27年度盛岡地区広域土地開発公社収支決算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

収益的収入

(単位：円)

款	項	目	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
1 事業収益			226,028,000	226,028,736	736
	1 公有地取得 事業収益		226,028,000	226,028,736	736
		1 公有用地売却収益	226,028,000	226,028,736	736
2 事業外収益			17,000	29,198	12,198
	1 受取利息		12,000	25,077	13,077
		1 受取利息	12,000	25,077	13,077
	2 雑収益		5,000	4,121	△ 879
		1 雑収益	5,000	4,121	△ 879
合 計			226,045,000	226,057,934	12,934

収益的支出

(単位：円)

款	項	目	予 算 額	決 算 額	不 用 額
1 事業原価			224,022,000	224,022,168	△ 168
	1 公有地取得 事業原価		224,022,000	224,022,168	△ 168
		1 公有用地売却原価	224,022,000	224,022,168	△ 168
2 販売費及び 一般管理費			3,984,000	2,778,986	1,205,014
	1 販売費及び 一般管理費		3,984,000	2,778,986	1,205,014
		1 経 費	3,984,000	2,778,986	1,205,014
		(賃 金)	(1,820,000)	(1,503,570)	(316,430)
		(社会保険料)	(282,000)	(223,594)	(58,406)
		(旅 費)	(554,000)	(266,460)	(287,540)
		(交際費)	(20,000)	(0)	(20,000)
		(需用費)	(179,000)	(27,882)	(151,118)
		(役務費)	(40,000)	(12,612)	(27,388)
		(使用料及び賃借料)	(978,000)	(638,308)	(339,692)
		(負担金補助及び交付金)	(39,000)	(34,560)	(4,440)
(公租・公課)	(72,000)	(72,000)	(0)		
合 計			228,006,000	226,801,154	1,204,846

資本的収入

(単位：円)

款	項	目	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
1 資本的収入			1,000	0	△1,000
	1 長期借入金		1,000	0	△1,000
		1 長期借入金	1,000	0	△1,000
	合 計		1,000	0	△1,000

資本的支出

(単位：円)

款	項	目	予 算 額	決 算 額	不 用 額
1 資本的支出			223,994,000	223,990,655	3,345
	1 公有地取得		14,212,000	14,209,649	2,351
	事業費	1 用地費	1,000	0	1,000
		2 支払利息	13,731,000	13,730,111	889
		3 諸経費	480,000	479,538	462
	3 借入金償還		209,782,000	209,781,006	994
	金	1 長期借入金償還金	209,782,000	209,781,006	994
	合 計		223,994,000	223,990,655	3,345

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額223,990,655円については、当該年度分損益勘定留保資金223,278,948円及び過年度分損益勘定留保資金711,707円で補填するものである。

平成27年度盛岡地区広域土地開発公社貸借対照表

(平成28年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額	
資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金及び預金	62,041,868	
(2) 公有用地	287,955,703	
流動資産合計	<u>349,997,571</u>	
資産合計		<u>349,997,571</u>
負債の部		
1. 流動負債		
(1) 未払金	219,611	
(2) 預り金	<u>10,408</u>	
流動負債合計		230,019
2. 固定負債		
(1) 長期借入金	<u>299,385,498</u>	
固定負債合計	<u>299,385,498</u>	
負債合計		<u>299,615,517</u>
資本の部		
1. 資本金		
(1) 基本財産	<u>11,000,000</u>	
資本金合計		11,000,000
2. 準備金		
(1) 前期繰越準備金	40,125,274	
(2) 当期純損失	<u>743,220</u>	
準備金合計	<u>39,382,054</u>	
資本合計		<u>50,382,054</u>
負債及び資本合計		<u>349,997,571</u>

平成27年度盛岡地区広域土地開発公社損益計算書
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

1. 事業収益		
(1) 公有地取得事業収益	<u>226,028,736</u>	<u>226,028,736</u>
2. 事業原価		
(1) 公有地取得事業原価	<u>224,022,168</u>	<u>224,022,168</u>
事業総利益		2,006,568
3. 販売費及び一般管理費		
(1) 販売費及び一般管理費	<u>2,778,986</u>	<u>2,778,986</u>
事業損失		772,418
4. 事業外収益		
(1) 受取利息	25,077	
(2) 雑収益	<u>4,121</u>	<u>29,198</u>
5. 事業外費用		
(1) 支払利息	0	
(2) 雑損失	<u>0</u>	<u>0</u>
経常損失		743,220
当期純損失		<u><u>743,220</u></u>

財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位：円)

資 産		金 額	備 考
流 動 資 産			
現金及び預金		62,041,868	
	普通預金	12,041,868	岩手銀行 12,041,868
	定期預金	50,000,000	岩手銀行 10,000,000 北日本銀行 10,000,000 東北銀行 20,000,000 盛岡信用金庫 10,000,000
公有用地		287,955,703	盛岡市史跡志波城跡整備用地 (盛岡市中太田方八丁) 58,587,650 旧盛岡競馬場跡地用地 (盛岡市上田字堤頭他) 229,368,053
資 産 合 計		349,997,571	

負 債		金 額	備 考
流 動 負 債			
未 払 金		219,611	臨時事務補助員賃金 161,040 振込手数料 2,700 複写機使用料 37,835 OA機器賃借料 18,036
預り金		10,408	雇用保険料(個人負担分) 6,708 源泉徴収所得税 3,700
固 定 負 債			
長期借入金		299,385,498	盛岡市 58,587,650 東北銀行 240,797,848
負 債 合 計		299,615,517	
差 引 正 味 財 産		50,382,054	

3 平成28年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

ア 事業計画

公有地の拡大の推進に関する法律の目的に従い、地域の秩序ある整備と地域住民の福祉の増進に寄与するため設立団体との密接な連携のもとに、次の事業を行うものとする。

- ・ 公有用地の処分（旧競馬場跡地用地）
- ・ 保有土地の管理
- ・ 事業資金の借入及び償還

イ 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入は、事業収益については公有用地売却収益として232,440千円、また、事業外収益については受取利息と雑収益を合わせ15千円であり、合計232,455千円である。

また、収益的支出は、事業原価については公有用地売却原価として230,328千円、販売費及び一般管理費として1,882千円であり、合計232,210千円である。

ウ 資本的収入及び支出

本年度の資本的収入は、長期借入金として1千円を見込んでいる。

資本的支出は、公有地取得事業費については961千円、借入金償還金については240,798千円であり、合計241,759千円である。

(2) 収支予算の概要

平成28年度盛岡地区広域土地開発公社収支予算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

収益的収入

(単位：千円)

款	項	目	当年度予算額	前年度予算額	比較
1 事業収益			232,440	226,028	6,412
	1 公有地取得 事業収益		232,440	226,028	6,412
		1 公有用地売却収益	232,440	226,028	6,412
2 事業外収益			15	17	△2
	1 受取利息		12	12	0
		1 受取利息	12	12	0
	2 雑収益		3	5	△2
		1 雑収益	3	5	△2
合 計			232,455	226,045	6,410

収益的支出

(単位：千円)

款	項	目	当年度予算額	前年度予算額	比較
1 事業原価			230,328	224,022	6,306
	1 公有地取得 事業原価		230,328	224,022	6,306
		1 公有用地売却原価	230,328	224,022	6,306
2 販売費及び 一般管理費	1 販売費及び 一般管理費		1,882	3,984	△2,102
		1 経 費	1,882	3,984	△2,102
		(賃 金)	(0)	(1,820)	(△1,820)
		(社 会 保 険 料)	(0)	(282)	(△282)
		(旅 費)	(554)	(554)	(0)
		(交 際 費)	(20)	(20)	(0)
		(需 用 費)	(179)	(179)	(0)
		(役 務 費)	(40)	(40)	(0)
		(使用料及び賃借料)	(978)	(978)	(0)
		(負担金補助及び交付金)	(39)	(39)	(0)
		(公 租 ・ 公 課)	(72)	(72)	(0)
		合 計			232,210

資本的収入

(単位：千円)

款	項	目	当年度予算額	前年度予算額	比較
1 資本的収入			1	1	0
	1 長期借入金		1	1	0
		1 長期借入金		1	1
合 計			1	1	0

資本的支出

(単位：千円)

款	項	目	当年度予算額	前年度予算額	比較	
1 資本的支出			241,759	223,994	17,765	
	1 公有地取得 事業費		961	14,212	△ 13,251	
		1 用地費		1	1	0
		2 支払利息		927	13,731	△ 12,804
		3 諸経費		33	480	△ 447
	3 借入金償還金			240,798	209,782	31,016
		1 長期借入金償還金		240,798	209,782	31,016
合 計			241,759	223,994	17,765	

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額241,758千円については、当年度分損益勘定留保資金230,573千円及び過年度分損益勘定留保資金11,185千円で補填するものとする。

公益財団法人盛岡国際交流協会

1 総括事項

- (1) 名称 公益財団法人盛岡国際交流協会
- (2) 設立年月日 平成4年11月17日
- (3) 資本金又は基本財産 金 100,000,000円
- (4) 市の出資額 金 100,000,000円
- (5) 役員氏名
- | | | | |
|------|---|---|----|
| 理事長 | 三 | 浦 | 宏 |
| 常務理事 | 細 | 川 | 恒 |
| 理事 | 川 | 村 | 宗生 |
| 理事 | 今 | 野 | 庄 |
| 理事 | 斎 | 藤 | 幸代 |
| 理事 | 佐 | 藤 | 誠司 |
| 理事 | 龍 | 澤 | 正美 |
| 理事 | 山 | 田 | 佳奈 |
| 理事 | 吉 | 川 | 博史 |
| 監事 | 沼 | 田 | 由子 |

(平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

当協会の設立目的である盛岡市の歴史や文化、その他の特性を生かしながら幅広い分野における国際交流活動を展開することにより、市民の国際相互理解と国際友好親善の促進を図り、もって「世界に開かれた魅力あるまち・盛岡」の創造に寄与するため、次の事業を行う。

- (ア) 国際交流・協力に関する情報の収集及び提供
- (イ) 国際交流（理解）・協力に関する啓発普及の推進
- (ウ) 国際交流団体等の連携及び国際交流ボランティアの育成
- (エ) 交流事業の計画の策定及び実施
- (オ) 姉妹都市交流の推進
- (カ) その他本協会の目的を達成するために必要な事業

2 平成27年度事業実績及び決算の状況

(1) 事業実績

平成26年4月に公益財団法人へ移行し、一層自立した運営への責任を担いながら、当協会の設立目的である盛岡市の歴史や文化、その他の特性を生かしながら幅広い分野における国際交流活動を展開することにより、市民の国際相互理解と国際友好親善の促進が図られるよう努めた。

また、市内の国際交流団体と連携しながら特色ある事業展開を行うとともに、主要事業である第21回「中学生ビクトリア市研修」を実施した。

(ア) 情報収集提供・啓発普及事業

国際交流に関する情報等を広く市民に提供するためホームページやメーリングリストでのイベント情報等の配信、機関紙「国際交流もりおか」及び3カ国語生活情報紙「もりおか」の発行やイベントの開催により、国際理解等に関する意識啓発や協会事業の紹介及び外国籍市民に対する生活情報等の提供を行った。

- i 機関紙「国際交流もりおか」の発行。(年3回発行、各540部)
- ii 英語、中国語及び日本語(漢字にルビ)の3カ国語情報紙「もりおか」の発行。(年3回発行各490部)
- iii 次代を担う中学生の国際交流に対する関心を高めるために「中学生による国際交流スピーチコンテスト」を開催した。なお、最優秀賞、優秀賞及び入賞の生徒12人は「第22回中学生ビクトリア市研修」に参加した。
- iv 外国人の講師が市内の幼稚園や保育園を訪問し、各国の簡単なあいさつや遊びを紹介する「キッズ・レッツ・プレイ」を年3回実施した。
- v フランス語をはじめて学ぶかた向けに、フランス語の基礎のほか、フランス文化の学びをとおり、外国に興味を持つきっかけを作るフランス語講座を開催した。

(イ) 団体等育成事業

i ボランティア登録者の斡旋

民間団体が実施する国際交流活動に通訳、ホームステイ及びホームビジット登録者を紹介し、ボランティア登録者の活動の拡大を図った。

【登録者数】

- ・ボランティア通訳の登録者数 97人
- ・ホームステイの登録者 25家庭
- ・ホームビジットの登録者数 29家庭
- ・国際交流推進員 79人

【活動内容】

- ・ボランティア通訳 5人

・国際交流推進ボランティア 18人

ii 国際交流事業補助金の交付

民間国際交流活動の一層の促進を図るため、補助金交付要綱に基づき3団体に補助金を交付した。

iii 英語通訳を志す市民のレベルアップを目的に、プロの通訳者から現場での体験に基づく実践的な通訳技術を学ぶ「英語通訳講座」を開催した。

(ウ) 国際交流事業

i 国際理解講座を開催

・もりおか老人大学上田分校との共催によりパラグアイの風土や民族、宗教、食べ物などの文化を紹介する国際理解講座を開催した。

・太田地区活動センターとの共催によりフランスの風土や民族、宗教、食べ物などの文化を紹介する国際理解講座を開催した。

ii 世界の屋台村の開催

岩手大学及び盛岡情報ビジネス専門学校の留学生が自国の料理の提供や民族舞踊を披露し、市民との交流を深めた。

iii 外国籍市民支援講座（生活オリエンテーション）の開催

岩手大学及び盛岡情報ビジネス専門学校の留学生を対象とするオリエンテーションの中で、基本的な生活習慣のひとつであるごみの分別について市の担当の職員から説明した。

iv 日本文化体験講座

外国籍市民を対象に、日本の茶道を体験してもらった他、日本の四季や着物について理解を深めてもらった。

v 盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携30周年記念実行委員会が実施する事業に対し、50万円の負担金を拠出した。

vi ワン・ワールド・フェスタinいわてで、姉妹都市ビクトリア市との交流について資料を展示した。

(エ) 姉妹都市交流促進事業

i 中学生ビクトリア市研修

姉妹都市であるカナダ・ビクトリア市へ中学生12人及び事務局員3名を「第22回中学生ビクトリア市研修団」として派遣し、ホームステイによる生活体験及びホスト校での授業を通し、国際理解と姉妹都市交流を図った。

正味財産増減計算書

平成27年4月1日 から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科	目	平成27年度	平成26年度	増減
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
1 基本財産運用益				
	基本財産有価証券利息	811,800	811,800	0
	基本財産定期預金等利息	105	86	19
2 受取会費				
	賛助会員受取会費 (個人)	151,000	126,000	25,000
	賛助会員受取会費 (団体)	190,000	200,000	△ 10,000
3 事業収益				
	啓発普及事業収益	29,500	47,000	△ 17,500
	団体等育成事業収益	55,000	47,000	8,000
	国際交流事業収益	0	0	0
	姉妹都市交流促進事業収益	1,212,540	1,298,580	△ 86,040
4 受取補助金等				
	受取補助金等	5,000,000	5,000,000	0
5 雑収益				
	受取利息	1,012	917	95
	雑収益	225	0	225
	経常収益合計 (a)	7,451,182	7,531,383	△ 80,201
(2) 経常費用				
1 事業費				
	5 会議費支出	0	0	0
	6 旅費交通費支出	3,336,495	3,601,683	△ 265,188
	8 通信運搬費支出	237,518	221,966	15,552
	9 手数料支出	5,184	11,240	△ 6,056
	11 筆耕翻訳料支出	89,000	91,000	△ 2,000
	13 消耗品費支出	103,789	109,786	△ 5,997
	14 食糧費支出	12,104	29,340	△ 17,236
	16 印刷製本費支出	179,222	215,268	△ 36,046
	17 賄材料費支出	0	80,009	△ 80,009
	18 賃借料支出	11,880	5,600	6,280
	19 保険料支出	0	2,352	△ 2,352
	20 諸謝金支出	255,000	372,000	△ 117,000
	22 負担金支出	500,000	0	500,000
	23 助成金支出	300,000	186,763	113,237
2 管理費				
人件費				
	1 諸手当支出	0	0	0
	2 賃金支出	1,749,600	1,757,570	△ 7,970
	3 福利厚生費支出	268,224	263,520	4,704
事務費				
	5 会議費支出	51,000	60,000	△ 9,000
	7 交際費支出	12,000	25,000	△ 13,000
	8 通信運搬費支出	42,818	69,107	△ 26,289
	9 手数料支出	4,304	5,928	△ 1,624
	12 消耗什器備品費支出	11,232	219,544	△ 208,312
	13 消耗品費支出	150,705	120,878	29,827
	16 印刷製本費支出	0	23,220	△ 23,220
	18 賃借料支出	137,790	151,645	△ 13,855
	20 諸謝金支出	0	0	0
	21 租税公課支出	22,000	22,000	0
	22 負担金支出	23,500	23,500	0
	27 雑費支出	0	0	0

科 目	平成27年度	平成26年度	増減
3 減価償却費			0
什器備品減価償却費			
經常費用合計 (b)	7,503,365	7,668,919	△ 165,554
当期經常増減額 (a-b)	△ 52,183	△ 137,536	85,353
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益合計			
(2) 經常外費用			
2 基本財産投資有価証券評価損			
基本財産投資有価証券評価損			
5 固定資産除去損			
什器備品除去損			
經常外費用合計			
当期經常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	△ 52,183	△ 137,536	85,353
当期一般正味財産増減額	△ 52,183	△ 137,536	85,353
一般正味財産期首残高	102,097,709	102,235,245	△ 137,536
一般正味財産期末残高	102,045,526	102,097,709	△ 52,183
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	102,045,526	102,097,709	△ 52,183

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	平成27年度	平成26年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,936,283	2,319,984	△ 383,701
普通預金	1,936,283	2,319,984	△ 383,701
岩手銀行A	567,357	1,090,720	△ 523,363
岩手銀行B(基本財産)	342,459	530,385	△ 187,926
東北銀行	254,446	97,585	156,861
北日本銀行	704,619	538,688	165,931
盛岡信用金庫	67,402	62,606	4,796
流動資産合計	1,936,283	2,319,984	△ 383,701
2 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	99,514,800	99,594,000	△ 79,200
投資有価証券(一般)	99,514,800	99,594,000	△ 79,200
定期預金	485,200	406,000	79,200
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
啓発普及事業積立資金	346,810	0	346,810
特定資産合計	346,810	0	346,810
(3)その他固定資産			
什器備品	11,765	11,765	0
その他固定資産合計	11,765	11,765	0
固定資産合計	100,358,575	100,011,765	346,810
資産の部合計	102,294,858	102,331,749	△ 36,891
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	226,015	208,028	17,987
短期預り金	22,317	23,012	△ 695
前受金	1,000	3,000	△ 2,000
流動負債合計	249,332	234,040	15,292
2 固定負債			
負債の部合計	249,332	234,040	15,292
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	102,045,526	102,097,709	△ 52,183
(うち基本財産への充当額)	100,000,000)	100,000,000)	0
正味財産の部合計	102,045,526	102,097,709	△ 52,183
負債及び正味財産合計	102,294,858	102,331,749	△ 36,891

財産目録

平成28年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	額
I 資産の部		
i 流動資産		
現金預金		
普通預金 岩手銀行A	567,357	
普通預金 岩手銀行B	342,459	
普通預金 東北銀行	254,446	
普通預金 北日本銀行	704,619	
普通預金 盛岡信用金庫	67,402	
流動資産合計		1,936,283
2 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券	99,514,800	
定期預金	485,200	
基本財産合計	100,000,000	
(2) 特定資産		
啓発普及事業積立資金	346,810	
特定資産合計	346,810	
(3) その他固定資産		
什器備品	11,765	
その他固定資産合計	11,765	
固定資産合計		100,358,575
資産合計		102,294,858
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	226,015	
短期預り金	22,317	
前受金	1,000	
流動負債合計		249,332
2 負債合計		
固定負債合計		
負債合計		249,332
正味財産		102,045,526

3 平成 28 年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

平成 28 年度公益財団法人盛岡国際交流協会 事業計画

I 基本方針

当協会の設立目的をふまえ、盛岡市の歴史や文化、その他の特性を生かしながら幅広い分野における国際交流・協力活動を展開することにより、市民の国際相互理解と国際協力思想の促進を図り、もって「世界に開かれた魅力あるまち・盛岡」の創造に寄与することを旨とし、国際交流団体と連携しながら各種事業を展開し、外国籍市民への必要な支援や市民の国際交流機会の充実、若者の人材育成等に取り組めます。

II 事業計画

1 情報収集提供・啓発普及事業

(1) 協会ホームページ

協会事業の情報を広く市民に提供するため、ホームページを開設し、充実を図ると共に各国際交流団体のイベント情報や活動の様子を発信します。

また、近年の多様な通信媒体や情報配信サービスの発達等により、情報の取得方法が多角化していることを踏まえ、フェイスブックを開設して、更なる情報発信の充実に努めます。

(2) 機関紙「国際交流もりおか」の発行

① 内容： 協会で開催するイベント情報や、市内の国際交流団体の活動紹介、各国の文化紹介等、国際交流に気軽に親しめる情報を提供します。

② 発行回数： 年 3 回

(3) 3カ国語生活情報紙「もりおか」の発行

① 内容： 外国籍市民を対象に、生活情報のほか、イベント情報等を英語、中国語及び日本語（ルビ有）の 3カ国語で作成し発行します。

② 発行回数： 年 3 回

(4) 「キッズ・レッツ・プレイ」

① 内容： 市内の幼稚園・保育園の園児を対象に、外国籍市民を講師として派遣し、各国の言語による簡単なあいさつやゲームなどを通じて、外国籍市民とふれあいながら異文化に親しむ機会を提供します。

② 開催回数： 年 6 回

(5) 中学生による国際交流コンテスト

① 内容： 中学生を対象に、国際交流への関心を高めてもらうことを目的に、国際交流に関するテーマを課題とする作文募集及びスピーチコンテストを実施します。スピーチコンテストの上位入賞者は「姉妹都市交流促進事

業」の中学生ビクトリア市研修に参加します。

② 開催時期：平成28年8月

(6) 語学入門・文化講座

① 内容：英語以外の外国語について、語学入門とその国特有の文化を理解する講座を開催します。

② 開催回数：年2回

③ 開催時期：未定

2 団体等育成事業

(1) 国際交流事業補助

① 内容：国際交流団体が行う国際交流、国際協力活動を支援するため、補助金交付要綱に基づき、係る経費に対して補助金を交付します。

② 補助額：補助対象経費について上限100,000円

(2) 英語通訳講座

① 内容：通訳としてのレベルアップを希望する方を対象に、ビジネスや観光、行政機関での各種手続き等、具体的な場面を想定した通訳講座を開催します。

② 開催回数：年2回 各6回

③ 開催時期：未定

(3) ボランティア登録者の活用

○通訳・翻訳ボランティア：通訳・翻訳派遣の依頼に対応します。

○ホームステイ：外国人の宿泊を伴う滞在の受け入れを行います。

○ホームビジット：外国人の宿泊を伴わない滞在の受け入れを行います。

○国際交流推進ボランティア：国際交流イベントなどの運営に協力します。

○学生国際交流推進ボランティア：海外研修に参加したOB・OGや国際交流に関心を持つ学生が、国際交流イベントなどの運営に協力します。

○外国籍市民国際交流推進ボランティア：外国籍市民が、協会の講座や国際交流イベントなどの運営に協力します。

(4) ボランティア研修会

① 内容：各ボランティアの資質向上を図るため、研修会を開催します。

② 開催回数：1回

③ 開催時期：未定

3 国際交流・国際協力事業

(1) 地域活動推進講座

① 内容：自治会等各地域において、地域在住の外国籍市民を講師として派遣し料理講座や文化講座などを開催します。

② 開催回数：2回

③ 開催時期：随時

(2) 国際理解講座

① 内容： 国際理解を深める講座を開催します。また、国際リニアコライダー誘致の推進に向けて、関係団体と協力して講演会等を開催します。

② 開催回数： 年2回

③ 開催時期： 未定

(3) 生活オリエンテーション

① 内容： 留学生や外国籍市民が盛岡市で生活する上で必要な情報を提供するため、大学や専門学校等に出向き、説明会を開催します。

② 開催時期： 平成28年4月、10月

③ 開催回数： 年4回

(4) 日本文化体験講座

① 内容： 外国籍を含む市民を対象に、日本文化を体験する機会を提供すると共に市民との交流を深める講座を開催します。

② 開催時期：未定

③ 開催回数：2回

(5) 世界の屋台村

① 内容： 外国籍市民が、屋台で各国の料理を提供し、民族舞踊や楽器など、自国の文化を紹介する事業を実施します。岩手大学が主催するガーデンパーティーと連携して行います。

② 開催時期： 平成28年6月

③ 開催場所： 岩手大学キャンパス内（予定）

(6) その他

○ 盛岡市の施策と連携し国際交流の推進を図るため、オリンピックキャンプ地誘致、国際リニアコライダー誘致の推進に向けた対応を行います。

平成28年度収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	28年度 予算額	27年度 予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	892	892	0	
1 基本財産有価証券利息収入	891	891	0	基本財産1億円の運用益
2 基本財産定期預金等利息収入	1	1	0	
(2) 会費収入	340	340	0	
1 賛助会員個人会費収入	150	150	0	個人会員1口1,000円
2 賛助会員団体会費収入	190	190	0	団体会員1口10,000円
(3) 事業収入	1,510	1,510	0	
1 啓発普及事業収入	60	60	0	
2 団体等育成事業収入	60	60	0	
3 国際交流事業収入	10	10	0	
4 姉妹都市交流促進事業収入	1,380	1,380	0	中学生ビクトリア市研修参加者負担旅費
(4) 補助金等収入	5,000	5,000	0	
1 補助金収入	5,000	5,000	0	盛岡市補助金
(5) 雑収入	1	1	0	
1 雑収入	1	1	0	
事業活動収入計 (a)	7,743	7,743	0	
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出	6,709	6,251	458	
6 旅費交通費支出	3,887	3,887	0	中学生ビクトリア市研修
8 通信運搬費支出	309	254	55	講座回数増
9 手数料支出	42	41	1	
11 筆耕翻訳料支出	145	145	0	生活情報紙、中学生ビクトリア市研修翻訳料等
13 消耗品費支出	258	248	10	
14 食糧費支出	10	10	0	協力ボランティア従事者への昼食
16 印刷製本費支出	730	237	493	事業周知チラシの印刷
17 賄材料費支出	90	63	27	料理講座回数2回
18 賃借料支出	112	80	32	国際交流事業での物品の借用
19 保険料支出	9	9	0	
20 諸謝金支出	617	477	140	講座回数増(語学講座、通訳講座、日本文化体験講座)
22 負担金支出	0	500	△ 500	30周年記念事業実行委員会への負担金支出
23 助成金支出	500	300	200	国際交流団体への補助要望増
(2) 管理費支出	2,778	2,778	0	
1 人件費	2,084	2,084	0	臨時職員1人分
1 諸手当支出	61	61	0	
2 賃金支出	1,743	1,743	0	
3 福利厚生費支出	280	280	0	
2 事務費	694	694	0	
5 会議費支出	156	156	0	理事会・評議員会
7 交際費支出	30	30	0	
8 通信運搬費支出	70	70	0	
9 手数料支出	5	5	0	
12 消耗什器備品費支出	57	57	0	PCソフト(機関紙作成等)の更新等
13 消耗品費支出	100	100	0	
16 印刷製本費支出	10	10	0	
18 賃借料支出	170	170	0	会計ソフトの賃借料, 複写機使用料
20 諸謝金支出	50	50	0	
21 租税公課支出	22	22	0	
22 負担金支出	24	24	0	
25 委託料支出	0	0	0	
事業活動支出計 (b)	9,487	9,029	458	
事業活動収支差額 (a-b) =c	△ 1,744	△ 1,286	△ 458	

科	目	28年度 予算額	27年度 予算額	増減	備考
II	投資活動収支の部				
1	投資活動収入				
(1)	基本財産定期預金収入	1,010	851	159	定期取崩
1	基本財産定期預金収入	1,010	851	159	6/20 485,200円 12/20 524,800円
(2)	投資有価証券売却収入	0	0	0	
1	投資有価証券売却収入	0	0	0	
	投資活動収入計(d)	1,010	851	159	
2	投資活動支出				
(1)	基本財産取得(定期預金)支出	1,090	904	186	定期積立
1	基本財産取得(定期預金)支出	1,090	904	186	6/20 524,800円 12/20 564,400円
(2)	投資有価証券取得支出	0	0	0	
1	投資有価証券取得支出	0	0	0	
	投資活動支出計(e)	1,090	904	186	
	投資活動収支差額(d-e)=f	△ 80	△ 53	△ 27	
IV	予備費支出	100	100	0	
1	予備費支出(j)	100	100	0	
	当期収入合計(a+d)=k	8,753	8,594	159	
	当期支出合計(b+e+j)=l	10,677	10,033	644	
	当期収支差額(k-l)=m	△ 1,924	△ 1,439	△ 485	
	前期繰越収支差額(n)	1,924	1,439	485	
	次期繰越収支差額(m)+(n)	0	0	0	

社会福祉法人 盛岡市社会福祉事業団

1 総括事項

- (1)名称 社会福祉法人 盛岡市社会福祉事業団
- (2)設立年月日 昭和49年3月29日
- (3)基本財産 3,000,000円
- (4)市の出資額 3,000,000円
- (5)役員の名
- | | |
|------|-------|
| 理事長 | 瀧野常寛 |
| 副理事長 | 平井興太郎 |
| 常務理事 | 中川政則 |
| 理事 | 村上秀樹 |
| 理事 | 細川恒 |
| 理事 | 竹田浩久 |
| 理事 | 伊達康子 |
| 理事 | 大志田和彦 |
| 理事 | 米田ハツエ |
| 理事 | 藤本美智 |
| 理事 | 石杜尚 |
| 監事 | 浅沼信一 |
| 監事 | 工藤重信 |

(平成28年4月1日現在)

(6)事業の概要

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身とも健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の事業を行う。

(ア)社会福祉事業

(イ)公益を目的とする事業

2 平成 27 年度事業実績及び決算の状況

(1) 事業実績

ア 理事会の開催

4 回開催した。

イ 法務局登記

平成 27 年 3 月 31 日現在、資産総額 898,987,430 円の登記を平成 27 年 5 月 28 日完了。

ウ 監事会の開催

(ア) 定款第 18 条第 1 項による監査を平成 27 年 5 月 22 日に実施した。

(イ) 出納調査を 4 回実施した。

エ 第二次中・長期経営計画に係る取組

(ア) 第 3 次盛岡市立保育所民営化計画に係る検討会及び視察研修等を 4 回開催した。

(イ) 盛岡市社会福祉事業団経営会議を 6 回開催した。

(ウ) 各担当課及び関係団体との情報交換会を 7 回開催した。

(エ) 先進地視察研修を 1 回開催した。

オ 苦情解決に係る取組

苦情解決委員会を 1 回開催した。

カ 社会福祉法人新会計基準に係る取組

(ア) 税理士による会計指導を 4 回開催した。

(イ) 社会福祉法人新会計基準研修会を 2 回開催した。

キ 発達障害児支援専門員の取組

発達障害児等への対応や支援、児童厚生員への助言指導等を行うことを目的とし、各児童(館)センターへのべ 135 回の巡回指導を実施した。

ク 指定特定・障害児相談支援事業所「盛岡市社会福祉事業団」の取組

関係機関並びに他事業所とも十分に情報を共有しながら、計画・支援を行った。

ケ 施設の管理運営

(ア) 平成 27 年度は、事業団立保育所、児童発達支援事業所 2 施設、放課後等デイサービス事業所 2 施設をはじめ、老人福祉センター 26 施設、児童(館)センター 34 施設、軽費老人ホーム、障害者支援施設、児童発達支援センター、多機能型事業所、身体障害者福祉センター、地域福祉センター、母子生活支援施設各 1 施設のほか、公益事業所として地区活動センター 14 施設、地域交流活性化センター 1 施設、老人憩いの家 4 施設、世代交流センター 1 施設及び勤労青少年ホーム 1 施設合わせて 93 施設 3 付帯事業の管理運営及び図書館窓口業務等の業務委託、松園地区公民館児童健全育成事業、地域人づくり事業の業務委託を委託者の指導のもと、地域住民及び施設利用者の理解と協力を得ながら、施設目的達成のため努力してきたところである。

(イ)施設との連絡調整

けやき荘，かつら荘，津志田つばさ園，いるかデイ仙北，ひまわり学園，しらたき工房，身体障害者福祉センター，地域福祉センター，中央通勤労青少年ホーム，津志田老人福祉センターについては，毎月 16 日を，その他の利用施設については，毎月 25 日を定例日として施設長会議を開催し，連絡調整にあたっている。

コ 職員研修

職員の資質の向上を図るため，事業団職員研修計画を策定し，計画的な研修を実施するとともに，全国社会福祉事業団協議会主催等の研修会に積極的に派遣した。

サ 職員の福利厚生

職員の健康管理については，健康診断を実施し，健康の保持に努めた。

シ 災害事故防止対策

(ア)避難訓練の実施

受託施設の利用者の主体は，高齢者，障がい者（児），児童等であり，災害時には機敏に避難できない者が多いので，避難訓練を定期的実施するとともに，火災等の災害対策として消防法の定めるところにより，施設ごとに防火管理者を定め，消防計画書を作成し，所轄消防署に届け出た。

(イ)事故補償対策

a 入所者（児）及び利用者の施設における事故補償の対応は，社会福祉施設賠償責任保険（補償金額 身体賠償 1 人 1 億円，1 事故 10 億円，財物賠償 1 事故 2 千万円）に加入している。

b 児童館等における体育教室等の実施に際しては，保護者負担のスポーツ安全保険に加入するよう奨励してきた。

(ウ)専門業者による維持点検

a 消防法に基づく消防設備等点検は，業者により年 2 回実施し，その結果については所轄消防署に報告している。

b 施設の夜間警備については，けやき荘を除き業者委託を行い万全を期している。また，けやき荘，かつら荘においては入所施設のため，職員の宿直方式をとっている。

c 児童館においては，専門業者による遊具点検を年 1 回実施し，利用児童の安全を期している。

ス 施設設備等の整備

各施設設備の整備については，委託者と協議し盛岡市において実施しているが，維持管理上緊急を要する 20 万円未満の修理等については，事業団各会計予算の緊急修理費の枠内で応急的な処理を実施した。

セ 付帯事業

(ア) リフト付福祉バス運行事業

身体障害者福祉センターの付帯事業として、在宅の身体障がい者で一般の交通手段を利用することが困難な方々の社会参加と自立を促進するため、リフト付福祉バスを運行した。

(イ) ひまわり学園付帯事業の母子通園事業は、ひまわり学園内の「わらしっこ教室」と、平成 14 年 4 月に開所された盛岡市立地域福祉センター内の「わらしっこ都南教室」と、平成 18 年 4 月に開所された玉山総合福祉センター内の「玉山わらしっこ教室」の 3 教室で実施された。心身に障がいがあると思われる乳幼児をその初期において、保護者と共に療育指導し、健やかな成長への療育相談を目的とする事業を行った。

(ウ) ひまわり学園付帯事業のおもちゃ図書館事業は、心身に障がいのある児童の健やかな成長を助長するため、おもちゃを備え、遊びの場の提供及び貸し出しを行う事業として、平成 27 年度の利用者数は 96 人、おもちゃの貸し出しは 37 件であった。

(2) 決算の状況

事業団会計は、経常的な事業活動収入として、盛岡市からの補助金、指定管理料、委託料のほか、給付費及び利用者からの利用料等で運営されている。平成 27 年度決算における「事業活動収入」の中の補助金、指定管理料、委託料の割合は、67.1%となっており、給付費及び利用者からの利用料等の割合は、32.9%となっている。

また、「事業活動支出」の中の人件費支出の割合は、78.6%となっており、事業費、事務費支出等の割合は、21.4%となっている。

事業団は、公立施設を専門的な民間法人で弾力的及び柔軟性をもって運営することを目的として設立された社会福祉法人であり、また、指定管理者として盛岡市と一体となった施設管理も必要であることから、効率的な運営を推進していくものである。更には、事業団中長期計画及び第二次中長期経営計画に基づき、盛岡市の福祉施策の一助となるよう自主事業として、保育所、児童発達支援事業所、相談支援事業所及び重症心身障害児（者）を対象とした多機能型障害福祉サービス事業所の安定経営を図りながら、市民ニーズに合った特性ある自主事業の展開をより一層進め、安定的・持続的に事業展開できる自立した事業団を目指すものである。

なお、当団の会計は、平成 27 年度から新会計基準に移行していることから、事業活動計算書（第 2 号の 1 様式）及び貸借対照表（第 3 号の 1 様式）については、「当年度」及び「前年度」の比較形式で作成しなければならないが、従来の基準と新会計基準とでは、評価方法、財務諸表の表示区分等が異なる場合があるため、新会計基準移行年度に限り、事業活動計算書及び貸借対照表の前年度の数値の記載は不要とされている。

資金収支計算書

第1号の1様式

自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日

(単位:円)

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差異 (A) - (B)	備 考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	26,829,000	28,747,188	△ 1,918,188	複数回利用者増加等
	老人福祉事業収入	30,002,000	29,253,733	748,267	
	保育事業収入	115,368,000	122,377,490	△ 7,009,490	入所児童処遇特別加算等 運営費差額
	就労支援事業収入	8,748,000	7,013,887	1,734,113	
	障害福祉サービス等事業収入	351,281,000	358,328,530	△ 7,047,530	利用回数増, 認定区分変更等
	補助金等事業収入	1,124,601,000	1,124,245,412	355,588	
	経常経費寄附金収入	600,000	600,000	0	
	受取利息配当金収入	182,000	194,267	△ 12,267	
	その他の収入	5,246,000	5,341,890	△ 95,890	
事業活動収入計(1)	1,662,857,000	1,676,102,397	△ 13,245,397		
支出	人件費支出	1,287,461,000	1,260,057,457	27,403,543	非常勤職員給与, 法定福利費
	事業費支出	206,459,000	189,420,417	17,038,583	水道光熱費, 燃料費
	事務費支出	153,663,000	145,626,251	8,036,749	経費節減
	就労支援事業支出	8,748,000	7,731,112	1,016,888	
	事業活動支出計(2)	1,656,331,000	1,602,835,237	53,495,763	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,526,000	73,267,160	△ 66,741,160		
施設整備等に よる収支	支出				
	固定資産取得支出	2,621,000	2,615,320	5,680	
	施設整備等支出計(5)	2,621,000	2,615,320	5,680	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,621,000	△ 2,615,320	△ 5,680		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	65,729,000	65,729,000	0	内部取引消去
	事業区分間繰入金収入	10,015,000	0	10,015,000	
	拠点区分間繰入金収入	114,561,000	0	114,561,000	
	サービス区分間繰入金収入	6,437,000	0	6,437,000	
	その他の活動収入計(7)	196,742,000	65,729,000	131,013,000	
	支出				
	積立資産支出	97,569,000	97,552,208	16,792	内部取引消去
	事業区分間繰入金支出	10,015,000	0	10,015,000	
	拠点区分間繰入金支出	114,561,000	0	114,561,000	
サービス区分間繰入金支出	6,437,000	0	6,437,000		
その他の活動支出計(8)	228,582,000	97,552,208	131,029,792		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 31,840,000	△ 31,823,208	△ 16,792		
予備費支出(10)	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 27,935,000	38,828,632	△ 66,763,632		
前期末支払資金残高(12)	152,728,000	152,712,455	15,545		
当期末支払資金残高(11)+(12)	124,793,000	191,541,087	△ 66,748,087	保育・障害収入増, 経費節減	

事業活動計算書

第2号の1様式

自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減
サービス活動増減の部	収入			
	介護保険事業収益	28,747,188		28,747,188
	老人福祉事業収益	29,253,733		29,253,733
	保育事業収益	122,377,490		122,377,490
	就労支援事業収益	7,013,887		7,013,887
	障害福祉サービス等事業収益	358,328,530		358,328,530
	補助金等事業収益	1,124,245,412		1,124,245,412
	経常経費寄附金収益	600,000		600,000
	サービス活動収益計(1)	1,670,566,240		1,670,566,240
	費用			
	人件費	1,334,754,690		1,334,754,690
	事業費	189,420,417		189,420,417
	事務費	145,626,251		145,626,251
	就労支援事業費用	7,711,092		7,711,092
減価償却費	20,676,491		20,676,491	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 6,689,471		△ 6,689,471	
サービス活動費用計(2)	1,691,499,470		1,691,499,470	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 20,933,230		△ 20,933,230	
サービス活動外の増減の部	収入			
	受取利息配当金収益	194,267		194,267
	その他のサービス活動外収益	5,341,890		5,341,890
	サービス活動外収益計(4)	5,536,157		5,536,157
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	5,536,157		5,536,157	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 15,397,073		△ 15,397,073	
特別増減の部	費用			
	固定資産売却損・処分損	1		1
	特別費用計(9)	1		1
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1		△ 1	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 15,397,074		△ 15,397,074	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	425,089,712		425,089,712
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	409,692,638		409,692,638
	基本金取崩額(14)	0		0
	その他の積立金取崩額(15)	65,729,000		65,729,000
	その他の積立金積立額(16)	77,441,899		77,441,899
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	397,979,739		397,979,739

(注) 会計基準移行年度のため前年度の数値は記載していない。

貸借対照表

第3号の1様式

平成 28 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	246,997,167		246,997,167	流動負債	109,208,294		109,208,294
現金預金	166,144,544		166,144,544	事業未払金	47,737,805		47,737,805
事業未収金	77,951,193		77,951,193	その他の未払金	2,000,000		2,000,000
未収金	2,000,000		2,000,000	預り金	302,265		302,265
商品・製品	834,710		834,710	職員預り金	4,581,300		4,581,300
立替金	44,720		44,720	賞与引当金	54,586,924		54,586,924
前払費用	22,000		22,000	固定負債	112,636,732		112,636,732
固定資産	811,927,984		811,927,984	退職給付引当金	112,636,732		112,636,732
基本財産	332,712,600		332,712,600	負債の部合計	221,845,026		221,845,026
土地	129,922,000		129,922,000	純 資 産 の 部			
建物	199,790,600		199,790,600	基本金	3,000,000		3,000,000
定期預金	3,000,000		3,000,000	国庫補助金等特別積立金	114,142,177		114,142,177
その他の固定資産	479,215,384		479,215,384	その他の積立金	321,958,209		321,958,209
構築物	20,428,056		20,428,056	運営費積立金	76,584,213		76,584,213
車輛運搬具	4		4	施設・設備整備積立金	201,332,097		201,332,097
器具及び備品	23,290,383		23,290,383	津志田つばさ園施設・設備整備積立金	23,400,000		23,400,000
退職給付引当資産	112,636,732		112,636,732	保育所施設・設備整備積立金	20,641,899		20,641,899
運営費積立資産	76,584,213		76,584,213	次期繰越活動増減差額	397,979,739		397,979,739
施設・設備整備積立資産	201,332,097		201,332,097	(うち当期活動増減差額)	△ 15,397,074		△ 15,397,074
津志田つばさ園施設・設備整備積立資産	23,400,000		23,400,000				
保育所施設・設備整備積立資産	20,641,899		20,641,899				
差入保証金	902,000		902,000	純資産の部合計	837,080,125		837,080,125
資産の部合計	1,058,925,151		1,058,925,151	負債及び純資産の部合計	1,058,925,151		1,058,925,151

(注)会計基準移行年度のため前年度の数値は記載していない。

財務諸表に対する注記（法人全体用）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ア 建物、構築物、機械及び装置、車輛運搬具、器具及び備品
定額法
 - イ リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
 - ア 賞与引当金
職員に支給する賞与見込額のうち、当期の負担に属する額を計上している。
 - イ 退職給付引当金
 - (ア) 事業団退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における自己都合要支給額に基づいて計算した退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
 - (イ) 県社協退職給付引当金
若手県社会福祉協議会の実施する退会共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち、法人負担額に相当する額を計上している。
 - (ウ) 全事協退職給付引当金
全国社会福祉事業団協議会の実施する年金共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち、法人負担額に相当する額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (4) リース会計基準適用前の所有権移転外ファイナンス・リース取引
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (5) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 - ア 製品又は仕掛品
個別法による原価法
 - イ 製品又は仕掛品以外の棚卸資産
最終仕入原価法

3. 重要な会計方針の変更

平成27年度から「平成23年基準」に移行している。

4. 法人で採用する退職給付制度

- (1) 社会福祉施設職員等退職手当共済制度
対象職員について、独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している。
- (2) 民間退職共済制度
対象職員について、若手県社会福祉協議会の実施する民間社会福祉事業職員共済事業に加入している。
- (3) 全事協年金共済制度
対象職員について、全国社会福祉事業団協議会の実施する年金共済事業に加入している。
- (4) 差額支給
対象職員について、社会福祉施設職員等退職手当共済制度と民間退職共済制度に基づく合計額が、職員の給与に関する規程による算出額より少ない時はその差額を支給する。

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は、以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の財務諸表 (第1号の1様式, 第2号の1様式, 第3号の1様式)
 - (2) 事業区分別内訳表 (第1号の2様式, 第2号の2様式, 第3号の2様式)
 - (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表 (第1号の3様式, 第2号の3様式, 第3号の3様式)
 - (4) 公益事業における拠点区分別内訳表 (第1号の3様式, 第2号の3様式, 第3号の3様式)
 - (5) 各拠点区分における財務諸表 (第1号の4様式, 第2号の4様式, 第3号の4様式)
 - (6) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
- ア 事務局拠点 (社会福祉事業)
- 「事務局」
 - 「事務局 (運営補助)」
 - 「相談支援事業」
 - 「相談支援事業 (委託事業)」
- イ けやき荘拠点 (社会福祉事業)
- ウ しらたき工房拠点 (社会福祉事業)
- 「就労継続支援事業B型」
 - 「生活介護事業」
 - 「地域活動支援センターII型」
 - 「相談支援事業」
 - 「地域生活支援事業 (日中一時)」
- エ ひまわり学園拠点 (社会福祉事業)
- 「ひまわり学園」
 - 「母子通園事業」
 - 「相談支援事業」
 - 「地域生活支援事業 (日中一時)」
- オ 身体障害者福祉センター拠点 (社会福祉事業)
- 「身体障害者福祉センター」
 - 「リフト付福祉バス運行事業」
 - 「相談支援事業」
- カ 地域福祉センター拠点 (社会福祉事業)
- 「センター事業」
 - 「生活介護事業」
 - 「通所介護事業」
 - 「相談支援事業」
 - 「地域生活支援事業 (日中一時)」
- キ いるかデイ仙北拠点 (社会福祉事業)
- 「放課後等デイサービス事業」
 - 「生活介護事業」
 - 「相談支援事業」
 - 「地域生活支援事業 (日中一時)」
- ク かつら荘拠点 (社会福祉事業)
- ケ 児童発達支援事業拠点 (社会福祉事業)
- 「いるか教室」
 - 「いるか教室 相談支援事業」
 - 「いるか教室つしだ」
 - 「いるか教室つしだ 相談支援事業」
- コ 放課後等デイサービス事業拠点 (社会福祉事業)
- 「いるかデイ中屋敷」
 - 「いるかデイ中屋敷 相談支援事業」
 - 「いるかデイ中屋敷 地域生活支援事業 (日中一時)」
 - 「いるかデイ三本柳」
 - 「いるかデイ三本柳 相談支援事業」
 - 「いるかデイ三本柳 地域生活支援事業 (日中一時)」
- サ 津志田つばさ園拠点 (社会福祉事業)
- シ 老人福祉センター拠点 (社会福祉事業)
- ス 児童館・児童センター拠点 (社会福祉事業)
- セ 中央通勤労青少年ホーム拠点 (公益事業)
- ソ 地区活動・地域交流活性化センター拠点 (公益事業)
- タ 老人憩いの家拠点 (公益事業)
- チ 世代交流センター拠点 (公益事業)
- ツ 図書館窓口業務拠点 (公益事業)

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	129,922,000	0	0	129,922,000
建物（津志田つばさ園）	181,286,263	0	9,408,287	171,877,976
建物（いるか教室つしだ）	29,420,120	0	1,507,496	27,912,624
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	343,628,383	0	10,915,783	332,712,600

7. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

該当なし	0	円
計	0	

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

該当なし	0	円
計	0	

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産 土地	129,922,000	0	129,922,000
基本財産 建物（つばさ）	204,528,013	32,650,037	171,877,976
基本財産 建物（つしだ）	32,771,684	4,859,060	27,912,624
その他 構築物	28,644,119	8,216,063	20,428,056
その他 車輛運搬具	5,114,000	5,113,996	4
その他 器具及び備品	44,652,540	21,362,157	23,290,383
その他 無形固定資産	101,850	101,850	0
合計	445,734,206	72,303,163	373,431,043

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし	0	0	0
合計	0	0	0

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位：円)

種類	法人等の 内容	住所	資産総額	事業の 内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引の 内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の 兼務等	事業上の 関係				
該当なし			0						0		0

13. 重要な偶発債務
該当なし

14. 重要な後発事象

公益事業 盛岡市図書館窓口業務及び移動図書館車運行業務委託について、平成28年3月31日をもって終了している。

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団

資産・負債の内訳		金額
I 資産の部		
1. 流動資産		
小口現金		20,300
両替現金	しらかき工房	20,300
	けやき荘	30,000
	しらかき工房	15,000
	地域福祉センター	30,000
普通預金		166,049,244
	事務局 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №0098795	12,021,199
	事務局 相談支援事業 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №2021364	1,870,139
	けやき荘 御岩手銀行 城百支店 №1005386	8,008,369
	しらかき工房 御岩手銀行 茶畑支店 №1006312	21,067,366
	しらかき工房 就労支援 御岩手銀行 茶畑支店 №2051551	1,185,013
	ひまわり学園 御岩手銀行 天昌寺支店 №1005344	18,531,104
	身体障害者福祉センター 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №1001677	1,681,385
	地域福祉センター 御岩手銀行 手代森支店 №1011857	18,034,816
	いるかデイ仙北 御岩手銀行 仙北町支店 №2057768	9,630,101
	かつら荘 御岩手銀行 天昌寺支店 №2060013	1,721,629
	児童発達支援事業 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №2022236	2,418,250
	放課後等デイサービス事業 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №2021373	6,544,557
	津志田つばさ園 御岩手銀行 津志田支店 №2077082	16,102,859
	老人福祉センター 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №1001693	9,930,178
	児童館・児童センター 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №1001726	17,820,180
	中央通勤労青少年ホーム 御岩手銀行 材木町支店 №2009471	998,049
	地区活動・活性化センター 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №1001700	7,616,763
	老人憩いの家 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №1001680	1,490,890
	世代交流センター 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №1002830	372,272
	図書館窓口業務 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №2013193	9,004,125
事業未収金		77,951,193
	事務局 給付費等	3,258,035
	けやき荘 利用料	608,318
	しらかき工房 給付費等	19,823,260
	ひまわり学園 給付費等	16,690,687
	身体障害者福祉センター 給付費等	1,370,288
	地域福祉センター 給付費等	14,600,805
	いるかデイ仙北 給付費等	3,161,469
	児童発達支援事業 給付費等	3,741,449
	放課後等デイサービス事業 給付費等	5,710,200
	津志田つばさ園 運営費等	8,913,938
	老人福祉センター 指定管理料増額分	50,956
	児童館・児童センター 謝金等	8,540
	中央通勤労青少年ホーム 自動販売機電気料	7,187
	地区活動・活性化センター 自動販売機電気料	6,061
未収金		2,000,000
商品・製品	事務局 事務局 相談支援事業所運営費	2,000,000
立替金	しらかき工房 木工・手芸製品	834,710
		44,720
	事務局 見舞金	30,000
	しらかき工房 製品展示販売送料	950
	津志田つばさ園 災害共済掛金	13,770
前払費用		22,000
	児童発達支援事業 4月分自動車保管場所使用料	12,000
	児童館・児童センター 4月分自動車保管場所使用料	10,000
	流 動 資 産 合 計	246,997,167
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
土地	津志田つばさ園 岩手県盛岡市津志田西二丁目15番17 宅地	129,922,000
	津志田つばさ園及びいるか教室ついだ敷地 (3,000.51㎡)	
建物	児童発達支援事業 岩手県盛岡市津志田西二丁目15番17所在 木造合金メッキ鋼板ぶき平家建	27,912,624
	いるか教室ついだ 事業所棟1棟 (60.26㎡)	
	津志田つばさ園 岩手県盛岡市津志田西二丁目15番17所在 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建	171,877,976
	津志田つばさ園園舎 園棟1棟 (838.51㎡)	
定期預金		3,000,000
	事務局 御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №2010334	3,000,000
基 本 財 産 合 計		332,712,600

資 産 ・ 負 債 の 内 訳				金 額
(2) その他の固定資産				
構築物	児童発達支援事業 津志田つばさ園	いるか教室つしだ 外構工事 外構工事等	1,245,775 19,182,281	20,428,056
車両運搬具	けやき荘 しらたき工房 地域福祉センター いるかデイ仙北	送迎車両 中古トラクター マイクロバス マイクロバス	1 1 1 1	4
器具及び備品	事務局 けやき荘 しらたき工房 ひまわり学園 身体障害者福祉センター いるかデイ仙北 児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業FF式ストーブ 津志田つばさ園 老人福祉センター 児童館・児童センター 地区活動・活性化センター	財務会計システム等 物置等 プレス棋機等 ピアノ等 応援セット 入浴装置等 ピアノ等 ピアノ等 物置等 物置等 物置等	15,993,420 15 3 563,503 1 2,883,042 255,814 304,971 3,187,231 2 85,708 16,673	23,290,383
退職給付引当資産	事務局 けやき荘 しらたき工房 ひまわり学園 身体障害者福祉センター 地域福祉センター いるかデイ仙北 かつら荘 津志田つばさ園 老人福祉センター 児童館・児童センター 中央通勤労青少年ホーム	御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №2016955 全事協年金共済 9,747,785円 県社協退職共済 681,339円 全事協年金共済 5,387,724円 県社協退職共済 512,919円 全事協年金共済 11,144,622円 県社協退職共済 869,814円 全事協年金共済 11,640,033円 県社協退職共済 838,533円 全事協年金共済 1,534,980円 県社協退職共済 102,420円 全事協年金共済 5,658,594円 県社協退職共済 502,527円 全事協年金共済 621,360円 県社協退職共済 84,432円 全事協年金共済 2,101,872円 県社協退職共済 102,420円 全事協年金共済 1,194,072円 県社協退職共済 92,778円 全事協年金共済 3,661,955円 県社協退職共済 203,544円 全事協年金共済 740,850円 県社協退職共済 152,465円 全事協年金共済 2,159,556円 県社協退職共済 102,420円	52,797,718 10,429,124 5,900,643 12,014,436 12,478,566 1,637,400 6,161,121 705,792 2,204,292 1,286,850 3,865,499 893,315 2,261,976	112,636,732
運営費積立資産	事務局	御東北銀行 本店営業部 №105142-031	36,584,213	76,584,213
施設・設備整備積立資産	事務局	御北日本銀行 本店営業部 №9104060-013	40,000,000	201,332,097
	事務局	御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №2010325	5,040,000	
	事務局	御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №2010666	3,256,000	
	事務局	御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №2016964	13,898,541	
	事務局	御北日本銀行 本店営業部 №9104060-012	18,643,281	
	事務局	御東北銀行 本店営業部 №105142-033	160,494,275	
津志田つばさ園積立資産	津志田つばさ園	御東北銀行 本店営業部 №105142-032	23,400,000	23,400,000
保育所施設・設備積立資産	津志田つばさ園	御岩手銀行 盛岡市役所出張所 №2016973	20,641,899	20,641,899
貸入保証金	事務局	駐車場借上敷金	10,000	902,000
	放課後等デイサービス事業	借家借上敷金	272,000	
	津志田つばさ園	駐車場借上敷金	605,000	
	老人福祉センター	駐車場借上敷金	5,000	
	児童館・児童センター	駐車場借上敷金	10,000	
	その他の固定資産合計			479,215,384
	固定資産合計			811,927,984
	資産合計			1,058,925,151

資 産 ・ 負 債 の 内 訳			金 額
II 負債の部			
1. 流動負債			
事業未払金			47,737,805
事務局	社会保険料事業主負担等	1,997,475	
けやき荘	社会保険料事業主負担等	4,468,570	
しらたき工房	社会保険料事業主負担等	4,499,349	
ひまわり学園	社会保険料事業主負担等	3,371,034	
身体障害者福祉センター	社会保険料事業主負担等	733,264	
地域福祉センター	社会保険料事業主負担等	4,343,929	
いるかデイ仙北	社会保険料事業主負担等	855,812	
かつら荘	社会保険料事業主負担等	804,268	
児童発達支援事業	社会保険料事業主負担等	644,767	
放課後等デイサービス事業	社会保険料事業主負担等	1,028,224	
津志田つばさ園	社会保険料事業主負担等	4,716,543	
老人福祉センター	社会保険料事業主負担等	2,899,002	
児童館・児童センター	社会保険料事業主負担等	6,682,409	
中央通勤労青少年ホーム	社会保険料事業主負担等	443,684	
地区活動・活性化センター	社会保険料事業主負担等	2,552,458	
老人憩いの家	社会保険料事業主負担等	500,764	
世代交流センター	社会保険料事業主負担等	189,008	
図書館窓口業務	社会保険料事業主負担等	7,007,245	
その他の未払金			2,000,000
事務局	相談支援事業 事務局 相談支援事業所運営費	2,000,000	
預り金			302,265
事務局	源泉所得税等	252,800	
津志田つばさ園	災害共済掛金	720	
老人福祉センター	源泉所得税	33,769	
児童館・児童センター	源泉所得税	11,895	
地区活動・活性化センター	源泉所得税	1,530	
図書館窓口業務	源泉所得税	1,551	
職員預り金			4,581,300
事務局	源泉所得税等	2,337,126	
いるかデイ仙北	社会保険料個人負担	29,338	
老人福祉センター	源泉所得税等	582,331	
児童館・児童センター	源泉所得税等	932,829	
地区活動・活性化センター	源泉所得税等	298,820	
老人憩いの家	源泉所得税等	35,226	
世代交流センター	源泉所得税等	37,760	
図書館窓口業務	源泉所得税等	327,870	
賞与引当金			54,586,924
事務局	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	4,067,167	
けやき荘	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	2,650,430	
しらたき工房	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	5,124,567	
ひまわり学園	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	6,868,607	
身体障害者福祉センター	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	883,654	
地域福祉センター	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	2,548,252	
いるかデイ仙北	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	1,056,779	
かつら荘	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	1,197,538	
児童発達支援事業	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	494,580	
放課後等デイサービス事業	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	494,580	
津志田つばさ園	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	3,003,691	
老人福祉センター	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	6,426,369	
児童館・児童センター	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	14,235,142	
中央通勤労青少年ホーム	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	766,023	
地区活動・活性化センター	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	4,084,650	
老人憩いの家	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	580,594	
世代交流センター	6月賞与に係る引当金(賞与・法定福利費)	104,301	
流 動 負 債 合 計			109,208,294
2. 固定負債			
退職給付引当金			112,636,732
事務局	退職金	52,797,718	
	全事協年金共済 9,747,785円 県社協退職共済 681,339円	10,429,124	
けやき荘	全事協年金共済 5,387,724円 県社協退職共済 512,919円	5,900,643	
しらたき工房	全事協年金共済 11,144,622円 県社協退職共済 869,814円	12,014,436	
ひまわり学園	全事協年金共済 11,640,033円 県社協退職共済 838,533円	12,478,566	
身体障害者福祉センター	全事協年金共済 1,534,980円 県社協退職共済 102,420円	1,637,400	
地域福祉センター	全事協年金共済 5,658,594円 県社協退職共済 502,527円	6,161,121	
いるかデイ仙北	全事協年金共済 621,360円 県社協退職共済 84,432円	705,792	
かつら荘	全事協年金共済 2,101,872円 県社協退職共済 102,420円	2,204,292	
津志田つばさ園	全事協年金共済 1,194,072円 県社協退職共済 92,778円	1,286,850	
老人福祉センター	全事協年金共済 3,661,955円 県社協退職共済 203,544円	3,865,499	
児童館・児童センター	全事協年金共済 740,850円 県社協退職共済 152,465円	893,315	
中央通勤労青少年ホーム	全事協年金共済 2,159,556円 県社協退職共済 102,420円	2,261,976	
固 定 負 債 合 計			112,636,732
負 債 合 計			221,845,026
登 引 純 資 産			837,080,125

3 平成 28 年度事業計画および収支予算の概要

(1) 事業計画

ア 運営方針

盛岡市社会福祉事業団は、昭和 49 年に盛岡市により設立されて以来、42 年間にわたり市立福祉施設を中心に管理運営を行い、盛岡市における障がい児(者)、児童、高齢者等指市民の福祉の向上に努めてきた。

近年の社会福祉をめぐる動きは、地域社会における共生の実現に向けて障害者総合支援法が施行され、障がい福祉に関するシステムが大きく変化することとなり、今国においては社会福祉法改正案を国会に上程し、今後の施行を目指している。また、規制緩和による多様な事業主体の参入や指定管理制度への対応等競争原理の下での経営感覚がより一層重要視されるなど、事業団を取り巻く環境は、一段と厳しい状況に置かれ、今後も更なる改革の取り組みが求められている。

事業団は、これまでも盛岡市における社会福祉の重要な一翼を担い、先駆的、先導的な役割を果たしてきたが、今後においては事業団が担う地域性、公共性の一層の充実を目指し、利用者本位の視点に立った地域福祉への積極的な取り組みを推進するため、住民、行政との協働の下に、人的資源と施設機能を活かしたより質の高いサービスを提供し、地域貢献していかなければならない。

平成 28 年度の事業(所)運営については、市民への身近な支援事業として開始した放課後等デイサービス事業や多機能型障害福祉サービス事業所、特定相談支援・障害児相談支援事業所のより充実した事業の展開と安定した事業(所)運営を図るものとするほか、津志田つばさ園の定員を増やし、地域の保育需要に対応していく。また、盛岡市から委託を受けた緊急雇用創出事業「地域人づくり事業」において育成した相談支援専門員の活動を充実させ相談支援体制の充実に努める。また、施設運営については、児童発達支援センター、障害者支援施設、母子支援施設、老人福祉施設、保育所、地域センター(児童センター、老人福祉センター、地区活動センター等)、勤労青少年福祉施設等合わせて 93 施設 3 付帯事業の管理運営に取り組むものとする。

その運営にあたっては、平成 26 年度に策定した「盛岡市社会福祉事業団第 2 次中長期経営計画」に基づき、市民の「**あ**だんの**く**らしの**あ**わせ」をサポートする福祉の専門家集団となるべく、全施設、全職員が一体感と使命感を持って業務にあたることのできる環境の整備に努めるとともに、本計画を着実に推進するため、事業団事務局内の経営企画室を中心に、より具体的な事業の推進を図るものとする。

また、地域センターについては、その特性を踏まえ、利用者に対する支援の充実を図るとともに「盛岡市社会福祉事業団」の知名度の向上を一層高め、市民協働のまちづくりや地域福祉活動の拠点として市民から等しく受け入れられるよう、適正かつ効率的な運営に努めるものとする。

イ 重点項目

- (ア) 利用者のニーズに応じた柔軟なサービスの提供。
- (イ) 専門性の強化と地域への専門性の貢献。
- (ウ) 事業団としての知名度の向上。
- (エ) 組織的なしくみ整備とそれを支える本部機能の再構築。
- (オ) 財源の確保と戦略的な資源の活用。

ウ 事業計画

(ア) 法人運営

a 理事会

事業計画，予算，決算その他重要な事項等を審議決定するため，理事会を随時開催する。

b 監事監査

業務の執行状況，会計経理事務等の適正を期するため，監事監査を実施するほか，年4回の出納監査を実施する。

c 登記

定款変更に伴う認可登記，資産総額の変更登記等の実施。

d 委託者側との連携

市立機関としての成果を期するため，盛岡市保健福祉部及び市民部その他関係機関と相互の意思疎通に努める。

e 施設長会議等の開催

定期的に施設長会議を開催し，有機的な連携を図り，相互理解のもとに事業の推進に努める。また，盛岡市社会福祉施設連絡協議会との連携を図り相互協調に努める。

f 関係団体との連携

全国社会福祉事業団協議会，北海道・東北ブロック社会福祉事業団連絡協議会及び県社会福祉事業団並びに県・市社会福祉協議会その他関係団体等との連携を図る。

g 経営企画室の取組み

第2次中長期経営計画の推進のため，自主事業の強化，新事業の企画を行うとともに，計画の進捗状況を把握し，法人，各施設の経営基盤の確立に向けて取り組む。

h 経営会議の開催

中長期経営計画の中で，重点的に取り組む内容を集中して協議することで，法人としての事業展開や方向性を明らかにしていく場とする。

i 指定管理の評価

第三期の指定管理期間の3年目を迎え、事業計画に則った事務事業の遂行に努めるとともに、質の高いサービス、地域への貢献、経費節減等について自己評価を行い、事業計画等の調整を図りながら取り組む。

j 委託事業の実施

学校教育と社会教育が一体となった盛岡市松園地区公民館児童健全育成事業を受託するとともに、盛岡市の児童健全育成事業に積極的に取り組んでいく。

k 事業団独自の新たな事業展開に向けた取組み

(a) 盛岡市障がい者福祉計画に基づき、事業団事務局内に設置した相談支援事業所が、現在ある各施設の相談支援事業の包括的な役割を担いながら、相談事業の更なる充実に努める。

(b) 発達障害児支援専門員による各児童センターを利用する発達障害児等の対応や支援、児童厚生員への助言指導等、利用児童の支援の向上に努めながら、外部への研修会の開催や情報発信等を行う。

(c) 津志田つばさ園の定員を増やし、地域の保育需要に対応する。

(d) 自立に向けた地域生活支援の充実に目指していくうえで多くの利用者や保護者から多くの要望が寄せられているしらたき工房のグループホームの設置に向けて、関係機関との協議や情報収集を図り、より積極的に取り組む。

l 個人情報保護の徹底

マイナンバー制度の導入に伴い、関係業務における安全管理措置の整備を十分に行うと共に、適正な取扱いに努める。

(イ) 施設の管理運営

平成28年度は、93施設の管理運営を行う。管理運営にあたっては、次の事項を重点として推進する。

a 施設の効率的な運営

(a) 施設業務の適正かつ効率的な運営を図るため、職員の自主性、独創性の高揚に努める。

(b) 施設の円滑な運営に資するため、職員間の責任及び協力体制を確立し、事務事業の計画的な見直し等を通じ、事務処理の適正化及び事業経営の効率化に努める。

(c) 施設監査要領に基づく監査を実施し、不正防止に努めるほか、適正な事務処理確保のための指導を行う。

(d) 予算執行にあたっては、経費の節減と効率的な執行に努める。

(e) 施設の運営にあたっては、指定管理者として適切な運営体制を確立しながら、事業展開について盛岡市と密接な連携のもと一体となり社会福祉事業等の目的の実現に努める。

b 職員の資質の向上と健康管理の充実

- (a) 研修体系を明確に定め、計画的な研修を実施し、職員の資質の向上に努める。
- (b) 健康診断を実施し、健康の保持に努めるとともに、職員の福利増進に努める。
- c 災害事故の未然防止並びに災害時の対応
 - (a) 火災その他の事故防止対策として、各施設において防火管理規程を定め、所轄消防機関との連携を密にし、非常通報、避難訓練及び消火訓練を実施し、利用者の安全確保に万全を期する。
 - (b) 大規模災害が発生した際など、盛岡市の指示のもと「盛岡市指定管理者災害対応の手引き」に則り、迅速に避難所の開設当連携を強化し、災害弱者の方々をはじめ市民の生活と安全の確保に努める。
 - (c) 消火設備及び避難設備等は、定期点検のほか随時点検を実施する。また、利用者の施設内での事故防止のため、設備・備品等の巡回点検を行い万全を期する。
 - (d) 夜間等の施設事故防止のため、夜間警備を業者委託する(入所施設を除く)。
 - (e) 感染症の予防対策の徹底に努めるよう、各種研修会に出席し対応を習得するとともに各施設への手指消毒用アルコールや嘔吐物の処理セットを配備し感染予防に万全を期す。
- d 広報活動の推進
 - (a) 事業団概要、施設概要等を作成し、関係機関・団体等及び職員に配布すると共に、ホームページにより広く市民に事業団及び施設についての周知を図る。
 - (b) 盛岡市広報を活用し、事業団関係事業の周知及び理解を深める。

1 平成28年度盛岡市社会福祉事業団資金収支予算書

(単位:千円)

勘定科目		区分	合計	社会福祉事業	公益事業		
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	26,829	26,829	0		
		老人福祉事業収入	36,605	36,605	0		
		保育事業収入	114,611	114,611	0		
		就労支援事業収入	8,748	8,748	0		
		障害福祉サービス等事業収入	379,090	379,090	0		
		補助金等事業収入	1,061,904	852,705	209,199		
		借入金利息補助金収入	0	0	0		
		経常経費寄附金収入	0	0	0		
		受取利息配当金収入	151	147	4		
		その他の収入	4,436	4,357	79		
		流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0		
		事業活動による収入計(1)	1,632,374	1,423,092	209,282		
		事業活動による収支	支出	人件費支出	1,293,175	1,141,727	151,448
				事業費支出	210,284	183,807	26,477
事務費支出	154,677			111,659	43,018		
就労支援事業支出	8,748			8,748	0		
利用者負担軽減額	0			0	0		
支払利息支出	0			0	0		
その他の支出	0			0	0		
流動資産評価損等による資金減少額	0			0	0		
事業活動による支出計(2)	1,666,884			1,445,941	220,943		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)			△ 34,510	△ 22,849	△ 11,661		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0		
		施設整備等寄附金収入	0	0	0		
		設備資金借入金収入	0	0	0		
		固定資産売却収入	0	0	0		
		その他の施設整備等による収入	0	0	0		
	施設整備等収入計(4)	0	0	0			
	支出	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0		
		固定資産取得支出	1,000	1,000	0		
		固定資産除却・廃棄支出	0	0	0		
		ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0		
その他の施設整備等による支出		0	0	0			
施設整備等支出計(5)	1,000	1,000	0				
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			△ 1,000	△ 1,000	0		
その他の活動による収支	収入	投資有価証券売却収入	0	0	0		
		積立資産取崩収入	82,209	82,209	0		
		事業区分間繰入金収入	11,843	0	11,843		
		拠点区分間繰入金収入	99,548	99,548	0		
		サービス区分間繰入金収入	12,306	12,306	0		
		その他の活動による収入	0	0	0		
		その他の活動収入計(7)	205,906	194,063	11,843		
	支出	投資有価証券取得支出	0	0	0		
		積立資産支出	46,334	46,152	182		
		事業区分間繰入金支出	11,843	11,843	0		
		拠点区分間繰入金支出	99,548	99,548	0		
		サービス区分間繰入金支出	12,306	12,306	0		
		その他の活動による支出	0	0	0		
その他の活動支出計(8)	170,031	169,849	182				
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			35,875	24,214	11,661		
予備費(10)			0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			365	365	0		
前期末支払資金残高(12)			123,703	123,703	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)			124,068	124,068	0		

2 平成28年度盛岡市社会福祉事業団資金収支予算内訳表

(単位:千円)

区分	合計	社会福祉事業	公益事業
固定科目			
介護保険事業収入	26,829	26,829	0
居宅介護料収入	24,555	24,555	0
利用者等利用料収入	2,019	2,019	0
その他の事業収入	255	255	0
老人福祉事業収入	36,605	36,605	0
運営事業収入	36,605	36,605	0
保育事業収入	114,611	114,611	0
委託費収入	110,007	110,007	0
私的契約利用料収入	0	0	0
その他の事業収入	4,604	4,604	0
就労支援事業収入	8,748	8,748	0
木工事業収入	1,500	1,500	0
手芸事業収入	3,100	3,100	0
園芸事業収入	2,486	2,486	0
受託事業収入	1,500	1,500	0
その他の収入	162	162	0
障害福祉サービス等事業収入	379,090	379,090	0
自立支援給付費収入	173,501	173,501	0
障害児施設給付費収入	168,071	168,071	0
利用者負担金収入	16,336	16,336	0
補足給付費収入	0	0	0
特定費用収入	0	0	0
その他の事業収入	21,182	21,182	0
補助金等事業収入	1,061,904	852,705	209,199
補助金等事業収入	1,061,904	852,705	209,199
借入金利息補助金収入	0	0	0
借入金利息補助金収入	0	0	0
経常経費寄附金収入	0	0	0
経常経費寄附金収入	0	0	0
受取利息配当金収入	151	147	4
受取利息配当金収入	151	147	4
その他の収入	4,436	4,357	79
受入研修費収入	430	430	0
利用者等外給食費収入	3,540	3,540	0
雑収入	466	387	79
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0
有価証券売却益	0	0	0
有価証券評価益	0	0	0
為替差益	0	0	0
事業活動による収入計(1)	1,632,374	1,423,092	209,282
人件費支出	1,293,175	1,141,727	151,448
役員報酬支出	1,179	1,179	0
職員給料支出	246,165	241,537	4,628
職員賞与支出	71,038	69,444	1,594
非常勤職員給与支出	805,552	678,809	126,743
派遣職員費支出	0	0	0
退職給付支出	13,753	13,618	135
法定福利費支出	155,488	137,140	18,348
事業費支出	210,284	183,807	26,477
給食費支出	52,421	52,421	0
介護用品費支出	0	0	0
医薬品費支出	0	0	0
保健衛生費支出	3,083	3,083	0
施設費支出	340	340	0
教養娯楽費支出	2,698	2,402	296
日用品費支出	3,548	3,548	0
保育材料費支出	660	660	0
水道光熱費支出	58,211	40,510	17,701
燃料費支出	26,029	21,584	4,445
消耗器具備品費支出	14,563	12,741	1,822
保険料支出	79	79	0
事業活動による収支			

2 平成28年度盛岡市社会福祉事業団資金収支予算内訳表

(単位:千円)

勘定科目	区分	合計	社会福祉事業	公益事業
支 出	賃借料支出	5,770	5,452	318
	教育指導費支出	3,250	3,250	0
	車両費支出	7,782	7,767	15
	管理費返還支出	0	0	0
	贈附金支出	31,585	29,705	1,880
	雑支出	265	265	0
	事務費支出	154,677	111,659	43,018
	福利厚生費支出	10,527	8,969	1,558
	職員被服費支出	647	647	0
	旅費交通費支出	4,616	3,961	655
	研修研究費支出	5,946	5,840	106
	事務消耗品費支出	9,849	8,048	1,801
	印刷製本費支出	959	956	3
	水道光熱費支出	11,317	7,873	3,444
	燃料費支出	4,342	3,450	892
	修繕費支出	9,016	8,090	926
	通信運搬費支出	14,048	10,724	3,324
	会議費支出	127	123	4
	広報費支出	471	386	85
	業務委託費支出	26,706	18,719	7,987
	手数料支出	2,968	2,584	384
	保険料支出	3,639	3,468	171
	賃借料支出	11,615	9,817	1,798
	土地・建物賃借料支出	5,050	5,050	0
	租税公課支出	17,875	1,043	16,832
	保守料支出	10,929	8,169	2,760
	渉外費支出	127	127	0
	諸会費支出	3,229	2,941	288
	雑支出	674	674	0
	就労支援事業支出	8,748	8,748	0
	就労支援事業販売原価支出	8,748	8,748	0
	就労支援事業販管費支出	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0
	支払利息支出	0	0	0
	支払利息支出	0	0	0
	その他の支出	0	0	0
	利用者等外給食費支出	0	0	0
	雑支出	0	0	0
	流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0
	有価証券売却損	0	0	0
	資産評価損	0	0	0
	為替差益	0	0	0
	徴収不能額	0	0	0
	事業活動による支出計(2)		1,666,884	1,445,941
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 34,510	△ 22,849	△ 11,661
収 入	施設整備等補助金収入	0	0	0
	施設整備補助金収入	0	0	0
	設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0
	施設整備等寄附金収入	0	0	0
	施設整備等寄附金収入	0	0	0
	設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0
	設備資金借入金収入	0	0	0
	設備資金借入金収入	0	0	0
	固定資産売却収入	0	0	0
	土地売却収入	0	0	0
	建物売却収入	0	0	0
	構築物売却収入	0	0	0
	機械及び装置売却収入	0	0	0
	車両運搬具売却収入	0	0	0
器具及び備品売却収入	0	0	0	

2 平成28年度盛岡市社会福祉事業団資金収支予算内訳表

(単位:千円)

勘定科目		区分	合計	社会福祉事業	公益事業		
施設整備等による収支	支出	権利売却収入	0	0	0		
		その他の固定資産売却収入	0	0	0		
		その他の施設整備等による収入	0	0	0		
		その他の収入	0	0	0		
		施設整備等収入計(4)	0	0	0		
		設備資金借入金元金償還支出	0	0	0		
		設備資金借入金元金償還支出	0	0	0		
		固定資産取得支出	1,000	1,000	0		
		土地取得支出	0	0	0		
		建物取得支出	0	0	0		
		構築物取得支出	0	0	0		
		機械及び装置取得支出	0	0	0		
		車両運搬具取得支出	0	0	0		
		器具及び備品取得支出	1,000	1,000	0		
		権利取得支出	0	0	0		
		その他の固定資産取得支出	0	0	0		
		固定資産除却・廃棄支出	0	0	0		
		建物除却・廃棄支出	0	0	0		
		構築物除却・廃棄支出	0	0	0		
		機械及び装置取得支出	0	0	0		
		車両運搬具除却・廃棄支出	0	0	0		
		器具及び備品除却・廃棄支出	0	0	0		
		権利除却・廃棄支出	0	0	0		
		その他の固定資産除却・廃棄支出	0	0	0		
		ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0		
		ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0		
		その他の施設整備等による支出	0	0	0		
		その他の支出	0	0	0		
		施設整備等支出計(5)	1,000	1,000	0		
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			△ 1,000	△ 1,000	0
		収入	収入	投資有価証券売却収入	0	0	0
				投資有価証券売却収入	0	0	0
				積立資産取崩収入	82,209	82,209	0
				退職給付引当資産取崩収入	8,873	8,873	0
				運営費積立資産取崩収入	73,336	73,336	0
				施設・設備整備積立資産取崩収入	0	0	0
				津志田つばき園施設・設備整備積立資産取崩収入	0	0	0
				保育所施設・設備整備積立資産取崩収入	0	0	0
				事業区分間繰入金収入	11,843	0	11,843
				事務局拠点区分繰入金収入	11,843	0	11,843
				中央通勤労育少年ホーム拠点区分繰入金収入	0	0	0
				地区活動・地域交流活性化センター拠点区分繰入金収入	0	0	0
				老人憩いの家拠点区分繰入金収入	0	0	0
				世代交流センター拠点区分繰入金収入	0	0	0
				図書館窓口業務拠点区分繰入金収入	0	0	0
				拠点区分間繰入金収入	99,548	99,548	0
				事務局拠点区分繰入金収入	53,172	53,172	0
けやき荘拠点区分繰入金収入	7,418			7,418	0		
しらたき工房拠点区分繰入金収入	7,220			7,220	0		
ひまわり学園拠点区分繰入金収入	17,071			17,071	0		
身体障害者福祉センター拠点区分繰入金収入	1,739			1,739	0		
地域福祉センター拠点区分繰入金収入	6,555			6,555	0		
いるかデイ仙北拠点区分繰入金収入	105			105	0		
かつら荘拠点区分繰入金収入	3,811			3,811	0		
児童発達支援事業拠点区分繰入金収入	822			822	0		
放課後等デイサービス事業拠点区分繰入金収入	1,635			1,635	0		
津志田つばき園拠点区分繰入金収入	0			0	0		
老人福祉センター拠点区分繰入金収入	0			0	0		
児童館・児童センター拠点区分繰入金収入	0			0	0		

2 平成28年度盛岡市社会福祉事業団資金収支予算内訳表

(単位:千円)

勘定科目	区分	合計	社会福祉事業	公益事業
その他の活動による収支	サービス区分間繰入金収入	12,306	12,306	0
	事務局サービス区分繰入金収入	12,306	12,306	0
	相談支援事業サービス区分繰入金収入	0	0	0
	相談支援事業(委託事業)サービス区分繰入金収入	0	0	0
	その他の活動による収入	0	0	0
	過年度修正益	0	0	0
	その他の活動収入計(7)	205,906	194,063	11,843
	投資有価証券取得支出	0	0	0
	投資有価証券取得支出	0	0	0
	積立資産支出	46,334	46,152	182
	退職給付引当資産支出	19,634	19,452	182
	運営費積立資産支出	10,000	10,000	0
	施設・設備整備積立資産支出	10,000	10,000	0
	津志田つばき園施設・設備整備積立資産支出	6,700	6,700	0
	保育所施設・設備整備積立資産支出	0	0	0
	事業区分間繰入金支出	11,843	11,843	0
	事務局拠点区分繰入金支出	0	0	0
	中央通勤労育少年ホーム拠点区分繰入金支出	138	138	0
	地区活動・地域交流活性化センター拠点区分繰入金支出	9,608	9,608	0
老人憩いの家拠点区分繰入金支出	1,597	1,597	0	
世代交流センター拠点区分繰入金支出	500	500	0	
図書館窓口業務拠点区分繰入金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	99,548	99,548	0	
事務局拠点区分繰入金支出	46,376	46,376	0	
けやき荘拠点区分繰入金支出	0	0	0	
しらたき工房拠点区分繰入金支出	2,677	2,677	0	
ひまわり学園拠点区分繰入金支出	0	0	0	
身体障害者福祉センター拠点区分繰入金支出	1,133	1,133	0	
地域福祉センター拠点区分繰入金支出	5,207	5,207	0	
いるかデイ仙北拠点区分繰入金支出	13,864	13,864	0	
かつら荘拠点区分繰入金支出	0	0	0	
児童発達支援事業拠点区分繰入金支出	430	430	0	
放課後等デイサービス事業拠点区分繰入金支出	0	0	0	
津志田つばき園拠点区分繰入金支出	0	0	0	
老人福祉センター拠点区分繰入金支出	8,831	8,831	0	
児童館・児童センター拠点区分繰入金支出	21,030	21,030	0	
サービス区分間繰入金支出	12,306	12,306	0	
事務局サービス区分繰入金支出	0	0	0	
相談支援事業サービス区分繰入金支出	12,306	12,306	0	
相談支援事業(委託事業)サービス区分繰入金支出	0	0	0	
その他の活動による支出	0	0	0	
その他の支出	0	0	0	
その他の活動支出計(8)	170,031	169,849	182	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	35,875	24,214	11,661	
予備費(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	365	365	0	
前期末支払資金残高(12)	123,703	123,703	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	124,068	124,068	0	

一般財団法人 盛岡地区勤労者共同福祉センター

1 総括事項

(1) 名称 一般財団法人盛岡地区勤労者共同福祉センター

(2) 設立年月日 昭和55年8月28日（昭和55年9月2日登記）

新法人移行年月日 平成25年4月1日

(3) 資本金又は基本財産 金1,000,000円

(4) 市の出資額 金 800,000円

(5) 役員の名

理事長	谷	藤	裕	明
副理事長	高	橋	昌	造
理事	志	賀	達	哉
理事	川	村	勝	弘
理事	藤	村	文	昭
理事	村	松	孝	夫
監事	浅	沼		均
監事	佐	藤	健	一

(平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

一般財団法人盛岡地区勤労者共同福祉センターは、中小企業に働く従業員とその家族の福祉を増進し、労働力の確保と雇用の安定に資することを目的として設置された施設の管理運営を行う。

ア 施設賃貸事業

- ・ 福祉会館施設
- ・ 催事場（大ホール）施設
- ・ 体育館施設

2 平成27年度事業実績及び決算の状況

(1) 事業実績

一般財団法人盛岡地区勤労者共同福祉センターは、本年度も岩手流通センター内事業所の研修会・展示会等への利用、および盛岡・矢巾地区で働く勤労者並びに同地域住民の福利の向上を支援し、延いては地域の産業振興にも寄与すべく、施設の利用促進と健全な管理運営に努めてまいりました。

施設利用の状況は、福祉会館、大ホールの利用が増加し、前年より約364万円多い26,901,734円となりました。施設別に利用状況を見ると、矢巾町から管理委託を受けている共同福祉施設は団地内事業所等の研修会、会議および勤労者を対象としたカルチャー教室などに利用されており、利用件数は前年比47件増の673件、利用料収入は前年比12.1%増の6,732,720円でありました。大ホールは、主に事業所の展示会に利用されておりますが、利用件数は9件増の117件、利用料収入は前年比20.1%増の18,222,334円となりました。体育館では、利用件数は32件減の622件、利用料収入は前年比6.3%減の1,946,680円になりました。

支出につきましては、冬場暖かかったこと、油類の単価が下がったことなどにより、電気料や燃料費の支出が減少しましたが、積立金を取り崩して充当した大ホール屋根の修繕費が約1000万円かかり、全体としての支出は38,903,317円となり、次年度への繰越額は、前年度と比較して約246万円増の6,979,197円となりました。なお、今年度末の運営準備積立金の残高は、大ホールの修繕費として1000万円を取り崩したことにより、1300万円となっております。

今後も引き続き利用者のニーズに合わせ、利用増加を図るとともに、費用の節減に努め、共同福祉センターの健全な管理運営に努めてまいります。

(2) 決算の状況

収 支 計 算 書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1 基本財産運用収入	0	0	0	
2 事業収入	33,150,000	36,901,734	3,751,734	予算額は積立金取崩し1220万円を含む
3 補助金収入	4,400,000	4,168,967	△ 231,033	
4 雑収入	320,000	293,971	△ 26,029	
当期収入合計(A)	37,870,000	41,364,672	3,494,672	
前期繰越収支差額	3,000,000	4,517,842	1,517,842	
収入合計(B)	40,870,000	45,882,514	5,012,514	
II 支出の部				
1 事業費	38,589,400	33,023,458	△ 5,565,942	
2 管理費	2,030,600	1,879,859	△ 150,741	
3 予備費	250,000	0	△ 250,000	
4 その他	0	4,000,000	4,000,000	
当期支出合計(C)	40,870,000	38,903,317	△ 1,966,683	
当期収支差額(A)-(C)	△ 3,000,000	2,461,355	5,461,355	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	6,979,197	6,979,197	

正味財産増減表

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 資産増加額		
当期収支差額	2,461,355	
積立金増加額	4,000,000	
退職給与引当金増加額	-	
2 負債減少額	0	
退職給与引当金崩壊額	-	
増加額合計		6,461,355
II 減少の部		
1 資産減少額	13,671,602	
2 負債増加額	0	
退職給与引当金繰入額	-	
減少額合計		13,671,602
当期正味財産増加額		△ 7,210,247
前期繰越正味財産額		93,180,155
期末正味財産合計額		85,969,908

貸借対照表

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	7,474,649	
未収金	0	
有価証券	0	
その他	0	
流動資産合計		7,474,649
2 固定資産		
基本財産		
土地	0	
建物	64,364,315	
定期預金	1,000,000	
その他	0	
基本財産合計	65,364,315	
その他の固定資産		
積立金(定期預金)	13,000,000	
出資金(火災共済)	25,240	
構築物	434,124	
什器備品	167,032	
その他	0	
その他の固定資産合計	13,626,396	
固定資産合計		78,990,711
資産合計		86,465,360
II 負債の部		
1 流動負債		
支払手形	0	
未払金	495,452	
その他	0	
流動負債合計		495,452
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給与引当金	0	
その他	0	
固定負債合計		0
負債合計		495,452
III 正味財産の部		
正味財産		85,969,908
(うち基本金)		(1,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(△ 7,210,247)
負債及び正味財産合計		86,465,360

財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	7,474,649	
未収金	0	
有価証券	0	
その他	0	
流動資産合計		7,474,649
2 固定資産		
基本財産		
土地	0	
建物	64,364,315	
有価証券	1,000,000	
その他	0	
基本財産合計	65,364,315	
その他の固定資産		
積立金(定期預金)	13,000,000	
出資金(火災共済)	25,240	
構築物	434,124	
什器備品	167,032	
その他	0	
その他の固定資産合計	13,626,396	
固定資産合計		78,990,711
資産合計		86,465,360

3 平成 28 年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

盛岡・矢巾地区に働く勤労者の福利向上と地域中小企業の雇用安定に資する目的をもって設置された「盛岡地区勤労者共同福祉センター大ホール・体育館」の利用促進を図るとともに、施設の効率的な運用に努めます。

また、矢巾町が町民並びに勤労者の総合的な生活向上推進を目的とした「矢巾勤労者共同福祉センター」の指定管理者としても引き続き、鋭意管理運営にあたってまいります。

これら三施設の管理運営するにあたっては、施設利用者等からの要望・意見等を反映して、サービスの向上に努めるとともに、利用拡大のために当地区住民はもとより、広く一般勤労者等へ周知し、利用の促進を図ってまいります。

(2) 収支予算の概要

平成28年度収支計算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 収入の部				
1 基本財産運用収入	0	0	0	
2 事業収入	20,950,000	33,150,000	△ 12,200,000	
3 補助金収入	4,400,000	4,400,000	0	
4 雑収入	310,000	320,000	△ 10,000	
当期収入合計(A)	25,660,000	37,870,000	△ 12,210,000	
前期繰越収支差額	3,000,000	3,000,000	0	
収入合計(B)	28,660,000	40,870,000	△ 12,210,000	
II 支出の部				
1 事業費	26,229,400	38,589,400	△ 12,360,000	
2 管理費	2,080,600	2,030,600	50,000	
3 予備費	350,000	250,000	100,000	
4 その他	0	0	0	
当期支出合計(C)	28,660,000	40,870,000	△ 12,210,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 3,000,000	△ 3,000,000	0	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	

一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター

1 総括事項

- (1)名称 一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター
- (2)設立年月日 平成5年7月1日
- (3)資本金又は基本財産 金 100,000,000円
- (4)市の出資額 金 100,000,000円
- (5)役員の名
- | | |
|------|-------|
| 理事長 | 吉田弘躬 |
| 副理事長 | 水戸谷完爾 |
| 専務理事 | 高橋輝夫 |
| 常務理事 | 菊池伸輔 |
| 理事 | 小山克也 |
| 理事 | 高橋正利 |
| 理事 | 佐藤誠司 |
| 理事 | 菊池正敏 |
| 理事 | 小枝指博 |
| 理事 | 亀田徳夫 |
| 理事 | 今野庄 |
| 理事 | 長澤寿八 |
| 理事 | 佐々木信一 |
| 監事 | 大志田和彦 |
| 監事 | 佐々木國夫 |

(平成28年4月1日現在)

(6)事業の概要

当法人は、盛岡市内及び近郊市町の中小企業に勤務する勤労者、事業主及びその家族並びに市民に対し、総合的かつ効果的に勤労者福祉事業を実施し、中小企業の振興及び地域社会の活性化・発展に寄与する。

- (ア) 中小企業勤労者等の在職中の生活安定に関する事業
- (イ) 中小企業勤労者等の健康の増進に関する事業
- (ウ) 中小企業勤労者等の老後生活の安定に関する事業
- (エ) 中小企業勤労者等の自己啓発及び余暇活動に関する事業
- (オ) 会員拡大に関する事業
- (カ) ニュースの発行等情報提供に関する事業
- (キ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 平成 27 年度事業実績及び決算の状況 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(1) 事業実績

平成 27 年度の全国及び県内経済は共に、消費増税に伴う駆け込み需要の反動が一巡し、緩やかな回復の動きが期待されたが、国内においては中国など新興国経済の景気減速、米国の政策金利引上げ等の影響もあり、また県内においては、復興需要がピークに達したこと等により、回復の動きに足踏み状態が見られた（「岩手経済研究 2016 年 4 月号」）。

このような中、当サービスセンターの平成 27 年度末の会員数（3,972 人）は前年度末（3,970 人）とほぼ変わらず、受取会費も前年並みで推移したが、余暇活動援助事業として実施した、保養施設利用やリクレーション施設、観劇・鑑賞利用は大幅に増加し、施設利用助成額も前年度より 1,270 千円余りの増額となった。

また、現況判断として、内閣府の月例経済報告（平成 28 年 4 月）及び盛岡財務事務所の岩手県内経済情勢報告（平成 28 年 4 月）は、「景気はこのところ弱さも見られるが、緩やかな回復基調が続いている」としているほか、先行きについても、「緩やかな回復に向かうことが期待される」（月例経済報告）、「復興需要等を背景に景気回復の動きが確かなものとなることが期待される」（県内経済情勢報告）としている。

今後は、推計来場者数 93 万 4 千人、経済波及効果 421 億 6 千万円とも試算（岩手経済研究所）される希望郷いわて国体や、道南との所要時間が 1 時間弱短縮となった北海道新幹線の開業等により、県内経済の回復がより実感できることを期待している。

勤労者の福利厚生事業のうち、

- 在職中の生活安定に関する事業については、「全福ネット慶弔保険」により、会員とその家族等を対象に 967 件、9,665,000 円の祝金、見舞金等の給付を行いました。

共済掛金に対する給付率は、前年より 0.8 ポイント減少の 67.0%となっています。

- 健康の増進に関する事業については、人間ドックの助成として、59 事業所、会員 253 人に 1,195,079 円を助成するとともに、制度の周知を図り、自発的な健康管理や負担軽減の支援に努めました。
- 自己啓発に関する事業については、平成 27 年度は受講希望者が無く、助成には至りませんでした。
- 余暇活動に関する事業については、自主的な企画事業として、一般市民も対象にして「家庭菜園用畑貸出し」、地域まちづくり協賛の「八幡はしご酒祭り」利用券の割引提供、会員事業所の協力による「ホテルニューウイングの料理チケット」などの事業を行うとともに、余暇活動援助事業として、日帰り保養施設や宿泊保養施設、スポ

ーツ施設等の利用、映画・コンサート等鑑賞、動物公園等のチケット割引助成を行うなど、勤労者の充実した余暇や元気回復の支援を行いました。

前述のように、平成 27 年度は前年度を大きく上回る施設利用があり、利用助成額も大幅に増加しました。

また、より公益性を高めるため、一般市民も対象にした観劇・鑑賞チケット販売等をセンターニュースや H・P で周知を図りながら実施するとともに、勤労者団体主催の講演会等を後援するなど、サービスセンターの総合的な福祉事業の効果が広い範囲に及ぶように取り組みを推進しました。

- 情報提供に関する事業については、年 6 回センターニュースやガイドブック等の発行、H・P、モバイル等により、各種福利厚生事業について情報提供を行いました。
- 会員拡大に向けた加入促進活動については、上記の勤労者福祉事業を展開しながら、充実した福利厚生サービスの提供や、会員拡大によるスケールメリットを活かして安定的な事業を推進するため、加入促進員や役員による未加入事業所の訪問、関係団体総会での事業紹介をはじめ、「新聞等折り込みチラシ」や「ご紹介・ご入会キャンペーン」、「ラジオ CM」等による加入促進活動を積極的に行ったほか、試行的に平成 28 年元旦から 7 日間(1 日 1 回)、新春の挨拶を兼ねた「テレビ CM」を行いました。
- 会員資格年齢の見直しを行い、これまでの「70 歳まで」としていたものを、70 歳を超えて元気で安心して事業主、従業員が働くことができるよう、平成 27 年度から、「80 歳まで」に引上げることとしました。

以上の事業により、27 年度末現在の会員数は、前年度末に比べ 3 事業所の減少、2 人増加の 688 事業所 3,972 人となり、人数は前年度に引続き 4,000 人を下回る結果となりました。

なお、本年 5 月 1 日現在での総会員数は 688 事業所 4,015 人で、内訳は一般会員 3,996 人、特別会員 16 人、賛助会員 3 人となり、辛うじて 4,000 人を回復しております。

- 収支関係につきましては、経常収益は、前年度より 78,895 円減の 77,577,212 円、経常費用は 62,738 円増の 76,582,147 円となり、経常増減額(次年度繰越額 損益勘定ベース)は 141,633 円減の 995,065 円となりました。

これは、平成 26 年度から共済事業を従来の「慶弔(自治体提携用)共済」から「慶弔(自治体提携用)保険」に変更したことにより、共済事務手数料が保険引受団体(全労済協会)から交付されないこととなったことによる経常収益が減少したことが主因となったものです。

- 公益目的支出計画の実施状況については、公益目的支出額が 41,941,486 円、公益目的の収入額が 31,536,029 円となり、この収支差額△10,405,457 円を、平成 26 年度末の公益目的財産残額 133,678,898 円に加え、平成 27 年度末の公益目的財産残額は 123,273,441 円となっています。

今後とも、役員皆様のご協力を戴きながら、加入促進員を初め事務局職員による未加入事業所の訪問や加入事業所の未加入従業員の加入を促進し、会員 5,000 人の達成に向けて引き続き取り組んで参ります。

収支計算書

平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	実績額	予算残高
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	31,000	30,986	14
基本財産運用益計	31,000	30,986	14
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	15,000	15,833	△ 833
特定資産運用益計	15,000	15,833	△ 833
③ 受取入会金			
受取入会金	134,000	99,600	34,400
受取入会金計	134,000	99,600	34,400
④ 受取会費			
正会員受取会費	34,380,000	33,686,600	693,400
特別会員会費	126,000	118,300	7,700
賛助会委員会費	90,000	2,000	88,000
受取会費計	34,596,000	33,806,900	789,100
⑤ 事業収益			
共済手数料収益	0	0	0
共済精算掛金収益	2,200,000	2,184,769	15,231
給付金収益	10,500,000	9,665,000	835,000
企画・事業負担金収益	1,550,000	1,402,400	147,600
助成事業負担金収益	23,650,000	19,698,650	3,951,350
事業収益計	37,900,000	32,950,819	4,949,181
⑥ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	9,700,000	9,700,000	0
受取補助金計	9,700,000	9,700,000	0
⑦ 雑収益			
受取利息	10,000	3,699	6,301
手数料収益	400,000	229,375	170,625
広告料収益	700,000	740,000	△ 40,000
雑収益	0	0	0
雑収益計	1,110,000	973,074	136,926
経常収益計	83,486,000	77,577,212	5,908,788
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料	5,128,000	5,126,400	1,600
諸手当	918,000	723,079	194,921
賃金	1,800,000	1,765,573	34,427
賞与	1,474,000	1,526,640	△ 52,640
報償費	0	0	0
報酬	1,544,000	1,522,200	21,800
福利厚生費	1,581,000	1,577,845	3,155

科 目	予算額	実績額	予算残高
旅費交通費	12,000	10,378	1,622
通信運搬費	1,329,000	1,246,063	82,937
減価償却費	64,624	778,091	△ 713,467
備品費	67,000	0	67,000
消耗品費	15,000	7,614	7,386
物品修繕費	200,000	5,499	194,501
印刷製本費	2,480,000	1,876,998	603,002
燃料費	216,000	154,413	61,587
光熱水料費	155,000	148,610	6,390
貸借料	1,682,000	1,014,733	667,267
保険料	100,000	78,350	21,650
租税公課	23,000	4,577	18,423
雑役務費	662,000	668,979	△ 6,979
共済掛金	14,877,000	14,416,942	460,058
共済給付金	10,500,000	9,665,000	835,000
企画事業費	1,900,000	1,570,379	329,621
助成事業費	27,366,000	24,210,264	3,155,736
渉外費	21,000	4,020	16,980
支払手数料	308,000	272,701	35,299
広告費	1,589,000	1,343,800	245,200
事業費計	76,011,624	69,719,148	6,292,476
②管理費			
給料	2,546,000	2,595,600	△ 49,600
諸手当	230,000	180,770	49,230
賞与	770,000	732,060	37,940
報償費	25,000	1,000	24,000
福利厚生費	778,000	777,148	852
会議費	209,000	208,700	300
渉外費	10,000	1,980	8,020
旅費交通費	227,000	197,182	29,818
通信運搬費	375,000	351,454	23,546
減価償却費	7,180	86,454	△ 79,274
消耗品費	190,000	101,157	88,843
印刷製本費	507,000	384,446	122,554
光熱水料費	77,000	73,196	3,804
貸借料	756,000	455,894	300,106
租税公課	75,000	23,705	51,295
支払負担金	134,000	133,100	900
雑役務費	220,000	222,993	△ 2,993
支払手数料	347,000	307,513	39,487
食糧費	30,000	28,647	1,353
備品費	33,000	0	33,000
管理費計	7,546,180	6,862,999	683,181
經常費用計	83,557,804	76,582,147	6,975,657
当期經常増減額	△ 71,804	995,065	△ 1,066,869

科 目	予算額	実績額	予算残高
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 71,804	995,065	△ 1,066,869
法人税、住民税及び事業税		72,000	△ 72,000
当期一般正味財産増減額	△ 71,804	923,065	△ 994,869
一般正味財産期首残高	57,567,538	57,567,538	0
一般正味財産期末残高	57,495,734	58,490,603	△ 994,869
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	30,986	△ 30,986
② 一般正味財産への振替額	0		
一般正味財産への振替額	0	30,986	△ 30,986
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	157,495,734	158,490,603	△ 994,869

正味財産増減計算書

平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	30,986	35,132	△ 4,146
基本財産運用益計	30,986	35,132	△ 4,146
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	15,833	17,313	△ 1,480
特定資産運用益計	15,833	17,313	△ 1,480
③ 受取入会金			
受取入会金	99,600	63,800	35,800
受取入会金計	99,600	63,800	35,800
④ 受取会費			
正会員受取会費	33,686,600	33,677,700	8,900
特別会員受取会費	118,300	81,900	36,400
賛助会員受取会費	2,000	1,000	1,000
受取会費計	33,806,900	33,760,600	46,300
⑤ 事業収益			
共済手数料収益	0	510,430	△ 510,430
共済積算掛金収益	2,184,769	2,755,738	△ 570,969
給付金収益	9,665,000	9,815,000	△ 150,000
企画・事業負担金収益	1,402,400	1,406,400	△ 4,000
助成事業負担金収益	19,698,650	18,426,150	1,272,500
事業収益計	32,950,819	32,913,718	37,101
⑥ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	9,700,000	9,700,000	0
受取補助金計	9,700,000	9,700,000	0
⑦ 雑収益			
受取利息	3,699	3,543	156
手数料収益	229,375	238,001	△ 8,626
広告料収益	740,000	924,000	△ 184,000
雑収益計	973,074	1,165,544	△ 192,470
経常収益計	77,577,212	77,656,107	△ 78,895
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料	5,126,400	5,139,600	△ 13,200
諸手当	723,079	666,473	56,606
賃金	1,765,573	1,746,132	19,441
賞与	1,526,640	1,513,683	12,957
報酬	1,522,200	1,291,700	230,500
福利厚生費	1,577,845	1,635,244	△ 57,399
旅費交通費	10,378	11,719	△ 1,341
通信運搬費	1,246,063	946,372	299,691
減価償却費	778,091	833,373	△ 55,282
備品費	0	58,612	△ 58,612
消耗品費	7,614	12,739	△ 5,125
物品修繕費	5,499	70,498	△ 64,999
印刷製本費	1,876,998	1,837,612	39,386
燃料費	154,413	171,864	△ 17,451
光熱水料費	148,610	155,909	△ 7,299
賃借料	1,014,733	1,100,958	△ 86,225
保険料	78,350	112,230	△ 33,880

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
租税公課	4,577	2,503	2,074
雑役務費	668,979	694,980	△ 26,001
共済掛金	14,416,942	14,482,734	△ 65,792
共済給付金	9,665,000	9,815,000	△ 150,000
企画事業費	1,570,379	1,564,028	6,351
助成事業費	24,210,264	23,954,298	255,966
渉外費	4,020	2,010	2,010
支払手数料	272,701	276,719	△ 4,018
広告費	1,343,800	1,288,320	55,480
事業費計	69,719,148	69,385,310	333,838
②管理費			
給料	2,595,600	2,664,600	△ 69,000
諸手当	180,770	166,619	14,151
賞与	732,060	728,821	3,239
報償費	1,000	80,000	△ 79,000
福利厚生費	777,148	805,419	△ 28,271
会議費	208,700	172,728	35,972
渉外費	1,980	6,990	△ 5,010
旅費交通費	197,182	222,661	△ 25,479
通信運搬費	351,454	266,925	84,529
減価償却費	86,454	92,597	△ 6,143
備品費	0	28,868	△ 28,868
消耗品費	101,157	169,240	△ 68,083
印刷製本費	384,446	376,378	8,068
光熱水料費	73,196	76,791	△ 3,595
賃借料	455,894	494,633	△ 38,739
租税公課	23,705	90,444	△ 66,739
支払負担金	133,100	130,700	2,400
雑役務費	222,993	231,660	△ 8,667
支払手数料	307,513	312,044	△ 4,531
食糧費	28,647	15,981	12,666
管理費計	6,862,999	7,134,099	△ 271,100
経常費用計	76,582,147	76,519,409	62,738
当期経常増減額	995,065	1,136,698	△ 141,633
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	995,065	1,136,698	△ 141,633
法人税、住民税及び事業税	72,000		72,000
当期一般正味財産増減額	923,065	1,136,698	△ 213,633
一般正味財産期首残高	57,567,538	56,430,840	1,136,698
一般正味財産期末残高	58,490,603	57,567,538	923,065
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	30,986	35,132	△ 4,146
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	30,986	35,132	△ 4,146
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	158,490,603	157,567,538	923,065

貸借対照表

平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,767,807	15,276,689	1,491,118
未収金	45,623	84,910	△ 39,287
立替金	2,444,151	2,931,252	△ 487,101
流動資産合計	19,257,581	18,292,851	964,730
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
事業準備積立金	39,798,000	39,798,000	0
特定資産合計	39,798,000	39,798,000	0
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	43,083	△ 43,082
什器備品	32,704	65,407	△ 32,703
リース資産	2,300,550	3,089,310	△ 788,760
電話加入権	224,952	224,952	0
保証金	7,420	7,420	0
その他固定資産合計	2,565,627	3,430,172	△ 864,545
固定資産合計	142,363,627	143,228,172	△ 864,545
資産合計	161,621,208	161,521,023	100,185
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	379,230	636,085	△ 256,855
前受金	320,200	184,100	136,100
預り金	130,625	43,990	86,635
流動負債合計	830,055	864,175	△ 34,120
2. 固定負債			
長期未払金	2,300,550	3,089,310	△ 788,760
固定負債合計	2,300,550	3,089,310	△ 788,760
負債合計	3,130,605	3,953,485	△ 822,880
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	0
2. 一般正味財産	58,490,603	57,567,538	923,065
(うち特定資産への充当額)	(39,798,000)	(39,798,000)	0
正味財産合計	158,490,603	157,567,538	923,065
負債及び正味財産合計	161,621,208	161,521,023	100,185

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法による減価償却を採用している。

リース資産はリース期間定額法を採用している。

(2) リース取引の会計処理

平成20年4月以降契約のファイナンスリース取引は売買処理を採用している。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
事業準備積立金	39,798,000	0	0	39,798,000
小計	39,798,000	0	0	39,798,000
合計	139,798,000	0	0	139,798,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	100,000,000	0	—
小計	100,000,000	100,000,000	0	—
特定資産				
事業準備積立金	39,798,000	0	39,798,000	0
小計	39,798,000	0	39,798,000	0
合計	139,798,000	100,000,000	39,798,000	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
車両運搬具	1,031,960	1,031,959	1
什器備品	136,500	103,796	32,704
リース資産	3,943,800	1,643,250	2,300,550
合計	5,112,260	2,779,005	2,333,255

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	30,986

財産目録

平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	普通預金 岩手銀行0008657	運転資金として	13,878,161
	普通預金 岩手銀行0069694	運転資金として	2,755,200
	普通預金 岩手銀行1002723	運転資金として	44,630
	普通預金 岩手銀行1007731	運転資金として	85,995
	普通預金 東北労働金庫5200238	運転資金として	3,821
		普通預金 計	16,767,807
未収金	別紙参照		45,623
立替金	別紙参照		2,444,151
流動資産合計			19,257,581
(固定資産)			
基本財産	定期預金 岩手銀行 2014558		20,000,000
	定期預金 東北労働金庫 7994465		20,000,000
	定期預金 盛岡信用金庫 0600826		20,000,000
	定期預金 東北銀行 1130731		20,000,000
	定期預金 北日本銀行 3734350		20,000,000
		基本財産 計	100,000,000
特定資産	事業準備積立金		
	普通預金 岩手銀行 1047246		2,798,000
	定期預金 岩手銀行 2008837		1,000,000
	定期預金 東北労働金庫 8010943		10,000,000
	定期預金 東北労働金庫 8012465		10,000,000
	定期預金 盛岡信用金庫 0596063		10,000,000
	定期預金 東北銀行 1130731		6,000,000
		特定資産 計	39,798,000
その他固定資産	車両運搬具		1
	什器備品		32,704
	リース資産		2,300,550
	電話加入権	653-1910他2本	224,952
	保証金	リサイクル預託金	7,420
		その他固定資産 計	2,565,627
固定資産合計			142,363,627
資産合計			161,621,208
(流動負債)			
未払金	IBC開発センター他	広告料等	379,230
前受金	チケット販売代金	チケット代金	320,200
預り金	センター職員	源泉所得預かり	130,625
流動負債合計			830,055
(固定負債)			
長期未払金	会員管理システムリース債務		2,300,550
固定負債合計			2,300,550
負債合計			3,130,605
正味財産			158,490,603

3 平成 28 年度事業計画及び収支予算の概要

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 事業計画

I 事業活動方針

盛岡財務事務所の H27 年 10～12 月期調査「法人企業景気予測調査(H27 年 11 月 15 日調査)結果では、県内調査企業の景況判断 B S I は、現状は「下降」超幅が拡大し、先行き見通し(H28 年 1～6 月)は「下降」超幅が縮小するとしている。

同様に、岩手日報社は、同社が行った県内企業対象のアンケート調査(H27 年 12 月調査 回答 50 社)結果から、「力強さを欠く個人消費や世界経済の不透明感など注意すべき要素は多いものの、東日本大震災の復興需要や、岩手国体開催が前向きな判断につながり、平成 28 年の県内景気は比較的明るめで推移しそうである」としている。

2 年度目となる政府の「地方創生」事業や、目前に迫った「いわて国体冬季大会」、これに続く「いわて国体本大会」の経済波及効果など期待すべきものがある一方で、円安による生活関連物資の値上げなどの影響など不安材料はありますが、会員数 5,000 人の達成に向けて、未加入事業所の訪問をはじめ、役職員及び会員事業所の皆様のご協力を頂きながら会員拡大に最大限の努力を払ってまいります。

また、平成 25 年度に設定した愛称(アスピーク)に加え、平成 26 年度に決定したイメージキャラクター(アスピーくん)をより効果的に活用しながら、サービスセンター事業の知名度を高め、新聞折込みチラシやダイレクトメールの送付、ラジオ CM に加え、新たに試行的にテレビ CM を行うなど、広報活動に取り組んでまいります。

また、会員が退会後も会員として留まり、安心して当サービスセンター事業を利用できるよう、平成 26 年度から新たに加えた特別会員及び賛助会員の個人会員制度や、平成 27 年度から会員資格年齢を 80 歳までに上げたことを、センターニュースなどにより、引続き会員事業所に周知し、サービスメニューの質的向上と併せ、会員数の維持にも寄与するよう努めてまいります。

中小企業を取り巻く環境は厳しい状況にあるなか、総合的な福利厚生事業を提供する当サービスセンターの果たす役割は、重要さを増しているものと認識しており、会員のニーズに沿ったサービスの提供を行うとともに、健全な経営のための自立化、効率化を基本とした事業運営に努め、各種事業の実施、予算の執行に際しましては、より一層の効果的、効率的な運営に努めてまいります。

II 事業内容

事業対象者は、会員の種別(一般会員、特別会員、賛助会員)により内容が異なる。

会員とは全ての会員を指し、以下、一般会員及び特別会員を一般会員等と表記する。

会 員		
一般会員	特別会員	賛助会員

一般会員等

1 在職中等の生活安定に関する事業

一般会員等を対象に、中小企業勤労者の生活安定や財産形成に寄与する一環として、次の事業等を行う。

(1) 共済事業

一般財団法人全国勤労者福祉・共済振興協会を引受保険団体とする自治体提携慶弔共済保険を契約し、会員とその家族等を対象に、祝金・餞別金・見舞金・弔慰金を支給する。～給付内容は別表のとおり

(2) 団体割引保険制度の紹介

団体契約により、会員とその家族が割安の保険料で加入できる団体医療保険について紹介する。

(3) 生活資金融資制度の紹介

生活の安定に資する東北労働金庫や市の生活資金、教育資金、住宅リフォーム資金、マイカー購入資金等の融資制度について紹介する。

2 健康の増進に関する事業

一般会員等を対象に、中小企業勤労者の自発的な健康管理意識の向上に資するため、健康診断助成制度のPRを行うとともに、会員が受診した場合に助成する次の事業を行う。

(1) 人間ドック受診助成事業

人間ドック及び生活習慣病予防検診を受けた場合、1人年1回を限度に受診料の2分の1、5,000円を限度に経費助成を行う。

(2) 遺伝子検査受診助成事業

遺伝子検査を受けた場合、1人1回を限度に、1人5,000円の定額助成を行う。

3 老後生活の安定に関する事業

一般会員等を対象に、中小企業で働く従業員のための外部積立型の退職金制度である「中小企業退職金共済制度」、中小企業の経営者や役員等のための退職金制度となる「小規模企業共済制度」について、センターニュースに掲載し制度の紹介を行うとともに、事務所に資料を設置し、提供する。加入の受付事務も行い、制度の普及や加入促進を図る。

また、広く勤労者等に退職準備に関する研修会開催の案内を行うなど、退職後の生活安定に向けた支援を行う。

4 自己啓発及び余暇活動に係る事業

中小企業勤労者の豊かで潤いのある生活づくりに寄与するため、自己啓発に対する

支援を行うとともに、余暇活動や文化・教養活動等への支援による勤労者相互の親睦と元気回復を図るなど、充実した福利厚生サービスを提供する。

(1) 自己啓発事業

一般会員等を対象に、生涯学習など自己啓発の取組みを助長のため、講演会開催の案内や各種講座資料の窓口設置など、各種情報の提供を行う。会員が受講する場合には、受講料の助成を行う。

ア) パソコン研修受講助成

岩手ソフトウェアセンターの主催する研修を受講する場合、受講料の20%、5,000円を限度に補助する。

イ) NHK学園通信講座受講助成

NHK学園通信講座を受講する場合、受講料の一部補助として1講座につき6,000円を補助する。

ウ) 放送大学岩手地域センター入学助成

放送大学岩手地域センターに入学し、視聴学習する場合、入学料の一部補助として、履修科目数に応じて2,500円～9,000円を補助する。

エ) 学校法人産業能率大学通信教育受講助成

産業能率大学通信教育講座を受講する場合、一部の講座について受講料の一部を補助する。

(2) 余暇活動援助事業

余暇活動の助長のため、一人でも多くの会員が楽しめるような事業を行うとともに、会員以外の勤労者も対象とした企画事業の実施や観覧・鑑賞事業等を行い、余暇時間の充実や多様な活動を支援する。

会員に対しては、指定余暇施設等のチケット割引販売や利用助成を行う。また、センターニュースやHPの掲載、各種パンフレットの窓口設置等により、広く情報提供する。

ア) 企画事業

当センターの自主事業として会員及び会員以外の勤労者も対象にした講演会や家庭菜園用畑貸出し、テニス体験教室、無農薬野菜の宅配などの企画事業を実施するほか、市・関係団体が主催する地域まちづくり事業等への参加協力や助成を行う。

イ) 助成事業

<宿泊保養施設利用助成>

一般会員等を対象に、年3回を限度に1回につき2,000円並びにその家族に1人につき1,000円の宿泊助成券を交付する。

賛助会員を対象に、年1回を限度に2,000円並びにその家族に1人につき1,000円の宿泊助成券を交付する。

<日帰り保養施設利用助成>

日帰り温泉等の契約施設のチケット割引販売を行う。

<観覧・鑑賞助成>

映画、演劇など各種観覧・鑑賞チケットの割引販売を行うとともに、会員以外の勤労者に対しても観劇・コンサートチケットを提供する。

<レクリエーション施設利用助成>

動物園やプール、スキー・スケート場などのレジャー施設やスポーツ施設を指定・契約し、利用チケットの割引販売を行う。

<バスカード等購入助成>

バスカード、クオカードを割引販売する。

<余暇活動援助事業（割引指定店事業）>

冠婚葬祭施設やレジャー施設、スポーツ施設、日帰り入浴施設、飲食店等生活サービス全般と割引指定店の契約を結び、割引料金で利用できる事業を行う。

5 会員拡大に関する事業

安定した経営基盤の確保とスケーリメリットにより、1人でも多くの中小企業勤労者が充実した勤労者福祉事業のサービスが受けられるよう、加入促進員による未加入事業所訪問、既存会員への紹介依頼、市内及び周辺町への新聞折込みチラシ・ダイレクトメールの送付、盛岡市HP掲載、ラジオCMに加え、テレビCMによる加入促進活動を行う。

6 情報提供に関する事業

会員への各種実施事業の参加促進並びに会員以外の勤労者等への事業内容や加入方法等の情報提供により、1人でも多くの中小企業勤労者が総合的な福利厚生サービスが受けられるように、サービスセンターニュースやガイドブック、HP、モバイル等により、最新の情報を提供する。

センターニュース及びガイドブックの配布は、会員事業所及び個人会員に送付するとともに、サービスセンター事務所窓口での配布、さらには未加入事業所へのガイドブック送付等により、広く事業の周知を図る。

7 その他この法人の目的を達成するに必要な事業

(1) 公益に関する事業

盛岡市が行う勤労者福祉増進事業への参加・協力、関係団体の講演会・イベントなど勤労者事業のPR等の支援を推進し、地域の活性化や公益性の増大に寄与する。

(2) 共同購入事業の拡大

全福センターとの連携により日常生活用品や特産品の割引価格による提供や「全福ネット入院あんしん保険」の紹介などサービス内容の充実を図る。

平成28年度一般財団法人盛岡市勤労者福祉サービスセンター収支予算書

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	附記
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
① 経常収益				
基本財産運用収益	(31,000)	(31,000)	(0)	
基本財産利息収益	31,000	31,000	0	基本財産運用収入
特定資産運用収益	(15,000)	(15,000)	(0)	
特定資産運用収益	15,000	15,000	0	事業準備積立金運用収入
受取入会金	(134,000)	(134,000)	(0)	
受取入会金	134,000	134,000	0	670人×200円
受取会費	(36,596,000)	(36,596,000)	(0)	
正会員会費	36,380,000	36,380,000	0	4,330人×700円×12ヶ月
特別会員会費	126,000	126,000	0	15人×8400円
賛助会員会費	90,000	90,000	0	15人×6000円
共済金収益	(15,100,000)	(15,100,000)	(0)	
共済金収益	12,000,000	12,000,000	0	共済給付金収入
手数料収益	600,000	600,000	0	共済事務手数料
積算金収益	2,500,000	2,500,000	0	共済掛金割戻積算金
事業収益	(25,700,000)	(25,700,000)	(0)	
企画・事業負担金収益	2,050,000	2,050,000	0	企画事業参加負担金
助成事業負担金収益	23,650,000	23,650,000	0	助成事業参加負担金
受取補助金等	(9,700,000)	(9,700,000)	(0)	
地方公共団体補助金	9,700,000	9,700,000	0	盛岡市補助金
雑収益	(1,110,000)	(1,110,000)	(0)	
受取利息収益	10,000	10,000	0	預金利息等
手数料収益	400,000	400,000	0	常備薬等回転手数料
広告料収益	700,000	700,000	0	ニュース等掲載広告料
事業準備積立金取崩収益	(1,100,000)	(1,100,000)	(0)	
事業準備積立金取崩収益	1,100,000	1,100,000	0	事業準備積立金取崩収入
経常収益計	89,486,000	89,486,000	0	
② 経常費用				
事業費	(81,438,624)	(81,467,624)	(△ 29,000)	
役員報酬	1,332,000	1,332,000	0	役員給与
給与	4,076,000	4,036,000	40,000	職員給与
報酬	1,794,000	1,794,000	0	加入促進員報酬・歩合給
諸手当	922,000	918,000	4,000	時間外手当等
賞与	1,247,000	1,234,000	13,000	期末・勤続手当等
賃金	1,800,000	1,800,000	0	パート賃金
福利厚生費	1,761,000	1,781,000	(△ 20,000)	社会保険料等
旅費交通費	12,000	12,000	0	事業打合せ・従事旅費
通信運搬費	2,104,000	2,104,000	0	電話代、ニュース送料等
消耗品費	14,000	14,000	0	事務消耗品
修繕費	200,000	200,000	0	軽自動車等修理費、車検料
印刷製本費	2,728,000	2,728,000	0	センターニュース等諸用紙印刷
燃料費	216,000	216,000	0	ガソリン代
光熱水費	150,000	150,000	0	光熱水費
賃借料	1,682,000	1,682,000	0	会議室賃借料
租税公課	22,000	20,000	2,000	印紙代等
雑役務費	661,000	661,000	0	会計委託料、パソコン保守料
保険料	110,000	100,000	10,000	軽自動車等保険料
共済掛金	15,377,000	15,377,000	0	共済掛金
共済給付金	11,500,000	12,000,000	(△ 500,000)	共済給付金
企画事業費	2,400,000	2,400,000	0	農園貸出等自主事業、会員サポート事業
助成事業費	28,882,000	28,882,000	0	日帰入浴券、観劇チケット等への助成
渉外費	21,000	21,000	0	慶弔費
備品費	47,000	47,000	0	備品購入費
手数料	305,000	305,000	0	振込手数料等
広告料	2,011,000	1,589,000	422,000	メディア広告料
減価償却費	64,624	64,624	0	減価償却費

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	附記
管理費	(8,119,180)	(8,090,180)	(29,000)	
役員報酬	1,998,000	1,998,000	0	役員給与
給与	1,019,000	1,009,000	10,000	役員給与
諸手当	231,000	230,000	1,000	時間外手当等
賞与	312,000	309,000	3,000	期末、勤勉手当等
福利厚生費	869,000	878,000	△ 9,000	社会保険料等
会議費	172,000	172,000	0	役員会会議費
報償費	225,000	225,000	0	紹介・入会キャンペーン組品代
旅費交通費	212,000	227,000	△ 15,000	全福センター諸会議、研修旅費
消耗品費	197,000	197,000	0	事務消耗品
印刷製本費	559,000	559,000	0	ガイドブック、折込みチラシ等印刷
光熱水費	82,000	82,000	0	光熱水費
通信運搬費	600,000	600,000	0	折込みチラシ、DM送料
賃借料	756,000	756,000	0	コピー機賃借料
雑役務費	221,000	221,000	0	会計委託料、パソコン保守料等
租税公課	76,000	67,000	9,000	市・県民税 印紙代等
負担金	140,000	110,000	30,000	全福センター会費等負担金
食糧費	30,000	30,000	0	諸会議等お茶代
渉外費	10,000	10,000	0	慶弔費
備品費	53,000	53,000	0	備品購入費
手数料	350,000	350,000	0	振込手数料等
減価償却費	7,180	7,180	0	減価償却費
経常費用計	89,557,804	89,557,804	0	
当期経常増減額	△ 71,804	△ 71,804	0	
2 経常外増減の部				
①経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
②経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 71,804	△ 71,804	0	
一般正味財産期首残高	52,133,036	54,522,946	△ 2,389,910	
一般正味財産期末残高	52,061,232	54,451,142	△ 2,389,910	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0	
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0	
III 正味財産期末残高	152,061,232	154,451,142	△ 2,389,910	

盛岡まちづくり株式会社

1 総括事項

- (1) 名称 盛岡まちづくり株式会社
- (2) 設立年月日 平成 13 年 5 月 24 日
- (3) 資本金又は基本財産 金 20,000,000 円
- (4) 市の出資額 金 10,000,000 円
- (5) 役員の名 代表取締役社長 玉山 哲
代表取締役副社長 吉田 莞爾
専務取締役 廣田 淳
取締役 川村 宗生
取締役 豊岡 卓司
取締役 官沼 孝輔
取締役 石田 和徳
取締役 松本 静毅
監査役 穀田 有一
監査役 志賀 達哉

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

(6) 事業の概要

- ①タウンマネジメント構想に基づくアーケード、駐車場等の整備、賃貸事業
- ②街づくり事業に関する調査研究事業
- ③商店街の街づくりに係る経営コンサルタント業務
- ④商店街、特定非営利活動法人等の財務管理・労務管理・運営計画に係る事務代行業務
- ⑤空店舗仲介斡旋業務
- ⑥商店街等のイベントの計画立案並びに運營業務
- ⑦不動産賃貸業務
- ⑧漆器、陶磁器、ガラス器、鉄器、木・竹・籐工品、家具、各種染織物、装身具、美術工品、民芸品、出版物の卸売及び小売、菓子類、酒類、農・林・畜・水産物加工飲食料品の卸売及び小売

2 平成 27 年度事業実績及び決算の状況 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(1) 事業実績

当社の第 15 期(平成 27 年度)事業は、主事業として平成 25 年 11 月に「第 2 期盛岡市中心市街地活性化基本計画」が内閣総理大臣の認定を受けたことから、26 年度に実施した「仮称 河南地区駐車場活用事業開発可能性調査」をもとに事業を展開しました。

事業報告の 1, 河南地域整備・開発推進事業「盛岡バスセンター再整備事業」については、平成 28 年 2 月 25 日に㈱盛岡バスセンター取締役会で「安全性の観点から建物の取壊しを行う必要があると判断し、バスターミナル事業等の廃止を行う」との方針が決議されたことをうけ、その対応について検討しているところです。

「(仮称)河南地区駐車場活用事業」については、駐車場建設に向けて駐車場検討委員会や建設委員会を設置し、関係機関と協議を重ねながら具体的な基本計画を策定するなどの事業を実施しましたが、補助金の活用条件が適合せず、今後さらなる検討が必要とされます。

事業 2. マチナカマッチング事業は、推進員 1 名を配置し、「もりおかマチナカ商談会」を 3 回、「もりおかマチナカ屋台村 IN 盛岡さんさ」さらに「ぐるっと! MORIOKA まちなかりー検定」と「もりおかマチナカ屋台村 IN もりおか雪あかり」を開催したほか、商店街が実施したイベント等に三陸沿岸地域の事業者を紹介し出店の仲立ちをしました。

事業 3. 中心市街地活性化連携事業は、盛岡市中心市街地活性化協議会や商工会議所まちづくり委員会ほか各商店街の会議に出席し、まちづくりを担う立場から必要な意見を述べました。

事業 4. 中心市街地共通サービス提供システム調査事業については、平成 26 年 11 月、盛岡 Value City 株式会社が設立され、当社と連携し「MORIO-J カード」の河南地区駐車場へのシステムの導入について検討を行いました。

事業 5. 岩手医科大学付属病院移転に伴う対応調査事業については、盛岡商工会議所のまちづくりづくり委員会での検討にオブザーバーとして出席しました。

事業 6. 平成 27 年度通行量調査事業は平成 28 年 3 月 27 日(日)・28 日(月)に実施しました。

事業 7. 商店街イベント集客推進事業は、「第 14 回盛岡フラッグアート展 in 肴町」、「第 14 回社陵小学校キッズマート」を当社自ら実施した他に、商店街イベントへの協力支援として「第 18 回大通 YOSAKOI さんさ」、「肴町春まつり」、「盛岡駅前開運 100 縁商店街」、「盛岡駅東口えきいき沿線特産市」、「八幡ぼんぼこ市」等多くのイベントに、盛岡市、盛岡商工会議所と連携しながら企画・実施をサポートしました。さらに、中心市街地商店街が実施する数多くのイベントを集約し「中心市街地イベント情報」として「でんでんむし号」車中に掲示し当社ブログにて一般の方々に周知しました。

事業8. その他事業として、上野法律ビジネス専門学校の学生が研究課題として取り組んだ「盛岡秋のイベントリーフレット」作成に協力すると共に、フラッグアートオープニングセレモニーで配布を行いました。

損益計算書

盛岡まちづくり株式会社

《自:平成27年 4月1日 至:平成28年 3月31日》

(単位:円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
肴町アーケード賃貸料	8,340,762	
売 上 高	87,704	
受 託 料	6,487,072	
事業補助金	950,000	15,865,538
売 上 総 利 益		15,865,538
【販売費及び一般管理費】		13,704,346
営 業 利 益		2,161,192
【営業外収益】		
受 取 利 息	17,343	
補 助 金	800,000	
雑 収 入	13,889	831,232
経 常 利 益		2,992,424
税引前当期利益		2,992,424
法 人 税 等		841,800
当 期 純 利 益		2,150,624

貸借対照表

盛岡まちづくり株式会社

《平成28年 3月31日現在》

(単位:円)

《資産の部》		《負債の部》	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 88,225,427 】	【流動負債】	【 69,094,155 】
普通預金	23,290,263	建設保証金	67,805,000
定期預金	53,227,142	未払法人税等	536,800
売掛金	11,708,022	未払消費税	689,300
		未払金	63,055
【固定資産】	【 9,266,215 】	負債の部計	69,094,155
(有形固定資産)	(9,266,215)		
建物附属設備	9,266,215	《純資産の部》	
		【株主資本】	【 28,397,487 】
		資本金	20,000,000
		利益剰余金	8,397,487
		(その他利益剰余金)	8,397,487
		繰越利益剰余金	8,397,487
		純資産の部計	28,397,487
資産の部計	97,491,642	負債・純資産合計	97,491,642

株主資本等変動計算書

盛岡まちづくり株式会社

《自:平成27年 4月1日 至:平成28年 3月31日》

(単位:円)

	株 主 資 本						株 主 資 本 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金		自 己 株 式	
		資 本 準 備 金	他 資 本 剰 余 金	利 益 準 備 金	他 利 益 剰 余 金		
前期末残高	20,000,000				6,246,863		26,246,863
当期変動額							0
当期純利益					2,150,624		2,150,624
当期変動額合計					2,150,624		2,150,624
当期末残高	20,000,000				8,397,487		28,397,487

(単位:円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
前期末残高			26,246,863
当期変動額			0
当期純利益			2,150,624
当期変動額合計			2,150,624
当期末残高			28,397,487

個別注記表

盛岡まちづくり株式会社

《自:平成27年 4月1日 至:平成28年 3月31日》

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……………定率法

消費税の会計処理

税抜方式で計上している。

3 平成 28 年度事業計画及び収支予算の概要

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 事業計画

方 針

盛岡まちづくり会社の第 1 6 期(平成 28 年度)事業は、第 2 期盛岡市中心市街地活性化基本計画に沿い、河南地域整備・開発推進事業の「盛岡バスセンター再整備事業」と「(仮称)河南地区駐車場活用事業」を中心に事業を進めます。

生産者と販売者の商品と情報の交流をまちなかの活性化に結び付ける「まちなかマッチング事業」に取り組みます。

盛岡市中心市街地活性化協議会に積極的に意見を表明し、盛岡商工会議所まちづくり委員会並びにまちなか懇談会に「タウンマネージメント事業」として取り組みます。まちづくりに取り組んでいる商店街や NPO などの事業情報を広く収集し、連携を図ることをめざします。また、市民生活の利便性のレベルアップの実現を目指した盛岡 Value City 株式会社の事業に協力します。

岩手医科大学付属病院の跡地問題についても関係諸機関と連携しながら課題に取り組みます。

以下、主な取組事項は次の通りです。

1. 河南地域整備・開発推進事業 (予算額 200,000 円)

中心市街地活性化基本計画の主要事業である「盛岡バスセンター再整備事業」並びに「(仮称)河南地区駐車場活用事業」の実現を目指す。

【28 年度の取組】

盛岡バスセンター再整備事業については、盛岡市、商工会議所と連携し協議を重ねる。

また、「(仮称)河南地区駐車場活用事業」については、平成 26 年度に実施した河南地区駐車場活用に係る開発可能性調査の結果を参考に、地権者等の協力を得ながら各課題を克服し、中小企業基盤整備機構等の支援のもと 28 年度には整備計画案を作成し補助金申請などの諸準備を着実に実行し、早期の完成を目指す。

2. まちなかマッチング事業 (予算額 6,998,400 円)

市内の小売店、食品加工業者、飲食店と農畜産物・水産物の県内生産者などが、商談会見本市などを通じて情報交換を行う機会を提供し、盛岡広域圏への小売店や飲食店の新たな商品展開や、取引を通じて来街の機会を創出し、まちなかの活性化につなげていく。

【28 年度の取組】

推進員 1 名を当社事務室に配置し、下記業務に対応する。

①市内小売店、食品加工業者、飲食店や県内農畜産物・水産物等の地域資源生産者を募り一堂に会した見本市として、屋台村を盛岡市内のイベントと連動させ開催する。

(盛岡さんさ踊り期間 4 日間、もりおか雪あかり期間 3 日間)

②上記①の、参加者の商談会を年3回程度開催する。

③盛岡市内のバイヤー、岩手県内の生産者を対象に、商談会へ向けたセミナーを開催する。(年2回)

④ラリーイベントを開催する(雪あかり期間)

3. 通行量調査事業

(予算額 1,000,000円)

中心市街地の集客力の変化並びに消費者の購買動向の変化等を把握するため、平成28年度末の最終の週の日・月曜日の2日間、市内31地点の通行量調査を実施する。

【28年度の取組】

平成29年3月26日(日)・27日(月)に実施する。

4. タウンマネジメント事業

(予算額 100,000円)

(1) 第2期盛岡市中心市街地活性化基本計画の実現に向け、盛岡市中心市街地活性化協議会構成員として意見を述べ、盛岡商工会議所まちづくり委員会、まちなか懇談会、盛岡市商店街連合会の会議や事業に参画し、商店街等が行う中心市街地活性化への取組の情報を広く収集する。また、中心市街地活性化に取り組む商店街やNPO、各種のサークルや団体等の連携できる事業に対して、中小企業基盤整備機構の専門家派遣事業や盛岡市の専門講師派遣事業を利用して、中心市街地活性化の具体的な動きに結び付ける。

【28年度の取組】

盛岡市中心市街地活性化協議会への諮問について、協議会幹事会として意見を集約し、意見を述べる。また、盛岡商工会議所まちづくり委員会に出席するとともに、まちなか懇談会にて検討される事業に積極的に関与し、関係する機関と連携した活動を行う。

(2) 中心市街地商店街に転機をもたらすと思われる岩手医科大学付属病院の移転跡地の活用について、四者協議の進展をみながら事業対応を検討する。

【28年度の取組】

岩手医科大学付属病院の矢巾町への移転と跡地の活用は盛岡市の将来を大きく左右するものであり、四者協議(岩手医大・岩手県・盛岡市・盛岡商工会議所)が行う調査、研究活動に対し積極的に協力する。

(3) 市民生活を支えるカードシステムの構築を目指している「MORIO-Jカード」とポータルサイトを運営する盛岡 Value City 株式会社事業に協力する。

【28年度の取組】

商店街の総会などあらゆる機会を通じて、加盟店の勧誘加入に向け協力支援する。

5. 商店街イベント集客推進事業

(予算額 40,000円)

市民が商店街を訪れるきっかけ作りや商店街の賑わい作りを目的として、自らイベントを企画して実施するとともに、中心市街地商店街のイベント等の情報発信に努め、来街者の増加に努める。

【28年度の取組】

フラッグアート作成イベント	(8月, 9月)
盛岡フラッグアート展 in 肴町	(10月予定)
社陵小学校キッズマートの開催	(11月予定)
まちなかもりおカラリー検定	(2月)
当社ブログでの情報発信	(随時)
でんでん虫へのイベント情報掲載	(月1回)
市民・株主等へのイベント情報掲載	(月1回)
商店街へのイベント協力	(実行委員会への参画, 当日支援)

6. 今後の当社経営のあり方検討 (予算額 10,000 円)

今後の当社の事業運営のため、債務状況や今後取り組むべき事業、組織としての方向性等について検討を行う。今年度においては平成29年1月末をもって肴町アーケード賃貸借契約が終了となるため、その対応を協議し、決定する。

7. その他事業 (予算額 10,000 円)

その他、当市まちづくりに必要と思われる事業を実施する。

第16期(平成28年度)収支予算書

自：平成28年4月1日 至：平成29年3月31日

1. 収入の部

(消費税込/単位：円)

科目	H28予算額	H27予算額	差額	摘要
1. 肴町アーケード賃貸料	19,214,638	21,016,044	△ 1,801,406	肴町アーケード賃貸料 H28年度 7,506,616円 賃貸料完掛金H27年度分 9,008,022円 賃貸料完掛金H26年度分 2,700,000円
2. 事業収入	6,998,400 218,600	7,006,037 89,000	△ 7,637 129,600	【受託料】 まちなかマッチング事業 【売上高】 ウィルコム、WCPアンテナ設置料
3. 盛岡市補助金	950,000	1,000,000	△ 50,000	【補助金】 通行量調査事業補助金
4. 盛岡商工会議所補助金	800,000	800,000	0	
5. その他補助金	0	0	0	
6. 雑収入	20,000	20,000	0	預金利息等
合計	28,201,638	29,931,081	△ 1,729,443	

2. 支出の部

(税込/単位：円)

科目	H28予算額	H27予算額	差額	摘要	
専業費	河南地域整備・開発推進事業	200,000	200,000	0	河南地区駐車場活用事業
	まちなかマッチング事業	6,998,400	7,006,037	△ 7,637	盛岡市受託事業
	通行量調査事業	1,000,000	1,030,000	△ 30,000	計測員人件費、機材借上料など
	中心市街地共通サービス提供システム調査	0	30,000	△ 30,000	タウンマネージメント事業に集約
	中心市街地活性化運携事業	0	30,000	△ 30,000	タウンマネージメント事業に集約
	岩手医大付風病院移転対応事	0	20,000	△ 20,000	タウンマネージメント事業に集約
	タウンマネージメント事業	100,000	20,000	80,000	盛岡市中心市街地活性化協議会ほか
	商店街イベント集客事業	40,000	40,000	0	フラッグアート、キッズマート、HP関連費用など
	今後の当社のあり方検討	10,000	0	10,000	肴町アーケード賃貸借契約終了に係る対応
	その他事業	10,000	20,000	△ 10,000	
事業費計	8,358,400	8,396,037	△ 37,637		
管理費	人件費	2,200,000	2,200,000	0	事務局給与・各種保険料・通勤・時間外手当等
	会議費	100,000	100,000	0	株主総会、取締役会など
	旅費交通費	20,000	75,000	△ 55,000	出張旅費
	通信費	200,000	150,000	50,000	通話料・プロバイダ使用料
	事務所借上げ料	720,000	720,000	0	①60,000×12ヶ月
	資材置場賃貸料	636,000	636,000	0	②53,000×12ヶ月
	リース料	100,000	150,000	△ 50,000	コピー機、PCリース料
	事務費	400,000	400,000	0	事務消耗品・租税公課等
	交際費	150,000	150,000	0	総会等祝い金
	負担金	800,000	800,000	0	会議所職員派遣負担金
	法人税等	850,000	625,900	224,100	
減価償却費	1,315,801	1,533,569	△ 217,768	定率法	
予備費	12,351,437	13,994,575	△ 1,643,138	建設保証金充当分	
管理費計	19,843,238	21,535,044	△ 1,691,806		
合計	28,201,638	29,931,081	△ 1,729,443		

盛岡中央市場冷蔵株式会社

1 総括事項

- (1) 名 称 盛岡中央市場冷蔵株式会社
- (2) 設立年月日 昭和43年7月13日
- (3) 資本金又は基本財産 金 60,000,000 円
- (4) 市の出資額 金 30,000,000 円
- (5) 役員の氏名

代表取締役社長	菊池一裕
取締役	藤尾善一
取締役	佐賀政司
取締役	星川修一郎
取締役工場長	飯森正
監査役	白澤徹

(平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

盛岡中央市場冷蔵株式会社は、昭和43年に水産物部関係者の出資（資本金1,500万円）により設立されました。昭和45年7月に盛岡市中央卸売市場水産物部が開業し、同年9月に盛岡市が資本参加して、その後は第三セクターの株式会社として運営されています。

当社は、業務開始以来、中央卸売市場における卸売業務の機能を補完することで市民への生鮮食料品の安定供給に資するため、冷蔵倉庫（冷凍冷蔵保管）事業と凍氷販売事業を行っています。

平成13年の現市場への移転時に各事業の円滑化と食の安全安心へのニーズに対応するため、新たに冷蔵倉庫施設と製氷施設を整備しました。マグロやカツオの冷凍冷蔵に対応できるマイナス50度帯の超低温冷蔵庫設備や入出庫と在庫管理のためにコンピュータシステムを導入するなど、高度な機能を備えたことで水産物の品質保持の徹底及び供給の安定と迅速化に努めています。

2 平成27年度事業実績及び決算の状況

近年の市場取扱量の減少、顧客がコスト削減のため在庫量を抑制するとともに、保冷技術の進展や簡易製氷機の普及などにより、冷蔵倉庫業及び凍氷販売業ともに市場規模が縮小する傾向にあることなどから、当社の経営環境も厳しい状況が続いております。

平成19年度から中長期経営計画を策定し、収入増加に取り組んでおりますが、平成25年10月に場外大口需要先との冷蔵保管取引が終了し、収入が大きく減少したため、平成26年10月までに人件費等営業経費の削減を図るとともに、長期借入金の償還終了を1年繰り延べしましたが、さらに、今後のキャッシュフローを安定化させるため、平成28年度から償還期間を2年延長して運営資金の確保を図り、おおむね収支の均衡を確保しました。

(1) 事業実績

円安等により水産物全般で単価は上昇傾向、その反動や人口減等で市場取扱数量は、減少していますが、入庫ベースでの取扱数量は、卸業者については若干減少したものの、仲卸業者、その他の業者は増えて、金額では前年比1,087千円の増加となりました。

また、凍氷販売業は、コールドチェーンの発達による場内販売の減少が継続する中、一般販売は好調に推移していましたが、お盆以降の天候不順により、前年比51千円とわずかに減少となりました。

(単位：円)

	顧客	27年度	26年度	増減	前年度比
冷蔵 倉庫 収入	卸売業者	67,815,121	67,507,321	307,800	100.5%
	仲卸業者	14,568,700	14,525,047	43,653	100.3%
	その他	3,690,537	2,955,270	735,267	124.9%
	小計	86,074,358	84,987,638	1,086,720	101.3%
凍氷販売収入		10,143,629	10,195,455	△ 51,826	99.5%
合計		96,217,987	95,183,093	1,034,894	101.1%

(2) 決算の状況

冷蔵倉庫業は、多額の設備投資が必要であり、現市場移転時にその資金の大部分を金融機関からの長期借入金で賄ったことから、元利金償還額がキャッシュフロー（現金収支）の大きな負担となっています。平成16年度から、出資割合に応じて交付される盛岡市からの補助金を借入金の償還に充当することで経営の安定化を図っています。

平成27年度は、営業損失987千円、経常利益2,973千円、当期純利益2,788千円を計上しています。

貸借対照表

平成27年12月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	28,468,498	【流動負債】	25,912,434
現金	211,575	未払金	7,961,134
普通預金	15,759,662	1年以内返済長期借入金	14,220,000
未収入金	12,338,642	未払法人税等	185,000
製品	133,400	未払消費税等	2,694,500
仮払金	99,248	預り金	851,800
貸倒引当金	△ 74,029	【固定負債】	50,327,741
【固定資産】	104,114,382	長期借入金	44,035,000
(有形固定資産)	103,661,915	退職給付引当金	2,954,245
建物	81,573,696	リース債務	3,338,496
建物付属設備	2,942,428	負債合計	76,240,175
構築物	1,381,230	純資産の部	
機械装置	14,433,274	【株主資本】	56,342,705
什器備品	307,287	資本金	60,000,000
リース資産	3,024,000	利益剰余金	△ 3,657,295
(無形固定資産)	421,580	(その他利益剰余金)	△ 3,657,295
ソフトウェア	193,864	繰越利益剰余金	△ 3,657,295
電話加入権	109,636		
給水開発負担金	77,280		
給水工事加入権	40,800		
(投資その他の資産)	30,887	純資産合計	56,342,705
出資金	1,000		
長期前払費用	29,887	負債・純資産合計	132,582,880
資産合計	132,582,880		

損益計算書

平成27年1月1日～平成27年12月31日

(単位:円)

科目	金額	
【売上高】		
冷蔵倉庫収入	86,074,358	
凍氷販売収入	10,143,629	96,217,987
【売上原価】		
期首在庫	139,200	
当期凍氷仕入	922,200	
期末在庫	133,400	928,000
売上総利益		95,289,987
【販売費及び一般管理費】		
給料手当	31,490,703	
法定福利費	5,220,062	
福利厚生費	446,232	
退職給付引当金繰入	678,819	
通信費	161,634	
水道光熱費	647,798	
租税公課	3,618,500	
営業消耗品費	1,374,049	
支払地代	2,931,042	
修繕費	384,301	
保険料	859,840	
減価償却費	14,680,731	
貸倒引当金繰入	5,362	
リース料	3,461,600	
電力費	22,460,675	
機械保守料	5,534,357	
会議費	3,631	
雑費	2,318,610	96,277,946
営業利益		△ 987,959
【営業外収益】		
受取利息	2,294	
雑収入	30,736	
補助金収入	5,340,000	5,373,030
【営業外費用】		
支払利息	1,411,413	
		1,411,413
經常利益		2,973,658
税引前当期純利益		2,973,658
法人税・住民税及び事業税		185,000
当期純利益		2,788,658

株主資本等変動計算書

平成27年1月1日～平成27年12月31日

(単位:円)

株主資本			
資本金	前期末残高	60,000,000	
	当期変動額	0	
	当期末残高	<u>60,000,000</u>	
資本剰余金			
資本準備金	前期末残高	0	
	当期変動額	0	
	当期末残高	<u>0</u>	
その他資本剰余金	前期末残高	0	
	当期変動額	0	
	当期末残高	<u>0</u>	
資本剰余金合計	前期末残高	0	
	当期変動額	0	
	当期末残高	<u>0</u>	
利益剰余金			
利益準備金	前期末残高	0	
	当期変動額	0	
	当期末残高	<u>0</u>	
その他利益剰余金			
任意積立金	前期末残高	0	
	当期変動額	0	
	当期末残高	<u>0</u>	
繰越利益剰余金	前期末残高	△ 6,445,953	
	当期変動額	当期純利益 2,788,658	
	当期末残高	<u>△ 3,657,295</u>	
利益剰余金合計	前期末残高	△ 6,445,953	
	当期変動額	当期純利益 2,788,658	
	当期末残高	<u>△ 3,657,295</u>	
自己株式	前期末残高	0	
	当期変動額	0	
	当期末残高	<u>0</u>	
株主資本合計	前期末残高	53,554,047	
	当期変動額	当期純利益 2,788,658	
	当期末残高	<u>56,342,705</u>	
純資産合計	前期末残高	53,554,047	
	当期変動額	当期純利益 2,788,658	
	当期末残高	<u>56,342,705</u>	

個別注記表

平成27年1月1日～平成27年12月31日

1 計算書類の作成方法

中小企業の会計に関する指針による。

2 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の原価償却の方法

有形固定資産・・・定率法、ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物については定額法

無形固定資産・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・法人税法の規定による法定繰入率により計上

退職給付引当金・・・従業員の退職金の支給に備えるため、自己都合期末要支給額の全額を計上

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引について

リース料総額が300万円以上・・・通常の売買借取引に係る方法に準じた会計処理

リース料総額が300万円未満・・・通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理

(5) 消費税等の会計処理

税抜方式

3 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 296,718,424 円

4 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式(発行済株式)

前期末株式数(発行済普通株式) 60,000 株

当期増加株式数(発行済普通株式) 0 株

当期減少株式数(発行済普通株式) 0 株

当期末株式数(発行済普通株式) 60,000 株

摘要(発行済普通株式)

5 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額 939円04銭

(2) 1株当たりの当期純利益金額 46円47銭

3 平成28年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

平成28年度は、一層の事業の円滑化と効率化により市民の食に対する安全安心へのニーズに対応できるように努めてまいります。中長期経営計画に基づく経営の改善と安定化のため、市場内外に対し、冷蔵倉庫（冷凍冷蔵保管）事業と凍氷販売事業の更なる拡大に努め、収入の確保を図ります。また、必要に応じて市との会議を開催するなど連絡調整を密にし、収入の確保やコストの削減について協議・検討を行います。

〈 平成28年度重点事項 〉

ア 冷蔵倉庫収入の確保

市場内卸売業者及び仲卸業者の入出庫量の減少に歯止めをかけると共に、市場外業者の一層の利用拡大を図り、収入の確保に努めます。

イ 凍氷販売収入の確保

イベント実施業者等へ凍氷販売事業の周知を行うなど、需要の拡大に努めます。

ウ 経費の節減

業務の見直しを継続的に行い、一般管理費を中心として徹底したコストの削減に努めます。

(2) 収支予算の概要

収支予算書

平成28年1月1日～平成28年12月31日

(単位:円)

科 目	28年度予算額 (a)	27年度予算額 (b)	増減 (a-b)	摘 要
I 収入の部				
1 冷蔵倉庫収入	86,320,501	93,314,738	△ 6,994,237	
2 凍氷(砕氷・角氷)販売収入	10,938,356	9,997,292	941,064	
3 市補助金	6,253,000	5,340,000	913,000	
4 雑収入	27,388	501,474	△ 474,086	
当期収入合計(A)	103,539,245	109,153,504	△ 5,614,259	
前期繰越収支差額(B)	△ 3,657,295	△ 6,445,953	2,788,658	
収入合計(C=A+B)	99,881,950	102,707,551	△ 2,825,601	
II 支出の部				
1 凍氷(角氷)仕入	922,200	978,750	△ 56,550	
2 販売費及び一般管理費	96,402,333	93,392,026	3,010,307	
人件費	38,630,269	31,585,353	7,044,916	
租税公課	3,658,000	4,286,500	△ 628,500	
減価償却費	14,019,246	13,872,000	147,246	
電力費	22,659,076	25,000,352	△ 2,341,276	
その他	17,435,742	18,647,821	△ 1,212,079	
3 支払利息	987,790	1,384,112	△ 396,322	
4 法人税	1,870,000	2,800,000	△ 930,000	
当期支出合計(D)	100,182,323	98,554,888	1,627,435	
当期収支差額(A-D)	3,356,922	10,598,616	△ 7,241,694	
次期繰越収支差額(C-D)	△ 300,373	4,152,663	△ 4,453,036	

公益財団法人 盛岡市都南自治振興公社

1 総括事項

(1) 名 称 公益財団法人 盛岡市都南自治振興公社

(2) 設立年月日 昭和 62 年 3 月 25 日

(3) 資本金又は基本金 5,000,000 円

(4) 市の出資額 5,000,000 円

(5) 役員の氏名

代表理事	長 澤 秀 則
業務執行理事	丸 山 久 春
理 事	伊 藤 一 治
理 事	川 村 博
理 事	川 村 冬 子
理 事	昆 邦 昭
理 事	志 賀 達 哉
監 事	浅 沼 信 一
監 事	鈴 木 義 博

(平成 28 年 4 月 1 日 現在)

(6) 事業の概要

盛岡市都南つどいの森を護り育むとともに、安全で豊かな自然環境の中で、スポーツ、講習、体験及び老人福祉等に関する事業を行うことにより、市民の健康の増進及び青少年の健全育成並びに地域福祉の増進に寄与するため設立したもので、定款第4条により、次の事業を行っている。

(ア) 盛岡市都南つどいの森及び盛岡市都南サイクリングターミナルにおける市民の健康の増進及び青少年の健全な育成に関する事業

(イ) 盛岡市立都南老人福祉センターにおいて行う、老人が明るい生活を営む支えとなる事業

(ウ) 施設利用者の便宜を図るサービス提供事業

(エ) 施設の管理運営に関する事業

(オ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 平成 27 年度事業実績及び決算の状況

(1) 事業実績

ア 盛岡市都南つどいの森及び盛岡市都南サイクリングターミナルにおける市民の健康の増進及び青少年の健全な育成に関する事業

盛岡市都南つどいの森の豊かで安全な自然環境の中で、森林浴とともに楽しむことができるスポーツや散策等の事業を行うことにより市民の健康増進を図るとともに、森林公園が持つ大きな恵みを学び体験する事業を行うことにより青少年の健全な育成を図るため、次の事業を行った。

- (ア) 森林から得られる大きな恵みを学ぶ事業として、あかばやし探検隊等を開催し、開催回数は 35 回、参加者は 485 人であった。
- (イ) 森林から得られる大きな恵みを楽しむ事業として、木工工作体験等を開催し、利用回数は 26 回、利用者数は 3,179 人であった。
- (ウ) 健康増進事業として、グラウンドゴルフ大会を開催し、開催数は 6 回、参加者は 350 人であった。
- (エ) 市民の健康の増進及び青少年の健全育成のための施設貸与事業を行い、利用者数は次のとおりとなった。
 - ・ 盛岡市都南つどいの森の公益利用者数は 11,848 人であった。
 - ・ 盛岡市都南サイクリングターミナルの公益利用者数は 556 人であった。

イ 盛岡市立都南老人福祉センターにおいて行う、老人が明るい生活を営む支えとなる事業

盛岡市立都南老人福祉センターを利用する老人に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、地域福祉の増進を図るため、次の事業を行った。

- (ア) 老人の健康の増進に寄与する事業として、盛岡市長杯グラウンドゴルフ大会を開催し、参加者は 59 人であった。
- (イ) 老人の生活に役立つ事業として、陶芸教室等を開催し、開催回数は 24 回、参加者は 240 人であった。
- (ウ) 老人の健康の増進及び憩いのための施設貸与事業を行い、公益利用者数は、13,191 人であった。

ウ 施設利用者の便宜を図るサービス提供事業

盛岡市都南つどいの森を訪れる利用者の便宜を図るため、森林公園や公園内にある施設を訪れる利用者が終日楽しむことが出来るように、盛岡市都南つどいの森の総合案内施設やバーベキューハウス及び盛岡市都南サイクリングターミナルにおいて飲

食の提供を行った。

また、施設利用者の様々な需要に応じることができるよう、つどいの森管理棟にある売店で食料品や土産品の販売を行ったほか、清涼飲料水等の自動販売機を設置した。

エ 施設の管理運営に関する事業

公益目的以外の会議、研修や宿泊等の目的で利用する一般利用者に対し、盛岡市立都南老人福祉センターの集会室等、盛岡市都南つどいの森のキャビン及びバンガローの宿泊施設や盛岡市都南サイクリングターミナルの宿泊棟及び会議室の施設や囲碁、将棋等の娯楽のための物品を貸与した。

オ 指定管理受託施設の管理運営事業

(ア) 盛岡市立都南老人福祉センター

老人に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、地域福祉の増進を図るため、利用者の要望を常に把握し、各種イベントを企画し開催するとともに、盛岡市広報等を活用し利用者の促進に努めた。

また、老人クラブの利用に際しては送迎バスを運行し、利用者の利便を図るとともに、血圧測定器、エアロバイク、コンデショニングローラによる健康管理と機能回復訓練に努めた。

利用者数は前年比 1.8%減の 13,490 人であった。

(イ) 盛岡市都南つどいの森

森林浴、レクリエーション等の野外活動を通じて、利用者の保健及び休養に資するように努めるとともに、施設の宣伝活動として雑誌、ラジオ、テレビ等への情報提供及び取材協力を行った。また、森林の恵みや林業と生活の関わりを身近に感じることを目的とした事業を森林創作実習館において行い、森林の持つ多目的機能の一層の活用にも努めた。

利用者数は、前年比 5.3%減の 64,104 人で、利用料金収入は、前年比 0.4%減の 6,323,900 円であった。

(ウ) 盛岡市都南サイクリングターミナル

市民の体力の増進及び青少年の健全育成を図り、もってスポーツの振興に寄与することを目的とし、サイクリングターミナルの利用者増を図るため、合宿プランを行なうほか、宿泊予約の窓口を広げるため、インターネットでの予約が出来るように楽天トラベル及び JTB と契約し、新規の利用者確保に努めた。

また、自治会、その他市の公共施設等へのパンフレットの配布、つどいの森友の会会員へ施設の宣伝及び各種イベントへの協力依頼を行うなど、施設の宣伝

活動に努めたほか、利用者からの要望把握とその改善に努めた。

利用者数は、前年比 19.0%減の 6,260 人で、利用料金収入は、前年比 24.3%減の 8,798,170 円であった。

カ その他

(ア)人材育成の重要性の認識のもと、関係団体が開催する研修に参加し公社職員としての必要な知識の向上に努めた。

源泉所得税事務研修会 2名

整備管理者講習会 1名

刈払機に従事する者の安全衛生教育講習会 1名

マイナンバー制度実務対応セミナー 1名

公益法人・一般法人会計セミナー実務編 1名

(イ)職員の健康管理については、次のとおり健康診断を実施し、健康の保持に努めた。

胃部検診 10名のうち2名受診

胸部検診 11名のうち10名受診

循環器系検診 11名のうち10名受診

赤痢菌検査 9名全員が受診

(ウ)火災その他の事故防止として、消防計画書に基づき避難訓練及び消火訓練を実施し、利用客の安全確保に努めた。

・避難訓練実施日

平成 27 年 8 月 19 日 9 時 30 分

平成 28 年 3 月 3 日 9 時

(エ)消防法に基づく年2回の消防設備等点検は、資格を有する業者に委託し、その結果を盛岡南消防署に報告した。

(オ)盛岡市広報や公社のホームページを活用するほか、施設のパンフレットを配布し、積極的に広報・営業活動を行った。

(2)決算の状況

収支(損益)予算実績報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	流用額 (B)	決算額 (C)	差異 (A)+(B)-(C)	備 考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息振替額	1,000		1,253	△ 253	
② 特定資産運用益					
退職給付引当資産受取利息	4,000		4,873	△ 873	
減価償却引当資産受取利息	2,000		1,071	929	
③ 事業収益					
施設指定管理受託収入	85,505,000		85,505,622	△ 622	
サイクリングターミナル利用料金収入	8,691,000		8,798,170	△ 107,170	
つどいの森利用料金収入	6,324,000		6,323,900	100	
売上収入	18,575,000		18,933,520	△ 358,520	
施設利用料収益	787,000		787,000	0	
貸出使用料収益	403,000		400,700	2,300	
販売手数料収益	87,000		87,014	△ 14	
④ 雑収益					
受取利息	1,000		192	808	
雑収益	282,000		281,701	299	
経常収益計	120,662,000	0	121,125,016	△ 463,016	
(2) 経常費用					
① 事業費	111,909,000	△ 294,000	111,312,264	302,736	
期首棚卸高	539,000		538,936	64	
原材料仕入高	8,711,000	158,000	8,868,048	952	
期末棚卸高	△ 539,000		△ 321,506	△ 217,494	
給料手当	32,277,000	△ 110,000	31,983,607	183,393	
臨時雇賃金	21,683,000	△ 71,000	21,585,823	26,177	
退職給付費用	314,000	1,000	314,335	665	
福利厚生費	8,449,000	5,000	8,453,789	211	
旅費交通費	3,000	△ 1,000	1,100	900	
通信運搬費	474,000	2,000	475,011	989	
減価償却費	584,000	△ 1,000	581,434	1,566	
消耗品費	1,942,000	△ 158,000	1,738,084	45,916	
修繕費	2,371,000	△ 1,000	2,369,518	482	
印刷製本費	75,000	31,000	105,877	123	
燃料費	7,414,000	△ 123,000	7,265,427	25,573	
光熱水費	9,112,000	△ 82,000	9,010,522	19,478	
賃借料	3,170,000	△ 31,000	3,073,458	65,542	
保険料	150,000	1,000	150,124	876	
報償費(諸謝金)	169,000		169,000	0	
租税公課	4,080,000	151,000	4,230,695	305	
支払負担金	408,000	1,000	408,116	884	
委託費	8,693,000	△ 292,000	8,327,527	73,473	
交際費	17,000		17,000	0	
自動車関係費	547,000	△ 5,000	518,420	23,580	
被服費	68,000		67,500	500	
医薬材料費	11,000		10,281	719	
広告宣伝費	358,000	123,000	480,604	396	
備品購入費	151,000		150,660	340	
原材料費	0	110,000	109,080	920	
雑費	678,000	△ 2,000	629,794	46,206	

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	流用額 (B)	決算額 (C)	差異 (A)+(B)-(C)	備 考
②管理費	7,450,000	294,000	7,636,909	107,091	
役員報酬	645,000	71,000	715,200	800	
給料手当	4,263,000		4,221,074	41,926	
退職給付費用	164,000	1,000	164,105	895	
福利厚生費	653,000	11,000	663,291	709	
旅費交通費	1,000		550	450	
通信運搬費	5,000		0	5,000	
減価償却費	209,000		208,878	122	
消耗品費	37,000	△ 1,000	32,353	3,647	
印刷製本費	0		0	0	
賃借料	340,000	△ 1,000	336,370	2,630	
保険料	0		0	0	
租税公課	313,000	82,000	394,105	895	
支払負担金	73,000		72,510	490	
委託費	679,000	△ 11,000	622,434	45,566	
自動車関係費	38,000		35,154	2,846	
被服費	0		0	0	
報償費(諸謝金)	0	141,000	140,400	600	
雑費	30,000	1,000	30,485	515	
經常費用計	119,359,000	0	118,949,173	409,827	
評価損益等調整前当期經常増減額	1,303,000	0	2,175,843	△ 872,843	
当期經常増減額	1,303,000	0	2,175,843	△ 872,843	
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益					
經常外収益計	0		0	0	
(2) 經常外費用					
固定資産除却損					
什器備品除却損	0		0	0	
經常外費用計	0		0	0	
当期經常外増減額	0		0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	1,303,000	0	2,175,843	△ 872,843	
法人税、住民税及び事業税	551,000		97,400	453,600	
当期一般正味財産増減額	752,000	0	2,078,443	△ 1,326,443	
一般正味財産期首残高	32,512,000		32,512,208	△ 208	
一般正味財産期末残高	33,264,000		34,590,651	△ 1,326,651	
II 指定正味財産増減の部					
基本財産受取利息	0		1,253	△ 1,253	
一般正味財産への振替額	0		1,253	△ 1,253	
当期指定正味財産増減額	0		0	0	
指定正味財産期首残高	5,000,000		5,000,000	0	
指定正味財産期末残高	5,000,000		5,000,000	0	
III 正味財産期末残高	38,264,000	0	39,590,651	△ 1,326,651	

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	1,253	1,249	4
② 特定資産運用益			
退職給付引当資産受取利息	4,873	4,611	262
減価償却引当資産受取利息	1,071	934	137
③ 事業収益			
施設指定管理受託収入	85,505,622	88,185,691	△ 2,680,069
サイクリングターミナル利用料金収入	8,798,170	11,629,050	△ 2,830,880
つどいの森利用料金収入	6,323,900	6,352,400	△ 28,500
売上収入	18,933,520	22,925,760	△ 3,992,240
施設利用料収益	787,000	871,000	△ 84,000
貸出使用料収益	400,700	476,000	△ 75,300
販売手数料収益	87,014	187,637	△ 100,623
④ 雑収益			
受取利息	192	5	187
雑収益	281,701	327,481	△ 45,780
経常収益計	121,125,016	130,961,818	△ 9,836,802
(2) 経常費用			
① 事業費	111,312,264	121,088,913	△ 9,776,649
期首棚卸高	538,936	390,114	148,822
原材料仕入高	8,868,048	10,095,500	△ 1,227,452
期末棚卸高	321,506	538,936	△ 217,430
事業原価	9,085,478	9,946,678	△ 861,200
給料手当	31,983,607	35,260,074	△ 3,276,467
臨時雇賃金	21,585,823	22,601,546	△ 1,015,723
退職給付費用	314,335	998,765	△ 684,430
福利厚生費	8,453,789	7,797,456	656,333
旅費交通費	1,100	0	1,100
通信運搬費	475,011	405,778	69,233
減価償却費	581,434	637,855	△ 56,421
消耗品費	1,738,084	1,953,945	△ 215,861
修繕費	2,369,518	1,355,831	1,013,687
印刷製本費	105,877	190,169	△ 84,292
燃料費	7,265,427	11,198,811	△ 3,933,384
光熱水費	9,010,522	9,528,583	△ 518,061
賃借料	3,073,458	3,613,228	△ 539,770
保険料	150,124	201,116	△ 50,992
報償費(諸謝金)	169,000	282,000	△ 113,000
租税公課	4,230,695	4,599,628	△ 368,933
支払負担金	408,116	380,716	27,400
委託費	8,327,527	8,366,263	△ 38,736
交際費	17,000	55,272	△ 38,272
自動車関係費	518,420	610,191	△ 91,771
被服費	67,500	109,277	△ 41,777
医薬材料費	10,281	18,150	△ 7,869
広告宣伝費	480,604	502,831	△ 22,227
備品購入費	0	0	0
備品購入費	150,660		150,660
原材料費	109,080	126,036	△ 16,956
雑費	629,794	348,714	281,080

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	7,636,909	8,898,551	△ 1,261,642
役員報酬	715,200	285,600	429,600
給料手当	4,221,074	5,361,646	△ 1,140,572
退職給付費用	164,105	521,425	△ 357,320
福利厚生費	663,291	868,084	△ 204,793
旅費交通費	550		550
通信運搬費	0		0
減価償却費	208,878	238,336	△ 29,458
消耗品費	32,353	60,520	△ 28,167
印刷製本費	0		0
賃借料	336,370	412,851	△ 76,481
保険料	0	9,045	△ 9,045
租税公課	394,105	348,672	45,433
支払負担金	72,510	41,900	30,610
委託費	622,434	579,294	43,140
自動車関係費	35,154	62,663	△ 27,509
被服費	0	1,050	△ 1,050
報償費(諸謝金)	140,400		140,400
雑費	30,485	107,465	△ 76,980
経常費用計	118,949,173	129,987,464	△ 11,038,291
評価損益等調整前当期経常増減額	2,175,843	974,354	1,201,489
当期経常増減額	2,175,843	974,354	1,201,489
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,175,843	974,354	1,201,489
法人税、住民税及び事業税	97,400	603,000	△ 505,600
当期一般正味財産増減額	2,078,443	371,354	1,707,089
一般正味財産期首残高	32,512,208	32,140,854	371,354
一般正味財産期末残高	34,590,651	32,512,208	2,078,443
II 指定正味財産増減の部			
基本財産受取利息	1,253	1,249	4
一般正味財産への振替額	1,253	1,249	4
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	39,590,651	37,512,208	2,078,443

正味財産増減計算書内訳表
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	1,253	0	1,253
基本財産受取利息振替額	0	0		0	0	0		0	1,253		1,253
特定資産運用益	727	2,156	0	2,883	145	877	0	1,022	2,039	0	5,944
退職給付引当資産受取利息	596	1,768		2,364	119	719		838	1,671		4,873
減価償却引当資産受取利息	131	388		519	26	158		184	368		1,071
事業収益	40,935,743	26,681,238	0	67,616,981	13,793,634	31,314,266	0	45,107,900	8,111,045	0	120,835,926
施設指定管理受託収益	30,684,343	26,681,238		57,365,581	0	20,028,996		20,028,996	8,111,045		85,505,622
サイクリングターミナル利用料収益	1,173,500	0		1,173,500	0	7,624,670		7,624,670	0		8,798,170
つどいの森利用料収益	3,704,600	0		3,704,600	0	2,619,300		2,619,300	0		6,323,900
売上収益	5,234,700	0		5,234,700	13,698,820	0		13,698,820	0		18,933,520
施設使用料収益	0	0		0	0	787,000		787,000	0		787,000
貸出使用料収益	138,600	0		138,600	7,800	254,300		262,100	0		400,700
販売手数料収益	0	0		0	87,014	0		87,014	0		87,014
雑収益	0	0	0	0	49,501	232,200	0	281,701	192		281,893
受取利息	0	0		0	0	0		0	192		192
雑収益	0	0		0	49,501	232,200		281,701	0		281,701
経常収益計	40,936,470	26,683,394	0	67,619,864	13,843,280	31,547,343	0	45,390,623	8,114,529	0	121,125,016

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
(2) 経常費用											
事業費	38,992,396	27,849,889		66,842,285	14,443,130	30,026,869		44,469,999			111,312,284
期首棚卸高	31,705	0		31,705	507,231	0		507,231			538,936
原材料仕入高	2,721,462	1,340,146		4,061,608	4,806,440	0		4,806,440			8,868,048
期末棚卸高	0	0		0	321,506	0		321,506			321,506
給料手当	8,420,186	11,458,839		19,879,025	4,849,369	7,255,213		12,104,582			31,983,607
臨時雇賃金	9,450,725	3,755,591		13,206,316	1,048,502	7,331,005		8,379,507			21,585,823
退職給付費用	58,498	173,519		232,017	11,747	70,571		82,318			314,335
福利厚生費	3,262,086	2,486,775		5,748,861	807,688	1,897,240		2,704,928			8,453,789
旅費交通費	92	189		281	819	0		819			1,100
通信運搬費	119,541	100,797		220,338	3,857	250,816		254,673			475,011
減価償却費	89,692	252,051		341,743	149,865	89,826		239,691			581,434
消耗品費	576,737	328,659		905,396	215,048	617,640		832,688			1,738,084
修繕費	1,383,879	116,316		1,500,195	0	869,323		869,323			2,369,518
印刷製本費	64,707	6,218		70,925	1,109	33,843		34,952			105,877
燃料費	1,003,974	2,496,138		3,500,112	483,591	3,281,724		3,765,315			7,265,427
光熱水料費	2,803,774	2,653,385		5,457,159	269,359	3,284,004		3,553,363			9,010,522
賃借料	1,031,004	450,593		1,481,597	54,244	1,537,617		1,591,861			3,073,458
保険料	62,927	9,957		72,884	43,070	34,170		77,240			150,124
報償費(諸謝金)	25,000	144,000		169,000	0	0		0			169,000
租税公課	1,925,630	165,638		2,091,268	656,303	1,483,124		2,139,427			4,230,695
支払負担金	210,759	97,404		308,163	37,497	62,456		99,953			408,116
委託費	5,220,202	1,389,725		6,609,927	136,364	1,581,236		1,717,600			8,327,527
交際費	0	0		0	17,000	0		17,000			17,000
自動車関係費	192,212	230,395		422,607	2,516	93,297		95,813			518,420
被服費	31,362	11,543		42,905	3,214	21,381		24,595			67,500
医薬材料費	5,671	3,770		9,441	0	840		840			10,281
広告宣伝費	61,557	49,536		111,093	214,274	155,237		369,511			480,604
備品購入費	131,225	0		131,225	0	19,435		19,435			150,660
原材料費	9,163	18,762		27,925	81,155	0		81,155			109,080
雑費	98,626	109,923		208,549	364,374	56,871		421,245			629,794

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
管理費									7,636,909		7,636,909
役員報酬									715,200		715,200
給料手当									4,221,074		4,221,074
退職給付費用									164,105		164,105
福利厚生費									663,291		663,291
旅費交通費									550		550
通信運搬費									0		0
減価償却費									208,878		208,878
消耗品費									32,353		32,353
印刷製本費									0		0
賃借料									336,370		336,370
保険料									0		0
租税公課									394,105		394,105
支払負担金									72,510		72,510
委託費									622,434		622,434
自動車関係費									35,154		35,154
被服費									0		0
雑費									30,485		30,485
報償費									140,400		140,400
經常費用計	38,992,396	27,849,869	0	66,842,265	14,443,130	30,026,869	0	44,469,999	7,636,909	0	118,949,173

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	1,944,074	△ 1,166,475	0	777,599	△ 599,850	1,520,474	0	920,624	477,620	0	2,175,843
当期経常増減額	1,944,074	△ 1,166,475	0	777,599	△ 599,850	1,520,474	0	920,624	477,620	0	2,175,843
2. 経常外増減の部				0				0			0
(1) 経常外収益				0				0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
固定資産除却損											
什器備品除却損	0	0	0	0				0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額								0			0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額 過年度訂正額				0				0			0
税引前当期一般正味財産増減額	1,944,074	△ 1,166,475	0	777,599	△ 599,850	1,520,474	0	920,624	477,620	0	2,175,843
法人税、住民税及び事業税	0	0	0		0	25,400	0	25,400	72,000		97,400
当期一般正味財産増減額	1,944,074	△ 1,166,475	0	777,599	△ 599,850	1,495,074	0	895,224	405,620	0	2,078,443
一般正味財産期首残高	0	0	16,254,859	16,254,859	0	0	8,209,874	8,209,874	8,047,475	0	32,512,208
一般正味財産期末残高	1,944,074	△ 1,166,475	16,254,859	17,032,458	△ 599,850	1,495,074	8,209,874	9,105,098	8,453,095	0	34,590,651
II 指定正味財産増減の部											
基本財産受取利息				0				0	1,253	0	1,253
一般正味財産への振替額				0				0	1,253	0	1,253
当期指定正味財産増減額				0				0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000,000	0	5,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000,000	0	5,000,000
III 正味財産期末残高	1,944,074	△ 1,166,475	16,254,859	17,032,458	△ 599,850	1,495,074	8,209,874	9,105,098	13,453,095	0	39,590,651

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	323,074	339,185	△ 16,111
預金	46,207,771	36,149,902	10,057,869
売掛金	5,100	14,800	△ 9,700
棚卸原材料	321,506	538,936	△ 217,430
未収金	0	573,494	△ 573,494
貯蔵品	0	30,385	△ 30,385
立替金	82,399	6,304	76,095
流動資産合計	46,939,850	37,653,006	9,286,844
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	14,638,240	19,974,640	△ 5,336,400
減価償却引当資産	5,320,721	4,574,684	746,037
特定資産合計	19,958,961	24,549,324	△ 4,590,363
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	1	171,759	△ 171,758
什器備品	285,475	537,972	△ 252,497
機械及び装置	82,499	149,131	△ 66,632
リサイクル預託金	27,780	27,780	0
ソフトウェア	361,463	616,613	△ 255,150
その他固定資産	0	44,275	△ 44,275
その他固定資産合計	757,218	1,547,530	△ 790,312
固定資産合計	25,716,179	31,096,854	△ 5,380,675
資産合計	72,656,029	68,749,860	3,906,169
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	500,130	415,796	84,334
未払金	14,688,674	6,245,855	8,442,819
未払消費税等	2,135,300	3,447,800	△ 1,312,500
前受金	10,000	10,000	0
預り金	695,290	540,561	154,729
未払法人税等	97,400	603,000	△ 505,600
賞与引当金	300,344		300,344
流動負債合計	18,427,138	11,263,012	7,164,126
2. 固定負債			
退職給付引当金	14,638,240	19,974,640	△ 5,336,400
固定負債合計	14,638,240	19,974,640	△ 5,336,400
負債合計	33,065,378	31,237,652	1,827,726
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	34,590,651	32,512,208	2,078,443
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(5,320,721)	(4,574,684)	(746,037)
正味財産合計	39,590,651	37,512,208	2,078,443
負債及び正味財産合計	72,656,029	68,749,860	3,906,169

貸借対照表内訳表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	120,074	118,000	85,000		323,074
預金	28,031,148	16,125,053	2,051,570		46,207,771
売掛金	0	5,100			5,100
棚卸原材料	0	321,506			321,506
未収金					0
貯蔵品					0
立替金			82,399		82,399
流動資産合計	28,151,222	16,569,659	2,218,969		46,939,850
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産定期預金	0	0	5,000,000		5,000,000
基本財産合計	0	0	5,000,000		5,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	7,467,330	2,271,278	4,899,632		14,638,240
減価償却引当資産	2,210,862	2,219,003	890,856		5,320,721
特定資産合計	9,678,192	4,490,281	5,790,488		19,958,961
(3) その他固定資産					
車両運搬具	1	0	0		1
什器備品	159,194	37,810	88,471		285,475
機械及び装置	45,314	37,185	0		82,499
リサイクル預託金	11,693	12,743	3,344		27,780
ソフトウェア	185,481	51,999	123,983		361,463
その他固定資産	0	0	0		0
他会計貸付金	0	0	6,650,000	△ 6,650,000	0
その他固定資産合計	401,683	139,737	6,865,798	△ 6,650,000	757,218
固定資産合計	10,079,875	4,630,018	17,656,286	△ 6,650,000	25,716,179
資産合計	38,231,097	21,199,677	19,875,255	△ 6,650,000	72,656,029
II 負債の部					
1. 流動負債					
買掛金	128,033	372,097			500,130
未払金	9,497,536	4,463,118	728,020		14,688,674
未払消費税等	815,148	939,147	381,005		2,135,300
前受金	0	10,000			10,000
預り金	337,179	119,627	238,484		695,290
未払法人税等		25,400	72,000		97,400
賞与引当金	145,651	51,674	103,019		300,344
流動負債合計	10,923,547	5,981,063	1,522,528		18,427,138
2. 固定負債					
退職給付引当金	7,467,330	2,271,278	4,899,632		14,638,240
他会計借入金	2,347,450	4,302,550	0	△ 6,650,000	0
固定負債合計	9,814,780	6,573,828	4,899,632	△ 6,650,000	14,638,240
負債合計	20,738,327	12,554,891	6,422,160	△ 6,650,000	33,065,378
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
定期預金	0	0	5,000,000		5,000,000
指定正味財産合計	0	0	5,000,000		5,000,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(5,000,000)		(5,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産					
17,492,770	8,644,786	8,453,095		34,590,651	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(2,210,862)	(2,219,003)	(890,856)	(5,320,721)	
正味財産合計	17,492,770	8,644,786	13,453,095		39,590,651
負債及び正味財産合計	38,231,097	21,199,677	19,875,255	△ 6,650,000	72,656,029

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による。

(2) 固定資産の減価償却の方法

償却方法は、定額法による直接法を実施している。

什器備品、機械及び装置、車両運搬具、その他固定資産

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

期末退職給付金の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

税込み方式による。

2. 会計方針の変更

特になし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	19,974,640	478,440	5,814,840	14,638,240
減価償却引当資産	4,574,684	746,037	0	5,320,721
小 計	24,549,324	1,224,477	5,814,840	19,958,961
合 計	29,549,324	1,224,477	5,814,840	24,958,961

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産	5,000,000	(5,000,000)	(0)	-
小 計	5,000,000	(5,000,000)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	14,638,240	(0)	(0)	(14,638,240)
減価償却引当資産	5,320,721	(0)	(5,320,721)	-
小 計	19,958,961	(0)	(5,320,721)	(14,638,240)
合 計	24,958,961	(5,000,000)	(5,320,721)	(14,638,240)

5. 担保に供している資産

担保に供してゐる資産はない

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,096,500	1,811,025	285,475
機械及び装置	1,647,360	1,564,861	82,499
車両運搬具	1,030,549	1,030,548	1
ソフトウェア	1,275,750	914,287	361,463
その他固定資産	132,825	132,825	0
合 計	6,182,984	5,453,546	729,438

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	0
基本財産受取利息	1,253
経常外収益への振替額	
目標達成による指定解除額	0
合 計	1,253

附属明細書

1 基本財産及び特定資産明細書

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記「3. 基本財産及び特定資産の増加額及びその残高」に記載のとおりである。

2 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	19,974,640	478,440	5,814,840		14,638,240

財産目録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金預金	手元現金	つり銭用現金及び当日売上金	323,074	
	普通預金			
	岩手中央農協飯岡支所	運転資金として	40,472,155	
	岩手銀行流通センター支店	運転資金として	5,691,341	
	定期預金			
	岩手銀行流通センター支店	運転資金として	44,275	
	梱卸原材料	食事材料他	宿泊者、食堂利用者の材料として	321,506
売掛金	宿泊者	3月分宿泊代、食事代として	5,100	
未収金	盛岡市 他	施設指定管理受託収益 他	0	
貯蔵品	つどいの森	リールレット	0	
立替金	職員に対するもの	源泉所得税	82,399	
流動資産合計			46,939,850	
(固定資産)				
基本財産	預金	定期預金 岩手中央農協飯岡支所	運用益を法人全体の管理費に充てる ために保有している財産である <基本財産合計>	5,000,000 5,000,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金 岩手銀行流通センター支店	職員に対する退職金の支払いに備え た引当資産である	14,638,240
	減価償却引当資産	定期預金 岩手銀行流通センター支店	備品等の購入に備えた積立資産であり、 資産取得資金として管理されてい る預金である <特定資産合計>	5,320,721 19,958,961
その他固定 資産	車輛運搬具	軽自動車	金融機関へ充り上げの入金、事務連 絡用に使っている (公益目的保有財産額 1円)	1
	什器備品	冷凍冷蔵庫 他	宿泊者、食堂利用者の材料を保管に使用 している (公益目的保有財産額 159,194円)	285,475
	機械及び装置	洗浄機 他	食器等の洗浄用として使用している (公益目的保有財産額 45,314円)	82,499
	ソフトウェア	パソコンソフト	公益目的保有財産であり、公益目的 事業、収益事業及び管理業務で使 用している (公益目的保有財産額 185,481円)	361,463
	その他固定資産			0
	リサイクル預託金	(公財)日本自動車リサイクル 促進センター	自動車リサイクル	27,780 <その他固定資産合計>
固定資産合計			25,716,179	
資産合計		(内、公益目的保有財産389,990円)	72,656,029	
(流動負債)				
買掛金	藤駒商店他	食材等仕入代	500,130	
未払金	三和メンテナンス外	浄化槽管理維持費等の未払額	14,688,674	
未払消費税等	盛岡税務署	消費税等の未払額	2,135,300	
前受金	盛岡・矢巾・紫波広域観光推進 協議会	湯遊街道スタンプラリー商品券	10,000	
預り金	職員に対するもの	源泉所得税、住民税、社会保険料等	695,290	
未払法人税等	国税庁等に対する未払い額	決算において確定した未払法人税等	97,400	
賞与引当金	職員	次年度6月支払賞与の内、当年度積算分	300,344	
流動負債合計			18,427,138	
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備え た引当金	14,638,240
固定負債合計			14,638,240	
負債合計			33,065,378	
正味財産			39,590,651	

3 平成28年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

I 事業方針

盛岡市都南つどいの森を護り育むとともに、安全で豊かな自然環境の中で、スポーツ、講習、体験及び老人福祉等に関する事業を行うことにより、市民の健康の増進及び青少年の健全育成並びに地域福祉の増進に寄与します。

II 事業計画

1 盛岡市都南つどいの森及び盛岡市都南サイクリングターミナルにおける市民の健康の増進及び青少年の健全な育成に関する事業(公益目的事業1)

(趣旨)

本事業は、盛岡市都南つどいの森の豊かで安全な自然環境の中で、森林浴とともに楽しむことができるスポーツや散策等の事業を行うことにより市民の健康増進を図ることと、森林公園が持つ大きな恵みを学び体験する事業を行うことにより青少年の健全な育成を図ることを目的として行う。

(1) 森林から得られる大きな恵みを学ぶ事業

- ア あかぼやし探検隊
- イ 木工教室
- ウ 森林ビデオ学習
- エ 初心者グラウンドゴルフ講習会
- オ 自然散策会
- カ ツルのかご作り

(2) 森林から得られる大きな恵みを楽しむ事業

- ア 岩魚のつかみ取り体験
- イ 岩魚のつり体験
- ウ レンタルサイクル事業
- エ つどいの森写真展
- オ つどいの森さくら祭り
- カ つどいの森感謝祭
- キ 木工体験学習
- ク 炊事体験学習
- ケ 森林観察体験
- コ ネイチャーゲーム

(3) 健康増進事業

- ア グラウンドゴルフ大会

(4) 市民の健康の増進及び青少年の健全育成のための施設貸与事業

森林公園の中で行う散策や遊びを通して自然との共生の大切さを学ぶとともに、野外での宿泊や炊事を通して規律を学び自立心を養うことができるように、林間キャンプ場やキャビン等の施設を貸与する。

また、高中小学生のクラブ活動や子供会活動等の合宿又は会議への便宜を図るため、盛岡市サイクリングターミナルの宿泊棟や会議室を貸与する。

2 盛岡市立都南老人福祉センターにおいて行う、老人が明るい生活を営む支えとなる事業(公益事業2)

(趣旨)

本事業は、盛岡市立都南老人福祉センターを利用する老人に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、地域福祉の増進を図ることを目的として行う。

(1) 老人の健康の増進に寄与する事業

ア 健康講座(7回)

イ 盛岡市長杯つどいの森グラウンドゴルフ大会

(2) 老人の生活に役立つ事業

ア 初心者陶芸教室(12回)

イ ハンギングバスケット教室

ウ そば打ち体験(2回)

エ 職の匠による講座

オ クリスマスリース作り教室

(3) 老人の健康の増進及び憩いのための施設貸与事業

老人福祉センターの入浴施設や機能訓練用具を用いた健康増進と体力維持に寄与するため、また、老人クラブ、趣味の会等で当センターを訪れる高齢者が憩い、寛ぐことができるように施設の貸与を行う。

3 施設利用者の便宜を図るサービス提供事業(収益事業1)

(1) 総合案内施設における飲食提供事業

(2) パーベキューハウスにおける飲食提供事業

(3) 盛岡市都南サイクリングターミナル利用者への飲食提供事業

(4) 自動販売機及び売店営業事業

4 施設の管理運営に関する事業(収益事業2)

公益目的以外の目的で利用する一般利用者に対し、諸施設及び物品を貸与する。

5 法人運営に関する事業

(1) 事務局

事務局は、法令、定款及び諸規程等を遵守し総合的な事務を行うほか、各施設の効率的な運営が図られるよう連絡調整にあたる。

(2) 法人の運営

ア 理事会

定例理事会を3月及び5月に開催するほか、必要があると認めたときは臨時理事会を開催する。

イ 評議員会

定時評議員会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

ウ 監査

理事が作成した計算書類及び事業報告並びに付属明細書の監査を行う。

エ 登記

常時正確な変更登記等を実施する。

オ 盛岡市及び関係団体との連携

指定管理者としての成果をあげるため、関係各課との相互の意志疎通に努める。

カ 関係団体との連携

盛岡市及び岩手県社会福祉協議会等の関係団体等との緊密な連携を図っていく。

(3) 施設の管理

ア 指定管理業務

盛岡市都南サイクリングターミナル、盛岡市立都南老人福祉センター及び盛岡市都南つどいの森の各施設について、設置目的を理解し、基本協定及び各施設の仕様書に基づき適正に指定管理者の責務を果たす。

イ 利用者に対する待遇・サービスの向上

各施設が市民の皆様にも有効かつ平等に使用されるために、行事等を盛岡市広報に掲載するほか、ホームページによる宣伝を行う。

また、利用者のニーズの把握のためのアンケートを実施し、サービスの向上につなげる。

ウ 施設の効率的な運営

盛岡市都南サイクリングターミナル、盛岡市立都南老人福祉センター及び盛岡市都南つどいの森の各施設の事業については、利用者の多様性に対応できるよう、柔軟に職員の融通を行いながら対応する。

(4) 職員の資質向上と健康管理の充実

ア 職員の資質向上

公社職員としての必要な知識の向上を図るため、事務職員毎に職場内研修を実施するとともに、関係団体が開催する研修に参加し、資質の向上に努める。

イ 福利厚生

職員の定期健康診断(胸部・循環器検診)、胃部検診(平成 28 年度中に満 35 歳以上になる職員対象)については、市が実施する際にこれに委託して行う。

(5) 災害事故の未然防止

ア 火災その他の事故防止対策として、所轄消防機関との連携を密にするとともに、消防計画に基づく非常通報、避難訓練及び消火訓練を実施し、利用者の安全確保に万全を期する。

イ 消火設備及び避難設備等は、定期点検のほか随時点検を実施する。また利用者の施設内での事故防止のため、設備、備品等の巡回点検を行い万全を期する。

ウ 夜間等の施設事故防止のため、公社職員が直接警備を行っている施設を除き、夜間警備を業者委託する。

(6) 広報・営業活動の推進

盛岡市広報を活用する。また、公社のホームページの充実を図るほか、施設のパンフレットを作成し、関係機関に配布するとともに、積極的に広報・営業活動を行う。

(2) 収支予算の概要

平成28年度収支予算書(正味財産増減計算ベース)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	1	1	0
② 特定資産運用益			
退職給付引当資産受取利息	1	4	△ 3
減価償却引当資産受取利息	1	2	△ 1
③ 事業収益			
施設指定管理受託収入	87,721	87,721	0
サイクリングターミナル利用料金収入	9,437	13,457	△ 4,020
つどいの森利用料金収入	6,289	6,199	90
売上収入	22,824	26,039	△ 3,215
施設利用料収益	787	880	△ 93
貸出使用料収益	403	426	△ 23
販売手数料収益	86	115	△ 29
④ 雑収益			0
受取利息	1	1	0
雑収益	230	230	0
経常収益計	127,781	135,075	△ 7,294
(2) 経常費用			0
① 事業費	118,241	124,964	△ 6,723
期首棚卸高	500	0	500
原材料仕入高	9,220	10,100	△ 880
期末棚卸高	500	0	500
給料手当	31,440	36,513	△ 5,073
臨時雇賃金	21,562	22,617	△ 1,055
退職給付費用	616	770	△ 154
福利厚生費	8,058	8,127	△ 69
旅費交通費	52	50	2
通信運搬費	449	392	57
減価償却費	455	458	△ 3
消耗品費	2,016	2,094	△ 78
修繕費	1,360	1,364	△ 4
印刷製本費	261	204	57
燃料費	12,463	13,668	△ 1,205
光熱水費	9,751	9,468	283
賃借料	3,465	3,457	8
保険料	152	189	△ 37
報償費(諸謝金)	317	317	0
租税公課	4,447	4,896	△ 449
支払負担金	450	517	△ 67
委託費	8,775	7,826	949
交際費	550	80	470
自動車関係費	748	722	26
被服費	154	142	12
医薬材料費	25	25	0
広告宣伝費	510	493	17
備品購入費	710	0	710
雑費	735	475	260

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	8,946	9,463	△ 517
役員報酬	3,476	298	3,178
給料手当	2,813	5,497	△ 2,684
退職給付費用	321	401	△ 80
福利厚生費	694	889	△ 195
旅費交通費	7	6	1
通信運搬費	7	0	7
減価償却費	200	239	△ 39
消耗品費	36	36	0
印刷製本費	7	6	1
賃借料	360	334	26
保険料	0	0	0
租税公課	300	268	32
支払負担金	40	39	1
委託費	594	1,323	△ 729
自動車関係費	48	74	△ 26
被服費	3	13	△ 10
雑費	40	40	0
経常費用計	127,187	134,427	△ 7,240
評価損益等調整前当期経常増減額	594	648	△ 54
当期経常増減額	594	648	△ 54
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
固定資産除却損			0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	594	648	△ 54
法人税、住民税及び事業税	551	550	1
当期一般正味財産増減額	43	98	△ 55
一般正味財産期首残高	32,512	35,285	△ 2,773
一般正味財産期末残高	32,555	35,383	△ 2,828
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III 正味財産期末残高	37,555	40,383	△ 2,828

平成28年度予算内訳表(正味財産増減予算内訳表)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
基本財産受取利息振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
退職給付引当資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
減価償却引当資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
事業収益	44,768	27,441	0	72,209	16,976	30,251	0	47,227	8,111	0	127,547
施設指定管理受託収益	33,167	27,441	0	60,608	0	19,002	0	19,002	8,111		87,721
サイクリングターミナル利用料収益	1,813	0	0	1,813	0	7,624	0	7,624	0		9,437
つどいの森利用料収益	3,706	0	0	3,706	0	2,583	0	2,583	0		6,289
売上収益	5,944	0	0	5,944	16,880	0	0	16,880	0		22,824
施設使用料収益	0	0	0	0	0	787	0	787	0		787
貸出使用料収益	138	0	0	138	10	255	0	265	0		403
販売手数料収益	0	0	0	0	86	0	0	86	0		86
雑収益	0	0	0	0	5	225	0	230	1		231
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
雑収益	0	0	0	0	5	225	0	230	0		230
経常収益計	44,768	27,441	0	72,209	16,981	30,476	0	47,457	8,115	0	127,781

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
(2)経常費用											
事業費	44,769	32,265		77,034	13,246	27,961		41,207			118,241
期首棚卸高	30	0	0	30	470	0	0	470	0		500
原材料費	2,767	1,315	0	4,082	5,138	0	0	5,138	0		9,220
期末棚卸高	30	0	0	30	470	0	0	470	0		500
給料手当	10,210	13,069	0	23,279	4,181	3,980	0	8,161	0		31,440
臨時雇賃金	10,037	3,882	0	13,919	1,170	6,473	0	7,643	0		21,562
退職給付費用	129	339	0	468	20	128	0	148	0		616
福利厚生費	2,992	2,994	0	5,986	755	1,317	0	2,072	0		8,058
通信運搬費	8	11	0	19	33	0	0	33	0		52
通信運搬費	143	69	0	212	4	233	0	237	0		449
減価償却費	91	226	0	317	58	80	0	138	0		455
消耗品費	769	393	0	1,162	308	546	0	854	0		2,016
修繕費	532	121	0	653	32	675	0	707	0		1,360
印刷製本費	145	0	0	145	0	116	0	116	0		261
燃料費	2,209	4,193	0	6,402	466	5,595	0	6,061	0		12,463
光熱水料費	3,084	2,739	0	5,823	245	3,683	0	3,928	0		9,751
賃借料	1,213	524	0	1,737	65	1,663	0	1,728	0		3,465
保険料	82	9	0	91	28	33	0	61	0		152
報償費(諸謝金)	145	172	0	317	0	0	0	0	0		317
租税公課	2,562	116	0	2,678	373	1,396	0	1,769	0		4,447
支払負担金	240	105	0	345	52	53	0	105	0		450
委託費	5,647	1,400	0	7,047	176	1,552	0	1,728	0		8,775
交際費	0	0	0	0	50	0	0	50	0		50
自動車関係費	143	493	0	636	10	102	0	112	0		748
被服費	66	41	0	107	18	29	0	47	0		154
医薬材料費	12	5	0	17	0	8	0	8	0		25
広告宣伝費	272	19	0	291	59	160	0	219	0		510
備品購入費	646	0	0	646	0	64	0	64	0		710
原材料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
雑費	625	30	0	655	5	75	0	80	0		735

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
管理費									8,946		8,946
役員報酬									3,476		3,476
給料手当									2,813		2,813
退職給付費用									321		321
福利厚生費									694		694
旅費交通費									7		7
通信運搬費									7		7
減価償却費									200		200
消耗品費									36		36
印刷製本費									7		7
賃借料									360		360
保険料									0		0
租税公課									300		300
支払負担金									40		40
委託費									594		594
自動車関係費									48		48
被服費									3		3
雑費									40		40
經常費用計	44,769	32,265	0	77,034	13,246	27,961	0	41,207	8,946	0	127,187

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1	△ 4,824	0	△ 4,825	3,735	2,515	0	6,250	△ 831	0	594
当期経常増減額	△ 1	△ 4,824	0	△ 4,825	3,735	2,515	0	6,250	△ 831	0	594
2. 経常外増減の部				0				0			0
(1) 経常外収益				0				0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
固定資産除却損											
什器備品除却損	0	0	0	0				0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額								0			0
他会計振替額	0	0	3,126	3,126	0	0	△ 3,126	△ 3,126	0		0
他会計振替額 過年度訂正額				0				0			0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1	△ 4,824	3,126	△ 1,699	3,735	2,515	△ 3,126	3,124	△ 831	0	594
法人税、住民税及び事業税							479	479	72		551
当期一般正味財産増減額	△ 1	△ 4,824	3,126	△ 1,699	3,735	2,515	△ 3,605	2,645	△ 903	0	43
一般正味財産期首残高			16,255	16,255			8,210	8,210	8,047	0	32,512
一般正味財産期末残高				14,556				10,855	7,144	0	32,555
II 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額				0				0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0				0	5,000		5,000
指定正味財産期末残高				0				0	5,000	0	5,000
III 正味財産期末残高				14,556				10,855	12,144	0	37,555

資金調達及び設備投資の見込みについて

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

(1) 資金調達の見込みについて

平成28年度中に資金調達予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

平成28年度中に設備投資予定はありません。

平成28年度第収支予算に係る注記

投資活動及び財務活動に関する見込み

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
【投資活動収支の部】			
1. 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入			
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
① 特定資産取得支出			
退職給付引当資産取得支出	937	1,171	△ 234
減価償却引当資産取得支出	655	697	△ 42
② 固定資産取得支出			
什器備品取得支出	0	0	0
機械及び装置取得支出	0	0	0
車両運搬具取得支出	0	0	0
ソフトウェア取得支出	0	0	0
その他固定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	1,592	1,868	△ 276
投資活動収支差額	△ 1,592	△ 1,868	276
【財務活動収支の部】			
1. 財務活動収入			
① 財務収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
① 財務支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0

一般財団法人 盛岡市駐車場公社

1 総括事項

(1) 名称 一般財団法人 盛岡市駐車場公社

(2) 設立年月日 昭和46年12月11日

(3) 資本金又は基本財産 金 3,000,000円

(4) 市の出資額 金 3,000,000円

(5) 役員の氏名

評議員	佐藤誠司
評議員	千葉正
評議員	田山俊悦
理事長	船水義一
常務理事	宮田晃
理事	千葉伸行
理事	阿部利幸
理事	藤澤和義
監事	中村一
監事	沼田由子

(平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

公社は、盛岡市が設置する駐車場の管理運営に関する事業を行うことにより、駐車需要の緩和と道路交通の円滑化を図り、もって住民の利便に資するとともに、都市機能の維持及び増進に寄与することを目的とし、次の事業を行っている。

- (ア) 駐車場の業務運営
- (イ) 駐車場の施設及び設備の維持管理業務
- (ウ) 駐車場の使用料の収納に関する業務
- (エ) その他目的を達成するために必要な事業

2 平成27年度 一般財団法人盛岡市駐車場公社事業報告
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

I 事業の概況

1 運営管理の概況

盛岡市駐車場の第3期指定管理者として、駐車場3施設の管理運営業務及び駐車場使用料の収納事務を行った。事業運営に当たっては、駐車場の安全管理を徹底するとともに、利用者が安心して利用できるようサービスの向上に努めながら事業を推進した。

管理運営の指定を受けた3施設の平成27年度の指定管理料は98,647,200円、経常的運営費は96,423,549円となっており、前年度の経常的運営費97,623,904円と比較し、1,200,355円の減額となっている。減額の主なものは、光熱水費、修繕費、委託料である。

2 駐車場の利用状況

利用台数は398,579台で、前年度の374,379台と比較して24,200台、6.5%の利用増となった。また、利用料金収入は204,243,050円で、前年度の195,568,760円に比較して8,674,290円、4.4%の増収となった。

平成27年度は、岩手公園地下駐車場においては「市役所」用務などによる利用増となり、マリオス立体駐車場においては「マリオス入居企業」の定期駐車利用者等が減少したものの、盛岡駅西口地区駐車場の利用状況が前年度対比で20,835台の伸びを示したことから、総体で増加となった。

(1) 駐車場の利用状況 (総括表)

(イ) 利用台数

(単位：台)

区 分	利用台数		前年度比	
	平成27年度	平成26年度	比較増減	前年度比
岩手公園地下駐車場	71,500	66,016	5,484	8.3%
マリオス立体駐車場	35,881	38,000	△2,119	△5.6%
盛岡駅西口地区駐車場	291,198	270,363	20,835	7.7%
合 計	398,579	374,379	24,200	6.5%

(ロ) 利用料金

(単位：円)

区 分	利用料金		前年度比	
	平成27年度	平成26年度	比較増減	前年度比
岩手公園地下駐車場	31,141,620	30,543,070	598,550	2.0%
マリオス立体駐車場	35,681,680	35,132,240	549,440	1.6%
盛岡駅西口地区駐車場	137,419,750	129,893,450	7,526,300	5.8%
合 計	204,243,050	195,568,760	8,674,290	4.4%

(2) 岩手公園地下駐車場（昭和46年12月10日開業）の利用状況

(イ) 利用台数

(単位：台)

区分	平成27年度	構成比	平成26年度	比較増減	
普通駐車	63,853	89.3%	59,703	4,150	7.0%
定期券駐車	7,647	10.7%	6,313	1,334	21.1%
合計	71,500	100.0%	66,016	5,484	8.3%

(ロ) 利用料金

(単位：円)

区分	平成27年度	構成比	平成26年度	比較増減	
現金	25,518,120	81.9%	25,783,570	△265,450	△1.0%
回数券	451,500	1.5%	433,500	18,000	4.2%
定期券	5,172,000	16.6%	4,326,000	846,000	19.6%
合計	31,141,620	100.0%	30,543,070	598,550	2.0%

利用台数は71,500台で、前年度と比較し5,484台、7.0%の増となった。また、利用料金は、31,141,620円で、前年度と比較し598,550円、2.0%の増収となった。

この要因としては、市役所用務の利用者及び定期券駐車での利用者増加が挙げられる。

(3) マリオス立体駐車場（平成9年10月1日開業）の利用状況

(イ) 利用台数

(単位：台)

区分	平成27年度	構成比	平成26年度	比較増減	
普通駐車	15,169	42.3%	15,614	△445	△2.9%
定期券駐車	20,712	57.7%	22,386	△1,674	△7.5%
合計	35,881	100.0%	38,000	△2,119	△5.6%

(ロ) 利用料金

(単位：円)

区分	平成27年度	構成比	平成26年度	比較増減	
現金	6,495,680	18.2%	6,870,240	△374,560	△5.5%
回数券	5,966,000	16.7%	4,556,000	1,410,000	30.9%
定期券	23,220,000	65.1%	23,706,000	△486,000	△2.1%
合計	35,681,680	100.0%	35,132,240	549,440	1.6%

利用台数は35,881台で、前年度と比較し2,119台、5.6%の利用減となった。

なお、利用料金収入は、35,681,680円で、前年度と比較し549,440円、1.6%の増収となった。

この要因としては、マリオス入居企業の定期駐車利用者等の減により利用台数は減少したものの、回数券が前年度比で30%を超える売上となったことにより、利用料金の総額が増加したものである。

(4) 盛岡駅西口地区駐車場（平成9年12月27日開業）の利用状況

(イ) 利用台数

(単位：台)

区分	平成27年度	構成比	平成26年度	比較増減	
普通駐車	272,814	93.7%	252,305	20,509	8.1%
定期券駐車	18,384	6.3%	18,058	326	1.8%
合計	291,198	100.0%	270,363	20,835	7.7%

(ロ) 利用料金

(単位：円)

区分	平成27年度	構成比	平成26年度	比較増減	
現金	126,513,750	92.1%	119,407,450	7,106,300	6.0%
定期券	10,906,000	7.9%	10,486,000	420,000	4.0%
合計	137,419,750	100.0%	129,893,450	7,526,300	5.8%

利用台数は291,198台で、前年度に比較し20,835台、7.7%増となった。

また、利用料金収入は、137,419,750円で、前年度と比較し7,526,300円、5.8%の増収となった。

この要因としては、アイーナやマリオス等でのイベントなどにおける利用、特に運転免許センター来訪者に利用していただいていることがあげられる。

(5) 駐車場の施設利用率の推移（過去5年間）

(単位：%)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
岩手公園地下	24.4	24.1	24.8	24.7	29.4
マリオス立体	14.6	14.9	16.2	15.2	14.2
盛岡駅西口地区	23.6	17.2	19.0	20.0	21.4

施設利用率：総駐車場時間 / (収容台数 × 日数 × 営業時間)

(6) 考察及び今後の対応

岩手公園地下駐車場については、定期券駐車が大幅に伸びていることが見受けられるため、内容を調査し、状況によっては定期券枠を増やすことについて検討することとしたい。また、普通駐車については施設利用率が大きく伸びており、これは駐車料金の上限枠を設定したため、1台当たりの駐車時間が増加したためと思われるが、利用台数も増加していることから、今後の推移を見守りたい。

マリオス立体駐車場については、利用台数の増減はマリオス入居企業と連動性が強いことから、各入居企業より情報を入手して、今後の対応に反映させたい。

盛岡駅西口地区駐車場については、施設利用率の推移から分かるとおり、平成24年度から順調に上昇傾向にあり、今後とも増加することが想定されることから、より一層の利便性向上に努めていきたい。

いずれ、総体として順調に利用増の状況にあるため、今後とも効率的で適正な管理運営を図ることとする。

II 管理事務の概況

1 評議員、役員及び職員の構成

(1) 評議員、役員

(平成27年4月1日現在)

役員名	氏名	摘要(公職)
評議員	千葉正	盛岡交通安全協会長
評議員	吉田孝人	盛岡市議会議員
評議員	佐藤誠司	盛岡商工会議所事務局長
理事長	藤島裕久	盛岡市都市整備部長
常務理事	今野孝一	盛岡市都市整備部次長
理事	高橋和夫	盛岡市議会議員
理事	阿部利幸	盛岡大通商店街協同組合事務局長
理事	藤澤和義	盛岡市財政部長
監事	藤澤由蔵	盛岡市議会議員
監事	沼田由子	盛岡市会計管理者

(2) 評議員、役員

(平成27年10月21日現在)

役員名	氏名	摘要(公職)
評議員	千葉正	盛岡交通安全協会長
評議員	田山俊悦	盛岡市議会議員
評議員	佐藤誠司	盛岡商工会議所事務局長
理事長	藤島裕久	盛岡市都市整備部長
常務理事	今野孝一	盛岡市都市整備部次長
理事	千葉伸行	盛岡市議会議員
理事	阿部利幸	盛岡大通商店街協同組合事務局長
理事	藤澤和義	盛岡市財政部長
監事	中村一	盛岡市議会議員
監事	沼田由子	盛岡市会計管理者

(3) 評議員、役員及び職員の構成

評議員、役員		職員	
区分	員数	区分	員数
評議員	3名	所長	1名
理事長	1名	場長	1名
常務理事	1名	管理主任	1名
理事	3名	管理主事	1名
監事	2名	管理技術員	4名
		管理員	14名
計	10名	計	22名

2 庶務の概況

(1) 会議

(イ) 平成26年度収支決算に係る監査の開催

- ・日時 平成27年5月8日(金) 午前10時
- ・場所 盛岡市庁舎別館 404会議室
- ・監事による監査事項

平成26年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業報告並びに財務諸表について
平成26年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支決算明細書について
平成26年度一般財団法人盛岡市駐車場公社公益目的支出計画実施報告書等の
提出について

(ロ) 第6回理事会の開催

- ・日時 平成27年5月14日(木) 午前10時
- ・場所 盛岡市庁舎別館 403会議室
- ・議事

議案第1号 平成26年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業報告及び
決算について

議案第2号 平成26年度一般財団法人盛岡市駐車場公社公益目的支出計画実施
報告書等の提出について

議案第3号 一般財団法人盛岡市駐車場公社の理事の候補者の決定に
ついて

議案第4号 一般財団法人盛岡市駐車場公社平成27年度定時評議会の
開催について

報告事項 平成27年度第1回職務執行状況報告について

(ハ) 定時評議員会

- ・日時 平成27年6月3日(水) 午前10時
- ・場所 盛岡市庁舎別館 401会議室
- ・議事

議案第1号 平成26年度一般財団法人盛岡市駐車場公社決算について

議案第2号 一般財団法人盛岡市駐車場公社の理事の選任について

報告事項

- ・平成26年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業報告について
- ・平成26年度一般財団法人盛岡市駐車場公社公益目的支出計画実施報告書等の
提出について
- ・平成27年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業計画及び収支予算について

(ニ) 第7回理事会の開催

- ・日時 平成28年3月28日(月) 午後2時
- ・場所 盛岡市庁舎別館 401会議室

・ 議事

議案第1号 平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業計画について

議案第2号 平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支予算について

報告事項

・ 平成27年度第2回職務執行状況について

・ 市営駐車場管理運営事業に係る平成27年度実績及び平成28年度予定について

(2) 事務

(イ) 公益目的支出計画における盛岡市への寄附の支出に係る事務処理

(ロ) 駐車場利用実績及び経理状況の月例報告

(ハ) 指定管理者に係る事務処理

(ニ) その他必要とされる事務処理

III 駐車場施設の管理状況

駐車場3施設に設置された諸設備の機能を確保するため、適切な維持管理及び保守点検等を実施した。

1 岩手公園地下駐車場

施設の改修では、毘沙門橋側入口天井、エレベーター部品交換、防火シャッター蓄電池交換修繕などを実施した。

2 マリオス立体駐車場

施設の改修では、平面往復1号機リフト昇降モーター冷却ファン交換、1・2号機駐車券紛失対策用カメラ交換、3・4・5号機駐車券紛失対策システム更新修繕などを実施した。

3 盛岡駅西口地区駐車場

施設の修繕等では、区画線補修、ネットフェンス修繕などを実施した。

正味財産増減計算書

(平成27年4月1日から28年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	613	599	14
指定管理料収益	98,647,200	98,733,600	△ 86,400
雑収益	475,978	312,182	163,796
雑収益	471,091	307,493	163,598
預金利息	4,887	4,689	198
経常収益計	99,123,791	99,046,381	77,410
(2) 経常費用 事業費			
給料手当	10,436,818	10,303,612	133,206
法定福利費	4,784,877	4,644,015	140,862
賃金	19,676,490	19,994,035	△ 317,545
消耗品費	966,232	1,017,779	△ 51,547
燃料費	184,989	304,137	△ 119,148
食糧費	0	0	0
印刷製本費	1,401,408	1,273,536	127,872
光熱水費	5,594,573	6,025,665	△ 431,092
修繕費	3,862,987	4,730,691	△ 867,704
被服費	226,152	210,924	15,228
通信運搬費	222,461	209,697	12,764
損害保険料	214,540	265,540	△ 51,000
手数料	390,337	428,855	△ 38,518
広告費	68,040	68,040	0
委託託費	25,198,213	25,668,013	△ 469,800
使用料	2,736,810	2,741,586	△ 4,776
負担金	10,000	10,000	0
租税公課	3,151,537	2,934,071	217,466
寄附金	380,000	310,000	70,000
雑費	0	0	0
管理費			
役員報酬	120,000	130,000	△ 10,000
給料手当	11,950,364	11,591,554	358,810
法定福利費	1,840,255	1,719,641	120,614
退職金共済費	504,000	502,000	2,000
旅費交通費	59,380	51,440	7,940
消耗品費	72,727	76,606	△ 3,879
食糧費	2,280	2,435	△ 155
光熱水費	705,621	759,994	△ 54,373
通信運搬費	118,218	111,430	6,788
手数料	50,226	55,180	△ 4,954
使用料	199,683	200,031	△ 348
負担金	206,168	152,168	54,000
租税公課	1,088,163	1,131,229	△ 43,066
雑費	0	0	0
経常費用計	96,423,549	97,623,904	△ 1,200,355
当期経常増減額	2,700,242	1,422,477	1,277,765

正味財産増減計算書
(平成27年4月1日から28年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	2,700,242	1,422,477	1,277,765
一般正味財産期首残高	7,900,335	6,477,858	1,422,477
一般正味財産期末残高	10,600,577	7,900,335	2,700,242
II 指定正味財産増減の部			
受取地方公共団体補助金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	13,600,577	10,900,335	2,700,242

正味財産増減計算書内訳表
(平成27年4月1日から28年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	実施事業等 会計	その他 会計	法人 会計	内部取消 消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益			613		613
指定管理料収益		80,748,200	17,899,000		98,647,200
雑収益		475,978			475,978
雑収益		471,091			471,091
預金利息		4,887			4,887
経常収益計	0	81,224,178	17,899,613		99,123,791
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当		10,436,818			10,436,818
法定福利費		4,784,877			4,784,877
賃借金		19,676,490			19,676,490
消耗品費		966,232			966,232
燃料費		184,989			184,989
食糧費		0			0
印刷製本費		1,401,408			1,401,408
光熱水費		5,594,573			5,594,573
修繕費		3,862,987			3,862,987
被服費		226,152			226,152
通信運搬費		222,461			222,461
損害保険料		214,540			214,540
手数料		390,337			390,337
広告料		68,040			68,040
委託費		25,198,213			25,198,213
使用料金		2,736,810			2,736,810
負担金		10,000			10,000
租税公課		3,151,537			3,151,537
寄附金	380,000	0			380,000
雑費		0			0
管理費					
役員報酬			120,000		120,000
給料手当			11,950,364		11,950,364
法定福利費			1,840,255		1,840,255
退職金			504,000		504,000
交通費			59,380		59,380
消耗品費			72,727		72,727
食糧費			2,280		2,280
光熱水費			705,621		705,621
通信運搬費			118,218		118,218
手数料			50,226		50,226
使用料金			199,683		199,683
負担金			206,168		206,168
租税公課			1,088,163		1,088,163
雑費			0		0
経常費用計	380,000	79,126,464	16,917,085		96,423,549
当期経常増減額	△ 380,000	2,097,714	982,528		2,700,242
他会計振替額	380,000	602,000	△ 982,000		0

正味財産増減計算書内訳表
 (平成27年4月1日から28年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	実施事業等 会計	その他 会計	法人 会計	内部取消 消去	合計
2. 経常外増減の部					
当期一般正味財産増減額	0	2,699,714	528		2,700,242
一般正味財産期首残高	0	4,377,684	3,522,651		7,900,335
一般正味財産期末残高	0	7,077,398	3,523,179		10,600,577
II 指定正味財産増減の部					
受取地方公共団体補助金			0		0
当期指定正味財産増減額			0		0
指定正味財産期首残高			3,000,000		3,000,000
指定正味財産期末残高			3,000,000		3,000,000
III 正味財産期末残高	0	7,077,398	6,523,179		13,600,577

貸借対照表
平成28年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,099,383	16,321,536	1,777,847
流動資産合計	18,099,383	16,321,536	1,777,847
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	21,099,383	19,321,536	1,777,847
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,042,994	8,034,971	△ 991,977
預り金	455,812	386,230	69,582
流動負債合計	7,498,806	8,421,201	△ 922,395
負債合計	7,498,806	8,421,201	△ 922,395
III 正味財産			
1. 指定正味財産			
盛岡市出資金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産	10,600,577	7,900,335	2,700,242
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	13,600,577	10,900,335	2,700,242
負債及び正味財産合計	21,099,383	19,321,536	1,777,847

貸借対照表内訳表
平成28年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	実施事業等 会計	その他 会計	法人 会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	13,544,084	4,555,299		18,099,383
流動資産合計	0	13,544,084	4,555,299	0	18,099,383
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	0	0	3,000,000		3,000,000
基本財産合計	0	0	3,000,000	0	3,000,000
固定資産合計	0	0	3,000,000	0	3,000,000
資産合計	0	13,544,084	7,555,299	0	21,099,383
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	0	6,216,558	826,436		7,042,994
預り金	0	250,128	205,684		455,812
流動負債合計	0	6,466,686	1,032,120	0	7,498,806
負債合計	0	6,466,686	1,032,120	0	7,498,806
III 正味財産					
1. 指定正味財産					
盛岡市出資金	0	0	3,000,000	0	3,000,000
指定正味財産合計	0	0	3,000,000		
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		
2. 一般正味財産	0	7,077,398	3,523,179	0	10,600,577
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		
正味財産合計	0	7,077,398	6,523,179		13,600,577
負債及び正味財産合計	0	13,544,084	7,555,299	0	21,099,383

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

・退職給付制度については、平成18年度から中小企業退職金共済制度を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
市出捐金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
市出捐金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	-
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	-
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)

4. その他

財務諸表の貸借対照表について

貸借対照表について、資産の部及び負債の部に係る明細は、次のとおりである。

4-1 貸借対照表明細書(資産の部)

(平成28年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	内訳	備考
(資産) 現金	1,980,468	1,638,900 341,568	その他会計 法人会計
(資産) 預金	16,118,915	15,419,286 672,291 27,338	普通預金 岩手銀行本店 普通預金 岩手銀行本店 普通預金 東北銀行本店
	3,000,000	2,000,000 1,000,000	定期預金 岩手銀行本店(基本財産) 定期預金 東北銀行本店(基本財産)
資産合計	21,099,383		

4-2 貸借対照表明細(負債・正味財産の部)

(平成28年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	内訳	備考
(負債) 未払金	7,042,994	1,510,701 11,999 247,959 2,138,000 3,134,335	3月分賃金・諸手当 3月分電話料金 社会保険料 消費税及び地方消費税(後期納付額) 保守点検委託料ほか
(負債) 預り金	455,812	272,072 23,640 160,100	職員負担分社会保険料 " 源泉所得税 " 住民税
負債合計	7,498,806		
指定正味財産 期末残高	3,000,000	3,000,000	盛岡市出捐金(基本財産)
一般正味財産 期末残高	10,600,577	10,600,577	
正味財産合計	13,600,577		
合計	21,099,383		

3 平成28年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業計画

平成28年度における事業運営は、指定管理者として岩手公園地下駐車場、マリオス立体駐車場及び盛岡駅西口地区駐車場の管理運営を行うものとし、実施にあたっては、指定管理者として協定書に定められた事項を遵守し、盛岡市の所掌部署と緊密な連携を図りながら、次のことを重点に事業を推進する。

記

- 1 駐車需要の向上を図るために円滑、安全かつ快適な駐車場運営を目標に、利用者に対するサービスに努める。
- 2 駐車場施設の適正な管理を図り、場内における事故防止に万全を期する。
- 3 指定管理者として、駐車場施設の効率的な運営を図り、運営管理費の適正な執行に資するため、体質改善や経費削減に努める。
- 4 一般財団法人として、盛岡市に対する特定寄附により、公益目的支出計画を実行する。

第1表

平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支予算書
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	1,000	1,000
基本財産受取利息			1,000	1,000
事業収益	0	80,666,000	17,899,000	98,565,000
指定管理料収益		80,666,000	17,899,000	98,565,000
雑収益	0	301,000	0	301,000
預金利息		1,000	0	1,000
雑収益		300,000	0	300,000
経常収益計	0	80,967,000	17,900,000	98,867,000
(2) 経常費用				
事業費	300,000	80,667,000		80,967,000
給料手当		10,430,000		10,430,000
法定福利費		4,946,000		4,946,000
賃金		20,262,000		20,262,000
消耗品費		921,000		921,000
燃料費		355,000		355,000
食糧費		1,000		1,000
印刷製本費		1,797,000		1,797,000
光熱水費		5,933,000		5,933,000
修繕費		3,846,000		3,846,000
被服費		232,000		232,000
通信運搬費		207,000		207,000
損害保険料		326,000		326,000
手数料料		395,000		395,000
広告費		69,000		69,000
委託費		25,601,000		25,601,000
使用料金		2,232,000		2,232,000
負担金		10,000		10,000
租税公課		3,103,000		3,103,000
寄付金	300,000	0		300,000
雑費		1,000		1,000
				0
管理費			17,900,000	17,900,000
役員報酬			190,000	190,000
給料手当			12,615,000	12,615,000
法定福利費			2,033,000	2,033,000
退職金共済費			720,000	720,000
旅費交通費			37,000	37,000
消耗品費			64,000	64,000
食糧費			4,000	4,000
光熱水費			745,000	745,000
通信運搬費			110,000	110,000
手数料料			51,000	51,000
使用料金			192,000	192,000
負担金			150,000	150,000
租税公課			988,000	988,000
雑費			1,000	1,000
経常費用計	300,000	80,667,000	17,900,000	98,867,000

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合計
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 300,000	300,000	0	0
基本財産評価損益等				0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 300,000	300,000	0	0
2. 経常外増減の部				0
(1) 経常外収益				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	300,000	△ 300,000	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高		4,377,684	3,522,651	7,900,335
一般正味財産期末残高	0	4,377,684	3,522,651	7,900,335
II 指定正味財産増減の部				0
基本財産受取利息			1,000	1,000
一般正味財産への振替額			△ 1,000	△ 1,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			3,000,000	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	3,000,000	3,000,000
III 正味財産期末残高	0	4,377,684	6,522,651	10,900,335

平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支予算書事業別明細書

実施事業等会計

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
事業収益	0	0	0	
指定管理料収益	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
預金利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	0	0	0	
(2) 経常費用				
事業費	300,000	300,000	0	
給料手当	0	0	0	
法定福利費	0	0	0	
賃金	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
燃料費	0	0	0	
食糧費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
光熱水費	0	0	0	
修繕費	0	0	0	
被服費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
損害保険料	0	0	0	
手数料料	0	0	0	
広告費	0	0	0	
委託費	0	0	0	
使用料	0	0	0	
負担金	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
寄付金	300,000	300,000	0	・盛岡市への寄附
雑費	0	0	0	
管理費				
役員報酬				
給料手当				
法定福利費				
退職金共済費				
旅費交通費				
消耗品費				
食糧費				
光熱水費				
通信運搬費				
手数料料				
使用料				
負担金				
租税公課				
雑費				
経常費用計	300,000	300,000	0	

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 300,000	△ 300,000	0	
基本財産評価損益等				
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 300,000	△ 300,000	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	300,000	300,000	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高			0	
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息				
一般正味財産への振替額				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	0	0	0	

平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支予算書事業別明細書

その他会計

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
事業収益	80,666,000	80,748,000	△ 82,000	自動精算機賃貸借契約の
指定管理料収益	80,666,000	80,748,000	△ 82,000	盛岡市への切り替えのため
雑収益	301,000	301,000	0	
預金利息	1,000	1,000	0	
雑収益	300,000	300,000	0	自動販売機売上手数料
経常収益計	80,967,000	81,049,000	△ 82,000	
(2) 経常費用				
事業費	80,667,000	80,749,000	△ 82,000	
給料手当	10,430,000	10,430,000	0	嘱託職員報酬等
法定福利費	4,946,000	4,946,000	0	社会保険料等
賃金	20,262,000	20,262,000	0	臨時職員賃金
消耗品費	921,000	851,000	70,000	事務用品等
燃料費	355,000	355,000	0	灯油代
食糧費	1,000	1,000	0	来客用茶代
印刷製本費	1,797,000	1,537,000	260,000	磁気駐車券等
光熱水費	5,933,000	5,933,000	0	電気・水道料金
修繕費	3,846,000	3,846,000	0	電気設備等修繕料
被服費	232,000	232,000	0	作業服等
通信運搬費	207,000	207,000	0	電話、郵便料
損害保険料	326,000	326,000	0	損害保険料
手数料料	395,000	395,000	0	健康診断・送金手数料等
広告費	69,000	69,000	0	新聞広告料
委託費	25,601,000	25,601,000	0	消防設備保守点検等
使用料	2,232,000	2,644,000	△ 412,000	自動精算機使用料等
負担金	10,000	10,000	0	イベント協賛金
租税公課	3,103,000	3,103,000	0	消費税及び地方消費税
寄付金	0	0	0	
雑費	1,000	1,000	0	
管理費				
役員報酬				
給料手当				
法定福利費				
退職金共済費				
旅費交通費				
消耗品費				
食糧費				
光熱水費				
通信運搬費				
手数料料				
使用料				
負担金				
租税公課				
雑費				
経常費用計	80,667,000	80,749,000	△ 82,000	

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
評価損益等調整前当期経常増減額	300,000	300,000	0	
基本財産評価損益等				
評価損益等計	0		0	
当期経常増減額	300,000	300,000	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	△ 300,000	△ 300,000	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	4,377,684	2,956,098	1,421,586	
一般正味財産期末残高	4,377,684	2,956,098	1,421,586	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息				
一般正味財産への振替額				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	4,377,684	2,956,098	1,421,586	

平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支予算書事業別明細書

法人会計

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,000	1,000	0	
基本財産受取利息	1,000	1,000	0	
事業収益	17,899,000	17,899,000	0	
指定管理料収益	17,899,000	17,899,000	0	
雑収益	0	0	0	
預金利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	17,900,000	17,900,000	0	
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当				
法定福利費				
賃金				
消耗品費				
燃料費				
食糧費				
印刷製本費				
光熱水費				
修繕費				
被服費				
通信運搬費				
損害保険料				
手数料料				
広告費				
委託費				
使用料				
負担金				
租税公課				
寄付金				
雑費				
管理費	17,900,000	17,900,000	0	
役員報酬	190,000	190,000	0	評議員、理事、監事
給料手当	12,615,000	12,615,000	0	職員給与、諸手当等
法定福利費	2,033,000	2,033,000	0	社会保険料等
退職金共済費	720,000	720,000	0	中退共掛金
旅費交通費	37,000	37,000	0	研修旅費
消耗品費	64,000	64,000	0	事務用品等
食糧費	4,000	4,000	0	会議用茶代
光熱水費	745,000	745,000	0	電気、ガス、水道料金
通信運搬費	110,000	110,000	0	電話、郵便料
手数料	51,000	51,000	0	健康診断、送金手数料
使用料	192,000	192,000	0	複写機借上料等
負担金	150,000	150,000	0	商工会議所会費等
租税公課	988,000	988,000	0	消費税及び地方消費税
雑費	1,000	1,000	0	
経常費用計	17,900,000	17,900,000	0	

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
基本財産評価損益等				
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	3,522,651	3,521,760	891	
一般正味財産期末残高	3,522,651	3,521,760	891	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	1,000	1,000	0	
一般正味財産への振替額	△ 1,000	△ 1,000	0	
当期指定正味財産増減額	0			
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	6,522,651	6,521,760	891	

公益財団法人 盛岡市動物公園公社

1 総括事項

(1) 名称 公益財団法人 盛岡市動物公園公社

(2) 設立年月日 昭和63年3月29日

(3) 資本金又は基本財産 金 30,000,000円

(4) 市の出資額 金 30,000,000円

(5) 役員の名

理事長	船	水	義	一
専務理事	川	端	順	二
理事	官	田		晃
理事	小	原	俊	彦
理事	坂	本		洋
理事	逢	坂	ひ	ろみ
監事	伊	藤	俊	光
監事	沼	田	由	子
評議員	佐	藤	れ	え子
評議員	佐	藤	康	子
評議員	赤	井	幸	二

(平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

当公社は、盛岡市動物公園の管理、動植物等に関する調査研究及び知識の普及等を行うことにより自然に対する認識を深め、情操を育み、もって住民の福祉の増進に寄与するため設立されたもので、平成24年4月1日に公益財団法人に移行し、定款第4条により、次の事業を行っております。

(ア) 盛岡市動物公園の管理運営

(イ) 動植物等の調査研究

(ウ) 動植物等に関する知識の普及並びに催物等の企画及び実施

(エ) その他前条の目的を達成するために必要な事業

(オ) 盛岡市動物公園における物品及び飲食物販売事業

(カ) 盛岡市動物公園におけるベビーカー貸出事業及び荷物預かり事業

(キ) その他盛岡市動物公園に関連する収益事業

2 平成27年度事業実績及び決算の状況

(1) 事業実績

ア. 事業概要

平成27年度の事業計画に基づき、動物公園が家族ぐるみのレクリエーションの場として市民の利用を図り、動物の展示や各種催物などにより動物に親しんでもらうとともに、教育知識の普及、動物に関する調査研究を行った。また、関係機関と連携のもと野生生物保全に関する各種事業を実施した。

事業においては、昨年度末に繁殖したキリンの子に対し、母親が授乳しようとしなかったため、成長に懸念が持たれたものの、人工哺乳に切り替えるなどして手を尽くした結果、無事に離乳を終え、現在もすくすく育っている。また、収益事業も好調で、黒字が見込まれたことから、更なる事業の発展を図るため、これを財源として、アルパカメス1頭を購入し、春季開園に合わせて公開し、好評を得た。

普及研究・催物の事業については、ここ数年進めてきた動物とのふれあいや体験型の催し物をさらに充実させ、来園者と飼育係が積極的にコミュニケーションを図るよう取り組み、好評をいただいている。

平成27年度の実績シーズンは、春のゴールデンウィークに加え秋のシルバーウィークもあり、それぞれ概ね好天に恵まれて多くの来園者を迎えることができた。また、県内外の当園利用度の少ない地域に営業をかけるなどした結果、当該エリアの団体利用が活発だった。さらに、ツイッターなどのSNSに力を入れ、情報発信に努めたところ、全国的に注目を集めた。その結果、来園者総数は180,262人と前年度の169,876人から10,386人、率にして6.11%上回ることとなった。動物公園使用料では、前年度比5.57%の増収となった。

イ. 経営計画（第2次中期計画）の達成状況

経営計画における、入園者数と教育普及・研究事業等参加者数の目標数値に対する達成状況は、次のとおりである。

区分	目標値	達成値	達成率
入園者数	171,000人	180,262人	105.4%
催事等参加者数	136,800人	215,340人	157.4%

ウ. 事業内容

A. 飼育展示事業

当動物公園の基本事業であり、実物の動物を見せることにより、その実存を再認識させるとともに、それらを用いた知識の普及や情報の提供を行った。

- a. 動物の健全な飼育管理の維持 (別紙「平成27年度事業報告別冊資料」1及び2のとおり)
- b. 計画的な繁殖による、動物の補充 (別紙「平成27年度事業報告別冊資料」1及び2のとおり)
- c. 自然に近い状態の生態展示
日常業務において、動物展示場内に自然木を入れて行動を促す、日陰となる遮蔽物を設置するなどの工夫を行っている。
- d. 研究活動に供する動物や、自然保護活動の一環として保護収容された野生動物の飼育管理 (別紙「平成27年度事業報告別冊資料」1及び2のとおり)
- e. 極めて稀少な日本産の野生動物の生息域外保全 (ツシマヤマネコの飼育・展示・普及啓蒙活動)
- f. 来園者に快適な視覚環境を提供するための施設・設備の維持管理

一般的な維持管理のほか、坂道シャトルカーを平成20年4月から9人乗り大型ワゴン車により運行し、主に高齢者や体の不自由な方々を対象にサービスを行っている。平成27年度利用者数は24,432人、入園者の13.55%が利用している。また5月・9月の大型連休時には不足する来園者の駐車スペースを補うため、盛岡競馬場駐車場を借り上げ、当園との間にシャトルバスを運行し、来園者の便宜を図っている。平成27年度は5月に8,083名、9月に2,644名、併せて10,727名を運んでいる。

B. 催し物等事業

明るく楽しい、魅力あふれる動物公園であるよう、自然や動物にちなんだ様々な催し物を企画し実施した。

- a. 家族で楽しめ、動物に親しみや関心をもってもらうことを目的に、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした「動物公園まつり」、「さくらまつり」、「動物クイズ」などの事業を実施した。
- b. 動物とのふれあいの充実を図ることを目的に、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした「ウサギをだっこ」「ポニー乗馬」「各種餌やり・ふれあい体験」などの事業を実施した。
- c. 自然を素材に遊ぶ機会を提供するため、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした、各種昆虫・植物採集及び観察などの事業を実施した。

C. 教育普及事業

動物や自然に関する知識の普及と適切な情報提供により、「自然科学に対する興味喚起」と「自然環境に関する問題意識の啓発」を目的とするもので、その独創性や発展性を追求し事業を展開した。

- a. 主に幼稚園、保育園及び小中学校を対象とした「ふれあい教室」「修学旅行向けガイド」などの体験学習を実施した。

- b. 学校教育との連携として、「飼育・獣医実習生の受け入れ」、「サマースクール1日飼育係」を実施した。
- c. 動物公園愛好者を対象に、より深く動物や動物公園の知識を深め活動に参加してもらう「動物公園友の会」を運営した。
- d. 動物や自然に関する知識を普及するための「昆虫採集クラブ」を運営した。

D. 調査・研究事業

飼育展示及び教育普及事業の資質向上と自然保護活動の一端を担うことを目的として、飼育展示動物等に関する研究、各種研究会等への参加、各種情報の調査・収集を行った。

- a. データの収集整理を行うとともに園内研究会を開催し、優れたものについて全国の研究会や学会誌等に発表
 - ・日本動物園水族館協会第25回ゾウ会議において、「メスゾウの移動について」「アフリカゾウの繁殖への取り組み」を発表した。
- b. 全国の関係機関で開催する研究会・研修会等に参加し行う情報の収集及び情報交換
 - ・日本動物園水族館協会第3回北海道関東東北ブロック合同動物園技術者研究会 他7件
- c. 研究活動を補助するための図書・学会誌・文献等の収集
 - ・「獣医畜産新報」誌 他11件

E. 野生生物保全関連事業

地域貢献を目的とした「地域社会と自然環境保全」に関わる活動として、実施主体である関係機関からの依頼に協力するとともに、市民への情報提供を行った。

- a. 県や盛岡市などの行政機関、大学等の研究機関、一般市民からの要請を受け各種講座への講師派遣並びに実習等の受入れ
 - ・獣医学課程基礎ゼミナールの受入れ（岩手大学農学部）他3業務
- b. 特別天然記念物カモシカの保護収容事業への協力
 - ・特別天然記念物カモシカ保護収容及び各種調査業務（盛岡市教育委員会歴史文化課）他2業務
- c. 天然記念物イヌワシの保全事業への協力
 - ・天然記念物イヌワシ保護収容及び各種調査業務（盛岡市教育委員会歴史文化課）
- d. ツキノワグマの有害獣対策及び保全事業への協力
 - ・有害獣（ツキノワグマ）対策業務（盛岡市農政課）他2業務
- e. 幼傷病野生鳥獣応急治療事業への協力

・幼傷病野生鳥獣応急治療業務（岩手県自然保護課）他 4 業務

f. ツキノワグマ保護管理対策及び調査事業への協力

・ツキノワグマ保護管理事業（岩手県自然保護課）他 2 業務

g. カモシカの保護管理対策及び調査事業への協力

・天然記念物カモシカ等保護収容及び各種調査業務（盛岡市教育委員会歴史文化課）他 2 業務

F. 収益事業

動物公園が広くレクリエーションの場として利用され、また、快適さ、便利さを提供するため入園者に対するサービスとして次の業務を行った。売店については、職員の手作りオリジナルグッズの販売を始め、何度かマスメディアに取り上げられた。また、食堂では好評な週替わりメニューを継続している。

引き続きパスポート入園券所有者に加え、レンタカー利用者に対する割引サービスを実施し、リピーターと併せ観光客の誘致も図っている。

平成27年度は春・秋の大型連休とも好調で、客単価も高めに推移し、300万円以上の経常利益が見込まれたことから、入園者増加策としてアルパカメス1頭を購入、その展示施設を整備して、併せて盛岡市へ寄附した。

（別紙「平成27年度事業報告別冊資料」7のとおり）

a. 売店の経営（動物資料館前、アフリカ園レストハウスの2カ所）

b. レストハウスの運営（アフリカ園前、ピクトリアコーナーの2カ所）

c. 自動販売機の設置（24台）

d. 有料ベビーカーの貸し出し

e. 有料コインロッカーの管理（1カ所）

G. その他

盛岡市における「動物公園再生活性化事業」の事業化に向け、次のとおり協力した。

・調査事業における各種資料等の提供

・市・岩手県立大学との「市民ワークショップ」共催

エ. 会議の開催

次の会議を開催した。

・11月10日～11日 日本動物園水族館協会第25回ゾウ会議

オ. 関係機関への協力

大学による生命科学に関する次の調査研究について協力した。

調査研究機関	調査研究テーマ	調査研究内容	備考
岩手大学 農学部動物科学課程	飼育下野生動物エンリッチメントのための行動調査への協力	飼育動物の行動調査を行い、飼育環境の質向上の手法について研究するための、対象動物と場所等を提供する。(ツキノワグマ、アフリカゾウ、ほか)	H15年度から継続
北里大学 獣医学部	野生動物の舌の比較形態学的研究への協力	同研究のため死亡動物の舌などの分析用試料を提供する。	H19年度から継続
岐阜大学 応用生物科学部	ゾウの糞中の性ステロイドホルモン代謝物含量の動態と排泄後の経時的変化に関する研究への協力	アフリカゾウの血液並びに糞中性ステロイドホルモン動態を調査するためのサンプルを提供した。	H19年度から継続
岩手大学 農学部動物科学課程	ニホンイヌワシの始原生殖細胞に関する研究への協力	希少種の遺伝資源保存への当該技術の応用を目的とし、繁殖に供することのない受精卵を提供した。	H27年度
慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科	ハチクマにおけるハチ防除に係る生態・行動学的研究への協力	ハチの攻撃を抑えると言われる特殊な羽毛の形態学的・分子生物学的解析に供する分析用試料を提供した。	H27年度

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	213,721	360,006	△ 146,285
基本財産受取配当金	0	0	0
特定資産運用益			
退職給付引当資産受取利息	1,865	179	1,686
事業収益			
指定管理料収益	263,711,427	264,975,428	△ 1,264,001
受託収益	658,800	444,555	214,245
物品販売収益	26,651,352	21,788,408	4,862,944
食堂売上収益	14,363,767	13,439,002	924,765
荷物預かり事業収益	18,100	17,800	300
ベビーカー貸出収益	437,400	375,000	62,400
自販機手数料収益	2,409,478	2,197,173	212,305
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	22,993,082	20,823,000	2,170,082
受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
雑収益			
受取利息	42,056	8,893	33,163
雑収益	160,521	163,522	△ 3,001
経常収益計	331,661,569	324,592,966	7,068,603

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
(2) 経常費用			
事業費	291,292,213	285,723,148	5,569,065
給料手当	122,120,066	122,192,166	△ 72,100
賃金	16,218,143	16,392,598	△ 174,455
退職給付費用(通常分)	1,449,744	434,500	1,015,244
退職給付費用(過年度分)	8,931,082	8,931,082	0
退職金共済費	5,232,000	5,088,240	143,760
法定福利費	20,829,102	20,385,353	443,749
福利厚生費	298,876	293,078	5,798
旅費交通費	463,900	997,360	△ 533,460
通信運搬費	527,665	568,610	△ 40,945
リース資産減価償却費	930,528	930,528	0
減価償却費	38,443	48,053	△ 9,610
消耗什器備品費	5,250,415	4,187,065	1,063,350
修繕費	402,865	951,580	△ 548,715
燃料費	3,493,257	5,162,760	△ 1,669,503
食糧費	0	77,712	△ 77,712
印刷製本費	1,141,360	1,591,650	△ 450,290
光熱水料費	14,407,214	14,822,970	△ 415,756
自動車関係	2,030,929	2,897,592	△ 866,663
被服費	270,043	241,962	28,081
原材料費	321,609	424,023	△ 102,414
医薬材料費	1,435,869	1,022,638	413,231
動物飼料費	21,254,667	20,741,448	513,219
図書購入費	74,476	92,167	△ 17,691
諸謝金	20,000	20,000	0
研究調査費	4,532	0	4,532
手数料	998,039	966,899	31,140
保険料	145,852	142,313	3,539
広告料	400,680	384,480	16,200
委託費	19,643,747	19,866,122	△ 222,375
使用料	355,901	353,284	2,617

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
賃貸料	218,258	221,899	△ 3,641
支払負担金	111,460	414,000	△ 302,540
交通対策費	5,554,604	2,241,315	3,313,289
商品仕入高	16,291,643	14,057,889	2,233,754
材料仕入高	5,233,697	4,633,286	600,411
期末棚卸高	0	△ 462,760	462,760
期首棚卸高	462,760	114,960	347,800
租税公課	14,728,787	14,294,326	434,461
雑費	0	0	0
管理費	21,169,853	21,097,061	72,792
役員報酬	3,870,160	3,652,466	217,694
給料手当	9,309,971	9,507,467	△ 197,496
退職給付費用(通常分)	0	0	0
退職給付費用(過年度分)	1,014,772	1,014,772	0
退職金共済費	360,000	360,000	0
法定福利費	2,057,173	1,990,227	66,946
福利厚生費	30,537	30,427	110
会議費	2,100	3,300	△ 1,200
旅費交通費	82,080	0	82,080
通信運搬費	12,730	13,556	△ 826
消耗什器備品費	9,917	3,780	6,137
燃料費	162,000	284,580	△ 122,580
光熱水料費	1,448,262	1,505,679	△ 57,417
自動車関係	51,184	58,543	△ 7,359
賃借料	307,140	309,331	△ 2,191
手数料	65,563	79,745	△ 14,182
保険料	2,768	2,587	181
委託費	1,744,273	1,890,659	△ 146,386
使用料	10,510	10,768	△ 258
支払負担金	255,000	0	255,000
租税公課	373,713	379,174	△ 5,461
			0
経常費用計	312,462,066	306,820,209	5,641,857

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
評価損益等調整前当期経常増減額	19,199,503	17,772,757	1,426,746
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	19,199,503	17,772,757	1,426,746
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入益	276,088	983,332	△ 707,244
退職給付引当金戻入益	276,088	983,332	△ 707,244
経常外収益計	276,088	983,332	△ 707,244
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	276,088	983,332	△ 707,244
他会計振替額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	19,475,591	18,756,089	719,502
法人税、住民税及び事業税	261,400	112,700	148,700
当期一般正味財産増減額	19,214,191	18,643,389	570,802
一般正味財産期首残高	9,284,978	△ 9,358,411	18,643,389
一般正味財産期末残高	28,499,169	9,284,978	19,214,191
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産受取利息	213,721	360,006	△ 146,285
一般正味財産への振替額	△ 213,721	△ 360,006	146,285
受取補助金等	213,721	360,006	△ 146,285
基本財産受取利息(指)	213,721	360,006	△ 146,285
基本財産受取配当金(指)	0	0	0
一般正味財産への振替額	213,721	360,006	△ 146,285
一般正味財産への振替額	213,721	360,006	△ 146,285
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	58,499,169	39,284,978	19,214,191

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	213,721	0	0		213,721
基本財産受取利息	213,721				213,721
基本財産受取配当金					0
特定資産運用益	1,708	8	149		1,865
退職給付引当資産受取利息	1,708	8	149		1,865
事業収益	255,394,106	43,880,097	8,976,121		308,250,324
指定管理料収益	254,735,306	0	8,976,121		263,711,427
受託収益	658,800				658,800
物品販売収益		26,651,352			26,651,352
食堂売上収益		14,363,767			14,363,767
荷物預かり事業収益		18,100			18,100
ベビーカー貸出収益		437,400			437,400
自販機手数料収益		2,409,478			2,409,478
受取補助金等	11,006,418	0	11,986,664		22,993,082
受取地方公共団体補助金	11,006,418		11,986,664		22,993,082
受取寄付金	0	0	0		0
受取寄付金	0	0			0
雑収益	172,489	27,257	2,831		202,577
受取利息	37,996	1,229	2,831		42,056
雑収益	134,493	26,028	0		160,521
経常収益計	266,788,442	43,907,362	20,965,765		331,661,569

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
(2) 経常費用					
事業費	248,268,825	43,023,388			291,292,213
給料手当	118,348,661	3,771,405			122,120,066
賃金	8,208,532	8,009,611			16,218,143
退職給付費用(通常分)	1,205,140	244,604			1,449,744
退職給付費用(過年度分)	8,618,478	312,604			8,931,082
退職金共済費	5,232,000	0			5,232,000
法定福利費	19,614,943	1,214,159			20,829,102
福利厚生費	289,449	9,427			298,876
旅費交通費	425,500	38,400			463,900
通信運搬費	527,665	0			527,665
リース資産減価償却費	930,528	0			930,528
減価償却費	38,443	0			38,443
消耗什器備品費	2,042,066	3,208,349			5,250,415
修繕費	360,313	42,552			402,865
燃料費	3,493,257	0			3,493,257
食糧費	0	0			0
印刷製本費	1,141,360	0			1,141,360
光熱水料費	11,727,428	2,679,786			14,407,214
自動車関係	1,992,736	38,193			2,030,929
被服費	270,043	0			270,043
原材料費	321,609	0			321,609
医薬材料費	1,435,869	0			1,435,869
動物飼料費	21,254,667	0			21,254,667
図書購入費	74,476	0			74,476
諸謝金	20,000	0			20,000
研究調査費	4,532	0			4,532
手数料	815,679	182,360			998,039
保険料	145,852	0			145,852
広告料	400,680	0			400,680

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
委託費	19,643,747	0			19,643,747
使用料	331,761	24,140			355,901
賃貸料	185,750	32,508			218,258
支払負担金	61,460	50,000			111,460
交通対策費	5,554,604	0			5,554,604
商品仕入高	0	16,291,643			16,291,643
材料仕入高	0	5,233,697			5,233,697
期末棚卸高	0	0			0
期首棚卸高		462,760			462,760
租税公課	13,551,597	1,177,190			14,728,787
雑費	0	0			0
管理費			21,169,853		21,169,853
役員報酬			3,870,160		3,870,160
給料手当			9,309,971		9,309,971
退職給付費用(通常分)			0		0
退職給付費用(過年度分)			1,014,772		1,014,772
退職金共済費			360,000		360,000
法定福利費			2,057,173		2,057,173
福利厚生費			30,537		30,537
会議費			2,100		2,100
旅費交通費			82,080		82,080
通信運搬費			12,730		12,730
消耗什器備品費			9,917		9,917
燃料費			162,000		162,000
光熱水料費			1,448,262		1,448,262
自動車関係			51,184		51,184
賃借料			307,140		307,140
手数料			65,563		65,563
保険料			2,768		2,768
委託費			1,744,273		1,744,273

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
支払負担金			255,000		255,000
使用料			10,510		10,510
租税公課			373,713		373,713
					0
経常費用計	248,268,825	43,023,388	21,169,853		312,462,066
評価損益等調整前当期経常増減額	18,519,617	883,974	△ 204,088		19,199,503
評価損益等計	0	0	0		0
当期経常増減額	18,519,617	883,974	△ 204,088		19,199,503

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
退職給付引当金戻入益	0	0	276,088		276,088
退職給付引当金戻入益	0	0	276,088		276,088
経常外収益計	0	0	276,088		276,088
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	276,088		276,088
他会計振替額	441,987	△ 441,987	0		0
他会計振替額	441,987	△ 441,987			0
税引前当期一般正味財産増減額	18,961,604	441,987	72,000		19,475,591
法人税、住民税及び事業税	0	189,400	72,000		261,400
当期一般正味財産増減額	18,961,604	- 252,587	0		19,214,191
一般正味財産期首残高	7,871,698	1,183,280	230,000		9,284,978
一般正味財産期末残高	26,833,302	1,435,867	230,000		28,499,169
II 指定正味財産増減の部					
基本財産受取利息	213,721				213,721
一般正味財産への振替額	△ 213,721				△ 213,721
受取補助金等	213,721				213,721
基本財産受取利息(指)	213,721				213,721
基本財産受取配当金(指)	0				0
一般正味財産への振替額	213,721				213,721
一般正味財産への振替額	213,721				213,721
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	30,000,000				30,000,000
指定正味財産期末残高	30,000,000	0	0		30,000,000
III 正味財産期末残高	56,833,302	1,435,867	230,000		58,499,169

(2) 決算の状況

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,345,238	32,453,878	△23,108,640
現金手元有高	1,136,827	1,250,037	△113,210
普通預金	8,208,411	21,203,841	△12,995,430
定期預金	0	10,000,000	△10,000,000
未収金	464,400	338,040	126,360
売掛金	100,858	87,311	13,547
棚卸資産	0	462,760	△462,760
流動資産合計	9,910,496	33,341,989	△23,431,493
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,000,000	29,970,000	30,000
普通預金	0	30,000	△30,000
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当預金普通預金	35,984,770	10,572,863	25,411,907
特定費用準備資金	31,564,737	10,341,000	21,223,737
役職員給与等準備資金	10,341,000	10,341,000	0
退職給付引当準備資金	21,223,737	0	21,223,737
特定資産合計	67,549,507	20,913,863	46,635,644
(3) その他固定資産			
什器備品	153,772	192,215	△38,443
リース資産	2,791,584	3,722,112	△930,528
その他固定資産合計	2,945,356	3,914,327	△968,971
固定資産合計	100,494,863	54,828,190	45,666,673
資産の部合計	110,405,359	88,170,179	22,235,180

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,507,132	16,604,152	△7,097,020
預り金	2,094,063	2,066,104	27,959
買掛金	1,528,641	1,627,573	△98,932
流動負債合計	13,129,836	20,297,829	△7,167,993
2. 固定負債			
長期未払金	2,791,584	3,722,112	△930,528
退職給付引当金	35,984,770	24,865,260	11,119,510
固定負債合計	38,776,354	28,587,372	10,188,982
負債の部合計	51,906,190	48,885,201	3,020,989
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	28,499,169	9,284,978	19,214,191
一般正味財産合計	28,499,169	9,284,978	19,214,191
(うち特定資産への充当額)	(31,564,737)	(10,341,000)	(21,223,737)
正味財産の部合計	58,499,169	39,284,978	19,214,191
負債及び正味財産合計	110,405,359	88,170,179	22,235,180

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

貸借対照表内訳表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	2,772,654	4,097,828	2,474,756		9,345,238
現金手元有高	660,000	476,827			1,136,827
普通預金	2,112,654	3,621,001	2,474,756		8,208,411
定期預金					0
未収金	906,387			△441,987	464,400
売掛金		100,858			100,858
棚卸資産					0
流動資産合計	3,679,041	4,198,686	2,474,756	△441,987	9,910,496
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	30,000,000				30,000,000
普通預金					0
基本財産合計	30,000,000	0	0	0	30,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当預金普通預金	32,575,549	602,227	2,806,994		35,984,770
特定費用準備資金	31,334,737	0	230,000		31,564,737
役職員給与等準備資金	10,111,000		230,000		10,341,000
退職給付引当準備資金	21,223,737				21,223,737
特定資産合計	63,910,286	602,227	3,036,994	0	67,549,507
(3) その他固定資産					
什器備品	153,772				153,772
リース資産	2,791,584				2,791,584
その他固定資産合計	2,945,356	0	0	0	2,945,356
固定資産合計	96,855,642	602,227	3,036,994	0	100,494,863
資産の部合計	100,534,683	4,800,913	5,511,750	△441,987	110,405,359

平成27年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

貸借対照表内訳表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	8,334,248	1,234,178	380,693	△441,987	9,507,132
預り金			2,094,063		2,094,063
買掛金		1,528,641			1,528,641
流動負債合計	8,334,248	2,762,819	2,474,756	△441,987	13,129,836
2. 固定負債					
長期未払金	2,791,584				2,791,584
退職給付引当金	32,575,549	602,227	2,806,994		35,984,770
固定負債合計	35,367,133	602,227	2,806,994	0	38,776,354
負債の部合計	43,701,381	3,365,046	5,281,750	△441,987	51,906,190
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	30,000,000				30,000,000
指定正味財産合計	30,000,000	0	0	0	30,000,000
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)				(30,000,000)
2. 一般正味財産	26,833,302	1,435,867	230,000	0	28,499,169
一般正味財産合計	26,833,302	1,435,867	230,000	0	28,499,169
(うち特定資産への充当額)	(31,334,737)	(0)	(230,000)		(31,564,737)
正味財産の部合計	56,833,302	1,435,867	230,000	0	58,499,169
負債及び正味財産合計	100,534,683	4,800,913	5,511,750	△441,987	110,405,359

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…取得原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

リース資産…リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

什器備品…定率法によっている。

(4) 引当金の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および中小企業退職金共済の見込額に基づき計上しております。

会計基準変更時差異 (79,566,845円) は、定額法により8年で費用処理しております。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券(基)	29,970,000	30,000,000	29,970,000	30,000,000
普通預金 岩手銀行茶畑支店	30,000	0	30,000	0
小 計	30,000,000	30,000,000	30,000,000	30,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	10,572,863	25,411,907	0	35,984,770
特定費用準備資金(役員給与等準備資金)	10,341,000	0	0	10,341,000
特定費用準備資金(退職給付引当準備資金)	0	21,223,737	0	21,223,737
小 計	20,913,863	46,635,644	0	67,549,507
合 計	50,913,863	76,635,644	30,000,000	97,549,507

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
投資有価証券(基)	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(-)
普通預金 岩手銀行茶畑支店	0	(0)	(0)	(-)
小 計	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(-)
特定資産				
退職給付引当預金	35,984,770	(0)	(0)	(35,984,770)
特定費用準備資金	31,564,737	(0)	(31,564,737)	(0)
小 計	67,549,507	(0)	(31,564,737)	(35,984,770)
合 計	97,549,507	(30,000,000)	(31,564,737)	(35,984,770)

4. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却	当期末残高
リース資産			
自動券売機2台	4,652,640	1,861,056	2,791,584
小 計	4,652,640	1,861,056	2,791,584
什器備品			
介助用電動車いす	340,000	186,228	153,772
小 計	340,000	186,228	153,772
合 計	4,992,640	2,047,284	2,945,356

6. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務保証債務はない。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	213,721
経常外収益への振替額	
小 計	213,721

8. 満期保有目的債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産			
27年第7回千葉県公債	30,000,000	30,870,000	870,000
小 計	30,000,000	30,870,000	870,000

貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の付属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	29,970,000	30,000,000	29,970,000	30,000,000
	普通預金	30,000	0	30,000	0
	基本財産計	30,000,000	30,000,000	30,000,000	30,000,000
特定資産	退職給付引当預金				
	普通預金	10,572,863	25,411,907	0	35,984,770
	特定費用準備資金				
	普通預金	10,341,000	21,223,737	10,341,000	21,223,737
	定期預金	0	10,341,000	0	10,341,000
	特定資産計	20,913,863	56,976,644	10,341,000	67,549,507

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付 引当金	24,865,260	11,395,598	0	276,088	35,984,770

その他は引当超過額を退職給付引当金戻入益として精算したもの

財 産 目 録

平成28年3月31日

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	普通預金	運転資金として	1,136,827	
			岩手銀行茶畑支店	運転資金として	2,463,068
	預金	岩手銀行茶畑支店	運転資金として	3,621,001	
			岩手銀行茶畑支店	従業員等の源泉所得税等	2,094,063
	未収金	大和ネクスト銀行	運転資金として	30,279	
			岩手県	公益目的事業・幼傷病野生鳥獣応急治療業務	8,640
			盛岡市	公益目的事業・野生鳥獣保護等業務受託	455,760
	売掛金	収益事業会計	公益目的事業・収益事業からの利益の50%繰入	0	
佐々正商事他8件			収益事業・自販機手数料3月分	100,858	
流動資産合計				9,910,496	
(固定資産)	基本財産				
	投資有価証券	千葉県平成27年度第7回公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を催物事業の財源として使用している	30,000,000	
			公益目的保有財産	30,000,000	
	特定資産	預金	普通預金		
			岩手銀行茶畑支店	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	32,575,549
			岩手銀行茶畑支店	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	602,227
			岩手銀行茶畑支店	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	2,806,994
			岩手銀行茶畑支店	特定費用準備資金(退職給付引当準備資金)	21,223,737
	その他 固定資産	リース資産 什器備品	定期預金		
			大和ネクスト銀行	特定費用準備資金(役職員給与等準備資金)	10,341,000
自動券売機2台			公益目的保有財産であり、飼育展示事業に使用している	2,791,584	
		介助用車いす	153,772		
		公益目的保有財産	2,945,356		
固定資産合計				100,494,863	
資産合計				110,405,359	

財 産 目 録

平成28年3月31日

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	3月分時間外手当 他49件	公益目的事業・従業員、消費税等の支払残高	8,334,248
	未払金	3月分時間外手当 他4件	収益事業・従業員、消費税等の支払残高	792,191
	未払金	3月分時間外手当 他14件	法人会計・従業員、消費税等の支払残高	380,693
	未払金	公益目的事業会計	収益事業・公益目的事業会計への利益の50%繰入	0
	買掛金	(株)モリレイ他14 件	収益事業販売物品・食材等仕入代	1,528,641
	預り金	役員・従業員に対 するもの	源泉所得税、社会保険料等	2,094,063
流動負債合計				13,129,836
(固定負債)	長期未払金	自動券売機2台	リース資産に対応する負債	2,791,584
	退職給付引当 金	従業員に対するもの	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	35,984,770
固定負債合計				38,776,354
負債合計				51,906,190
正味財産				58,499,169

3 平成28年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

本動物公園は、動物はもとより、広く自然環境に対する基本的な認識を深めることにより、市民がその教養を高める「社会教育施設」として、また、市民生活における有意義な余暇利用の需要を満たすことができる「レクリエーションの核となる施設」として設置された。

近年、多くの種の存続が危ぶまれており「種の保存事業」や「自然環境保全」、「環境教育」という大きな目標に向け、野生動物に関する専門施設としての社会的使命と、定款第3条に掲げる目的を果たすため、各種事業に取り組むとともに、動物公園の将来像について盛岡市とともに検討するなど、来園者のニーズに応えながら魅力ある事業の運営を着実に遂行するため、次のとおり事業を計画する。

ア 事業運営の基本方針

- (ア) 公益財団法人として市民の期待にこたえるために、盛岡市と協働しながら公益目的事業を積極的に展開するとともに、事務事業の効率化や経営改善を図り、併せて事業に係る財源の確保及び経営安定化のために収益事業の拡大を目指す。
- (イ) 動物公園が社会教育の場及びレクリエーションの場として、広範な市民に利用されるよう、施設並びに利便性を改善するとともに、情報発信による積極的なPRに努め、施設の十分な活用を図る。
- (ウ) 動物公園が有する専門的機能を十分活用し、動物及びそれらを取りまく自然環境に関する調査・研究活動を行う。
- (エ) 動物展示や各種催し物、園内での自然観察会等を通して動物や自然に親しんでいただくとともに、それらの知識の普及を図る。
- (オ) 盛岡市の施策や動物公園の設置趣旨及び平成26年度から30年度までの「公益財団法人盛岡市動物公園公社経営計画」に掲げる数値目標の達成に向け、随時検証しながら効率的な運営に努める。

イ 事業の内容

(ア) 公益目的事業

A. 飼育展示事業

動物公園の基本事業となるもので、実物の動物を見せることにより、その実在を再認識させるとともに、それらを用いた知識の普及や情報の提供を行う。

- a. 動物の健全な飼育管理の維持
- b. 計画的な繁殖による、動物の補充
 - ・新規展示動物として、アルパカのメス1頭を導入し、ふれあい等に活用するほか、しばらくメス1頭の飼育展示となっていたカナダカワウソのオス、またメスの老齢化により繁殖を控えていたライオンに若いメスを導入し、それぞれ繁殖を促す。
 - ・アフリカゾウ、キリン、グレビーシマウマの繁殖を実現するため、適正なペアリングに努め、近い将来の妊娠・出産を目指す。
- c. 自然に近い状態の生態展示
 - ・自然に近い状態の生態を再現するべく日常的に業務を実施しているが、更に「裏側探検隊」、「クマの冬眠をのぞいてみよう」等の催し物をとおして、来園者の理解を深める。
 - ・生体展示を補完するものとして、パネル資料、剥製、骨格標本の展示、図書類の開架閲覧を行う。
- d. 研究活動に供する動物や、自然保護活動の一環として保護収容された野生動物の飼育管理
- e. 極めて稀少な日本産の野生動物の生息域外保全
 - ・ツシマヤマネコの飼育展示、ツシマヤマネコデー、ツシマヤマネコパネル展の実施
- f. 来園者に快適な観覧環境を提供するための施設・設備の維持管理
 - ・盛岡市動物公園の指定管理者として、飼育舎、遊具等の施設管理、園内の清掃、その他施設・設備の保守点検、坂道シャトルカーの運行等の管理業務を行う。
- g. 条例で定められている入園料等動物公園使用料の徴収・納付及びそれらに付随する来園者案内サービス

B. 催物等事業

明るく楽しい、魅力あふれる動物公園であるよう、自然や動物にちなんだ様々な催し物を企画する。

- a. 家族で楽しめ、動物に親しみや関心をもってもらうことを目的に、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした事業を実施する。なお、例示以外にも、新規事業として、危機に瀕する動物たちの保全活動に関するワークショップを開催する。
(例) 動物クイズ、動物ガイド、動物公園まつり(春、秋)、動物に関する工作会等
- b. 動物とのふれあいの充実を図ることを目的に、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした事業を実施する。なお、例示以外に

も、新規事業として、ゾウの糞を用いた紙づくりに関するワークショップや、動物に対する勤労感謝の日を開催する。

(例) ウサギをだっこ、ポニー乗馬、餌をあげよう、飼育体験、動物の素材を使った工作会等

- c. 自然を素材に遊ぶ機会を提供するため、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした事業を実施する。なお、例示以外にも、新規事業として、野遊びフェスティバルを開催する。

(例) 自然観察ガイド、園内の植物や昆虫などを使った工作会、ホテルの夕べ等

C. 教育普及事業

動物や自然に関する知識の普及と適切な情報提供により、「自然科学に対する興味の喚起」と「自然環境に関する問題意識の啓発」を目的とするもので、その独創性や発展性を追求し事業を展開する。

- a. 主に幼稚園、保育園及び小中学校を対象とした体験学習

・飼育員による動物のガイド、動物教室、自然観察、動物の貸し出し、ふれあい教室、講習会等

- b. 学校教育との連携

・飼育・獣医実習生の受け入れ、講習会、ガイド、動物の貸し出し、ふれあい教室

- c. 動物公園愛好者を対象に、より深く動物や動物公園の知識を深め活動に参加してもらう会員組織の運営

・動物公園友の会

- d. 動物や自然に関する知識を普及するためのクラブ活動の運営

・昆虫採集クラブ

D. 調査・研究事業

飼育展示及び教育普及事業の資質向上と自然保護活動の一端を担うことを目的として、飼育展示動物等に関する研究、各種研究会等への参加、各種情報の調査・収集を行う。

- a. データの収集整理を行うとともに園内研究会を開催し、優れたものについて全国の研究会や学会誌等に発表

・ゾウ会議、ツシマヤマネコ計画推進会議等

・日本動物園水族館協会飼育技術者研究会等

- b. 全国の関係機関で開催する研究会・研修会等に参加し行う情報の収集及び情報交換

- c. 研究活動を補助するための図書・学会誌・文献等の収集

E. 野生生物保全関連事業

地域貢献を目的とした「地域社会と自然環境保全」に関わる活動として、実施主体である関係機関からの依頼に協力するとともに市民への情報提供を行う。

- ① 幼傷病鳥獣救護事業
- ② 特別天然記念物カモシカの保護収容事業
- ③ カモシカの保護管理対策及び調査事業
- ④ 天然記念物イヌワシの保全事業
- ⑤ ツキノワグマの有害獣対策並びに保全事業
- ⑥ ツキノワグマ保護管理対策並びに調査事業
- ⑦ 各種講座への講師の派遣

(イ) 収益事業

動物公園を利用する入園者に対して、“快適さ・便利さ”を提供するため、次の業務を行う。収益事業施設に対するリピーターの利用を促進するため、売店と食堂でパスポート入園券を提示した来園者へ割引販売（1割引）を行う。

- ① 売店の運営（動物資料館前、アフリカ園レストハウスの2ヶ所）
- ② レストハウスの運営（アフリカ園前、ビクトリアコーナーの2ヶ所）
- ③ 自動販売機の設置（23台）
- ④ 有料ベビーカーの貸出し（つどいの広場前1ヶ所）
- ⑤ 有料コインロッカーの管理（つどいの広場前1ヶ所）

(ウ) 広報宣伝活動

動物公園の利用促進のためのポスターや動物教室利用案内等を制作し、県内幼稚園・保育園、小・中学校等に配布するとともに、市内児童館や県内道の駅等でのポスター掲示を依頼する。

ホームページの管理運営に加え、ツイッター、フェイスブック等SNSも活用し、インターネット上の情報発信を積極的に行う。

来園者増加策として、新聞・ラジオ・フリーペーパー等の有償広告を実施し、小学校低学年以下の子供を持つ家庭への積極的なPRを図る。また盛岡市内及び周辺のホテル・レンタカー業者等に、割引券付きリーフレットを配布する。

(エ) 平成28年度目標数値について

平成28年度における目標数値は入園者数175,000人、催事参加者数を140,000人（入園者数の80%）に設定する。

(2) 収支予算の概要

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	123,000	0	0	123,000
基本財産受取利息	0			0
基本財産受取配当金	123,000			123,000
特定資産運用益	0	0	0	0
退職給付引当資産受取利息				0
事業収益	251,562,000	38,409,000	13,718,000	303,689,000
指定管理料収益	251,258,000		13,718,000	264,976,000
受託収益	304,000			304,000
物品販売収益		22,730,000		22,730,000
食堂売上収益		13,260,000		13,260,000
荷物預かり事業収益		17,000		17,000
ベビーカー貸出収益		379,000		379,000
自販機手数料収益		2,023,000		2,023,000
受取補助金等	10,670,000	0	10,153,000	20,823,000
受取地方公共団体補助金	10,670,000		10,153,000	20,823,000
受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金				0
雑収益	2,000	27,000	0	29,000
受取利息	2,000	1,000		3,000
雑収益		26,000		26,000
経常収益計	262,357,000	38,436,000	23,871,000	324,664,000

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
(2) 経常費用				
事業費	265,279,000	37,712,000		302,991,000
給料手当	126,110,000	4,264,000		130,374,000
賃金	7,506,000	8,039,000		15,545,000
退職給付費用(通常分)	6,076,000	484,000		6,560,000
退職給付費用(過年度分)	8,619,000	313,000		8,932,000
退職金共済費	5,232,000			5,232,000
法定福利費	20,800,000	1,453,000		22,253,000
福利厚生費	297,000	11,000		308,000
旅費交通費	607,000	5,000		612,000
通信運搬費	632,000			632,000
リース資産減価償却費	931,000			931,000
減価償却費	31,000			31,000
消耗什器備品費	2,063,000	100,000		2,163,000
修繕費	600,000	100,000		700,000
燃料費	6,414,000	10,000		6,424,000
食糧費	0	5,000		5,000
印刷製本費	1,092,000	10,000		1,102,000
光熱水料費	11,857,000	2,630,000		14,487,000
自動車関係	2,489,000			2,489,000
被服費	488,000			488,000
原材料費	548,000			548,000
医薬材料費	1,492,000			1,492,000
動物飼料費	21,236,000			21,236,000
図書購入費	126,000			126,000
諸謝金	20,000			20,000
研究調査費	30,000			30,000
手数料	952,000	88,000		1,040,000
保険料	144,000			144,000
広告料	1,400,000	10,000		1,410,000
委託費	20,792,000	0		20,792,000
使用料	419,000			419,000

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
賃借料	163,000	0		163,000
支払負担金	70,000	83,000		153,000
交通対策費	3,350,000			3,350,000
商品仕入高		14,093,000		14,093,000
材料仕入高		4,774,000		4,774,000
盛岡市寄付金				0
租税公課	12,693,000	1,235,000		13,928,000
雑費	0	5,000		5,000
管理費			23,794,000	23,794,000
役員報酬			3,841,000	3,841,000
給料手当			9,650,000	9,650,000
賃金			0	0
退職給付費用(通常分)			1,123,000	1,123,000
退職給付費用(過年度分)			1,015,000	1,015,000
退職金共済費			360,000	360,000
福利厚生費				0
法定福利費			2,100,000	2,100,000
福利厚生費			31,000	31,000
会議費			9,000	9,000
旅費交通費			62,000	62,000
通信運搬費			15,000	15,000
消耗什器備品費			8,000	8,000
燃料費			437,000	437,000
光熱水料費			1,466,000	1,466,000
自動車関係			85,000	85,000
賃借料			293,000	293,000
手数料			101,000	101,000
保険料			3,000	3,000
委託費			1,807,000	1,807,000
使用料			14,000	14,000
支払負担金			255,000	255,000
租税公課			1,114,000	1,114,000

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
雑費			5,000	5,000
経常費用計	265,279,000	37,712,000	23,794,000	326,785,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,922,000	724,000	77,000	△2,121,000
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△2,922,000	724,000	77,000	△2,121,000

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	362,000	△362,000		0
税引前当期一般正味財産増減額	△2,560,000	362,000	77,000	△2,121,000
法人税、住民税及び事業税		262,000	72,000	334,000
当期一般正味財産増減額	△2,560,000	100,000	5,000	△2,455,000
一般正味財産期首残高	21,820,330	1,183,280	230,000	23,233,610
一般正味財産期末残高	19,260,330	1,283,280	235,000	20,778,610
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	360,000			360,000
一般正味財産への振替額	△360,000			△360,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000			30,000,000
指定正味財産期末残高	30,000,000	0	0	30,000,000
III 正味財産期末残高	49,260,330	1,283,280	235,000	50,778,610

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書事業別明細書
公益目的事業会計

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	123,000	300,000	△ 177,000	
基本財産受取利息	0	0	0	
基本財産受取配当金	123,000	300,000	△ 177,000	千葉県債へ買換え
特定資産運用益	0	0	0	
退職給付引当資産受取利息	0	0	0	
事業収益	251,562,000	255,968,000	△ 4,406,000	
指定管理料収益	251,258,000	255,664,000	△ 4,406,000	
受託収益	304,000	304,000	0	野生動物保護関連業務
物品販売収益	0	0	0	
食堂売上収益	0	0	0	
荷物預かり事業収益	0	0	0	
ベビーカー貸出収益	0	0	0	
自販機手数料収益	0	0	0	
受取補助金等	10,670,000	7,846,228	2,823,772	
受取地方公共団体補助金	10,670,000	7,846,228	2,823,772	退職金関連費用充当分
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	2,000	2,000	0	
受取利息	2,000	2,000	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	262,357,000	264,116,228	△ 1,759,228	

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書事業別明細書
公益目的事業会計

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
(2) 経常費用				
事業費	265,279,000	262,057,228	3,221,772	
給料手当	126,110,000	120,461,000	5,649,000	職員・非常勤職員
賃金	7,506,000	9,323,160	△ 1,817,160	事務補助、料金徴収等
退職給付費用(通常分)	6,076,000	4,579,831	1,496,169	H28退職負債増加分
退職給付費用(過年度分)	8,619,000	8,618,478	522	H24基準負債計上額
退職金共済費	5,232,000	5,232,000	0	中退共積立金
法定福利費	20,800,000	20,243,000	557,000	
福利厚生費	297,000	291,000	6,000	
旅費交通費	607,000	701,000	△ 94,000	日動水技術者研究会等
通信運搬費	632,000	632,000	0	電話・各種輸送費
リース資産減価償却費	931,000	931,000	0	自動券売機
減価償却費	31,000	39,000	△ 8,000	寄贈車椅子
消耗什器備品費	2,063,000	2,090,000	△ 27,000	
修繕費	600,000	600,000	0	
燃料費	6,414,000	6,414,000	0	灯油、A重油
食糧費	0	0	0	
印刷製本費	1,092,000	1,337,000	△ 245,000	リーフレット等
光熱水料費	11,857,000	12,097,000	△ 240,000	電気水道ガス
自動車関係	2,489,000	3,263,000	△ 774,000	車両燃料、点検費等
被服費	488,000	488,000	0	作業服等
原材料費	548,000	548,000	0	
医薬材料費	1,492,000	1,492,000	0	獣医業務
動物飼料費	21,236,000	20,736,000	500,000	
図書購入費	126,000	126,000	0	専門図書・雑誌等
諸謝金	20,000	20,000	0	絵画コンテスト審査員謝礼
研究調査費	30,000	30,000	0	文献複写費用等
手数料	952,000	951,000	1,000	為替、健診費等
保険料	144,000	143,000	1,000	損害保険料
広告料	1,400,000	350,000	1,050,000	ラジオCM等
委託費	20,792,000	20,358,759	433,241	清掃、警備、保守点検等
使用料	419,000	419,000	0	複写機使用料等
賃借料	163,000	163,000	0	照明器具等
支払負担金	70,000	335,000	△ 265,000	研究会参加費等
交通対策費	3,350,000	6,593,000	△ 3,243,000	大型連休対応
租税公課	12,693,000	12,452,000	241,000	消費税等
経常費用計	265,279,000	262,057,228	3,221,772	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,922,000	2,059,000	△ 4,981,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 2,922,000	2,059,000	△ 4,981,000	

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書事業別明細書
公益目的事業会計

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	362,000	279,000	83,000	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,560,000	2,338,000	△ 4,898,000	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
法人税等調整額				
当期一般正味財産増減額	△ 2,560,000	2,338,000	△ 4,898,000	
一般正味財産期首残高	21,820,330	7,773,000	14,047,330	補正予算額
一般正味財産期末残高	19,260,330	10,111,000	9,149,330	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0	
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	49,260,330	40,111,000	9,149,330	

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書事業別明細書
収益事業等会計

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
基本財産受取配当金	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
退職給付引当資産受取利息	0	0	0	
事業収益	38,409,000	41,144,000	△ 2,735,000	
指定管理料収益	0	0	0	
受託収益	0	0	0	
物品販売収益	22,730,000	23,860,000	△ 1,130,000	売店2カ所
食堂売上収益	13,260,000	14,430,000	△ 1,170,000	食堂2カ所
荷物預かり事業収益	17,000	17,000	0	コインロッカー
ベビーカー貸出収益	379,000	374,000	5,000	
自販機手数料収益	2,023,000	2,463,000	△ 440,000	飲料等
受取補助金等	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	27,000	27,000	0	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収益	26,000	26,000	0	NTTドコモ基地局電気使用料
経常収益計	38,436,000	41,171,000	△ 2,735,000	
(2) 経常費用				
事業費	37,712,000	40,613,519	△ 2,901,519	
給料手当	4,264,000	3,951,000	313,000	職員1名
賃金	8,039,000	8,809,000	△ 770,000	売店・食堂臨時補助員
退職給付費用(通常分)	484,000	289,519	194,481	H28退職負債増加分
退職給付費用(過年度分)	313,000	313,000	0	H24基準負債計上額
法定福利費	1,453,000	1,406,000	47,000	
福利厚生費	11,000	10,000	1,000	
旅費交通費	5,000	77,000	△ 72,000	日帰り旅費
消耗什器備品費	100,000	200,000	△ 100,000	
修繕費	100,000	100,000	0	
燃料費	10,000	10,000	0	
食糧費	5,000	5,000	0	
印刷製本費	10,000	90,000	△ 80,000	
光熱水料費	2,630,000	2,630,000	0	電気水道ガス
手数料	88,000	88,000	0	
広告料	10,000	10,000	0	
委託費	0	0	0	
賃借料	0	47,000	△ 47,000	冷蔵庫等借上
支払負担金	83,000	83,000	0	公動連
商品仕入高	14,093,000	15,271,000	△ 1,178,000	
材料仕入高	4,774,000	5,628,000	△ 854,000	
盛岡市寄付金	0	0	0	
租税公課	1,235,000	1,591,000	△ 356,000	消費税等
雑費	5,000	5,000	0	
経常費用計	37,712,000	40,613,519	△ 2,901,519	
評価損益等調整前当期経常増減額	724,000	557,481	166,519	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	724,000	557,481	166,519	

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書事業別明細書
収益事業等会計

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	△ 362,000	△ 279,000	△ 83,000	
税引前当期一般正味財産増減額	362,000	278,481	83,519	
法人税、住民税及び事業税	262,000	250,000	12,000	
法人税等調整額				
当期一般正味財産増減額	100,000	28,481	71,519	
一般正味財産期首残高	1,183,280	463,987	719,293	
一般正味財産期末残高	1,283,280	492,468	790,812	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	1,283,280	492,468	790,812	

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書事業別明細書
法人会計

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
基本財産受取配当金	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
退職給付引当資産受取利息	0	0	0	
事業収益	13,718,000	9,312,000	4,406,000	
指定管理料収益	13,718,000	9,312,000	4,406,000	
受託収益	0	0	0	
物品販売収益	0	0	0	
食堂売上収益	0	0	0	
荷物預かり事業収益	0	0	0	
ベビーカー貸出収益	0	0	0	
自販機手数料収益	0	0	0	
受取補助金等	10,153,000	12,976,772	△ 2,823,772	
受取地方公共団体補助金	10,153,000	12,976,772	△ 2,823,772	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	23,871,000	22,288,772	1,582,228	
(2) 経常費用				
管理費	23,794,000	22,138,772	1,655,228	
役員報酬	3,841,000	3,828,000	13,000	評議員、理事、監事
給料手当	9,650,000	9,513,000	137,000	職員1、非常勤職員1
賃金	0	0	0	
退職給付費用(通常分)	1,123,000	0	1,123,000	H28退職負債増加分
退職給付費用(過年度分)	1,015,000	1,014,772	228	H24基準負債計上額
退職金共済費	360,000	360,000	0	
法定福利費	2,100,000	2,058,000	42,000	
福利厚生費	31,000	31,000	0	
会議費	9,000	9,000	0	理事会、評議員会
旅費交通費	62,000	0	62,000	日動水総会旅費
通信運搬費	15,000	15,000	0	
消耗什器備品費	8,000	8,000	0	
燃料費	437,000	437,000	0	資料館暖房費
光熱水料費	1,466,000	1,496,000	△ 30,000	電気水道ガス
自動車関係	85,000	85,000	0	
賃借料	293,000	293,000	0	経理システム
手数料	101,000	101,000	0	
保険料	3,000	3,000	0	
委託費	1,807,000	1,829,000	△ 22,000	経理業務
使用料	14,000	14,000	0	
支払負担金	255,000	5,000	250,000	日動水年会費等
租税公課	1,114,000	1,034,000	80,000	
雑費	5,000	5,000	0	
経常費用計	23,794,000	22,138,772	1,655,228	
評価損益等調整前当期経常増減額	77,000	150,000	△ 73,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	77,000	150,000	△ 73,000	

平成28年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書事業別明細書
法人会計

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
税引前当期一般正味財産増減額	77,000	150,000	△ 73,000	
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0	
法人税等調整額				
当期一般正味財産増減額	5,000	78,000	△ 73,000	
一般正味財産期首残高	230,000	152,000	78,000	
一般正味財産期末残高	235,000	230,000	5,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	235,000	230,000	5,000	

(2)決算の状況

平成27年度収支決算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実績額	予算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	258,800	278,000	△ 19,200	国債利息等
基本財産運用収入	258,800	278,000	△ 19,200	
② 事業収入	4,994,500	3,970,800	1,023,700	
貸与奨学金返還収入	4,994,500	3,970,800	1,023,700	償還者30名中24名からの返還
③ 補助金収入	228,000	239,000	△ 11,000	
補助金収入	228,000	239,000	△ 11,000	盛岡市補助金
④ 寄付金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
⑤ 雑収入	4,035	3,000	1,035	
受取利息	4,035	3,000	1,035	運用財産預金利息
事業活動収入計	5,485,335	4,490,800	994,535	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	2,851,352	2,873,652		
奨学金貸与支出	2,520,000	2,520,000	0	月額30,000円×6名×12月 月額15,000円×2名×12月
臨時雇賃金	140,070	146,740	△ 6,670	臨時雇賃金@6,670×21日分
法定福利費	338	1,000	△ 662	臨時職員の労働保険料
支払報酬	129,600	129,600	0	会計関係帳票等作成, 立入検査立会報酬
消耗什器備品費		0		
消耗品費	0	10,000	△ 10,000	事務用品購入費
印刷製本費		0		
広告宣伝費	19,440	19,440	0	公益法人情報公開共同サイト利用料
口座振替手数料	23,760	28,728	△ 4,968	奨学金の償還を口座振替にした場合の手数料 1件108円(19名×1月+20名×9月+21名× 毎月奨学金を振込む際の手数料
口座振込手数料	18,144	18,144	0	その他振込手数料
負担金支出		0		
雑費				
② 管理費支出	53,402	50,000	3,402	
会議費	10,368	8,000	2,368	会議室使用料等
租税公課	22,000	22,000	0	法人県民税
通信費	13,112	10,000	3,112	はがき・切手代
雑費	7,922	10,000	△ 2,078	残高証明等手数料等
事業活動支出計	2,904,754	2,923,652	△ 18,898	
事業活動収支差額	2,580,581	1,567,148	1,013,433	

科 目	実績額	予算額	差異	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
① 固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 固定資産取得支出	0	0	0	
基本財産組入支出	0	0	0	
② 投資有価証券取得支出	18,274	0	18,274	
投資有価証券取得支出	18,274	0	18,274	国債購入額と額面金額との差額を原価償却
投資活動支出計	18,274	0	18,274	
投資活動収支差額	△ 18,274	0	△ 18,274	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
① 借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
① 借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	10,000	△ 10,000	
当期収支差額	2,562,307	1,557,148	1,005,159	
前期繰越収支差額	7,966,492	7,966,492	0	
次期繰越収支差額	10,528,799	9,523,640	1,005,159	

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部		-	
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	151,029	128,397	22,632
受取補助金			
受取補助金	228,000	239,000	△ 11,000
雑収益			
受取利息	4,035	3,231	804
経常収益計	383,064	370,628	12,436
(2) 経常費用			
① 事業費	180,073	161,455	18,618
臨時雇賃金	126,063	108,360	17,703
法定福利費	305	296	9
通信費	11,801	10,980	821
消耗品費	0	5,099	△ 5,099
口座振替手数料	23,760	26,028	△ 2,268
口座振込手数料	18,144	10,692	7,452
② 管理費	202,991	209,173	△ 6,182
臨時雇賃金	14,007	0	14,007
法定福利費	33	0	33
通信費	1,311	0	1,311
消耗品費	0	0	0
租税公課	22,000	22,000	0
支払報酬	129,600	156,600	△ 27,000
広告宣伝費	19,440	19,440	0
会議費	8,678	7,267	1,411
雑費	7,922	3,866	4,056
経常費用計	383,064	370,628	12,436
当期経常増減額	0	0	0
2 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
貸倒損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	39,369,151	39,369,151	0
一般正味財産期末残高	39,369,151	39,369,151	0
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	240,526	368,914	△ 128,388
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金		239,000	△ 239,000
一般正味財産への振替額	△ 151,029	△ 367,397	216,368
当期指定正味財産増減額	89,497	240,517	△ 151,020
指定正味財産期首残高	99,778,101	99,537,584	240,517
指定正味財産期末残高	99,867,598	99,778,101	89,497
III 正味財産期末残高	139,236,749	139,147,252	89,497

正味財産増減計算書内訳表
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	151,029	0	151,029
受取補助金			
受取補助金	25,009	202,991	228,000
雑収益			
受取利息	4,035	0	4,035
経常収益計	180,073	202,991	383,064
(2) 経常費用			
① 事業費	180,073		180,073
臨時雇賃金	126,063		126,063
法定福利費	305		305
通信費	11,801		11,801
消耗品費	0		0
口座振替手数料	23,760		23,760
口座振込手数料	18,144		18,144
② 管理費		202,991	202,991
臨時雇賃金		14,007	14,007
法定福利費		33	33
通信費		1,311	1,311
消耗品費		0	0
租税公課		22,000	22,000
支払報酬		129,600	129,600
広告宣伝費		19,440	19,440
会議費		8,678	8,678
雑費		7,922	7,922
経常費用計	180,073	202,991	383,064
当期経常増減額	0	0	0
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
貸倒損失	0		0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高			39,369,151
一般正味財産期末残高			39,369,151
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	240,526		240,526
一般正味財産への振替額	△ 151,029		△ 151,029
当期指定正味財産増減額	89,497	0	89,497
指定正味財産期首残高			99,778,101
指定正味財産期末残高			99,867,598
III 正味財産期末残高			139,236,749

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
岩手育英会運営費	盛岡市	0	228,000	228,000	0	一般正味財産
合計		0	228,000	228,000	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益	151,029
合計	151,029

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表の注記に記載していることより、内容省略。
2. 引当金の明細
なし

財産目録
平成28年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	定期預金 岩手銀行	運転資金として	143,231
流動資産合計				143,231
(固定資産)				
基本財産	基本財産預金	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益は全て公益目的事業の財源として使用している。	40,784
	投資有価証券	第111回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益は全て公益目的事業の財源として使用している。	20,400,000
		第342回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益は全て公益目的事業の財源として使用している。	20,003,544
		第50回30年利付国債	公益目的保有財産であり、運用益は全て公益目的事業の財源として使用している。	54,144,159
特定資産	奨学金貸与金	奨学金貸与金	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	23,411,400
	奨学金貸与資金	普通預金	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	14,223,230
	入学一時金	普通預金	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	7,000,001
固定資産合計				139,223,118
資産合計				139,366,349
(流動負債)	未払金	会計事務所に対するもの	会計事務所に対するものは法人会計に係るものである。	129,600
流動負債合計				129,600
(固定負債)				0
固定負債合計				0
負債合計				129,600
正味財産				139,236,749

3 平成28年度事業計画及び収支予算の概要

I 事業計画

1 概要

岩手県に本籍を置く学費に乏しい学生の勉学を成就させることを目的とし、以下のとおり奨学金貸与事業活動を実施する。

2 事業内容

(1) 奨学金貸与事業

ア 奨学生の採用は、県外学生のみの場合、4人以内とする。(ただし、県外学生は、1人に対し2人とする。)

この場合、県外学生1人につき月額30,000円(県内学生の場合は、1人につき月額15,000円)を貸与し、平成28年度の貸与者総数は10人で、貸与総額は3,240,000円となる見込みである。

イ 奨学金貸与終了後の償還義務者に対し、平成28年8月と平成29年2月に償還状況通知を送付し貸与奨学金の償還に努め、償還予定者29名から年間で4,272,400円の償還がある見込みである。

ウ 事業費は例年通り必要最低限とする。

エ 財産の運用については、引き続き国債を保有することで運用していく。

(2) 奨学金給付事業

ア 給付の対象は、採用が決定した新規入学奨学生のうち、入学一時金の給付を希望する者とする。

イ 入学一時金の給付額は一人当たり100,000円とする。平成28年度の給付額は最大で800,000円となる見込みである。

3 会議等

(1) 奨学生選考委員会を平成28年4月下旬に開催し、平成28年度新規奨学生を選考する。

(2) 定期の理事会及び評議員会を平成28年6月に開催し、平成27年度決算等について審議する。

(3) 定期の理事会及び評議員会を平成29年2月に開催し、平成29年度予算及び平成29年度事業計画について審議する。

(4) 必要に応じて理事会を開催し、今後の事業内容等について審議する。また、同様に評議員会等を開催し、審議する。

(2) 収支予算の概要

収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(損益ベース)

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益(指定正味財産から振替)	988,952	199,838	789,114	
② 寄付金収入	0	0	0	
③ 受取補助金	195,000	200,814	△ 5,814	
④ 受取利息	3,000	3,000	0	
経常収益計	1,186,952	403,652	783,300	
(2) 経常費用				
① 事業費				
臨時雇賃金	121,860	132,066	△ 10,206	
法定福利費	900	900	0	
消耗品費	9,000	9,000	0	
口座振替手数料	25,272	28,728	△ 3,456	
口座振込手数料	25,920	18,144	7,776	
通信費	9,000	7,000	2,000	
雑費	0	7,000	△ 7,000	
入学一時金	800,000	0	800,000	
事業費合計	991,952	202,838	789,114	
② 管理費				
臨時雇賃金	13,540	14,674	△ 1,134	
法定福利費	100	100	0	
支払報酬	129,600	129,600	0	
消耗品費	1,000	1,000	0	
広告宣伝費	19,440	19,440	0	
会議費	8,320	8,000	320	
租税公課	22,000	22,000	0	
通信費	1,000	3,000	△ 2,000	
雑費	0	3,000	△ 3,000	
管理費合計	195,000	200,814	△ 5,814	
経常費用計	1,186,952	403,652	783,300	
当期経常増減額	0	0	0	
経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0		
一般正味財産期首残高	39,643,582	39,643,582	0	
一般正味財産期末残高	39,643,582	39,643,582	0	
指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	153,000	278,000	△ 125,000	
受取補助金等	0	239,000	△ 239,000	
一般正味財産への振替額	△ 988,952	△ 400,652	△ 588,300	
当期指定正味財産増減額	△ 835,952	116,348	△ 952,300	
指定正味財産期首残高	99,714,731	99,598,383	116,348	
指定正味財産期末残高	98,878,779	99,714,731	△ 835,952	
正味財産期末残高	138,522,361	139,358,313	△ 835,952	

(2) 収支予算の概要

収支予算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(損益ベース)

(単位：円)

科 目	予算額	予算額の振り分け		前年度予算額
		公益目的事業会計	法人会計	
経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益(指定正味財産から振替)	988,952	988,952		199,838
②寄付金収入	0			0
③受取補助金	195,000		195,000	200,814
④受取利息	3,000	3,000		3,000
経常収益計	1,186,952	991,952	195,000	403,652
(2) 経常費用				
①事業費				
臨時雇賃金	121,860	121,860		132,066
法定福利費	900	900		900
消耗品費	9,000	9,000		9,000
口座振替手数料	25,272	25,272		28,728
口座振込手数料	25,920	25,920		18,144
通信費	9,000	9,000		7,000
雑費	0	0		7,000
入学一時金	800,000	800,000		0
事業費合計	991,952	991,952	0	202,838
②管理費				
臨時雇賃金	13,540		13,540	14,674
法定福利費	100		100	100
支払報酬	129,600		129,600	129,600
消耗品費	1,000		1,000	1,000
広告宣伝費	19,440		19,440	19,440
会議費	8,320		8,320	8,000
租税公課	22,000		22,000	22,000
通信費	1,000		1,000	3,000
雑費	0		0	3,000
管理費合計	195,000	0	195,000	200,814
経常費用計	1,186,952	991,952	195,000	403,652
当期経常増減額	0	0	0	0
経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	39,643,582	39,643,582	0	39,643,582
一般正味財産期末残高	39,643,582	39,643,582	0	39,643,582
指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	153,000	153,000	0	278,000
受取補助金等	0	0	0	239,000
一般正味財産への振替額	△ 988,952	△ 988,952	0	△ 400,674
当期指定正味財産増減額	△ 835,952	△ 835,952	0	116,348
指定正味財産期首残高	99,714,731	99,714,731	0	99,598,383
指定正味財産期末残高	98,878,779	98,878,779	0	99,714,731
正味財産期末残高	138,522,361	138,522,361	0	139,358,313

公益財団法人 盛岡市体育協会

1 総括事項

(1)名称	公益財団法人 盛岡市体育協会			
(2)設立年月日	平成24年4月1日			
(3)資本金又は基本財産	金 101,194,000円			
(4)市の出資額	金 58,000,000円			
(5)役員の名	会長	長 澤 茂	副会長	穴 戸 豊 治
	専務理事	今 野 庄	理事	鷹 背 徹
	理事	小 原 正 弘	理事	赤 坂 照 雄
	理事	鈴 木 俊 祐	理事	岩 根 節 子
	理事	菊 池 芳 子	理事	高 橋 克 宏
	理事	吉 田 豊 明	理事	菊 田 隆
	理事	木 村 昂 史	理事	田 中 淳
	理事	阿 部 富 美 雄	理事	佐々木 正 徳
	監事	浅 沼 信 一	監事	小笠原 努
	監事	平 石 澄		

(平成28年4月1日現在)

(6)事業の概要

盛岡市における体育・スポーツの一層の振興を図ることにより、市民の体力の向上とスポーツ精神の涵養に資するとともに、盛岡市における体育・スポーツ諸団体の育成に寄与することを目的として各種事業を行う。

(ア) スポーツに対する意識の向上に関する事業

(イ) 市民の体力の向上を図る事業

(ウ) ジュニアスポーツの振興に関する事業

(エ) 健康増進及び体育・スポーツの振興のためのスポーツ大会及びスポーツ教室に関する事業

(オ) 施設の管理運営に関する事業

(カ) その他この法人の目的を達成するための事業

2 平成 27 年度事業実績及び決算の状況

(1)事業実績

1 スポーツに対する意識の向上に関する事業

全国大会等出場者を支援するとともに、スポーツに対する意欲、関心の高揚を図るため下記の事業を行った。

- [1] 第 70 回国民体育大会・第 71 回冬季大会へ 290 名の選手等を派遣した。
- [2] 全国大会へ出場する選手等へ「全国大会盛岡市代表選手等派遣激励費」を交付し支援した。
- [3] 第 67 回岩手県民体育大会・第 68 回冬季大会へ 1,036 名を派遣した。
- [4] スポーツ振興に顕著な功績を挙げた者に対し表彰を行った。

2 市民の体力の向上を図る事業

加盟団体を支援するとともに、市民スポーツ・生涯スポーツの振興、競技力の向上を図った。

- [1] 加盟団体が実施するスポーツ振興事業、競技力向上事業への支援を行った。
- [2] 高齢者対象の事業へ支援を行うとともに、AED の無料貸出を行い生涯スポーツ環境の整備に努めた。
- [3] 次世代の児童・生徒の基礎体力と運動能力の向上を図るとともに、いわて国体も見据えた「盛岡市次世代体力・運動能力向上プロジェクト」の推進に努めた。

3 ジュニアスポーツの振興に関する事業

スポーツ少年団が実施する事業を推進した。

- [1] 市内小学校の全児童及び中学 1・2 年生の生徒へ団員募集案内を配布し、スポーツ少年団の啓発に努め、160 団、3,519 名の団員及び 737 名の指導者の登録があった。
- [2] 盛岡市スポーツ少年団事業として、指導者研修会、リーダーキャンプ、綱引大会の開催及び種目別交流事業、スポーツ少年団認定員養成講習会受講者およびジュニアリーダースクール参加者への助成を行った。

4 健康増進及び体育・スポーツ振興のためのスポーツ大会及びスポーツ教室に関する事業

市民が主体的にスポーツに楽しめる環境づくりを行った。

- [1] 第 67 回市民体育大会を開催し 38 競技に 17,306 名が参加した。
- [2] スポーツに親しむ機会の提供とスポーツ人口の底辺拡大を図るためスポーツ教室等を 11 施設で 173 事業開催し、延べ 91,683 名が参加した。

[3] 平成 27 年 9 月 19 日から供用開始となった盛岡市アイスリンクの指定管理者に選定されたほか、16 施設の指定管理者として、適正かつ効率的な運営に努め 1,050,962 名の利用があった。

[4] 体育の日に盛岡市との共催で「市民総参加スポーツの集い」を実施し、3,138 名の参加があった。

5 2016 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会への支援

[1] 第 71 回国民体育大会盛岡市実行委員会及び専門委員会へ役員を派遣した。

[2] 指定管理している体育施設をいわて国体に向けた強化練習会場として提供した。

[3] 希望郷いわて国体冬季大会の会場として大会運営に協力した。

6 法人の組織強化と充実

[1] 加盟団体会議の開催、県体育協会への役員派遣により、関係団体との連携を強化するとともに盛岡市と協同で市のスポーツ施策を推進した。

[2] 経営企画本部「指定管理者申請特別部会」を設置して盛岡市アイスリンクの指定管理申請事務を執り進め、指定管理者に選定された。

[3] 職員研修を実施し職員の資質向上を図った。

7 その他

[1] 公共施設としてあらゆるニーズに応えるため各種事業へ施設を開放した。

[2] 「第 52 回盛岡市スポーツ人の集い」を開催し関係者との交流を図った。

[3] 施設利用者の利便性向上を図るため、自動販売機設置や電話・FAX・コピー機の貸し出しを行った。

収支計算書 (増減計算方式)

平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	流 用 額	流用後予算額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用収入	1,501,000	0	1,501,000	1,441,676	59,324
② 特定資産運用収入	5,000	0	5,000	3,064	1,936
③ 事業収入	593,637,000	0	593,637,000	598,416,132	△ 4,779,132
④ 補助金等収入	37,478,000	0	37,478,000	37,494,550	△ 16,550
⑤ 負担金収入	3,887,000	0	3,887,000	3,886,400	600
⑥ 寄附金収入	16,000	0	16,000	16,000	0
⑦ 雑収入	537,000	0	537,000	558,249	△ 21,249
経常収益計	637,061,000	0	637,061,000	641,816,071	△ 4,755,071
(2) 経常費用					
① 事業費支出	599,620,000	△ 2,625,000	596,995,000	587,751,037	9,243,963
② 管理費支出	42,368,000	0	42,368,000	41,820,410	547,590
経常費用計	641,988,000	△ 2,625,000	639,363,000	629,571,447	9,791,553
当期経常増減額	△ 4,927,000	2,625,000	△ 2,302,000	12,244,624	△ 14,546,624
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	2,116,000	0	2,116,000	0	2,116,000
当期経常外増減額	△ 2,116,000	0	△ 2,116,000	0	△ 2,116,000
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,043,000	2,625,000	△ 4,418,000	12,244,624	△ 16,662,624
法人税、住民税及び事業税	189,000	2,625,000	2,814,000	2,809,900	4,100
当期一般正味財産増減額	△ 7,232,000	0	△ 7,232,000	9,434,724	△ 16,666,724
一般正味財産期首残高	113,724,000	0	113,724,000	113,725,927	△ 1,927
一般正味財産期末残高	106,492,000	0	106,492,000	123,160,651	△ 16,668,651
II 指定正味財産増減の部					
① 基本財産運用収入	1,306,000	0	1,306,000	1,240,965	65,035
② 一般正味財産への振替額	1,306,000	0	1,306,000	1,240,965	65,035
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	87,083,000	0	87,083,000	87,083,000	0
指定正味財産期末残高	87,083,000	0	87,083,000	87,083,000	0
III 正味財産期末残高	193,575,000	0	193,575,000	210,243,651	△ 16,668,651

正味財産増減計算書 [内訳表]

平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,441,676	0	0	1,441,676
② 特定資産運用収益	2,450	307	307	3,064
③ 事業収益	568,020,493	30,395,639	0	598,416,132
④ 受取補助金等	2,778,550	0	34,716,000	37,494,550
⑤ 受取負担金	2,946,400	0	940,000	3,886,400
⑥ 受取寄附金	16,000	0	0	16,000
⑦ 雑収益	54,901	33,116	470,232	558,249
経常収益計	575,260,470	30,429,062	36,126,539	641,816,071
(2) 経常費用				
① 事業費	577,752,818	9,998,219	0	587,751,037
② 管理費	0	0	41,820,410	41,820,410
経常費用計	577,752,818	9,998,219	41,820,410	629,571,447
当期経常増減額	△ 2,492,348	20,430,843	△ 5,693,871	12,244,624
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	10,166,832	△ 10,166,832	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	7,674,484	10,264,011	△ 5,693,871	12,244,624
法人税、住民税及び事業税	0	2,737,900	72,000	2,809,900
当期一般正味財産増減額	7,674,484	7,526,111	△ 5,765,871	9,434,724
一般正味財産期首残高	77,787,683	18,684,540	17,253,704	113,725,927
一般正味財産期末残高	85,462,167	26,210,651	11,487,833	123,160,651
II 指定正味財産増減の部				
① 基本財産運用益	1,240,965	0	0	1,240,965
② 一般正味財産への振替額	1,240,965	0	0	1,240,965
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	87,083,000	0	0	87,083,000
指定正味財産期末残高	87,083,000	0	0	87,083,000
III 正味財産期末残高	172,545,167	26,210,651	11,487,833	210,243,651

貸借対照表

平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	1,169,846	1,391,894	△ 222,048
普通預金	98,202,235	79,946,121	18,256,114
定期預金	60,000,000	60,000,000	0
未収金	1,201,496	1,177,381	24,115
前払金	1,786,070	356,175	1,429,895
貯蔵品	2,843,309	3,239,872	△ 396,563
流動資産合計	165,202,956	146,111,443	19,091,513
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	101,045,438	101,103,788	△ 58,350
普通預金	148,562	90,212	58,350
基本財産合計	101,194,000	101,194,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,424,702	0	3,424,702
減価償却引当資産	14,406,330	14,327,642	78,688
特定資産合計	17,831,032	14,327,642	3,503,390
(3) その他固定資産			
什器備品	139,158	300,820	△ 161,662
構築物	109,496	131,447	△ 21,951
機械装置	1	1	0
ソフトウェア	0	183,750	△ 183,750
リース資産	8,867,448	11,101,752	△ 2,234,304
リサイクル預託金	4,540	4,540	0
その他固定資産合計	9,120,643	11,722,310	△ 2,601,667
固定資産合計	128,145,675	127,243,952	901,723
資産合計	293,348,631	273,355,395	19,993,236
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	53,115,595	51,674,180	1,441,415
預り金	2,640,299	2,574,936	65,363
未払消費税等	8,272,400	7,123,600	1,148,800
未払法人税等	2,809,900	72,000	2,737,900
貸与引当金	7,399,338	0	7,399,338
流動負債合計	74,237,532	61,444,716	12,792,816
2. 固定負債			
長期未払金	8,867,448	11,101,752	△ 2,234,304
固定負債合計	8,867,448	11,101,752	△ 2,234,304
負債合計	83,104,980	72,546,468	10,558,512
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	63,000,000	63,000,000	0
加盟団体負担金	8,010,000	8,010,000	0
一般企業寄附金	16,073,000	16,073,000	0
指定正味財産合計	87,083,000	87,083,000	0
(うち基本財産への充当額)	(87,083,000)	(87,083,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	123,160,651	113,725,927	9,434,724
(うち基本財産への充当額)	(14,111,000)	(14,111,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(16,543,729)	(14,327,642)	(2,216,087)
正味財産合計	210,243,651	200,808,927	9,434,724
負債及び正味財産合計	293,348,631	273,355,395	19,993,236

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的債権……償却原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準
最終仕入原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
償却方法は、定率法による直接法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

当年度より賞与引当金を計上している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券(基)	101,103,788	0	58,350	101,045,438
普通預金(基)	90,212	58,350	0	148,562
小計	101,194,000	58,350	58,350	101,194,000
特定資産				
退職給付引当資産 公益目的事業会計	0	3,407,292	0	3,407,292
退職給付引当資産 収益事業等会計	0	17,410	0	17,410
減価償却引当資産 公益目的事業会計	11,462,118	62,950	0	11,525,068
減価償却引当資産 収益事業等会計	1,432,762	7,869	0	1,440,631
減価償却引当資産 法人会計	1,432,762	7,869	0	1,440,631
小計	14,327,642	3,503,390	0	17,831,032
合計	115,521,642	3,561,740	58,350	119,025,032

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券(基)	101,045,438	87,028,588	14,016,850	—
普通預金(基)	148,562	54,412	94,150	—
小計	101,194,000	87,083,000	14,111,000	0
特定資産				
退職給付引当資産 公益目的事業会計	3,407,292	0	2,119,989	1,287,303
退職給付引当資産 収益事業等会計	17,410	0	17,410	0
減価償却引当資産 公益目的事業会計	11,525,068	0	11,525,068	—
減価償却引当資産 収益事業等会計	1,440,631	0	1,440,631	—
減価償却引当資産 法人会計	1,440,631	0	1,440,631	—
小計	17,831,032	0	16,543,729	1,287,303
合計	119,025,032	87,083,000	30,654,729	1,287,303

財務諸表に対する注記

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	567,000	457,504	109,496
機械装置	2,929,500	2,929,499	1
器具備品	12,939,463	12,800,305	139,158
ソフトウェア	1,412,250	1,412,250	0
リース資産	13,951,656	5,084,208	8,867,448
合計	31,799,869	22,683,766	9,116,103

6. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第148回 利付国債(20年)	101,045,438	120,244,000	19,198,562
合計	101,045,438	120,244,000	19,198,562

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	1,240,965
経常外収益への振替額	0
合計	1,240,965

財産目録

平成28年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額			
(流動資産)	現金	平元保管 平元保管	当該利用料等売上 返振資金として	454,084 715,762		
	現金合計			1,169,846		
	預金	貯蓄預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	返振資金として	98,202,235		
		定期預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	返振資金として	60,000,000		
	預金合計			158,202,235		
	未収金	みちのくキャンティーン 他 岩手労働局 当協会従業員 NPO法人盛岡市水泳協会 ふれあいランド岩手 三井住友海上火災保険 小島精肉店 (株)マイナビ 他	自動販売機手数料 労働保険料精算金 雇用保険料戻入 共通券精算金 施設利用料精算金 施設設備償却料精算金 余当り精算金 施設利用料金	463,843 88,375 8,970 77,995 638 6,090 2,210 553,375		
	未収金合計			1,201,496		
	前払金	盛岡市勤労者福祉サービスセンター 日本水泳連盟 他 日本郵便 東京海上日動損保保険	前金 自主事業損害保険料 自主事業損害保険返戻平数料 施設設備保険料	33,800 306,470 1,720 1,444,080		
	前払金合計			1,786,070		
	貯蔵品	盛光灯、消費薬品など	施設運営用品として	2,843,309		
	貯蔵品合計			2,843,309		
	流動資産合計			165,202,956		
	(固定資産)	基本財産	投資有価証券	第148回利付国債(20年) 野村證券盛岡支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業財源として使用している うち、公益目的保有財産額 100% 101,045,438円	101,045,438
			管理預金	岩手銀行盛岡市役所出張所	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業財源として使用している うち、公益目的保有財産額 100% 148,562円	148,562
基本財産合計					101,194,000	
特定資産		退職給付引当資産	管理預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	団員の退職給付見合の引当資産として管理している	3,424,702	
		減価償却引当資産	管理預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	機械装置、什器品、構築物の減価償却引当金見合の引当資産として管理している	14,406,330	
特定資産合計					17,831,032	
その他固定資産		什器品	盛岡体育館 他 16点	当協会事業実施のために必要な資産 AED、ランニングマシン 他 うち、公益目的保有財産額 80% 111,326円	139,158	
		構築物	盛岡市アイスアリーナ 1台	体育施設の貸与等に使用している 防球ネット うち、公益目的保有財産額 80% 87,599円	109,496	
		機械装置	盛岡市公認球技場 1台	体育施設の貸与等に使用している エアレーター うち、公益目的保有財産額 80% 1円	1	
		ソフトウェア	盛岡体育館	公益法人会計用ソフトウェア 全館管理運営の用に供している	0	
		リース資産	盛岡体育館 1式	体育施設の貸与等に使用している トレーニング機器 うち、公益目的保有財産額 100% 5,365,440円	5,365,440	
			盛岡体育館 他 37台	当協会事業実施のために必要な資産 パーソナルコンピューター うち、公益目的保有財産額 80% 2,596,322円	3,245,400	
			盛岡市アイスリンク 1台	当協会事業実施のために必要な資産 デジタル複写機 うち、公益目的保有財産額 80% 205,284円	256,608	
		リースサイクル預託金	秋田運動公園総合体育館	当協会事業実施のために必要な資産 玉山区体育施設の管理上必要な 盛岡市所有の軽トラックのリースサイクル預託金	4,540	
その他固定資産合計				9,120,643		
固定資産合計				128,145,675		
資産合計		うち、公益目的保有財産額計 109,559,971円		293,348,631		
(流動負債)	未払金	事業に対する未払額	等額・管理費に供する経費の未払い分	53,115,595		
	預り金	職員等に対するもの	源泉所得税、社会保険料、住民税	2,640,299		
	未払消費税等	消費税額等に対する未払額	消費税額等の未払い分	8,272,400		
	未払法人税等	法人税額等に対する未払額	法人税額等の未払い分	2,809,900		
	賞与引当金	職員等に対するもの	平成28年6月支給予定賞与の平成27年度対応分	7,399,338		
流動負債合計				74,237,532		
(固定負債)	長期未払金	リース資産に対するもの	リース資産に伴うリース債務	8,867,448		
固定負債合計				8,867,448		
負債合計				83,104,980		
正味財産				210,243,651		

3 平成 28 年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

I 事業方針

体育・スポーツの一層の振興を図ることにより、市民の体力の向上とスポーツ精神の涵養に資するとともに、盛岡市における体育・スポーツ諸団体の育成に寄与します。また、2016希望郷岩手国体・希望郷いわて大会とリハーサル大会に向けての協力及び各競技団体が実施する事業を支援し、競技力の向上を図ります。

指定管理者としての10年間の実績をもとに、計画書に従って着実に事業を推進し、さらなる効率的運営に努めます。また、盛岡市アイスアリーナの指定管理者申請に向けて準備を進めます。

II 重点目標

- 1 スポーツに対する意識の向上
- 2 市民スポーツ・生涯スポーツの推進
- 3 ジュニアスポーツの振興
- 4 健康増進及び体育・スポーツの振興
- 5 2016希望郷いわて国体・希望郷いわて大会への支援・協力
- 6 法人の組織強化と充実

III 事業計画

1 スポーツに対する意識の向上に関する事業【公益目的事業1】

国民体育大会等で盛岡市関係者が活躍できるよう支援するとともに、スポーツ振興に顕著な功績をあげた者を表彰するとともに、市民のスポーツに対する意欲、関心の高揚を図るためスポーツ講演会を実施します。

(1) 盛岡市代表選手派遣事業

- 1) 国民体育大会盛岡市代表選手派遣事業
- 2) 全国大会盛岡市代表選手派遣事業
- 3) 岩手県民体育大会盛岡市代表選手派遣事業

(2) スポーツ振興功労者表彰

(3) スポーツ講演会

2 市民の体力の向上を図る事業【公益目的事業1】

加盟団体を支援し、市民スポーツ・生涯スポーツの振興、競技力の向上を図るとともに、市民が気軽に親しめるスポーツ環境の整備を推進します。

(1) 加盟団体支援事業

- 1) 共催・後援等支援事業
- 2) 運営補助金助成事業
- 3) 共催事業助成事業
- 4) 選手強化費助成事業

(2) 生涯スポーツ振興事業

- 1) 生涯スポーツ振興事業費助成事業
- 2) AED（自動体外式除細動器）貸出事業

(3) 次世代体力・運動能力向上事業

- 1) 動きづくり
- 2) スポーツクラブ
- 3) スポーツ医・科学勉強会

3 ジュニアスポーツの振興に関する事業【公益目的事業1】

スポーツ少年団が実施する事業を推進し、団員の健全育成と体力の向上を図ります。

(1) スポーツ少年団の育成事業

1) 募集支援

- ① 団員募集案内の作成及び市内小中学校への配布
- ② ホームページによる登録単位団の紹介

2) 指導者育成

- ① 指導者研修会
- ② スポーツ少年団認定員養成事業

3) リーダー養成

- ① リーダーキャンプ
- ② 日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール参加者支援
- ③ 岩手県スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール参加者支援
- 4) 種目別交流費助成事業
- 5) 綱引大会
- 6) 盛岡市スポーツ少年団結成50周年記念事業実行委員会への協力

4 健康増進及び体育・スポーツ振興のためのスポーツ大会及びスポーツ教室に関する事業【公益目的事業2】

健康増進及び体育・スポーツ振興のために各種事業を提供し、市民がスポーツを自主的・継続的に行うための拠点として施設を適正に管理し、効率的運用に努めます。

- (1) 第68回盛岡市民体育大会40競技の開催
- (2) スポーツ振興のためのスポーツ教室・大会及び施設利用促進事業並びに施設貸与事業

1) 盛岡体育館

□ スポーツ教室事業

- ① ずくずくキッズ体操教室
- ② タイ式ヨガ教室 (ルーシーダットン)
- ③ ピラティス教室
- ④ パワーヨガ入門
- ⑤ アロマでリラックスヨガ
- ⑥ 楽々エアロビクス
- ⑦ バドミントン教室
- ⑧ 器械体操教室
- ⑨ ヨーガ教室
- ⑩ すわってエクササイズ教室
- ⑪ ファーストサイン教室
- ⑫ ベビーマッサージ教室

□ スポーツ大会事業

- ① フットサル大会
- ② スポ婚ピンポン交流大会

2) 盛岡市アイスアリーナ

□ スポーツ教室事業

- ① ママエアロ教室
- ② いきいき熟年体育教室
- ③ 岩手ビッグブルズバスケットボールクリニック
- ④ 夏休み子ども体操教室
- ⑤ ベビーダンス教室

□ 施設利用促進事業

- ① 初心者向け! トレーニング1ポイントカウンセリング
- ② 健幸まつり
- ③ ランニング・卓球でリフレッシュ

3) 盛岡市立武道館

□ スポーツ教室事業

- ① 幼児体育教室「レインボーキッズ」
- ② 武道館スポーツクラブ
- ③ 入学前の体育教室「チャレンジキッズ」
- ④ らくらく姿勢快善

□ 施設利用促進事業

- ① 第16回演武会及び鏡開き

4) 盛岡市弓道場

5) 盛岡南公園球技場 (いわぎんスタジアム)

□ スポーツ教室事業

- ① 南公園サッカークラブ
- ② キッズサッカー教室
- ③ 冬期サッカー教室
- ④ わくわくラグビー教室

□ スポーツ大会事業

- ① 2016復興祈念サッカーフェスティバル
- ② 第10回県民共済カップ
- ③ 3・4年生サッカー交流大会
- ④ フットサル交流大会
- ⑤ フットサルフェスタ
- ⑥ 第2回障がい者サッカー交流大会

□ 施設利用促進事業

- ① キッズサッカーフェスティバル2016

6) 盛岡市立太田テニスコート

□ スポーツ教室事業

- ① 初心者テニス教室
- ② ナイター初心者テニス教室

□ スポーツ大会事業

- ① 第1回春季太田カップ
- ② 第1回夏季太田カップ
- ③ 所長杯 太田テニス大会

7) 盛岡市立網取スポーツセンター

□ スポーツ大会事業

- ① 第26回ミックスマックスソフトテニス大会

8) 盛岡市営野球場

- 9) 盛岡市太田橋野球場
 10) 盛岡市立総合プール
 スポーツ教室事業
 ①水泳教室 ②フィットネス教室 ③エキスパート教室
 ④水球教室 ⑤飛込み教室 ⑥ドライランド
 ⑦障がい者水泳練習会 ⑧障がい者体育あそび
 ⑨こども水泳教室
 スポーツ大会事業
 ①第4回障がい者水泳記録会兼泳力検定会 ②第12回公認記録会
 施設利用促進事業
 ①クリスマスお楽しみ ②新春初泳ぎ ③英会話教室
- 11) 盛岡市都南中央公園プール
 12) 盛岡市浜民運動公園
 スポーツ教室事業
 ①玉山キッズサッカー ②小学生水泳教室
 ③キネシオテーピング教室 ④女性向け基礎トレ
 ⑤タグラグビー教室 ⑥フラダンス教室
 スポーツ大会事業
 ①アクアキッズフェスティバル
- 13) 盛岡市立玉山運動場
 14) 盛岡市浜民野球場
 15) 盛岡市立生出スキー場
 スポーツ教室事業
 ①スキー教室
 施設利用促進事業
 ①1dayスキーメンテ講習会 ②生出スキー場まつり
- 16) 盛岡市アイスリンク (みちのくコカ・コーラボトリングリンク)
 スポーツ教室事業
 ①初心者スケート教室 ②幼児親子スケート教室
 ③子どもアイスホッケー教室 ④カーリング教室
 ⑤カーリングぶち教室 ⑥カーリングスキルアップ教室
 ⑦高齢者軽運動教室
 スポーツ大会事業
 ①アイスホッケー大会 (小学校低学年の部)
 ②アイスホッケー大会 (小学校高学年の部)
 ③アイスホッケー大会 (中学校の部) ④ビギナーズ夏季大会2016
 ⑤ビギナーズ冬季大会2017 ⑥アイスリンクカップ2016

- (3) 体育の日「市民総参加スポーツの集い」事業
 1) 施設無料開放及び各種事業 (体育祭等) の実施

- 5 2016希望郷いわて国体・希望郷いわて大会への支援・協力
 2016希望郷いわて国体・希望郷いわて大会への取組みとして盛岡市が掲げる
 「市民協働による大会運営」「開催関連施設の整備」「競技力向上への取組」及び
 「希望郷いわて大会」の運営支援に協力します。

- 6 法人の組織強化と充実
 市民スポーツ・生涯スポーツ振興の中核を担う公益財団法人として、市民の利益の増進に寄与するため、その組織強化と充実を図ります。

- (1) 専門委員会活動の充実
 1) 表彰委員会
 2) 盛岡市スポーツ人の集い実行委員会
 3) 盛岡市民体育大会実行委員会
- (2) 円滑で効率的な施設の管理運営
 1) 利用者とのコミュニケーションを重視し「明るくより親切に」をモットーにした管理運営
 2) 施設設備の整備
 3) 施設の効率的な利用促進
 4) コンソーシアムによる円滑な施設運営

- 5) 施設賠償責任保険への加入
 - 6) インターネットによる施設利用予約システムの整備
 - 7) 利用者ニーズの把握
 - (3) 経営基盤の安定強化
 - 1) 関係団体・機関との連携強化
 - ①加盟団体との連携強化・・・加盟団体会議の開催
 - ②盛岡市との連携強化
 - 2) 経営企画本部による経営改善
 - ①事業の推進及び啓発
 - ②職員の資質の向上
 - ③管理施設の効率的運営に関する調査・研究
 - ④利用者サービスの充実
 - ⑤営業活動の促進
 - 3) 信頼性の確保
 - ①施設利用者の安全確保及び施設設備の安全管理
 - ②公共性及び公平性に基づく施設の有効活用
 - ③コンプライアンス（法令遵守）の徹底
 - ④モニタリングの実施
 - (4) 創立70周年記念事業の開催
- 7 施設利用者へのサービス提供に関する事業【収益事業1】
施設利用者や事業の参加者への利便の供与及び公益目的事業実施に伴う財源確保のため、自動販売機を設置し、コピー機や電話、FAXを貸し出します。
- 8 施設の管理運営に関する事業【収益事業2】
公共施設としてあらゆるニーズに応えるために、各種事業に施設を貸与します。
- (1) スポーツ以外のイベント・催事等への施設貸与事業
 - (2) スポーツ関係以外の会議室等貸与事業
- 9 スポーツ人の集い開催事業【その他事業1】
スポーツに関する話題や知識を共有、情報交換し、盛岡市におけるスポーツの普及振興、競技力の向上を図るため「盛岡市スポーツ人の集い」を開催します。

収支予算書内訳表

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,501,000	0	0	1,501,000
特定資産運用益	3,000	1,000	1,000	5,000
事業収益	580,460,000	16,972,000	0	597,432,000
受取補助金等	2,264,000	0	34,597,000	36,861,000
受取負担金	3,024,000	0	960,000	3,984,000
受取寄附金	16,000	0	0	16,000
雑収益	30,000	0	478,000	508,000
経常収益計	587,298,000	16,973,000	36,036,000	640,307,000
(2) 経常費用				
事業費	598,004,000	8,031,000	0	606,035,000
管理費	0	0	40,467,000	40,467,000
経常費用計	598,004,000	8,031,000	40,467,000	646,502,000
当期経常増減額	△ 10,706,000	8,942,000	△ 4,431,000	△ 6,195,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	7,908,000	△ 8,942,000	1,034,000	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,798,000	0	△ 3,397,000	△ 6,195,000
法人税、住民税及び事業税	0	0	72,000	72,000
当期一般正味財産増減額	△ 2,798,000	0	△ 3,469,000	△ 6,267,000
一般正味財産期首残高	72,938,000	18,684,000	14,870,000	106,492,000
一般正味財産期末残高	70,140,000	18,684,000	11,401,000	100,225,000
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	1,306,000	0	0	1,306,000
基本財産運用収入	1,306,000	0	0	1,306,000
一般正味財産への振替額	1,306,000	0	0	1,306,000
一般正味財産への振替額	1,306,000	0	0	1,306,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	87,083,000	0	0	87,083,000
指定正味財産期末残高	87,083,000	0	0	87,083,000
III 正味財産期末残高	157,223,000	18,684,000	11,401,000	187,308,000

公益財団法人 盛岡市文化振興事業団

1 総括事項

(1) 名称 公益財団法人盛岡市文化振興事業団

(2) 設立年月日 平成9年10月15日

(3) 資本金又は基本財産 金 100,000,000 円

(4) 市の出資額 金 100,000,000 円

(5) 役員の氏名

理事長	三浦	宏
専務理事	獅子内	建二
理事	小野寺	明美
理事	菊池	直
理事	倉持	裕幸
理事	玉山	麻美
理事	佐々木	正利
理事	長野	祐子
理事	室月	あさ子
監事	中村	俊行
監事	渡邊	武裕

(平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

当事業団は、盛岡市における文化及び歴史並びに教育の振興を図り、あわせて市民の自主的な地域文化活動の支援に努め、もって市民の心豊かな生活の実現に寄与することを目的とし、定款第4条の規定に基づき、次の事業を行っています。

ア 音楽、舞踊、演劇、美術その他の芸術文化に関する鑑賞事業

イ 文化、歴史及び社会教育に関する教育普及事業

ウ 市民が行う文化活動の育成及び支援に関する事業

エ 文化、教育等に関する調査研究、情報の収集及び提供事業

オ 歴史、芸術、民俗等に関する資料収集、調査研究、保管、展示等の事業

カ 生涯学習、社会教育の推進及び活動の支援に関する事業

キ 文化及び社会教育関係施設等の管理運営事業

ク その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 平成27年度事業実績及び決算の状況

平成25年10月1日から、より公益性を重視した公益財団法人としての再スタートを切り、盛岡市から文化会館・公民館と博物館施設11施設の管理者として指定を受け、基本方針や事業計画を定めて、市民の心豊かな生活の実現に寄与するよう努めてきました。

平成26年度は、その公益財団法人としての本格的なスタートの初年度として、当事業団の目的に沿った事業企画や管理運営を行うべく、各施設間との連携を図りながら、事業団が一体となって、施設を利用される方や来館される方々に満足していただけるよう、さらなるサービス向上に努めたほか、施設・設備の維持管理に当たっては、効率的かつ効果的に稼働できるよう、定期的な保守点検の履行と日常的な安全管理の徹底に職員一同が尽力いたしました。そして、文化会館においては、コンサートや演劇などの芸術鑑賞事業などを積極的に展開するとともに、博物館施設においては、所蔵する貴重な資料を展示する企画展などを開催したほか、公民館においては、市民の多様なニーズと学習需要に対応した各種講座等を実施し、大きな効果を収めたものと考えているところです。

(1) 公益目的事業1 「芸術文化の振興及び社会教育の推進を図る事業」

市民や地域の方々に優れた芸術文化の提供と芸術文化活動の支援を行い、芸術文化の振興と文化の薫り高い街・盛岡にふさわしい魅力あるまちづくりの推進に寄与し、芸術文化と地域社会との懸け橋となるよう事業を展開しました。

さらに、市民の芸術文化活動の拠点として各施設の積極的な活用を図りました。

また、盛岡市における社会教育の振興を図るため、実際生活に即した教育、学術及び文化に関する各種事業を実施するとともに社会教育関係団体・グループなどの主体的学習活動を支援することにより、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に努めています。さらに、市民の生涯学習活動の拠点として各施設の積極的な活用を図りました。

(2) 公益目的事業2 「博物館の管理及び調査・研究・展示等に関する事業」

博物館事業として、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等、個々の博物館の設置目的等に関連する資料を収集、保管、展示・活用し、これらの資料の調査研究を実施するとともに、市民等の利用に供し、教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行いました。

(3) 収益事業

実施事業等に関する理解促進や関心の喚起、施設利用者・来館サービスの一環として、企画事業や顕彰先人等に関する書籍や関連商品を販売し、利用者や事業参加者が

芸術文化・社会教育・生涯学習への理解を深め、関心を喚起する環境を整備し、かつ快適な利用環境のサービス向上を図りました。

また、施設利用者・来館者の快適な利用環境整備の一環として、自動販売機を設置し販売しました。さらに、一部の施設では、災害時に無料で飲料を提供できる災害救援機能付自販機も設置しています。

なお、販売手数料等収入は、法人運営費及び公益目的事業に充当しています。

また、当事業団が公益目的事業としているもの以外の催事である、学会や研究大会、各学校の入学式や卒業式、企業の社内研修や会議等、公共施設としての役割や設置目的に支障なく施設貸与が可能な利用に対して貸館事業を実施しました。

なお、利用料金収入は、法人運営費及び公益目的事業に充当しています。

(4) 共通事業 「文化に関する情報収集、提供事業」

- ・情報誌「ぼけっと」を作成し、配布しました。
- ・盛岡劇場「演劇らいぶらりー」の蔵書を整備、充実しました。
- ・市民文化ホール窓口に、芸術文化関係書籍等を整備し、来館者に公開しています。
- ・公益財団法人盛岡市文化振興事業団ホームページの充実を図り、施設情報、イベント情報等を市民に提供しました。

(5) その他事業 「芸術鑑賞友の会 (mフレンズ) 事業」

「(公財)盛岡市文化振興事業団芸術鑑賞友の会」(愛称“mフレンズ”)事業を展開しました。友の会の27年度会員は個人会員557名、法人会員2団体。主催事業の情報提供のほか、各種セット券の販売や一部事業チケットの割引販売を行いました。

また、会員優待の特別コンサートとして「石田組」公演を実施しました。

また、盛岡市から受託した、放課後子ども教室事業を浜民公民館の事業として実施しました。

(6) その他

ア 「公益財団法人岩手県文化振興事業団岩手県民会館との連携事業」

広く市民にチケット購入の便宜を図り鑑賞機会を増やすため、公益財団法人岩手県文化振興事業団岩手県民会館と、双方の主催事業について入場券の販売を行いました。

イ 「文化に関する調査研究事業」

全国公立文化施設協会、岩手県内公立文化施設協議会に加盟し、他の文化施設との交流を図った。

ウ 「盛岡市文化会館，博物施設及び公民館管理運営事業」

盛岡市の指定管理団体として，盛岡市民文化ホール，盛岡市都南文化会館，盛岡劇場及び盛岡市渋民文化会館の文化会館4館，盛岡市先人記念館，原敬記念館，石川啄木記念館及び盛岡てがみ館の博物館施設4館並びに河南公民館，都南公民館及び渋民公民館の施設，設備等を盛岡市と締結した管理運営に関する基本協定に基づき，適切かつ効率的な管理を行うとともに，利用者・来館者の要望に応えながら管理運営を実施しました。

エ 「職員研修事業」

事業団職員の資質を高めるため，各種研修会を開催したほか，他団体が主催する研修会等に職員を参加させました。

オ 「施設利用状況」

各施設の実利用人数は以下のとおりとなります。

文化会館4館	: 431,155人
公民館3館	: 149,527人
博物施設4館	: 39,331人

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産利息等	25,273	25,000	273
基本財産運用益計	25,273	25,000	273
② 特定資産運用益			
減価償却引当資産利息等	5,014	4,448	566
オルガン大規模保守引当資産利息等	682	560	122
退職給付引当資産等利息等	4,511	2,884	1,627
特定資産運用益計	10,207	7,892	2,315
③ 受取会費			
友の会会費	1,162,000	1,024,000	138,000
受取会費計	1,162,000	1,024,000	138,000
④ 事業収益			
施設管理事業	690,715,164	700,651,186	△ 9,936,022
施設利用事業	78,067,348	81,612,865	△ 3,545,517
事業収入	64,712,492	48,270,940	16,441,552
事業収益計	833,495,004	830,534,991	2,960,013
⑤ 受取補助金等			
盛岡市補助金	88,395,000	89,116,000	△ 721,000
芸術鑑賞事業費補助金	14,903,000	15,921,000	△ 1,018,000
文化会館活動事業費補助金	8,422,000	9,206,000	△ 784,000
情報誌発行業務補助金	1,296,000	1,296,000	0
てがみ館文化活動事業補助金	29,000	48,000	△ 19,000
文化庁補助金	1,930,201	0	1,930,201
盛岡市助成金	3,900,000	3,000,000	900,000
地域創造助成金	0	2,640,000	△ 2,640,000
芸術文化振興基金助成金	0	200,000	△ 200,000
受取補助金等計	118,875,201	121,427,000	△ 2,551,799
⑥ 受取負担金等			
受取負担金収入	457,119	0	457,119
受取負担金等計	457,119	0	457,119
⑦ 受取寄付金等			
受取寄付金	2,000,000	0	2,000,000
受取寄付金等計	2,000,000	0	2,000,000
⑧ 雑収益			
受取利息	54,770	53,240	1,530
雑収益	129,840	52,584	77,256
雑収益計	184,610	105,824	78,786
経常収益計	956,209,414	953,124,707	3,084,707
(2) 経常費用			
① 事業費			
報酬	133,876,551	135,443,200	△ 1,566,649
職員給料	29,215,200	27,855,300	1,359,900
職員手当等	20,718,793	15,512,885	5,205,908
退職給付費用	3,889,622	3,343,770	545,852
福利厚生費	34,354,390	31,521,231	2,833,159
賃金	19,975,097	15,235,794	4,739,303
報償費	10,113,052	12,061,010	△ 1,947,958
旅費交通費	1,019,050	1,290,418	△ 271,368
交際費	34,096	17,894	16,202
通信運搬費	4,295,109	3,982,958	312,151
保険料	686,547	474,514	212,033
手数料	1,997,751	1,776,711	221,040
広告料	4,876,880	4,036,995	839,885
車両運搬具減価償却費	708,226	547,738	160,488
什器備品減価償却費	440,267	286,989	153,278
リース資産減価償却費	655,200	1,572,480	△ 917,280
消耗什器備品費	2,210,569	1,387,394	823,175
消耗品費	10,026,459	9,742,321	284,138
修繕費	16,709,020	23,968,668	△ 7,259,648
印刷製本費	13,142,921	12,146,011	996,910
燃料費	19,530,409	26,108,175	△ 6,577,766
光熱水料費	166,665,683	172,594,530	△ 5,928,847

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
食糧費	1,040,230	969,194	71,036
自動車関係費	438,236	242,015	196,221
委託料	374,083,308	359,748,029	14,335,279
貸借料	3,324,242	2,582,450	741,792
原材料費	491,300	0	491,300
負担金及び補助金	5,998,417	5,029,173	969,244
公課費	14,254,594	14,522,352	△ 267,758
期首たな卸高	759,802	984,250	△ 224,448
期末たな卸高	△ 642,473	△ 759,802	117,329
事業費計	894,888,548	884,224,647	10,663,901
②管理費			
役員報酬	3,680,059	4,746,738	△ 1,066,679
報酬	7,224,840	5,695,920	1,528,920
職員給料	22,428,450	21,525,020	903,430
職員手当等	15,490,641	12,818,476	2,672,165
退職給付費用	3,211,724	2,198,467	1,013,257
福利厚生費	9,467,569	8,465,012	1,002,557
資金	0	1,910,420	△ 1,910,420
報償費	15,000	22,600	△ 7,600
旅費交通費	14,400	33,600	△ 19,200
交際費	28,000	17,000	11,000
通信運搬費	209,407	365,312	△ 155,905
手数料	426,731	388,823	37,908
車両運搬具減価償却費	45,206	34,962	10,244
什器備品減価償却費	124,178	80,946	43,232
その他固定資産減価償却費	784,746	749,286	35,460
リース資産減価償却費	48,510	582,120	△ 533,610
ソフトウェア減価償却費	283,755	369,425	△ 85,670
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	288,734	313,966	△ 25,232
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	83,234	△ 83,234
光熱水料費	530,842	1,216,440	△ 685,598
被服費	0	99,360	△ 99,360
食糧費	26,009	11,472	14,537
委託料	1,533,600	1,533,600	0
貸借料	283,118	242,336	40,782
支払負担金	34,000	6,000	28,000
公課費	10,406	7,848	2,558
文化庁返還金	0	0	0
期首たな卸高	22,562	21,270	1,292
期末たな卸高	△ 25,389	△ 22,562	△ 2,827
管理費計	66,187,098	63,517,091	2,670,007
経常費用計	961,075,646	947,741,738	13,333,908
当期経常増減額	△ 4,866,232	5,382,969	△ 10,249,201
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① その他経常外収益			
退職給付引当金取崩	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① その他経常外費用			
退職給付引当金繰入額	0	0	0
雑損失	15,630	0	15,630
過年度返還金	1,056,308	0	1,056,308
固定資産除却損	1	0	1
経常外費用計	1,071,939	0	1,071,939
当期経常外増減額	△ 1,071,939	0	△ 1,071,939
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,938,171	5,382,969	△ 11,321,140
法人税、住民税及び事業税	913,300	198,700	714,600
当期一般正味財産増減額	△ 6,851,471	5,184,269	△ 12,035,740
一般正味財産期首残高	139,431,314	134,247,045	5,184,269
一般正味財産期末残高	132,579,843	139,431,314	△ 6,851,471
II 指定正味財産増減の部			
基本財産受取利息	25,273	25,000	273
基本財産運用益振替	25,273	25,000	273
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	232,579,843	239,431,314	△ 6,851,471

貸借対照表総括表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	176,991,721	187,974,954	△ 10,983,233
未収金	4,890,446	5,995,078	△ 1,104,632
前払金	296,102	945,472	△ 649,370
たな卸資産	480,500	446,000	34,500
貯蔵品	187,362	336,364	△ 149,002
仮払金	0	510	△ 510
流動資産合計	182,846,131	195,698,378	△ 12,852,247
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	22,532,621	20,417,143	2,115,478
オルガン大規模保守特定資産	3,000,000	2,700,000	300,000
退職手当引当資産	26,501,591	19,400,245	7,101,346
盛岡市民文化ホール開館20周年 記念事業積立資産	3,000,000	0	3,000,000
特定資産合計	55,034,212	42,517,388	12,516,824
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1,368,027	1,003,729	364,298
什器備品	2,017,199	850,263	1,166,936
リサイクル預託金	28,040	21,020	7,020
ソフトウェア	600,600	884,355	△ 283,755
その他の固定資産	526,558	1,204,924	△ 678,366
リース資産	0	703,710	△ 703,710
その他固定資産合計	4,540,424	4,668,001	△ 127,577
固定資産合計	159,574,636	147,185,389	12,389,247
資産合計	342,420,767	342,883,767	△ 463,000
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	68,614,666	66,096,198	2,518,468
未払消費税等	3,546,200	8,473,100	△ 4,926,900
賞与引当金	5,835,537	0	5,835,537
前受金	5,251,690	8,779,200	△ 3,527,510
預り金	156,400	0	156,400
仮受金	30,000	0	30,000
流動負債合計	83,434,493	83,348,498	85,995
2. 固定負債			
長期未払金	0	703,710	△ 703,710
退職給付引当金	26,406,431	19,400,245	7,006,186
固定負債合計	26,406,431	20,103,955	6,302,476
負債合計	109,840,924	103,452,453	6,388,471
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	28,532,621	23,117,143	5,415,478
正味財産合計	232,579,843	239,431,314	△ 6,851,471
負債及び正味財産合計	342,420,767	342,883,767	△ 463,000

財産目録

平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物置等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
流動資産	現金	手元保管	施設利用料等売上	1,753,068	
	預金	普通預金	運転資金として	174,967,753	
		岩手銀行盛岡市役所出張所			
	定期預金	定期預金	運転資金として	270,900	
		岩手銀行盛岡市役所出張所			
	現金合計				176,991,721
	未収金	事業団職員 他	3月分社会保険料本人負担分等	4,890,446	
	前払金	社説高遠印刷等	自主事業チラシ印刷代等	296,102	
	貯蔵品	切手他	施設運営用として	187,362	
	たな卸資産	冊子他	販売用として	480,500	
たな卸資産計				667,862	
流動資産合計				182,846,131	
(固定資産)					
基本財産	定期預金	岩手銀行盛岡市役所出張所	公益目的保有財産額100% 100,000,000円	100,000,000	
	基本財産合計				100,000,000
特定資産	退職手当引当資産	定期預金及び普通預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	職員に対する退職金の支払に対する積立資産	26,501,591	
	減価償却引当資産	定期預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	車両運搬具、什器備品の減価償却引当金見合の引当資産として管理している	22,532,621	
	特定費用準備資産	普通預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	盛岡市民文化ホール開館20周年記念事業に係る積立資産	3,000,000	
	オルガン大規模保守特定資産	定期預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	オルガン大規模保守に使用する資産	3,000,000	
	特定資産合計				55,034,212
	その他固定資産	車両運搬具	盛岡市民文化ホール他 3台	当事業団事業実施のために必要な資産 車両 うち、公益目的保有財産額82% 1,121,782円	1,368,027
什器備品		盛岡市民文化ホール他 22点	当事業団事業実施のために必要な資産 パソコン、プロジェクター等 うち、公益目的保有財産額68% 1,371,698円	2,017,199	
ソフトウェア		事務局	当事業団ホームページ作成費用 全額管理運営の用に供している	600,600	
リース資産(器具備品)		盛岡市民文化ホール他	当事業団事業実施のために必要な資産 施設予約システム うち、公益目的保有財産額82% 0円	0	
リース資産(ソフトウェア)		事務局	公益法人会計用ソフトウェア 全額管理運営の用に供している	0	
リサイクル預託金		盛岡市民文化ホール他 3台	当事業団事業実施のために必要な資産 車両3台分リサイクル預託金	28,040	
その他有形固定資産		事務局	当事業団管理運営に必要な資産 全額管理運営の用に供している	526,558	
その他固定資産計				4,540,424	
固定資産合計				159,574,636	
資産合計				うち、公益目的保有財産額102,493,480円 342,420,767	
(流動負債)					
流動負債	未払金	事業・管理に対する未払額	事業・管理費に供する経費の未払い分	68,614,666	
	前受金	事業に対する前受額	平成28年度芸術鑑賞事業入場料等	5,251,690	
	預り金	退職職員等に対するもの	3月分社会保険料本人負担分等	156,400	
	仮受金	受託販売に対する仮受額	受託販売未精算分	30,000	
	貸与引当金	職員等に対するもの	職員に対する貸与の支払に備えたもの	5,835,537	
	未払消費税	消費税に対する未払額	消費税の未払額	3,546,200	
流動負債合計				83,434,493	
(固定負債)					
固定負債	長期未払金(リース債務)	リース資産に対するもの	リース資産償却の残存価格	0	
	退職給付引当資産	職員等に対するもの	職員に対する退職金の支払に備えたもの	26,406,431	
固定負債合計				26,406,431	
負債合計				109,840,924	
正味財産				232,579,843	

3 平成28年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

ア 【公益目的事業】

①公益1 「芸術文化の振興及び社会教育の推進を図る事業」

市民や地域の方々に優れた芸術文化の提供と芸術文化活動の支援を行い、芸術文化の振興と文化の薫り高い街・盛岡にふさわしい魅力あるまちづくりの推進に寄与し、芸術文化と地域社会との懸け橋となるよう事業を展開していきます。また、盛岡市における社会教育の振興を図るため、実際生活に即した教育、学術及び文化に関する各種事業を実施するとともに社会教育関係団体・グループなどの主体的学習活動を支援することにより、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に努めていきます。さらに、市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点として各施設の積極的な活用を促します。

②公益2 「博物館の管理及び調査・研究・展示等に関する事業」

博物館事業として、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等、個々の博物館の設置目的等に関連する資料を収集、保管、展示・活用し、これらの資料の調査研究を実施するとともに、市民等の利用に供し、教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行います。

イ 【収益事業】

①収益1 「物品販売等に関する事業」

公立文化施設及び社会教育施設において、関連書籍等の販売や自動販売機等の設置を行い、利用者や事業参加者が芸術文化・社会教育・生涯学習への理解を深め、関心を喚起する環境を整備し、かつ快適な利用環境のサービス向上を図ります。

②収益2 「公益目的事業以外への施設貸与事業」

当事業団が公益目的事業としているもの以外の催事である、学会や研究大会、各学校の入学式や卒業式、企業の社内研修や会議等、公共施設としての役割や設置目的に支障なく施設貸与が可能な利用に対して貸館事業を実施します。

ウ 【その他事業】

①その他1 「友の会に関する事業」

友の会事業は、芸術文化振興の趣旨のもとに鑑賞者の拡大や観客の醸成を目指すものであり、当事業団の公益目的事業を補完し、サービスの向上を図る事業として実施します。

②その他2「受託等の事業」

盛岡市からの委託により、放課後や週末等に学校や地域の施設を活用する「盛岡市放課後子ども教室事業」を実施し、地域住民とともに勉強やスポーツ、文化芸術活動等の機会を子どもたちに提供します。

(2) 収支予算の概要

平成28年度収支予算書
平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 収入の部				
1 基本財産運用収入	40,000	40,000	0	
2 会費収入	1,160,000	1	1,159,999	
3 事業収入	825,994,000	830,896,000	△ 4,902,000	
4 補助金等収入	118,040,000	115,448,000	2,592,000	
5 寄附金収入	0	2,000,000	△ 2,000,000	
6 雑収入	0	11,000	△ 11,000	
当期収入合計 (A)	945,234,000	948,395,001	△ 3,161,001	
前期繰越収支差額	22,000,000	17,500,000	4,500,000	
収入合計 (B)				
II 支出の部				
1 事業費	857,848,000	860,470,000	△ 2,622,000	
2 管理費	94,706,000	91,227,000	3,479,000	
3 予備費	3,224,000	3,058,000	166,000	
4 その他	11,456,000	11,140,001	315,999	
当期支出合計 (C)	967,234,000	965,895,001	1,338,999	
当期収支差額 (A) - (C)	0	0	0	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	0	

たまやま振興株式会社

1 総括事項

- (1) 名称 たまやま振興株式会社
- (2) 設立年月日 平成9年 9月5日
- (3) 資本金又は基本財産 金 55,000,000円
- (4) 市の出資額 金 47,500,000円
- (5) 役員の名
- | | |
|---------|---------|
| 代表取締役会長 | 谷 藤 裕 明 |
| 代表取締役社長 | 工 藤 久 徳 |
| 取締役 | 福 田 稔 |
| 取締役 | 工 藤 定 幸 |
| 取締役 | 千 葉 進 |
| 取締役 | 高 橋 志 洋 |
| 取締役 | 畑 澤 修 一 |
| 取締役 | 佐々木 由 勝 |
| 監査役 | 右 京 富 弥 |
| 監査役 | 小 原 俊 彦 |

(平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

盛岡市総合交流ターミナル「ユートランド姫神」の管理運営

(ア) 野菜・淡水魚・山菜等盛岡市玉山区物産品加工、卸及び小売販売業

(イ) 盛岡市玉山区の地場産業振興のための調査、研究並びにその資料の販売事業

(ウ) 温泉利用による保養所の運営、管理事業

(エ) 飲食店、宿泊施設の運営、管理及び一般観光案内に関する事業

(オ) 各種催し物のためのイベント施設の運営、貸借、管理事業

(カ) イベント企画、製作、運営事業

(キ) 食料品、酒、たばこ、日用品雑貨の卸及び小売販売業

(ク) 前各号に付帯又は関連する一切の業務

2 平成27年度事業実績及び決算の状況

第19期 事業実績（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

生出地域エコタウン構想により正面玄関前に融雪設備が導入され、冬季間の安全な通行が確保され、利用者からも好評を得ております。

今年度も盛岡市環境企画課主催の環境学習講座の利用や地元小学校の学習の場（そば体験）として地域貢献に努めてまいりました。

昨年度の売上実績は、全部門で前年度を上回り 3,762千円の増額となっております。一方、経費面では、人員不足による社員の時間外・休日出勤対応などで人件費が増加しました。光熱水費は、太陽光発電装置により電気料は削減しましたが、水道料が今年度から盛岡市一般向け従量表が適用となり2,300千円の増額となりました。修繕費もサウナ室などクアハウス関連の修繕などで2,075千円となっており、結果として損失計上の決算となりました。

今年度事業として次のような取組を行いました。

1 盛岡市関係事業

生出エコタウン構想による環境学習施設として環境企画課主催の環境学習講座を計5回開催し、延べ人数で107名の受講者がありました。

2 クアハウス部門

夏季期間に高温の影響等により利用者減となりましたが、冬季間で利用者増となり前年度より僅かではありますが増加となりました。

5月にオオヤマザクラまつり、姫神山やま開きで〔特別入浴券〕を販売しました。

（9月の岩洞湖まつりは中止のため不参加）

3 宿泊・宴会部門

平成25年9月の通常期宿泊料金を見直し後、ビジネス客の利用が増加しております。特に工事関係者など連泊利用者が増加となりました。国体関連では、岩手県剣道連盟・岐阜ホッケー協会の利用がありました。スポーツ合宿関連では盛岡第一高校硬式野球部の冬季合宿利用がありました。

4 産直・売店部門

春の苗関係とお盆及び彼岸時期に花が好評で微増となりました。午後時間帯の野菜等の品切れが多くなるため、いずみ会役員と対策について協議しております。

5 自主事業関係

自主事業としてグリーンツーリズム(そば体験)を8月と1月に実施し、地元小学校高学年16名が受講、指導者によるそばの蒔き方に始まり、収穫したそば粉を使用したそば打ち体験などの食育教育を実施しました。

以上の取り組みにより売上実績113,405千円、利用者数実績199,388人となり、その結果、売上及び営業外収益で113,790千円、売上原価並びに一般管理費及び営業外費用で125,557千円となり、経常損失11,766千円から特別損失及び法人税・住民税を差し引き当期純損失は、11,951千円となりました。

損益計算書(会社法に基づく株式会社等)

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
1 売上高	113,405,451	
クアハウス売上	42,989,056	
郷土食売上	14,297,372	
宿泊売上	45,718,430	
産直売店他売上	10,400,593	
2 売上原価	21,530,475	
期首たな卸高	180,241	
産直売店他仕入高	1,216,012	
当期製品製造原価	20,306,846	
合 計	21,703,099	
期末たな卸高	172,624	
売上純利益(損益)		91,874,976
3 販売費及び一般管理費	103,796,158	
営業損失		11,921,182
4 営業外収益	385,439	
受取利息	15,420	
雑収入	370,019	
5 営業外費用	230,815	
経常損失		11,766,558
6 特別利益	0	
7 特別損失	0	
固定資産除却損		
役員退職慰労金		
税引前当期純損失		11,766,558
法人税、住民税及び事業税	185,000	
当期純損失		11,951,558

貸借対照表(会社法に基づく株式会社等)

平成 28 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	15,829,248	
売掛金	557,888	
たな卸資産	2,192,741	
未収入金	2,448,572	
その他	3,871	
流動資産合計		21,032,320
2 固定資産		
有形固定資産	1,061,824	
機械及び装置	1,003,483	
工具、器具及び備品	30,019	
建物付属設備	28,322	
有形固定資産合計		1,061,824
無形固定資産	0	
投資その他の資産	37,120	
固定資産合計		1,098,944
3 繰延資産	0	
資産合計		22,131,264
II 負債の部		
1 流動負債		
買掛金	1,929,859	
未払金	5,028,017	
未払費用	3,049,062	
その他	3,052,997	
流動負債合計		13,059,935
2 固定負債	0	
負債合計		13,059,935
III 純資産の部		
株主資本		
(資本金)	55,000,000	
(資本剰余金)	0	
(利益剰余金)	△ 45,928,671	
純資産の部合計		9,071,329
負債・純資産の部合計		22,131,264

株主資本等変動計算書(会社法に基づく株式会社等)
平成27年4月1日～平成28年3月31日

株主資本					
資本金	前期末残高				55,000,000
	当期変動額				0
	当期末残高				55,000,000
利益剰余金					
利益準備金	前期末残高				1,310,000
	当期変動額				0
	当期末残高				1,310,000
その他利益剰余金					
役員退職慰労積立金	当期首残高				1,880,000
	当期変動額	役員退職慰労積立金の取崩			0
	当期末残高				1,880,000
繰越利益剰余金	前期末残高				△ 37,167,113
	当期変動額	役員退職慰労積立金の取崩			0
	当期末残高	当期純損失			△ 11,951,558
					△ 49,118,671
利益剰余金合計	前期末残高				△ 35,287,113
	当期変動額	役員退職慰労積立金の取崩			0
	当期末残高	当期純損失			△ 11,951,558
					△ 47,238,671
株式資本合計	前期末残高				21,022,887
	当期変動額				△ 11,951,558
	当期末残高				9,071,329
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	前期末残高				0
	当期変動額				0
	当期末残高				0
純資産合計	前期末残高				21,022,887
	当期変動額	役員退職慰労積立金の取崩			0
	当期末残高	当期純損失			△ 11,951,558
					9,071,329

個別注記表(会社法に基づく株式会社等)

平成27年4月1日～平成28年3月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の原価償却の方法

① 有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については定額法を採用しております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 2,016,714円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式総数 1,100株

4. 一株当たり情報に関する注記

(1) 一株当たり純資産額は、8,246.66円であります。

(2) 一株当たり当期純損失は、10,865.05円であります。

第20期 事業計画（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

基本方針

近年赤字決算が続いていることから、今年度は赤字幅減少に向けて次により鋭意取り組むこととします。

10月に岩手国体が開催され、他県からの宿泊者が見込まれることから、心からのおもてなしで迎えることとし、当館の知名度のアップにつながるよう取り組みます。

今年度の基本的な取組としては、新企画として公共交通機関や旅行代理店との共同事業の実施検討や会社独自の新事業の実施に向けて取り組んでまいります。

また、宿泊客増加に向け、閑散期における宿泊料金の変更や学生の合宿誘致などに努めてまいります。

クアハウスは、今年度から入浴料金が100円アップすることから、利用者の減少防止に向け特別入浴券を発行するとともに、取引業者や玉山地域内法人等へ販売案内を行うなど新規利用者の確保に努めてまいります。

また、宿泊利用者から入浴時間の延長を望む声が多いことから、実施に向けて取り組むこととします。

産直、売店関係では、いずみ会と連携し野菜等の種類、量の確保、魅力ある土産品に向け取り組むこととします。

当館のPR及び営業活動の充実に向け、ホームページの充実、案内看板の設置のほか減少傾向にある宴会の増加を図るため、法事等の利用案内、各種団体への積極的な案内、官庁や企業等への積極的な営業活動を実施します。

また、開館して18年が経過して、施設の老朽化が進行していることから、経費削減も視野に入れ、利用者からの要望の多い温水洗浄便器への取り換えや電燈のLED化など施設、備品の改修に向け市所管課と協議を行い、計画的な実施のほか、指定管理制度の適正な運用による指定管理料についても協議してまいります。

このような方針のもとに、地域資源や農村資源を活用し、地域の活性化に向け特色ある施設運営と健全経営に努めてまいります。

第20期 売上及び利用者見込み

	売上(単位:千円)	人数(単位:人)	客単価見込み
入湯者	48,000	98,000	490 円
郷土食	15,000	23,000	652 円
宿泊・宴会	47,000	9,000	5,222 円
産直・売店	11,000	59,000	186 円
計	121,000	189,000	—

基本計画

1. 農村資源を活用した都市と農村の交流を図る。
2. 市民の保健保養の場としての顧客満足度の高い施設運営に取り組む。
3. 企業として地域の活性化への貢献と自立経営を目指す。
4. 各部門ごとの経営改善に努め、不採算部門の解消に努める。

事業計画【 具体的な取り組み 】

クアハウス ◎ ポイントカードの回数及び期限の見直し

◎ 食事付入浴券の検討

◎ 取引業者等への回数券の特別販売の実施

郷土食

◎ 啄木定食の促進

◎ 名物料理の研究

産直・売店

◎ 産直、売店の配列の見直し

◎ 産直の種類、量の拡大

◎ 自動販売機の種類、設置場所の見直し(実績調査による)

◎ 土産品の種類の見直し(納入業者含む)

ホテル

◎ リピーターへの定期的な情報提供

◎ 入浴時間の延長の検討(12時まで)

◎ 宿泊料金の再検討及び弾力的な宿泊料金の運用

イベント

◎ 産業まつりの開催(ユートランド祭りと共催)

◎ ビール祭りの実施

◎ 公共交通機関、旅行代理店との共同事業の検討

PR・営業活動

◎ ホームページの充実

◎ 案内看板の見直し

◎ 法事、合宿等の誘致活動

◎ 市内各種団体等への案内(老人クラブ、町内会自治会、農業商業団体等)

その他

◎ 環境整備

◎ 中庭、館外樹木、花卉等

◎ 従業員の確保・育成

- ◎ 利用者への挨拶等の徹底
- ◎ 身だしなみの徹底
- ◎ 生田エコタウン構想による各種事業の実施(協力)

(2) 収支予算の概要

平成28年度収支予算書
平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位:円)

科 目	本 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	摘 要
I 収入の部				
1 基本財産運用収入	-	-	-	
2 事業収入	121,000,000	114,250,000	6,750,000	
3 補助金収入	-	-	-	
4 雑収入	0	0	0	
当期収入合計(A)	121,000,000	114,250,000	6,750,000	
前期繰越収支差額				
収入合計(B)	121,000,000	114,250,000	6,750,000	
II 支出の部				
1 事業費	22,000,000	22,000,000	0	
2 管理費	102,760,000	97,491,000	5,269,000	
3 予備費	-	-	-	
4 その他	-	-	-	
当期支出合計(C)	124,760,000	119,491,000	5,269,000	
当期収支差額(A) - (C)	△ 3,760,000	△ 5,241,000	1,481,000	
次期繰越収支差額(B) - (C)	△ 3,760,000	△ 5,241,000	1,481,000	

株式会社盛岡地域交流センター

1 総括事項

- (1) 名称 株式会社盛岡地域交流センター
- (2) 設立年月日 平成4年2月20日
- (3) 資本金 金2,600,000,000円
- (4) 市の出資額 金 690,300,000円
- (5) 役員の名
- | | |
|---------|-----------|
| 代表取締役社長 | 谷 藤 裕 明 |
| 専務取締役 | 新 沼 正 博 |
| 常務取締役 | 渡 辺 武 裕 |
| 取 締 役 | 瀬 川 隆 盛 |
| 取 締 役 | 久 萬 原 敏 己 |
| 取 締 役 | 田 口 幸 雄 |
| 取 締 役 | 佐 藤 善 通 |
| 取 締 役 | 佐 藤 安 紀 |
| 取 締 役 | 村 上 尚 登 |
| 取 締 役 | 熊 谷 祐 三 |
| 取 締 役 | 田 沼 征 彦 |
| 取 締 役 | 谷 村 邦 久 |
| 常勤監査役 | 山 本 博 |
| 監 査 役 | 藤 尾 善 一 |
| 監 査 役 | 佐 藤 利 久 |
| 監 査 役 | 早 坂 靖 志 |

(平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

- ア 不動産の賃貸及び管理
- イ 情報交流の促進並びに産業振興のための会議施設等の運営及び管理
- ウ 情報交流の促進並びに産業振興のための各種催事、展示会等の企画運営

2 平成27年度事業実績及び決算の状況

(1) 事業報告

会社の状況に関する重要な事項

ア 事業の経過及びその成果

平成27年度の国内経済は、年初の段階では、大幅な原油安・円安の恩恵によって成長を辿ることが期待されましたが、平成26年4月の消費増税による個人消費の低迷が続き、設備投資、生産、輸出などは弱含んでおり、期待通りの成長は遂げられておりません。さらにデフレ脱却を目指す日銀が本年1月、史上初の「マイナス金利」導入に至っているが期待通りの効果は上がっていません。このためGDP実質成長も年率換算でも0.7%と弱さの見られる状況となっています。

消費税再引上げを平成29年4月に控え、中小企業の賃上げがままならない中、個人消費の回復に大きな期待が持てず、海外経済や金融資本市場に不安材料がありますが、自律的で持続的な地域社会の形成を目的とする「地方創生」を柱とする新たな経済対策が逸早く実効性のあるものとなるよう望まれます。

平成27年度の東北の賃貸オフィス市場における主要都市間の空室率は、表1「東北主要都市及び当社の空室率推移表」のとおり、各都市間における隔たりはあるものの、総じて改善の傾向にあります。

仙台市は郊外や自社ビルからの借り換え移転や館内増床、拡張移転、小規模の新規需要などが続いていることから堅調に推移しており、今後も緩やかな改善が見込まれます。

仙台市以外では、築浅物件への移転需要の増加の一方、解約等の動きは少なく、空室率は緩やかに減少しています。

当社の平成27年度のテナント入退去の状況につきましては、表2「平成27年4月以降の新規入居、増床、転出等状況推移表」のとおり、退去や移転への対応が功を奏し高い入居率を継続、9月に100%を達成して以降満室を維持しております。

平成27年度の収支状況につきましては、売上高は823,468千円と前期比6,622千円の減収となりました。

主な要因として、不動産賃貸収入ではテナント入居率が前年度に引き続き高水

準に推移し、また、会議室収入も多数の大口利用団体や学会利用等により稼働率も上昇し、前期比2,202千円増収となりましたが、一方で情報事業収入では、前年度PBXを廃止したことに伴う通信回線使用料等の収入が減少し、8,825千円減収となったものです。

営業利益は261,004千円と前期比20,118千円の増益となりました。これは、売上原価において不動産賃貸費用で工事費等減少及び情報事業費用でPBX廃止に伴う業務委託の縮小等により前期比36,940千円減少したことによるものです。

経常利益は252,400千円と前期比22,999千円の増益、当期純利益につきましては、168,303千円と前期比36,787千円の増益となりました。

なお、営業外費用で雑損失の計上額については、電話配線設備使用料の請求件数の相違によるものが主なものです。

表1 「東北主要都市及び当社の空室率推移表」

ゾーン名称	平成27年3月	平成27年6月	平成27年9月	平成27年12月	平成28年3月	前期末比
仙台市	7.4%	7.3%	7.1%	7.5%	7.2%	△0.2
盛岡市	4.3%	4.5%	4.4%	4.1%	3.3%	△1.0
青森市	11.6%	10.3%	9.8%	10.0%	10.0%	△1.6
秋田市	14.1%	13.3%	13.6%	14.2%	13.6%	△0.5
山形市	9.3%	9.2%	8.7%	7.9%	6.8%	△2.5
郡山市	2.7%	2.4%	2.2%	1.8%	2.1%	△0.6
当社	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	△2.5

資料・CBRE(株)ジャパンオフィスマーケットビュー

※各四半期の空室率算定基準・・・延床面積1,000坪以上で新耐震基準に準拠した賃貸オフィスビルを対象

表2 「平成27年4月以降の新規入居、増床、転出等状況推移表」

時 期	テナント名	入居階	床面積 (㎡)	床面積 比 率	備 考	入居率
平成27年7月	アズビル	6階	137.39	1.08%	館内増床 移転	98.59%
平成27年8月	〃	12階	△81.45	△0.64%	〃	97.95%
平成27年9月	明治	12階	256.77	2.05%	新規入居	100.00%
平成27年10月	ニチイ北東北第一営業部	16階	△151.99	△1.20%	東北支社 に統合	98.80%
平成27年10月	キーエンス	16階	151.99	1.20%	館内縮小 移転	100.00%
平成27年11月	〃	14階	△201.93	△1.60%	〃	98.40%
平成27年11月	アイシン・コムクルーズ	14階	201.93	1.60%	隣室増床	100.00%

※賃貸可能面積：12,637.74㎡

イ 設備投資の状況

当期に実施した設備投資の総額は、41,098千円であります。主なものは、BASローカルユニット更新工事19,072千円、積算電力量計交換工事—5,400千円、12階・14階事務室OAフロア敷設工事3,219千円、空調機用加湿モジュール交換工事1,860千円等に加え、3階及び18階へのデジタルサイネージ設置1,666千円等であります。

ウ 財産及び損益の状況の推移

財産及び損益の状況の推移は、次のとおりです。

期間 区分	平成24年度 (第22期)	平成25年度 (第23期)	平成26年度 (第24期)	平成27年度 (第25期)
売上高 (千円)	811,233	822,203	830,091	823,468
経常利益 (千円)	133,934	193,789	229,401	252,400
当期純利益 (千円)	80,912	118,856	131,515	168,303
一株当り 当期純利益 (円)	1,556.01	2,285.69	2,529.14	3,236.59
総資産 (千円)	4,519,987	4,477,678	4,396,076	4,394,550
純資産 (千円)	3,230,865	3,349,721	3,468,236	3,623,540

貸 借 対 照 表

(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	752,152,249	流動負債	372,357,931
現金及び預金	742,079,739	未払金	61,093,816
貯蔵品	224,106	未払費用	1,747,463
未収入金	1,587,616	一年以内返済の 長期借入金	189,500,000
前払費用	3,671,920	前受金	52,260,506
繰延税金資産	4,588,868	預り金	618,615
		未払法人税等	55,206,400
		仮受金	15,131
		未払消費税等	11,916,000
固定資産	3,642,398,425	固定負債	398,652,732
有形固定資産	3,336,485,018	長期借入金	26,000,000
建築物	3,293,069,254	預り敷金	368,366,432
構築物	4,162,463	役員退職慰労引当金	3,980,000
機械装置	1,471,767	退職給付引当金	306,300
工具器具備品	35,385,534		
建設仮勘定	2,396,000	負債合計	771,010,663
無形固定資産	1,370,196	(純資産の部)	
ソフトウェア	1,370,196	株主資本	3,623,540,011
投資その他の資産	304,543,211	資本金	2,600,000,000
投資有価証券	300,140,963	利益剰余金	1,023,540,011
出資金	50,000	利益準備金	5,200,000
長期前払費用	2,029,988	その他利益剰余金	1,018,340,011
繰延税金資産	2,322,260	別途積立金	840,000,000
		繰越利益剰余金	178,340,011
		純資産合計	3,623,540,011
資産合計	4,394,550,674	負債及び純資産合計	4,394,550,674

損 益 計 算 書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		823,468,901
売 上 原 価		465,511,213
売 上 総 利 益		357,957,688
販売費及び一般管理費		96,953,189
営 業 利 益		261,004,499
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	1,236,092	
雑 収 入	165,300	1,401,392
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	8,121,587	
雑 損 失	1,883,393	10,004,980
経 常 利 益		252,400,911
特 別 利 益		
受 贈 益	450,053	450,053
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	889,244	889,244
税 引 前 当 期 純 利 益		251,961,720
法人税、住民税及び事業税	84,028,347	
法 人 税 等 調 整 額	△ 369,751	83,658,596
当 期 純 利 益		168,303,124

株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

株主資本			
資本金	前期末残高		2,600,000,000
	当期変動額	新株の発行	0
	当期末残高		2,600,000,000
資本剰余金			
資本準備金	前期末残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
その他資本剰余金	前期末残高及び当期末残高		0
資本剰余金合計	前期末残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
利益剰余金			
利益準備金	前期末残高		3,900,000
	当期変動額	剰余金の配当に伴う積立て	1,300,000
	当期末残高		5,200,000
その他利益剰余金			
別途積立金	前期末残高		730,000,000
	当期変動額	平成26年度剰余金処分	110,000,000
	当期末残高		840,000,000
繰越利益剰余金	前期末残高		134,336,887
	当期変動額	平成26年度剰余金処分 剰余金の配当 準備金の積立て 当期純利益	△ 110,000,000 △ 13,000,000 △ 1,300,000 168,303,124
	当期末残高		178,340,011
利益剰余金合計	前期末残高		868,236,887
	当期変動額		155,303,124
	当期末残高		1,023,540,011
自己株式	前期末残高		0
	当期変動額	自己株式の処分	0
	当期末残高		0
株主資本合計	前期末残高		3,468,236,887
	当期変動額		155,303,124
	当期末残高		3,623,540,011
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	前期末残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
純資産合計	前期末残高		3,468,236,887
	当期変動額		155,303,124
	当期末残高		3,623,540,011

個 別 注 記 表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
定額法によっております。
- (2) 無形固定資産
定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率により回収不能見込額を計上しております。
- (2) 役員退職慰労引当金
役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
- (3) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

4 消費税及び地方消費税の処理方法

税抜き方式によっております。

II 貸借対照表に関する注記

1 担保に供している資産及び担保付債務

- (1) 担保に供している資産の内容及び金額 建 物 3, 293, 069千円
- (2) 担保に係る債務の金額 長期借入金 215, 500千円
(一年以内返済予定含む。)

- 2 有形固定資産の減価償却累計額 4, 369, 899千円

III 株主資本等変動計算書に関する注記

1 当事業年度の末日における発行済株式の数 52,000株

2 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成27年6月29日、定時株主総会決議

① 株式の種類	普通株式
② 配当金の総額	13,000千円
③ 1株当たり配当額	250円
④ 基準日	平成27年3月31日
⑤ 効力発生日	平成27年7月2日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

平成28年6月29日開催の第25回定時株主総会の議案として、株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

① 株式の種類	普通株式
② 配当金の総額	13,000千円
③ 配当の原資	利益剰余金
④ 1株当たり配当額	250円
⑤ 基準日	平成28年3月31日
⑥ 効力発生日	平成28年7月4日

平成28年6月29日開催の第25回定時株主総会において、上記の議案は承認可決された。
(平成28年6月29日加筆)

IV 税効果会計に関する注記

1 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

(1) 繰延税金資産（流動）

未払事業税	2,895千円
未払地方法人特別税	1,269千円
未払賞与	423千円
繰延税金資産（流動）合計	4,588千円

(2) 繰延税金資産（固定）

一括償却資産	32千円
減価償却超過額	1,003千円
役員退職慰労引当金	1,194千円
退職給付引当金	91千円

2 法人税等の税率の変更による繰延税金資産の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月29日に成立し、平成28年4月1日以降開始する事業年度から法人税率等の引下げが行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産の計算に使用される法定実効税率は、前事業年度の33%から、平成28年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異等については30%となります。

この税率の変更により、繰延税金資産の金額は691千円減少し、法人税等調整額は同額増加しております。

V 金融商品に関する注記

1 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用について預金及び安全資産である国債に限定するとともに、資金調達は、開業当初時の銀行等金融機関からの借入のみとなっております。

また、借入金の使途は、当初設備投資資金（長期）であり、金利変動リスクにつきましては、当初借入時からの特約により、一定期間ごとに金利が更改される条件となっております。

2 金融商品の時価等に関する事項

平成28年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額 (※)	時価 (※)	差額
(1) 現金及び預金	742, 079	742, 079	—
(2) 未収入金	1, 587	1, 587	—
(3) 投資有価証券			
満期保有目的の債券	300, 140	309, 770	9, 629
(4) 未払金	(61, 093)	(61, 093)	—
(5) 長期借入金	(215, 500)	(216, 558)	1, 058
(一年以内返済の長期借入金を含む。)			
(6) 預り敷金	(368, 366)	(363, 571)	△4, 795

(※) 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未収入金、並びに(4)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 投資有価証券

投資有価証券は国債であり、時価については、取引金融機関から提示された価格によっております。

また、投資有価証券はすべて満期保有目的であり、種類ごとの貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は次のとおりであります。

なお、当事業年度中に売却した満期保有目的の債券はありません。

(単位：千円)

	種類	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	300,140	309,770	9,629
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—
合 計		300,140	309,770	9,629

(5) 長期借入金

一年以内返済の長期借入金を含めた長期借入金の時価について、変動金利については、金利改定日が3月のため、市場金利を反映していることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額によっており、また、固定金利については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(6) 預り敷金

預り敷金の時価については、当期末における賃料相場により算定しております。

(注2) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	742,079	—	—	—
投資有価証券	—	150,000	150,000	—

合 計	742,079	150,000	150,000	—
-----	---------	---------	---------	---

(注3) 長期借入金の決算日後の返済予定額

(単位：千円)

区 分	1年内	1年超 2年内	2年超 3年内	3年超 4年内	4年超 5年内	5年超
長期借入金	189,500	26,000	—	—	—	—
合 計	189,500	26,000	—	—	—	—

VI 賃貸等不動産の状況に関する注記

当社は、賃貸用のオフィスビルを区分所有しております。なお、その一部については当社が使用しているため、賃貸等不動産として使用される部分を含む不動産としております。平成28年3月期における当該賃貸等不動産として使用される部分を含む不動産に関する賃貸損益は357,957千円（賃貸収入は売上高823,468千円、賃貸費用は売上原価465,511千円）であります。減損損失はありません。

また、当該賃貸等不動産として使用される部分を含む不動産の貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は、次のとおりであります。

(単位：千円)

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期増減額	当期末残高	
3,388,312	△91,080	3,297,231	4,072,945

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。

(注2) 当期末の時価は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額であります。

VII 関連当事者との取引に関する注記

名 称	盛岡市	株式会社日本政策投資銀行	
関 係	法人主要株主	法人主要株主	
議決権の割合	26.55%	11.54%	
取引の内容	株式会社日本政策投資銀行ほか 5金融機関からの借入に対する 損失補償	資金の借入	
取引の金額	当事業年度中の新規の損失補償は ない。	当事業年度中の新規借入はない。 支払利息 2,464千円	
取引条件及び 決定方針	盛岡市議会平成8年3月14日、 債務負担行為補正可決による。	民活法の適用によっており、社会資本 整備促進無利子融資を含む。有利子融 資の利率は2.3%~2.8%	
期 末 残 高	215,500千円	無利子分	有利子分
		—	57,400千円

VIII 一株当たり情報に関する注記

1 一株当たり純資産額	69,683円46銭
2 一株当たり当期純利益	3,236円59銭

IX その他の注記

記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

附 属 明 細 書

1 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

区 分	資 産 の 種 類	期 首 帳簿価額	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 償 却 額	期 末 帳簿価額	減 価 償 却 累 計 額	期 末 取 得 原 価
有 形 固 定 資 産	建 物	3,383,350,868	37,966,334	889,244	127,358,704	3,293,069,254	4,103,022,478	7,396,091,732
	構 築 物	4,961,276	220,941	—	1,019,754	4,162,463	45,575,543	49,738,006
	機 械 装 置	2,369,906	—	—	898,139	1,471,767	103,412,070	104,883,837
	工 具 器 具 備 品	40,150,630	1,666,900	—	6,431,996	35,385,534	117,888,974	153,274,508
	建 設 仮 勘 定	2,995,000	—	599,000	—	2,396,000	—	2,396,000
	計	3,433,827,680	39,854,175	1,488,244	135,708,593	3,336,485,018	4,369,899,065	7,706,384,083
無 形 固 定 資 産	ソ フ ト ウ ェ ア	654,473	1,244,000	—	528,277	1,370,196	/	
	計	654,473	1,244,000	—	528,277	1,370,196		

(注) 当期増加額の主なものは以下のとおりであります。

建 物	BASローカルユニット更新工事	19,072千円
	専有部積算電力量計交換工事	5,400千円

2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	当 期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
役員退職慰労引当金	3,710,000	700,000	430,000	3,980,000
退職給付引当金	273,000	33,300	—	306,300

3 販売費及び一般管理費の明細

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
役 員 報 酬	16,984,000	
給 料 手 当	39,648,453	
退 職 給 付 費 用	797,300	
研 修 費	154,226	
法 定 福 利 費	8,568,314	
福 利 厚 生 費	1,217,446	
旅 費 交 通 費	2,509,070	
通 信 費	599,495	
広 告 宣 伝 費	4,967,149	
接 待 交 際 費	1,032,047	
会 議 費	203,269	
水 道 光 熱 費	2,609,160	
消 耗 品 費	1,513,121	
租 税 公 課	9,997,737	
図 書 新 聞 費	495,926	
支 払 手 数 料	2,829,498	
諸 会 費	159,960	
寄 付 金	60,000	
賃 借 料	1,049,048	
備 品 費	679,908	
諸 雑 費	178,062	
役員退職慰労引当金繰入	700,000	
計	96,953,189	

3 平成28年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 平成28年度事業計画の基本方針

28年度は、第三次中期経営計画の初年度として、第二次中期経営計画の実績を踏まえ、堅実な健全経営に努めて参ります。

また来年度は、会社設立25周年、開業20周年となりますことから、記念すべき年に確実に健全経営を継承する重要な年となります。

第三次中期経営計画に掲げた6つの基本方針①会社の持続的発展を支える人材育成②安定的な収益確保③株主への利益還元④第二次中長期修繕計画の確実な執行⑤マリオスの付加価値の向上⑥公民連携に基づく新たな事業展開を中心に会社経営に努めることとなりますが、前段の3方針は、社内的に、業務執行体制の充実、所掌業務の明確化と内外情報の共有、研修機会の拡大、就労条件の改善などにより推進します。

後段の3方針は、区分所有者との合意形成、マリオスロード地区協議会事業のさらなる活性化、盛岡市をはじめとする関係機関と連携が重要な要素となることを充分認識していくものとします。

(2) 平成28年度重点事業計画

ア 経営基盤の強化

入居率100%の維持に努め、今後のテナント転出・集約リスクに備えて、岩手県、盛岡市及び関係各方面からの企業立地情報、入居見込先情報等の提供をいただくとともに、不動産仲介業者等とのネットワークの拡充を図り、積極的なテナントやイベントの情報収集に努めます。空室発生時には、その期間の最大限の短縮を図るため、転出日程を前提に、転出手続きと同時並行に見込み先との交渉、原状回復やフロアのOA化などを迅速に進めます。

新規入居、契約更新における賃料設定について、不動産市場における賃料の下げ止まり傾向を踏まえ、お客様と真摯な交渉に努めます。

加えて、18階会議室のリニューアルを積極的にPRするとともに盛岡市が推進するMICE事業を好機と捉え、盛岡観光コンベンション協会など関係機関との連携に努め、会議室の利用促進を図ります。

特に、年末に予定されるILC国際会議の開催を大きなビジネスチャンスと

捉え、その対応についてソフト、ハード両面から準備します。

またマリオス館内の専有部、共用部の有効活用により、テナント、市民のみなさまへのサービスの向上と収益の増加を図ります。

このような経営基盤を支える人材を育成するため、社員との面談に基づくキャリアプランの充実、適材適所の人事、役員、社員の計画的な内外の研修機会の確保、盛岡市や他の公益法人、第3セクターなどの給与、諸手当などの就労条件の実態調査などを進め、処遇改善を図ります。

また会社法の改正によって、昨年9月に見直しを行った“内部統制システムの基本方針”に基づき、適正な会社業務の執行に努めます。

平成25年度から実施してきたマリオス将来構想研究会の成果である『マリオス中長期ビジョン&プロジェクト』と平成27年2月27日盛岡市長に提出した『盛岡駅西口地区の活性化の提案』や平成27年度国土交通省が行ったPPP関連調査地域懇談会において発信した内容を具体的に推進する取組みを行います。盛岡市をはじめ関係機関との連携、(仮)盛岡駅西口地区エリアマネジメント協議会(意見交換、情報共有の場、プラットフォームまたはコンソーシアムとしての組織)の設立と推進などが挙げられますが、開業以来培ってきたビル管理、不動産業としてのノウハウを充分活用することが重要です。

今秋開催の希望郷いわて国体・いわて大会における記録本部やプレスセンターとしての機能を最大限発揮していただけるよう、またILC実現誘致、盛岡市が定める広域中枢都市圏ビジョンなどにおいても、岩手県、盛岡市の玄関口・拠点としての役割を果たさなければならない盛岡駅西口、マリオスそして当社の将来を見据え、持続的な発展が図られるよう努めます。

イ. ビルの適正な維持管理

18年を経過したビルであることを再認識し、日常的な建物・設備の維持管理とともに第二次中長期修繕計画に基づく、修繕費用財源の確保と計画的な工事発注に努めます。

複合ビルとして消防法の改正に基づく見直しを行ったマリオス全体の防火・防災消防計画や事業継続計画(BCP)の実効性を高めるため、ビル全体の自衛消防隊と入居者による自衛意識の高揚と訓練の実施を図り、安全安心で快適なビル環境を提供します。

大型修繕につきましては、BAS (Building Automation System) ローカルユニットコントロール更新工事の継続、受信機連動操作盤更新工事、外壁他シール打替え工事の継続など、区分所有者と合意形成を図りながら着実に実施します。

ウ 盛岡駅周辺の「賑わいの創出」とサービスの向上

盛岡駅周辺の「賑わいの創出」のため、マリオスロード地区協議会事業の「サマーフェスティバル」、「ハートフルクリスマス」等に積極的に参画します。特に各イベントにおいて盛岡駅東西の交流促進を図るため、自由通路“さんさこみち”や人工地盤を有効活用します。

また盛岡駅・盛岡ターミナルビルと連携し、若手の発想を活かした盛岡駅西口の活性化プロジェクトMMM（もっと盛り上げよう盛岡）を更に推進します。併せてテナント、入居者及びマリオス来館者等へのサービス向上のためマリオス納涼祭りを盛大に実施するとともに、デジタルサイネージの設置、3階エントランス、4階アトリウム、6階屋上庭園、20階展望室の積極的な活用、現場サイドの意見を即、実行に移すおもてなし向上委員会の充実を図ります。

以上平成28年度重点事業を確実に実行し、シンボルタワーとしてのマリオスの総合評価を高め、県都盛岡の発展に寄与します。

平成28年度収支計画

単位：円

区 分	平成27年度 実績額(a)	平成28年度 収支計画(b)	比較増減 (b)－ (a)
売 上 高	823,468,901	782,267,000	△ 41,201,901
不動産賃貸収入	822,000,110	781,113,000	△ 40,887,110
テナント賃貸収入	743,931,302	708,026,000	△ 35,905,302
貸会議室収入	57,268,891	52,849,000	△ 4,419,891
ビル管理収入	20,799,917	20,238,000	△ 561,917
情報事業収	1,468,791	1,154,000	△ 314,791
売 上 原 価	465,511,213	481,411,000	15,899,787
不動産賃貸費用	463,430,073	479,375,000	15,944,927
情報事業費	2,081,140	2,036,000	△ 45,140
売 上 総 利 益	357,957,688	300,856,000	△ 57,101,688
販売費及び一般管理費	96,953,189	104,200,000	7,246,811
営 業 利 益	261,004,499	196,656,000	△ 64,348,499
営 業 外 収 益	1,401,392	1,215,000	△ 186,392
受取利息・配当金	1,236,092	1,215,000	△ 21,092
雑 収 入	165,300	—	△ 165,300
営 業 外 費 用	10,004,980	4,051,000	△ 5,953,980
支 払 利 息	8,121,587	4,051,000	△ 4,070,587
雑 損 失	1,883,393	—	△ 1,883,393
経 常 利 益	252,400,911	193,820,000	△ 58,580,911
特 別 利 益	450,053	—	△ 450,053
受 贈 益	450,053	—	△ 450,053
特 別 損 失	889,244	—	△ 889,244
固定資産除却損	889,244	—	△ 889,244
税引前当期純利益	251,961,720	193,820,000	△ 58,141,720
法人税、住民税及び事業税	84,028,347	58,146,000	△ 25,882,347
法人税等調整額	△ 369,751	—	369,751
当 期 純 利 益	168,303,124	135,674,000	△ 32,629,124

※平成28年度収支計画における法人税、住民税及び事業税は実効税率30%で計算。

平成28年度資金計画

単位:円

区 分	平成27年度決算額	平成28年度計画	備 考
前期繰越金(現金・預金)	643,512,187	742,079,739	
資 金 調 達	89,449,596	5,725,000	
借 入 金	—	—	
預 り 敷 金	14,449,596	5,725,000	
投資有価証券償還	75,000,000	—	
資 金 運 用	413,829,145	448,634,000	
法人税・住民税	83,658,596	85,188,000	
借入金返済	197,200,000	189,500,000	
投資有価証券運用	75,000,000	—	
設 備 投 資	40,499,175	126,561,000	
敷 金 返 還	4,471,374	34,385,000	
配 当 金	13,000,000	13,000,000	
税引前当期純利益	251,961,720	193,820,000	
減 価 償 却 費	136,236,870	131,731,000	
固 定 資 産 除 却 損	889,244	—	現預金の支出が 伴わない振替分のみ
小 計 1	389,087,834	325,551,000	
当期における資産増加額	△ 3,466,342	—	
当期における負債増加額	30,392,925	—	
小 計 2	△ 33,859,267	—	
次 期 繰 越 金	742,079,739	624,721,739	

公益財団法人 盛岡地域地場産業振興センター

1 総括事項

(1) 名称 公益財団法人 盛岡地域地場産業振興センター

(2) 設立年月日 昭和59年8月31日

(3) 資本金又は基本財産 金 27,370,000円

(4) 市の出資額 金 10,555,000円

(5) 役員の名

〈理事〉

理事長 谷藤 裕明
専務理事 志賀 達哉
理事 田村 正彦
理事 柳村 典秀
理事 深谷 政光
理事 民部田 幾夫
理事 鈴木 重男
理事 熊谷 泉
理事 谷村 邦久
理事 高橋 富一
理事 阿部 正喜
理事 平井 滋
理事 佐々木 勇
理事 吉田 尹
理事 佐々木 俊幸

〈監事〉

監事 高橋 昌造
監事 兼平 賀章

〈評議員〉

会長 岩清水 晃
評議員 大野 晴久
評議員 小笠原 章
評議員 小野 信太郎
評議員 勝又 吉治
評議員 白澤 國雄
評議員 高橋 政志
評議員 田山 和文
評議員 箱崎 俊介
評議員 宮田 克明

(平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

公益財団法人盛岡地域地場産業振興センターは昭和61年の開業以来、盛岡広域圏内の地場産品の需要拡大、後継者の育成、新商品開発能力の育成、情報の収集提供等に加え観光との融合を図りながら地場産業界の振興を目的とした事業を行っている。

(ア) 地場産業振興事業

(イ) 管理運営事業

(ウ) 収益事業

2 平成27年度事業実績及び決算の状況

(1) 事業実績

公益財団法人盛岡地域地場産業振興センターは、盛岡地域の自然と歴史、伝統の中で育んできた地域の文化に由来する地場の産業振興を目的として、平成27年度は積極的に盛岡広域8市町と連携し、公益目的事業の核となる地場産品紹介普及啓発、体験学習、地場産品の資料展示や人材育成事業による後継者の育成などの公益事業をいたしました。

センターの運営安定を図るための収益事業としては、南部鉄器協同組合やレストラン、自動販売機業者及び一般の施設賃貸を行った他、地域外で生産されている集客性の高い商品の販売も積極的に実施いたしました。その他、行政等の支援事業を活用した新商品開発等も行い、地場産業の普及啓発にも努め、公益事業との連携を図りました。

(2) 決算の状況

①当期正味財産増減計算の部

平成27年度は、展示即売室売上が194,956千円(対前年101.8%)、体験学習売上が21,710千円(98.4%)といった状況であった。事業収益は、即売室仕入商品売上の増(6,231千円の増)等から、7,107千円の増であった。また委託事業にかかる委託料収益5,215千円の増等により、経常収益の計は9,621千円の増の169,181千円であった。一方、経常費用は展示即売室仕入商品売上増に伴う仕入額の増等による事業原価の増(5,501千円)、委託料収益の増に伴う人件費等委託事業費の増等から8,481千円増の計171,083千円であり、法人税、住民税及び事業税72千円と併せ、当期正味財産増減額は▲1,974千円となった。

②貸借対照表の部

平成27年度末は、前年度末と比較し、資産の部において、流動資産は現金預金の増(7,591千円)等により、5,153千円増加した。資産の部のリース資産及び負債の部の長期未払金は、平成26年度(平成27年1月)導入した高圧受変電設備機器リース(9年リース 総額9,506千円 平成28年3月末日時点で15ヵ月分1,320千円終了)の残額である8,186千円と平成27年度(平成27年12月)導入したPOSシステム及び機器(8年リース 総額13,478千円 平成28年3月末日時点で4ヵ月分561千円終了)の残額12,917千円である21,103千円から、リース資産が11,861千円の増加、長期未払金が12,001千円増加している。(差額140千円はPOSリース1ヵ月分:導入時期と支払開始月の違いによる。)これに固定資産の減価償却による建物の6,215千円の減等から資産合計は前年に比べ13,717千円の増となっている。一方の負債の部は、前述のリース資産の増に伴う長期未払金12,001千円の増、未払金の増等による流動負債の3,690千円の増から、15,691千円の増となっている。この資産の部の増13,717千円と負債の部の増15,691千円から、正味財産期末残高は1,974千円の減となっている。

正味財産増減計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常増減の部		
1 経常収益		
基本財産運用益	6,860	
事業収益	124,167,995	
受取補助金等	45,000,000	
雑収益	6,470	
経常収益計	169,181,325	
2 経常費用		
事業費	163,854,821	
管理費	7,228,561	
経常費用計	171,083,382	
当期経常増減額		△ 1,902,057
II 経常外増減の部		
1 経常外収益		
経常外収益計	0	
2 経常外費用		
経常外費用計	0	
当期経常外増減額		0
法人税・住民税及び事業税		72,000
当期一般正味財産増減額		△ 1,974,057
一般正味財産期首残高		571,729,786
一般正味財産期末残高		569,755,729
指定正味財産期末残高		27,370,000
正味財産期末残高		597,125,729

貸借対照表

平成28年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	19,487,166	
未収金	6,837,173	
その他	5,734,387	
流動資産合計		32,058,726
2 固定資産		
基本財産		
定期預金	27,370,000	
基本財産合計	27,370,000	
特定資産		
修繕積立金	2,500,000	
特定資産合計	2,500,000	
その他の固定資産		
土地	429,472,895	
建物	126,410,856	
構築物	13,829	
車両運搬具	1	
その他	22,634,381	
その他の固定資産合計	578,531,962	
固定資産合計		608,401,962
資産合計		640,460,688
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	18,201,188	
その他	3,890,711	
流動負債合計		22,091,899
2 固定負債		
長期未払金	21,243,060	
固定負債合計		21,243,060
負債合計		43,334,959
III 正味財産の部		
正味財産	597,125,729	
(うち基本金)	27,370,000	
(うち当期正味財産増加額)	△ 1,974,057	
負債及び正味財産合計		640,460,688

財産目録
平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	19,487,166	
未収金	6,837,173	
その他	5,734,387	
流動資産合計		32,058,726
2 固定資産		
基本財産		
定期預金	27,370,000	
基本財産合計	27,370,000	
特定資産		
修繕積立金	2,500,000	
特定資産合計	2,500,000	
その他の固定資産		
土地	429,472,895	
建物	126,410,856	
構築物	13,829	
車両運搬具	1	
その他	22,634,381	
その他の固定資産合計	578,531,962	
固定資産合計		608,401,962
資産合計		640,460,688
II 負債の部		
1 流動負債		
支払手形	0	
未払金	18,201,188	
その他	3,890,711	
流動負債合計		22,091,899
2 固定負債		
長期未払金	21,243,060	
固定負債合計		21,243,060
負債合計		43,334,959
差引純資産		597,125,729

3 平成28年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

公益財団法人盛岡地域地場産業振興センターは、盛岡地域の自然と歴史、伝統のなかで育んできた地域の文化に由来する地場の産業振興を目的として、平成28年度も盛岡地域の地場産業の振興を図り、地場産業の育成と強化などに取組むこととする。平成27年度から積極的に取り組んできた盛岡広域8市町との連携強化を一層促進し、地場製品の紹介、普及啓発や体験学習事業、地場製品の資料展示による地場産業の理解向上のほか、人材育成事業により後継者の育成など公益事業を実施する。

また、地域外商品の紹介や施設賃貸等の収益事業についても取り組み当センターの運営安定を図るものとする。さらに、地場産業の普及や啓発に関する事業を受託し、幅広く紹介宣伝することにより、公益事業への相乗的な効果に資する取組を進めるものとする。

以上のことを踏まえ、平成28年度は次の諸事業を実施する。

1 地場産業振興事業（公益事業）

盛岡広域圏内の地場産業振興のため、地場製品の普及啓発を図る「地場製品紹介普及啓発事業」、工芸品の振興を図り後継者の確保を目的とする「体験学習事業」、盛岡地域地場産業への理解向上と将来の地場産業振興発展を目的とする「展示資料室運営事業」を公益事業として積極的に推進し、盛岡地域内の地場産業の振興を図っていく。

2 人材育成事業（公益事業）

盛岡地域の手づくり産業を担う技術後継者や経営後継者の育成を図り、地場産業の活性化と振興に努める。盛岡広域で育まれてきた地場の産業の継続的な事業展開を目指し、講演会や研修会などの開催を通し、技術力の向上や交流の促進に努める。

3 施設賃貸事業

南部鉄器協同組合・自動販売機業者及び一般利用者へ施設の賃貸を行い、当センター運営に必要な収益の一部とする。

4 販売促進事業

アロニアジャムやアロニアサプリメント、オリジナルアイス「なんじえら？」の販売のほか、岩手国体開催に向けオリジナル商品の開発を進める。

また、盛岡地域外の収益性の高い商品や、集客性の高い商品等の販売を行い収益の拡大を図り、センター運営にあてる収益の確保に努める。

5 共用施設維持管理事業

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、盛岡地域地場産業振興センター、協同組合盛岡手づくり村が共用する施設について、維持管理費を負担し合いながら、施設の管理を行う。

6 南部曲り家地場製品普及宣伝事業

盛岡手づくり村の南部曲り家は、古くから馬産地である盛岡広域の伝統的な生活様式を現代に伝える貴重な建造物である。この南部曲り家で工芸品の製作実演や伝統行事などを行うほか、体験学習の会場としても活用し、地場産業の歴史や民芸品を宣伝紹介し、地域文化への理解を得るとともに手づくり品の振興を図る。

7 盛岡手づくり村開業30周年記念事業

昭和61年5月に開業した盛岡手づくり村は本年5月に開業30周年を迎えることから、これを記念し盛岡広域市町及び協同組合盛岡手づくり村と平成27年に組織した実行委員会で各種の記念事業を実施する。

8 地場産業普及啓発事業

盛岡広域の工芸品や食品を地域の文化とともに国内外に紹介し普及を図るため、地場産品としての認証をするなどし品質やブランドの確立に努める。

9 交流促進事業

盛岡手づくり村への誘客と盛岡広域市町との交流促進を図るため、季節毎のイベントを企画、開催するほか、他団体主催のイベントの誘致や支援を行い地場産品の普及宣伝に努める。

10 管理運営事業

盛岡広域の地場産業振興の拠点性を高めるために、情報の収集に努め、その共有化や発信機能を充実させるほか、周辺施設との連携に努め来村者の誘客と利便性の向上に努める。

併せて、観光事業に取り組む関係機関などと連携を強化し、競合する施設の中から、選ばれ、喜ばれる、盛岡手づくり村を目指す。

(2) 収支予算の概要

平成28年度収支予算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 経常収益				
1 基本財産運用益	10,000	10,000	0	
2 事業収益	117,375,000	125,685,000	△ 8,310,000	
3 受取補助金等	45,000,000	45,000,000	0	
4 雑収益	11,000	11,000	0	
経常収益計(A)	162,396,000	170,706,000	△ 8,310,000	
II 経常費用				
1 事業費	161,632,000	167,839,000	△ 6,207,000	
2 管理費	6,948,000	7,509,000	△ 561,000	
経常費用計(B)	168,580,000	175,348,000	△ 6,768,000	
当期経常増減額(A) - (B)	△ 6,184,000	△ 4,642,000	△ 1,542,000	
一般正味財産期首残高	567,087,000	571,729,000	△ 4,642,000	
一般正味財産期末残高	560,903,000	567,087,000	△ 6,184,000	
指定正味財産期末残高	27,370,000	27,370,000	0	
正味財産期末残高	588,273,000	594,457,000	△ 6,184,000	

公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会

1 総括事項

- (1) 名称 公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会
- (2) 設立年月日 平成6年8月1日
- (3) 資本金又は基本財産 金 304,900,000円
- (4) 市の出資額 金 150,500,000円
- (5) 役員の名
- | | |
|------|--------|
| 理事長 | 谷村邦久 |
| 専務理事 | 小原俊彦 |
| 理事 | 伊壺時雄 |
| 理事 | 太田代洋一郎 |
| 理事 | 熊澤道彦 |
| 理事 | 瀬川光夫 |
| 理事 | 西舘政美 |
| 理事 | 堀内紀孝 |
| 理事 | 堀江和王 |
| 理事 | 間瀬信康 |
| 監事 | 浅沼晃 |
| 監事 | 荒道修士 |
- (平成28年4月1日現在)

(6) 事業の概要

当法人は、盛岡市及び岩手県の有する文化的・社会的・経済的特性を活かし、国内外からのコンベンション及び観光客に対する誘致並びに支援、観光資源の開発宣伝、観光文化施設の整備及び管理を行うことにより、観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化及び文化の向上に寄与することを目的とする。

- (ア) 観光並びにコンベンションに関する企画、調査及び開発事業
- (イ) 観光並びにコンベンション関係機関との連携及び調査事業
- (ウ) 観光並びにコンベンションの受入れ体制の整備及び誘致活動の推進事業
- (エ) 観光並びにコンベンションに関する情報の収集及び出版物等による宣伝事業
- (オ) 観光並びにコンベンションに関する意識の向上及び関係者の人材育成事業
- (カ) 観光土産品の推奨、改善指導及び販路の拡張事業
- (キ) 観光施設等の受託管理及び付帯事業に関する運営事業
- (ク) まちなか観光の推進と市民ボランティアによるおもてなし観光案内事業
- (ケ) 第三種旅行業に関する事業
- (コ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 平成27年度事業実績及び決算の状況

(1) 事業実績

国内外からの観光客及びコンベンションの誘致並びに支援、観光資源の開発宣伝、観光文化施設の整備・管理を行うことにより、観光振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域経済の活性化及び文化の向上を目指しており、公益法人移行後3年目を迎える中で、法人の目指す理念と目標を着実に実施してまいりました。

本年度は重点的に次の事業を実施しました。

- ① 教育旅行誘致事業として、岩手への関心が高い関東地区や北海道からの修学旅行誘致を継続して推進するため、岩手県修学旅行誘致説明会への参加や、現地旅行エージェントを訪問し、要望等の聞き取り及び翌年度へ向けての動向調査等を行いました。

また、外国人観光客誘致受入事業として、台中国際旅行博覧会に参加し現地旅行代理店に対し盛岡の観光をPRしたほか、観光文化情報プラザ（プラザおでって2階）及びいわて・盛岡広域観光センター（盛岡駅構内南口）にて、外国人観光客向けのWi-Fiを設置し外国人観光客の利便の向上に努めました。

- ② 各種コンベンション招致に向け、第25回国際ミーティング・エキスポへ出展し、平成27年度創設した盛岡MICE開催支援助成金など各種助成制度、支援内容などをPRし誘致活動を行いました。また、岩手大学や岩手医科大学など地元大学を訪問して学会などの情報を収集するとともに助成・支援概要をPRし誘致活動を実施したほか、盛岡におけるコンベンション開催意欲向上のため、地元主催者を対象に支援内容などの情報提供を行うとともに、関連業者がコンベンション用サービスの展示を行うコンベンションフェアを開催しました。

- ③ これまで収集した復興支援に関する情報や県内主要観光イベント等の情報について、ホームページでの発信、「鉄道ふれあいフェア」への出展、被災地復興支援誘客コーディネート事業などを実施し、被災地の支援や情報提供に努めました。

- ④ 施設運営事業では、「盛岡市観光文化交流センター（プラザおでって）」「もりおか啄木・賢治青春館」「もりおか歴史文化館」の指定管理者として、管理運営を行うとともにさまざまな自主事業を行い、市民や観光客へ盛岡の文化の発信、観光の振興に努めました。

(2) 決算の状況

収支計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	889,000	908,529	19,529	
②特定資産運用益	0	1,552	1,552	
③受取会費	16,315,000	16,455,000	140,000	
④事業収益	203,215,000	199,478,397	△ 3,736,603	
⑤受取補助金等	60,533,000	47,884,000	△ 12,649,000	
⑥受取負担金	12,085,000	12,102,000	17,000	
⑦受取寄付金	0	0	0	
⑧雑収益	8,000	121,645	113,645	
経常収益計	293,045,000	276,951,123	△ 16,093,877	
(2) 経常費用				
①事業費	272,765,000	261,699,576	△ 11,065,424	
②管理費	18,720,000	14,495,640	△ 4,224,360	
経常費用計	291,485,000	276,195,216	△ 15,289,784	
当期経常増減額	1,560,000	755,907	△ 804,093	
2 経常外増減の部			0	
(1) 経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用計	0	191,740	191,740	
当期経常外増減額	0	△ 191,740	△ 191,740	
他会計振替額	0	0	0	
法人税、住民税及び事業税	858,000	220,500	△ 637,500	
当期一般正味財産増減額	702,000	343,667	△ 358,333	
一般正味財産期首残高	49,852,000	46,505,930	△ 3,346,070	
一般正味財産期末残高	50,554,000	46,849,597	△ 3,704,403	
II 指定正味財産増減の部			0	
基本財産運用益	863,000	881,273	18,273	
一般正味財産への振替額	863,000	881,273	18,273	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	295,800,000	295,800,000	0	
指定正味財産期末残高	295,800,000	295,800,000	0	
III 正味財産期末残高	346,354,000	342,649,597	△ 3,704,403	

正味財産増減表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	908,529	889,745	18,784
有価証券・定期預金・普通預金運用益	27,256	26,693	563
基本財産運用収入振替額	881,273	863,052	18,221
②特定資産運用益	1,552	1,447	105
償還差額積立・減価償却積立預金運用益	1,552	1,447	105
③受取会費	16,455,000	16,591,000	△ 136,000
賛助会費	16,455,000	16,591,000	△ 136,000
④事業収益	199,478,397	196,039,276	3,439,121
事業収益(観光事業)	27,400,415	29,538,827	△ 2,138,412
事業収益(コンベンション事業)	2,179,380	1,459,350	720,030
指定管理事業収益	134,613,744	134,946,640	△ 332,896
(盛岡市・乃村工藝社)			
指定管理事業収益(施設貸与)	14,537,070	13,630,800	906,270
指定管理事業収益	1,753,200	1,343,400	409,800
(ホール・青春館自主企画)			
指定管理事業収益	4,420,034	4,047,690	372,344
(喫茶, 宿泊幹旋, PG)			
その他収益事業収益	13,056,074	9,554,089	3,501,985
(旅行業, グッズ販売等)			
啄木新婚の家管理運営事業収益	1,518,480	1,518,480	0
⑤受取補助金等	47,884,000	37,378,000	10,506,000
事業運営補助金(盛岡市から)	17,738,000	18,671,000	△ 933,000
人件費補助金(盛岡市から)	17,371,000	17,371,000	0
盛岡MICE補助金(盛岡市から)	11,750,000	0	11,750,000
コンベンション誘致支援補助金(岩手県から)	1,025,000	1,336,000	△ 311,000
⑥受取負担金	12,102,000	10,557,000	1,545,000
事業運営負担金・駅観光案内所運営負担金(各団体・自治体から)	11,652,000	10,187,000	1,465,000
事業負担金(啄木学級文の京講座・文京区から)	300,000	300,000	0
事業負担金(接遇研修事業, CNVバッグ負担金)	150,000	70,000	80,000
⑦受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
⑧雑収益	121,645	140,435	△ 18,790
受取利息	15,799	15,390	409
雑収益	105,846	125,045	△ 19,199
経常収益計	276,951,123	261,596,903	15,354,220
(2) 経常費用			
①事業費	261,699,576	255,269,780	6,429,796
役員報酬	1,870,560	1,875,360	△ 4,800
給料手当	72,640,122	73,945,227	△ 1,305,105
臨時雇賃金	40,165,082	40,683,895	△ 518,813
福利厚生費	17,761,128	17,045,928	715,200
会議費	179,320	138,637	40,683
交際費	139,401	155,856	△ 16,455
旅費交通費	3,515,029	4,964,857	△ 1,449,828

科目	当年度	前年度	増減
通信運搬費	2,459,541	3,127,660	△ 668,119
減価償却費	77,499	97,665	△ 20,166
消耗什器備品費	82,080	59,400	22,680
消耗品費	3,192,763	3,149,149	43,614
修繕費	713,139	627,972	85,167
印刷製本費	8,633,073	6,268,688	2,364,385
燃料費	1,121,486	1,849,652	△ 728,166
光熱水料費	13,578,932	14,585,208	△ 1,006,276
賃借料	4,638,249	4,752,031	△ 113,782
保険料	71,055	97,280	△ 26,225
諸謝金	3,052,283	3,442,179	△ 389,896
租税公課	8,132,900	8,235,300	△ 102,400
支払負担金	2,066,944	1,889,036	177,908
支払助成金	12,588,000	858,000	11,730,000
委託費	54,197,431	54,037,470	159,961
支払手数料	357,569	378,724	△ 21,155
雑費	126,519	125,036	1,483
仕入高	10,402,939	6,776,409	3,626,530
期首たな卸資産	833,051	6,936,212	△ 6,103,161
期末たな卸資産	△ 896,519	△ 833,051	△ 63,468
②管理費	14,495,640	21,250,486	△ 6,754,846
役員報酬	1,870,560	1,875,360	△ 4,800
給料手当	6,383,107	11,521,396	△ 5,138,289
退職給付費用	0	205,200	△ 205,200
福利厚生費	1,397,594	2,232,982	△ 835,388
会議費	11,836	10,876	960
交際費	199,143	237,254	△ 38,111
旅費交通費	13,600	80,660	△ 67,060
通信運搬費	154,538	214,830	△ 60,292
減価償却費	874,721	870,768	3,953
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	345,742	261,891	83,851
修繕費	60,912	92,453	△ 31,541
印刷製本費	341,265	645,974	△ 304,709
燃料費	14,546	19,526	△ 4,980
光熱水料費	0	0	0
賃借料	260,947	272,694	△ 11,747
保険料	9,195	13,510	△ 4,315
諸謝金	777,600	827,600	△ 50,000
租税公課	4,600	12,500	△ 7,900
支払負担金	1,072,000	1,119,550	△ 47,550
支払寄付金	19,000	4,000	15,000
委託費	573,282	510,144	63,138
支払手数料	91,452	91,838	△ 386
雑費	20,000	123,500	△ 103,500
期首たな卸資産	0	5,980	△ 5,980
期末たな卸資産	0	0	0
経常費用計	276,195,216	276,520,266	△ 325,050
当期経常増減額	755,907	△ 14,923,363	15,679,270
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失(物品損害弁償, 受託チケット 過誤販売)	191,740	0	191,740
経常外費用計	191,740	0	191,740

科目	当年度	前年度	増減
当期經常外増減額	△ 191,740	0	△ 191,740
法人税, 住民税及び事業税	220,500	72,000	148,500
当期一般正味財産増減額	343,667	△ 14,995,363	15,339,030
一般正味財産期首残高	46,505,930	61,501,293	△ 14,995,363
一般正味財産期末残高	46,849,597	46,505,930	343,667
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	881,273	863,052	18,221
一般正味財産への振替額	881,273	863,052	18,221
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	295,800,000	295,800,000	0
指定正味財産期末残高	295,800,000	295,800,000	0
III 正味財産期末残高	342,649,597	342,305,930	343,667

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	241,385	234,086	7,299
普通預金	33,049,933	35,656,206	△ 2,606,273
定期預金	1,014,100	1,013,846	254
未収会費	490,000	336,000	154,000
未収金	4,757,548	3,404,461	1,353,087
たな卸資産	896,519	833,051	63,468
貯蔵品	2,148,010	2,372,132	△ 224,122
仮払金	0	0	0
流動資産合計	42,597,495	43,849,782	△ 1,252,287
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	12,180	12,180	0
定期預金	60,900,000	60,900,000	0
投資有価証券	243,987,820	243,987,820	0
基本財産合計	304,900,000	304,900,000	0
(2) 特定資産			
償還差額補填積立資産	880,497	662,933	217,564
減価償却引当資産	5,902,617	5,683,717	218,900
特定資産合計	6,783,114	6,346,650	436,464
(3) その他の固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	37,816	149,622	△ 111,806
建物附属設備	242,266	279,430	△ 37,164
リース資産	549,990	1,283,310	△ 733,320
ソフトウェア	64,103	134,033	△ 69,930
電話加入権	469,666	469,666	0
保証金	3,000,000	3,000,000	0
長期前払費用	6,600	6,600	0
その他固定資産合計	4,370,442	5,322,662	△ 952,220
固定資産合計	316,053,556	316,569,312	△ 515,756
資産合計	358,651,051	360,419,094	△ 1,768,043
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	10,191,899	7,702,936	2,488,963
賞与引当金	3,319,565	3,387,418	△ 67,853
未払消費税等	1,940,000	5,739,500	△ 3,799,500
流動負債合計	15,451,464	16,829,854	△ 1,378,390
2 固定負債			
長期未払金	549,990	1,283,310	△ 733,320
固定負債合計	549,990	1,283,310	△ 733,320
負債合計	16,001,454	18,113,164	△ 2,111,710
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	230,000,000	230,000,000	0
民間補助金	65,800,000	65,800,000	0
指定正味財産合計	295,800,000	295,800,000	0
(うち基本財産への充当額)	295,800,000	295,800,000	0
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	46,849,597	46,505,930	343,667
(うち特定資産への充当額)	9,100,000	9,100,000	0
(うち特定資産への充当額)	6,783,114	6,346,650	436,464
正味財産合計	342,649,597	342,305,930	343,667
負債及び正味財産合計額	358,651,051	360,419,094	△ 1,768,043

財 産 目 録
平成28年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許保管	施設利用料及び物販等レジ釣り銭	241,385
普通預金	岩手銀行本店	運転資金として	10,443,367
	岩手銀行盛岡市役所出張所	運転資金として	11,470,310
	岩手銀行盛岡市役所出張所	運転資金として	648
	岩手銀行盛岡市役所出張所	運転資金として	1,677,189
	岩手銀行中ノ橋支店	運転資金として	3,301,133
	北日本銀行本店	運転資金として	2,383,124
	東北銀行本店	運転資金として	2,248,938
	盛岡信用金庫本店	運転資金として	686,122
	ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として	839,102
定期預金	岩手銀行盛岡市役所出張所	運転資金として	1,014,100
未収会費		賛助会員4件	490,000
未収金		事業収益, 指定管理料収益, 受取補助金等	4,757,548
たな卸資産	プラザおでって2階・青春館(郵券類, オリジナル観光グッズ, 青春館喫茶仕入材料)	販売用商品, 喫茶仕入材料	896,519
貯蔵品	プラザおでって2階・4階・青春館他(郵券類, ノベルティグッズ, 印刷物ほか)	郵券類, 事業用品, 印刷物未使用品	2,148,010
流動資産合計			42,597,495
(固定資産)			
基本財産			
普通預金	岩手銀行本店	公益目的保有財産。運用益を公益目的事業の財源として使用している	0
	北日本銀行本店	同上	12,180
	東北銀行本店	同上	0
	盛岡信用金庫本店	同上	0
		うち, 公益目的保有財産100%	12,180
定期預金	岩手銀行本店	公益目的保有財産。運用益を公益目的事業の財源として使用している	10,000,000
	北日本銀行本店	同上	10,000,000
	東北銀行本店	同上	10,000,000
	盛岡信用金庫本店	同上	30,900,000
		うち, 公益目的保有財産100%	60,900,000
投資有価証券	岩手銀行(国債)	公益目的保有財産。運用益を公益目的事業の財源として使用している	114,949,120
	北日本銀行(国債)	同上	76,983,000
	東北銀行(国債)	同上	52,055,700
		うち, 公益目的保有財産100%	243,987,820
特定資産			
償還差額補填積立預金	岩手銀行本店	投資有価証券にかかる償還差額補填積立資産	475,904
	北日本銀行本店	同上	331,933
	東北銀行本店	同上	72,660

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	減価償却引当資産	岩手銀行盛岡市役所出張所	車両運搬具, 器具備品, 建物附属設備, ソフトウェア等の減価償却引当金見合を引当資産として管理している	5,902,617
その他固定資産	車両運搬具	軽自動車1台(車番1439)	公益目的事業, 収益事業, 管理運営の用に供している うち, 公益目的保有財産 70%	1
	什器備品	印刷機, シュレッダー, ネットワークハードディスク, 看板	公益目的事業, 収益事業, 管理運営の用に供している うち, 公益目的保有財産 30.7%	37,816
	建物附属設備	パーティション一式, 風除設備	収益事業の用に供している	242,266
	リース資産	会計システムハードウェア	管理運営の用に供している	549,990
	ソフトウェア	会計システムソフトウェア	管理運営の用に供している	64,103
	電話加入権	電話3回線(019-606-6688, 621-8800, 653-4417)	公益目的事業, 収益事業, 管理運営の用に供している うち, 公益目的保有財産 67.1%	469,666
	保証金	第三種旅行業保証金	収益事業の用に供している	3,000,000
長期前払費用	リサイクル預託金 (軽自動車1台・車番1439)	車両運搬具のリサイクル料金	6,600	
固定資産合計				316,053,556
資産合計			うち, 公益目的保有財産額計	358,651,051
			305,226,744	
(流動負債)	未払金	事業等に対する未払額	事業・管理費に供する経費の未払額	10,191,899
	賞与引当金	職員19名分に対する賞与引当金	H28.6月支給見込額のうち当年度に帰属する金額	3,319,565
	未払消費税等	消費税等に対する未払額	消費税等の未払額	1,940,000
流動負債合計				15,451,464
(固定負債)	長期未払金	会計システム	リース資産に対するもの	549,990
固定負債合計				549,990
負債合計				16,001,454
正味財産				342,649,597

3 平成28年度事業計画及び収支予算の概要

(1) 事業計画

国内外からの観光客及びコンベンションの誘致並びに支援，観光資源の開発宣伝，観光文化施設の整備・管理を行うことにより，観光振興及び交流人口の拡大を図り，もって地域経済の活性化及び文化の向上を目指します。

- ① 教育旅行及び外国人観光客の誘致促進のため，誘致説明会や学校関係者，旅行会社を訪問するなど誘致活動を展開します。
- ② 各種コンベンション招致に向け，首都圏等に所在するコンベンション等の主催団体や受入れ地元関係者等への積極的な働きかけを行い，新たな誘致支援活動に取り組むとともに各種支援助成制度を活用し，一層の誘致促進に努めます。
- ③ これまで収集した復興支援に関する情報や県内主要観光イベント等の情報について，ホームページを通じて発信し，盛岡地域及び沿岸地域への誘客を促進することにより復興支援を行います。
- ④ 「盛岡市観光文化交流センター」，「もりおか啄木・賢治青春館」などの指定管理施設について，自主事業を積極的に展開するとともに管理費の削減を図るなど，観光・文化の振興と施設の効率的な運営に努めます。

(2) 収支予算の概要

平成28年度収支予算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	892,000	889,000	3,000	
②特定資産運用益	0	0	0	
③受取会費	16,315,000	16,315,000	0	
④事業収益	169,501,000	203,215,000	△ 33,714,000	
⑤受取補助金等	60,305,000	60,533,000	△ 228,000	
⑥受取負担金	12,085,000	12,085,000	0	
⑦受取寄付金	0	0	0	
⑧雑収益	14,000	8,000	6,000	
経常収益計	259,112,000	293,045,000	△ 33,933,000	
(2) 経常費用				
①事業費	242,789,000	272,765,000	△ 29,976,000	
②管理費	16,005,000	18,720,000	△ 2,715,000	
経常費用計	258,794,000	291,485,000	△ 32,691,000	
当期経常増減額	318,000	1,560,000	△ 1,242,000	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
法人税、住民税及び事業税	221,000	858,000	△ 637,000	
当期一般正味財産増減額	97,000	702,000	△ 605,000	
一般正味財産期首残高	46,505,000	49,852,000	△ 3,347,000	
一般正味財産期末残高	46,602,000	50,554,000	△ 3,952,000	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	867,000	863,000	4,000	
一般正味財産への振替額	867,000	863,000	4,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	295,800,000	295,800,000	0	
指定正味財産期末残高	295,800,000	295,800,000	0	
III 正味財産期末残高	342,402,000	346,354,000	△ 3,952,000	